

一括請求 Assist[®] Ver.2

操作マニュアル

連携編(勘定奉行)

第 2.6 版

目次

はじめに.....	2
1 連携の概要.....	3
1.1 連携の概要.....	3
1.2 連携条件について.....	4
1.3 連携の流れ.....	5
1.4 使用フォーマットについて.....	6
2 連携事前設定.....	7
2.1 「勘定奉行」「勘定奉行[建設業編]」の事前設定.....	7
2.1.1 勘定科目を確認する.....	7
2.1.2 補助科目を確認する.....	10
2.1.3 取引先を確認する.....	22
2.1.4 部門を確認する.....	26
2.1.5 摘要を確認する.....	28
2.2 本ソフトの事前設定.....	30
2.2.1 通知確認設定情報を設定する.....	30
2.2.2 取引先を設定する.....	31
2.2.3 出力 CSV 設定を設定する.....	34
2.2.4 固定値を設定する.....	35
3 連携手順.....	44
3.1 連携手順.....	44
3.1.1 通知ファイルを読み込む.....	44
3.1.2 通知情報を確認する.....	48
3.1.3 仕訳伝票を作成する.....	50

はじめに

本書では、本ソフトと株式会社オービックビジネスコンサルタントの会計ソフト「勘定奉行」「勘定奉行[建設業編]」との連携について、事前設定、連携手順を説明します。

本書では「勘定奉行」の画面例で連携手順を説明しますが、「勘定奉行[建設業編]」も同様の手順で連携が可能になります。

本書で使用する画面例については「勘定奉行 i8」のものとなります。会計ソフトのバージョンにより表示内容が異なる場合がありますが、操作方法に差異はありません。

本書に記載されていない「勘定奉行」「勘定奉行[建設業編]」のその他機能の詳細については、「勘定奉行」「勘定奉行[建設業編]」の操作説明をご参照ください。

1 連携の概要

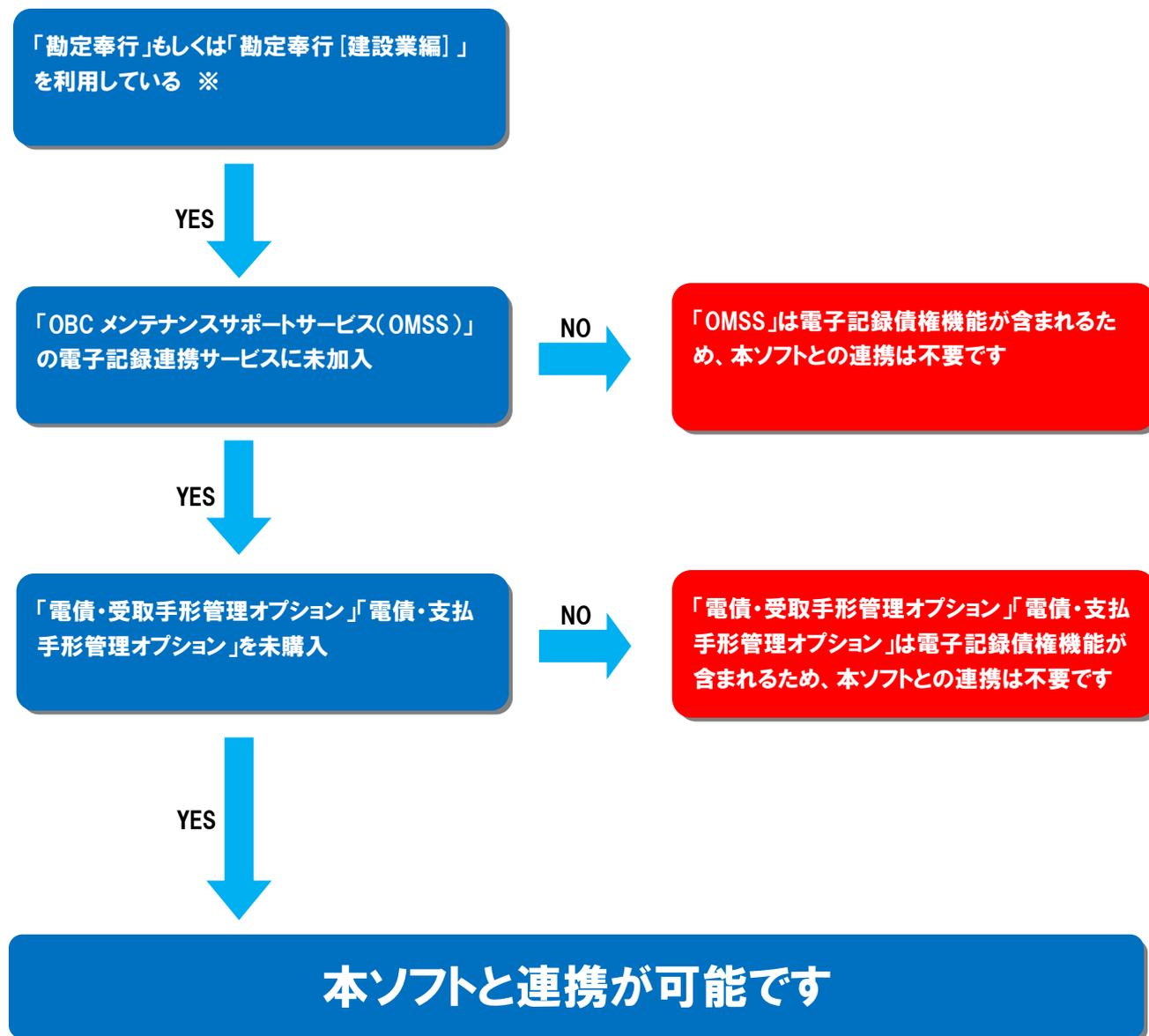
1.1 連携の概要

本ソフトは、電子記録債権取引システムからダウンロードした通知ファイル（でんさいネット標準フォーマット（固定長テキスト形式）1.2版の配信1）を読み込み、電子記録債権の債務情報を省いた債権情報 CSV ファイル（受入債権一覧）を出力することができます。出力した債権情報 CSV ファイルを「勘定奉行」もしくは「勘定奉行[建設業編]」に読み込むことにより、簡単に仕訳伝票を作成することができます。



1.2 連携条件について

本ソフトと連携が可能となる条件は下記の通りとなります。



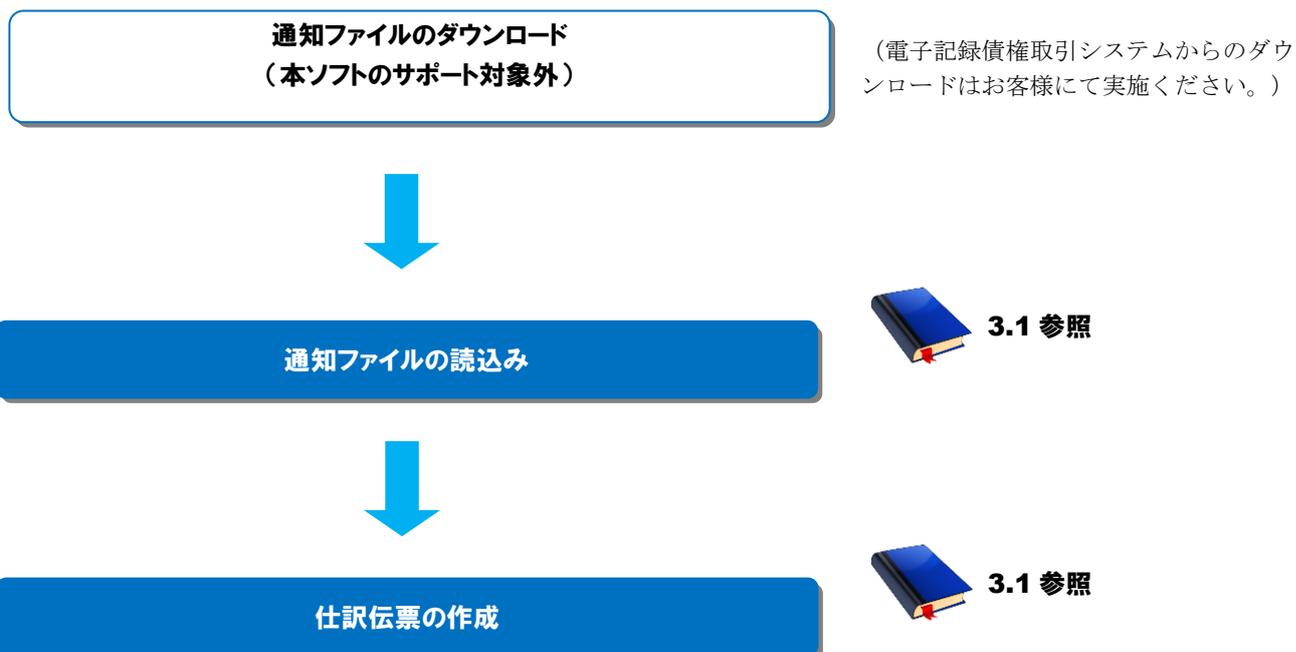
※連携可能な勘定奉行のバージョンについては、株式会社NTT データフロンティアのホームページをご参照ください。

1.3 連携の流れ

事前設定



連携手順



1.4 使用フォーマットについて

「勘定奉行」「勘定奉行[建設業編]」との連携で使用するフォーマットについて説明します。

「勘定奉行」「勘定奉行[建設業編]」の利用状況に応じて、下記使用フォーマットから適切なものを選択してください。以降の設定については、選択した使用フォーマットに沿って実施してください。

条件1 ※1	条件2 ※2	選択する使用フォーマット
「勘定奉行」「勘定奉行[建設業編]」の <u>取引先登録画面</u> で取引先を管理している場合	「勘定奉行」「勘定奉行[建設業編]」の仕訳処理画面の「摘要」を <u>使用している</u> 場合	連携用_勘定奉行（OBC）_SN
	「勘定奉行」「勘定奉行[建設業編]」の仕訳処理画面の「摘要」を <u>使用していない</u> 場合	連携用_勘定奉行（OBC）_SY
「勘定奉行」「勘定奉行[建設業編]」の <u>補助科目登録画面</u> で取引先を管理している場合	「勘定奉行」「勘定奉行[建設業編]」の仕訳処理画面の「摘要」を <u>使用している</u> 場合	連携用_勘定奉行（OBC）_BN
	「勘定奉行」「勘定奉行[建設業編]」の仕訳処理画面の「摘要」を <u>使用していない</u> 場合	連携用_勘定奉行（OBC）_BY

※1：詳細は「**2.1.2 補助科目を確認する**」、「**2.1.3 取引先を確認する**」をご参照ください。

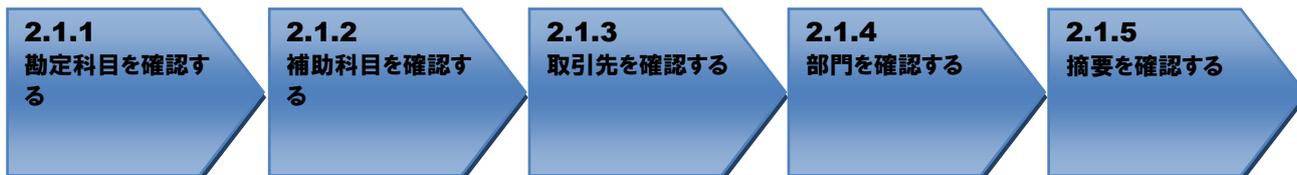
※2：詳細は「**2.1.5 摘要を確認する**」をご参照ください。

2 連携事前設定

2.1 「勘定奉行」 「勘定奉行 [建設業編]」の事前設定

連携を行うための「勘定奉行」「勘定奉行[建設業編]」の事前設定方法を説明します。

操作手順

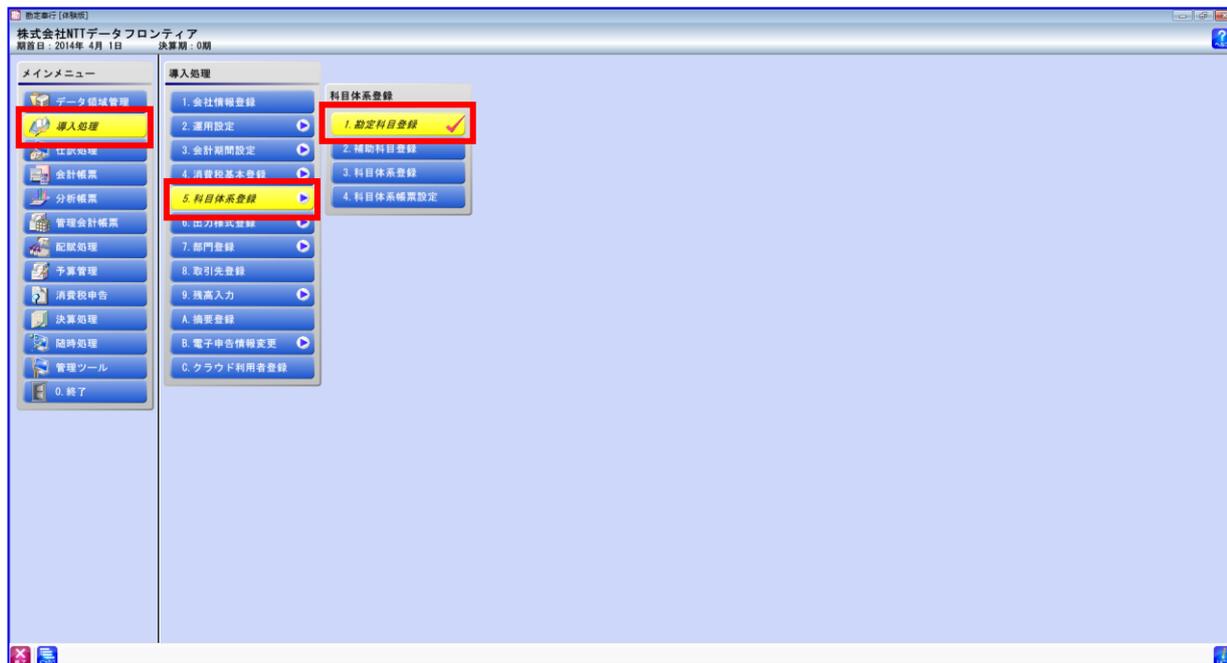


操作方法

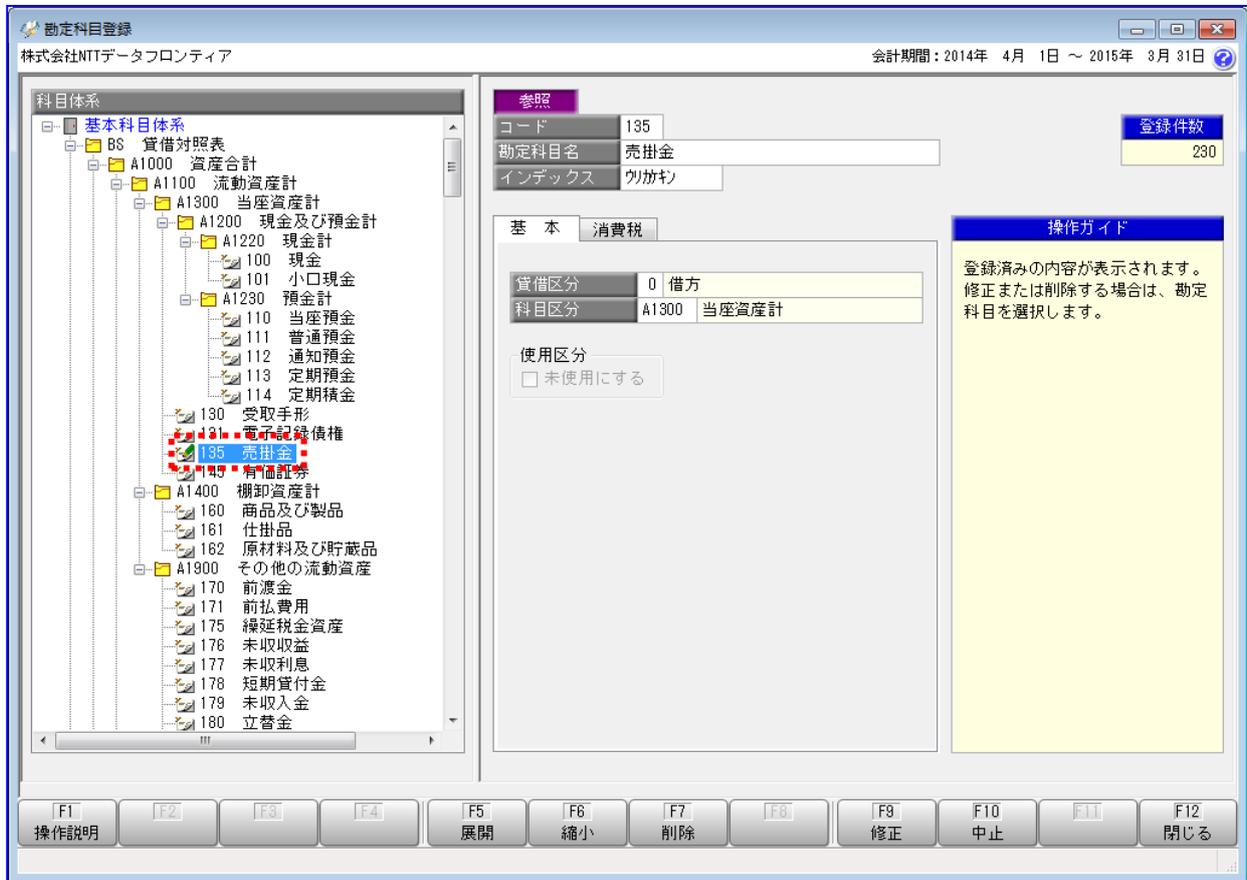
2.1.1 勘定科目を確認する

連携で使用する勘定科目が登録されているか確認します。

- 「勘定奉行」「勘定奉行[建設業編]」を開き、[導入処理]>[科目体系登録]>[勘定科目登録]を押下します。



- 勘定科目「売掛金」が存在することを確認します。
勘定科目「売掛金」が存在しない場合は、任意のコードで新規作成します。
(新規作成方法については「勘定奉行」「勘定奉行[建設業編]」の操作説明をご参照ください。)



- 勘定科目「電子記録債権」が存在することを確認します。
勘定科目「電子記録債権」が存在しない場合は、任意のコードで新規作成します。
(新規作成方法については「勘定奉行」「勘定奉行[建設業編]」の操作説明をご参照ください。)

 勘定科目「電子記録債権」の使用区分「未使用にする」にチェックが入っている場合は、チェックボックスを外して使用可能にしてください。

2.1.2 補助科目を確認する

取引先を補助科目登録画面で管理している場合、連携で使用する補助科目が登録されているか確認します。

【対象の使用フォーマット：連携用_勘定奉行（OBC）_BN、連携用_勘定奉行（OBC）_BY】

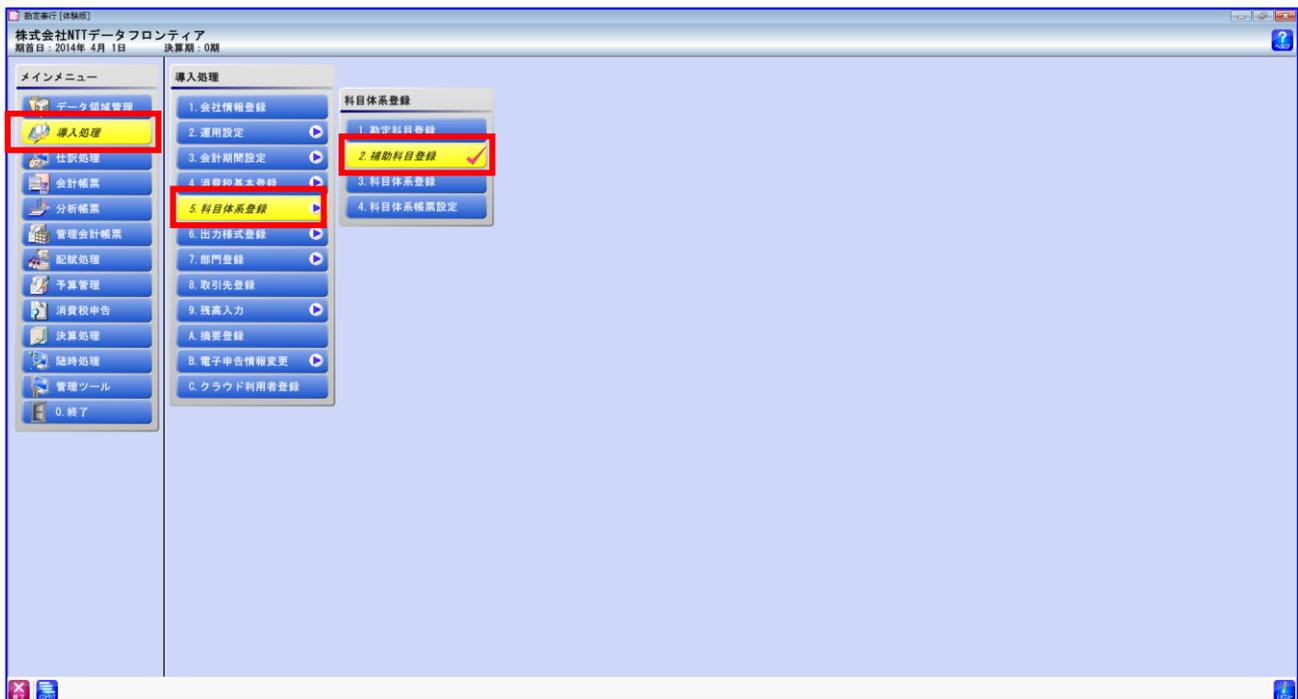


取引先を取引先登録画面で管理している場合、本項の作業は不要です。



勘定科目「売掛金」の補助科目を確認します。

[導入処理]>[科目体系登録]>[補助科目登録]を押下します。



「勘定科目」の[検索]を押下します。



補助科目登録

株式会社NTTデータフロンティア 会計期間: 2014年 4月 1日 ~ 2015年 3月 31日

勘定科目 [検索]

登録件数 0

コード

補助科目名

インデックス

消費税

勘定科目と同じ設定にする

借方税区分		
貸方税区分		
消費税自動計算		
端数処理		

事業区分

コード	補助科目名	インデックス

操作ガイド

勘定科目

補助科目を設定する勘定科目のコードを入力します。

【注意】

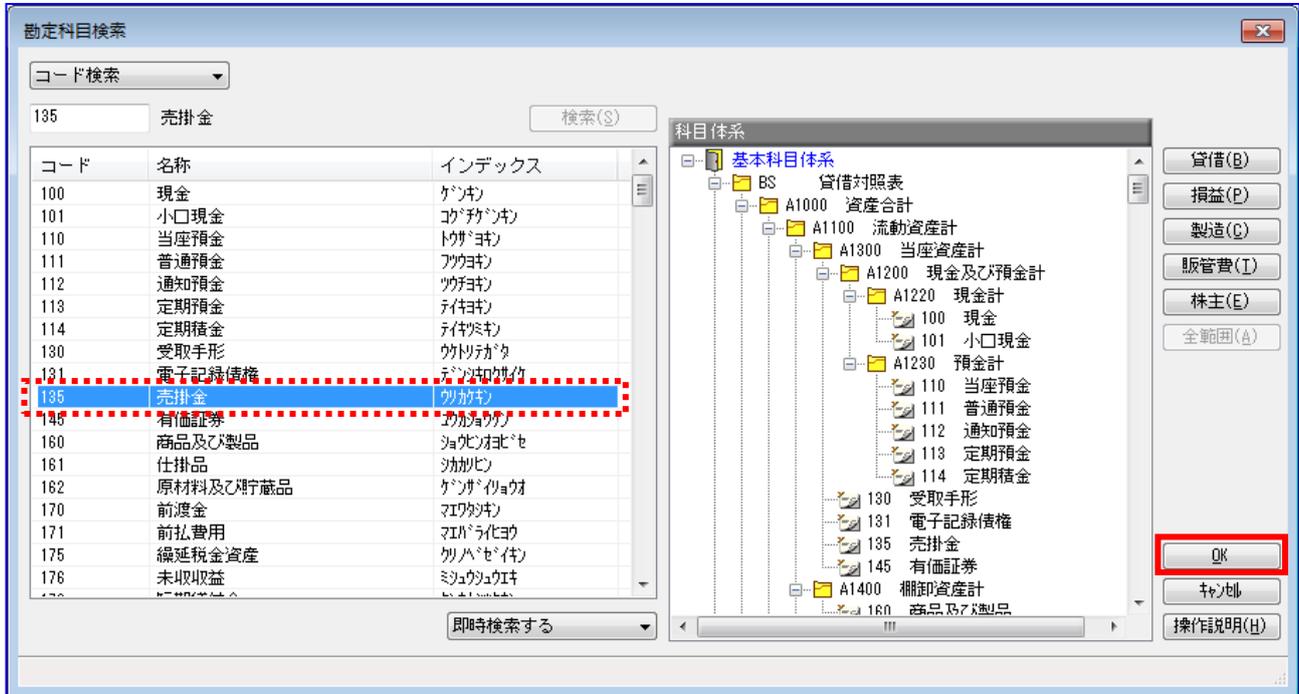
以下の勘定科目には補助科目を設定できません。

- 仮払消費税
- 仮受消費税
- 繰越利益剰余金

検索⇒[Space]キー

F1 操作説明 F2 印刷 F3 F4 F5 名称変更 F6 複写 F7 削除 F8 F9 F10 F11 F12 閉じる

✚ 「2.1.1 勘定科目を確認する」で確認または登録した「売掛金」を選択し、[OK]を押下します。



- 取引先の情報が、補助科目に設定されていることを確認します。
補助科目が未設定である場合は、任意のコードで新規作成します。
(新規作成方法については「勘定奉行」「勘定奉行[建設業編]」の操作説明をご参照ください。)

補助科目登録
株式会社NTTデータフロンティア
会計期間: 2014年 4月 1日 ~ 2015年 3月 31日

勘定科目 135 売掛金
登録件数 3

コード
補助科目名
インデックス

消費税

勘定科目と同じ設定にする

借方税区分		
貸方税区分		
消費税自動計算		
端数処理		

事業区分

コード	補助科目名	インデックス
001	取引先 A 株式会社	トビ特貸付
002	取引先 B 株式会社	トビ特補助
000	その他	

操作ガイド

コード

【参考】
コード桁数は、[会社運用設定]メニューの[桁数設定]ページで変更できます。

- ・英数 1~4 桁
- ・検索⇒[Space]キー

F1 操作説明 F2 印刷 F3 F4 F5 名称変更 F6 F7 削除 F8 F9 F10 中止 F11 F12 閉じる



電子記録債権を受け入れる対象の取引先をすべて登録しておく必要があります。
取引先が増減した場合は、都度修正ください。
また、電子記録債権以外を利用する取引先が登録されていても問題ありません。



登録した「コード」「補助科目名」は、「2.2.2 取引先を設定する」にて、本ソフト用の事前設定として使用するため、値をお控えください。

- 勘定科目「電子記録債権」の補助科目を確認します。
「勘定科目」の[検索]を押下します。

補助科目登録

株式会社NTTデータフロンティア

会計期間：2014年 4月 1日 ~ 2015年 3月 31日

勘定科目

登録件数 0

コード

補助科目名

インデックス

消費税

勘定科目と同じ設定にする

借方税区分

貸方税区分

消費税自動計算

端数処理

事業区分

操作ガイド

勘定科目

補助科目を設定する勘定科目のコードを入力します。

【注意】

以下の勘定科目には補助科目を設定できません。

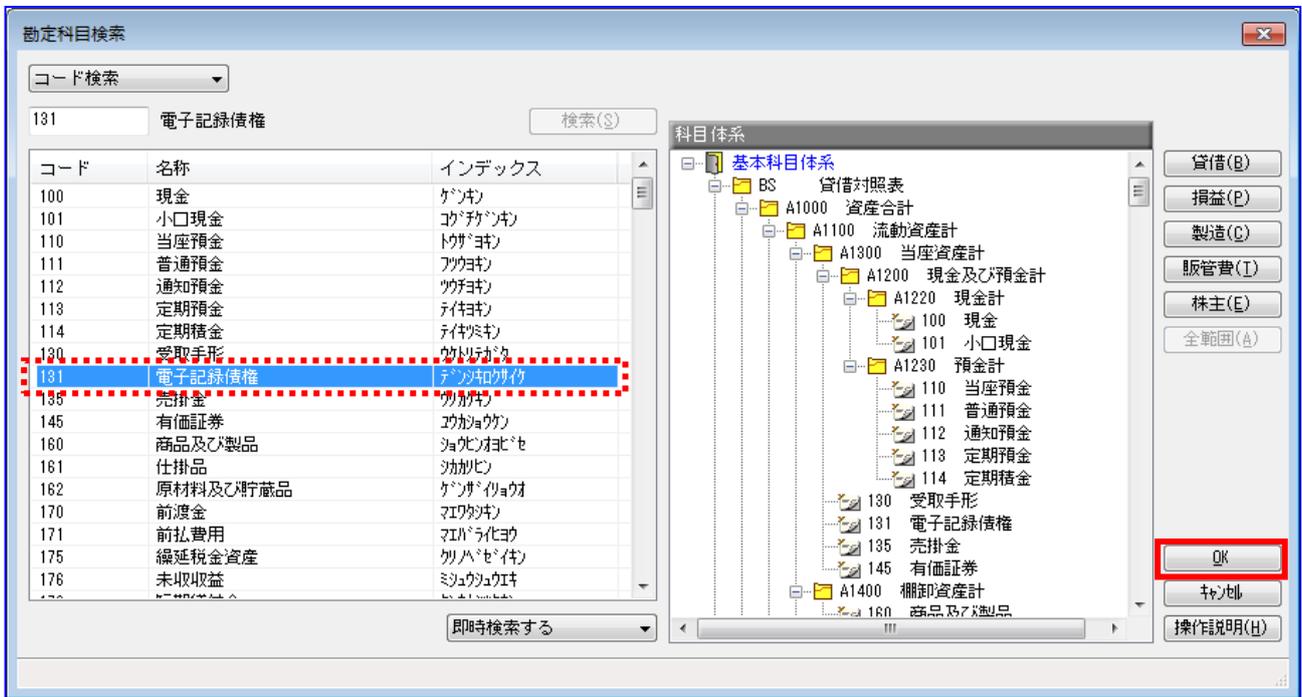
- 仮払消費税
- 仮受消費税
- 繰越利益剰余金

検索⇒[Space]キー

コード	補助科目名	インデックス

F1 操作説明 F2 印刷 F3 F4 F5 名称変更 F6 複写 F7 削除 F8 F9 F10 F11 F12 閉じる

「2.1.1 勘定科目を確認する」で確認または登録した「電子記録債権」を選択し、[OK]を押下します。



- ✚ 取引先に対応する補助科目が存在することを確認します。

勘定科目「電子記録債権」は、勘定科目「売掛金」に登録した取引先をすべて同様に設定する必要があるため、存在しない場合は、複写機能により、勘定科目「売掛金」の補助科目をコピーしてください。

補助科目登録

株式会社NTTデータフロンティア 会計期間：2014年 4月 1日 ~ 2015年 3月 31日

勘定科目 131 電子記録債権

登録件数 3

コード

補助科目名

インデックス

消費税

勘定科目と同じ設定にする

借方税区分		
貸方税区分		
消費税自動計算		
端数処理		

事業区分

コード	補助科目名	インデックス
001	取引先 A 株式会社	ト比特キカガ
002	取引先 B 株式会社	ト比特キカガ
000	その他	

操作ガイド

コード

【参考】

コード桁数は、[会社運用設定]メニューの[桁数設定]ページで変更できます。

- ・英数 1～4桁
- ・検索⇒[Space]キー

F1 操作説明 F2 印刷 F3 F4 F5 名称変更 F6 F7 削除 F8 F9 F10 中止 F11 F12 閉じる



補助科目は複写機能を利用せず、本画面より1件ずつ登録することも可能です。
補助科目の作成方法については「勘定奉行」「勘定奉行[建設業編]」の操作説明をご参照ください。

✚ [複写]を押下します。

補助科目登録

株式会社NTTデータフロンティア 会計期間：2014年 4月 1日 ~ 2015年 3月 31日

勘定科目

登録件数 0

コード

補助科目名

インデックス

消費税

勘定科目と同じ設定にする

借方税区分

貸方税区分

消費税自動計算

端数処理

事業区分

操作ガイド

勘定科目

補助科目を設定する勘定科目のコードを入力します。

【注意】

以下の勘定科目には補助科目を設定できません。

- 仮払消費税
- 仮受消費税
- 繰越利益剰余金

検索⇒[Space]キー

コード	補助科目名	インデックス

[F1] 操作説明 [F2] 印刷 [F3] [F4] [F5] 名称変更 [F6] 複写 [F7] 削除 [F8] [F9] [F10] [F11] [F12] 閉じる

✚ [次へ]を押下します。



✚ 「勘定科目コード」に「売掛金」に対応するコードを入力します。
「選択範囲」に表示されている取引先に対応する補助科目を選択し、[選択]を押下します。
すべての補助科目を選択したい場合は[全選択]を押下します。



✚ 選択済み項目を確認し、[次へ]を押下します。

補助科目の複写ウィザード

複写元の勘定科目を指定し、複写する補助科目を指定してください。

勘定科目コード 勘定科目名
135 売掛金

選択項目

補助科目コード	補助科目名

全選択(A) 選択(S) 全削除(L) 削除(D)

選択済み項目

補助科目コード	補助科目名
001	取引先 A 株式会社
002	取引先 B 株式会社

<戻る(B) 次へ(N) 完了(E) キャンセル 操作説明(H)

✚ 「勘定科目コード」に「電子記録債権」に対応するコードを入力します。
選択科目に「電子記録債権」が表示されることを確認し、[次へ]を押下します。

補助科目の複写ウィザード

複写先を選択します。

勘定科目コード

選択項目

勘定科目コード	勘定科目名
131	電子記録債権

削除(D)

<戻る(B) 次へ(N) 完了(E) キャンセル 操作説明(H)

- ✚ 複写する補助科目、複写先の勘定科目を確認し、[次へ]を押下します。

補助科目の複写ウィザード

補助科目の複写

ウィザードの開始

複写元の勘定科目

複写する補助科目の指定

複写先の勘定科目の指定

⇒ 設定内容の確認

完了

以下の補助科目を、以下の勘定科目に登録します。

補助科目コード	補助科目名	勘定科目コード	勘定科目名
001	取引先A株式会社	131	電子記録債権
002	取引先B株式会社		

コードが重複した場合は上書きする

<戻る(B) 次へ(N) 完了(E) キャンセル 操作説明(H)

- ✚ [完了]を押下します。

補助科目の複写ウィザード

補助科目の複写

ウィザードの開始

複写元の勘定科目

複写する補助科目の指定

複写先の勘定科目の指定

設定内容の確認

⇒ 完了

複写処理が終了しました。

<戻る(B) 次へ(N) 完了(E) キャンセル 操作説明(H)

- 勘定科目「電子記録債権」の補助科目が正常に複写されていることを確認します。

補助科目登録

株式会社NTTデータフロンティア 会計期間：2014年 4月 1日 ~ 2015年 3月 31日

勘定科目 131 電子記録債権

登録件数 3

コード

補助科目名

インデックス

消費税

勘定科目と同じ設定にする

借方税区分		
貸方税区分		
消費税自動計算		
端数処理		

事業区分

コード	補助科目名	インデックス
001	取引先A株式会社	トビキキAカブ
002	取引先B株式会社	トビキキBカブ
000	その他	

操作ガイド

コード

【参考】

コード桁数は、[会社運用設定]メニューの[桁数設定]ページで変更できます。

- ・英数 1 ~ 4 桁
- ・検索⇒ [Space]キー

F1 操作説明 F2 印刷 F3 F4 F5 名称変更 F6 F7 削除 F8 F9 F10 中止 F11 F12 閉じる

2.1.3 取引先を確認する

取引先を取引先登録画面で管理している場合、連携で使用する取引先が登録されているか確認します。
【対象の使用フォーマット：連携用_勘定奉行（OBC）_SN、連携用_勘定奉行（OBC）_SY】



取引先を補助科目登録画面で管理している場合、本項の作業は不要です。



取引先を確認します。
[導入処理]>[取引先登録]を押下します。



「勘定奉行」オプションを使用している場合、取引先登録はオプション側の取引先登録を確認してください。
確認方法は「2.1.3 取引先を確認する」と同一になりますが、取引先登録画面は[支払管理]>[導入処理]>[取引先登録]>[取引先登録]より表示します。
「勘定奉行[建設業編]」をご利用の場合、オプションの使用有無に関わらず、[導入処理]>[取引先登録]より確認してください。

「コード」の[検索]を押下します。

- 「即時検索しない」を選択し、[検索]を押下します。

取引先検索

検索条件

取引先名 1 が [] を含む

無効な取引先を含める

検索(S)

詳細設定(I)>>

即時検索しない

前の結果(P) 次の結果(N) OK キャンセル 操作説明(H)

- 取引先に対応するレコードが存在することを確認します。
存在しない場合は、任意のコードで新規作成します。
(新規作成方法については「勘定奉行」「勘定奉行[建設業編]」の操作説明をご参照ください。)

取引先検索

検索条件

取引先名1 が を含む

無効な取引先を含める

検索(S) 詳細設定(I)>>

1~3件目を表示

コード	取引先名1	取引先名2
00000001	取引先 A 株式会社	
00000002	取引先 B 株式会社	
00000000	その他	

即時検索しない

前の結果(P) 次の結果(N) OK キャンセル 操作説明(H)



電子記録債権を受け入れる対象の取引先をすべて登録しておく必要があります。
取引先が増減した場合は、都度修正ください。
また、電子記録債権以外を利用する取引先が登録されていても問題ありません。



登録した「コード」「取引先名1」は、「**2.2.2 取引先を設定する**」にて、本ソフト用の
事前設定として使用するため、値をお控えください。

2.1.4 部門を確認する

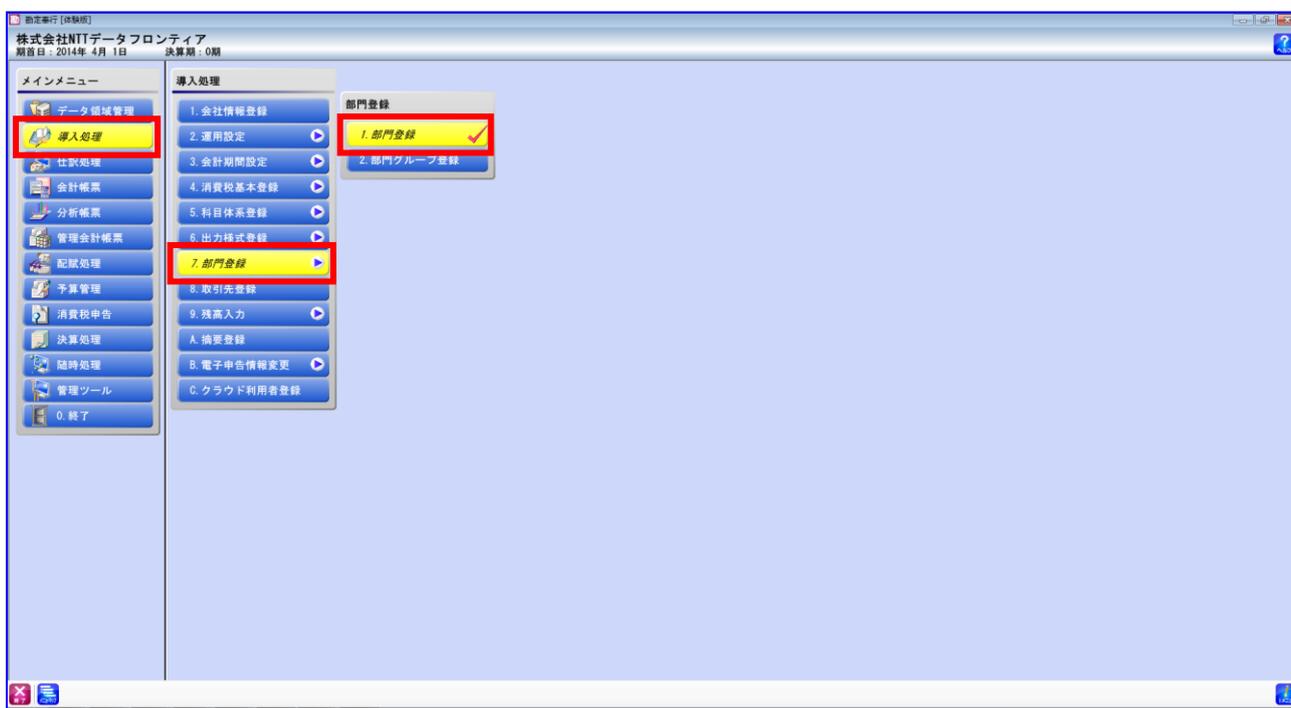
部門を部門登録画面で管理して利用している場合、登録内容を確認します。

【対象の使用フォーマット：全フォーマット】



部門を使用していない場合、本項の作業は不要です。

📌 [導入処理] > [部門登録] > [部門登録]を押下します。



- 部門に対応するレコードが存在することを確認します。

部門登録

株式会社NTTデータフロンティア

会計期間: 2014年 4月 1日 ~ 2015年 3月 31日

コード	部門名	インデックス	有効期間 (開始)	有効期間 (終了)
			年 月 日	年 月 日
001	東京支店	トヨタウズ		
002	大阪支店	材カチ		
000	その他			

登録件数: 3

操作ガイド

コード

【参考】
コード桁数は、[会社運用設定]メニューの[桁数設定]ページで変更できます。

- ・英数カナ 1～4桁
- ・検索⇒[Space]キー

F1 操作説明 F2 印刷 F3 F4 F5 F6 複写 F7 削除 F8 表示設定 F9 F10 F11 F12 閉じる



登録した「コード」「部門名」は、「**2.2.4 固定値を設定する**」にて、本ソフト用の事前設定として使用するため、値をお控えください。

2.1.5 摘要を確認する

仕訳処理画面「摘要」の使用用途を確認します。

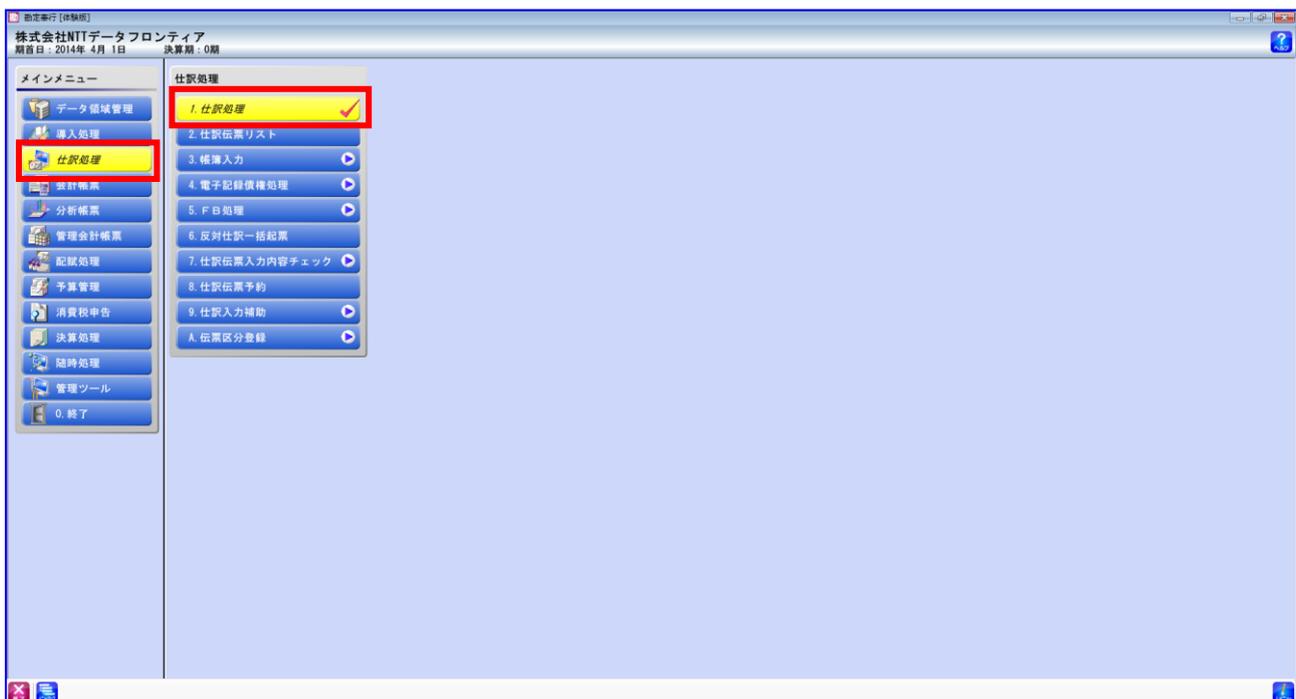
「摘要」を既存の用途（メモ欄等）で使用していない場合、通知ファイルに設定される「依頼人 Ref.No.」を仕訳処理画面の「摘要」に連携する設定を選択します。

【対象の使用フォーマット：連携用_勘定奉行（OBC）_SY、連携用_勘定奉行（OBC）_BY】

「摘要」を既存の用途（メモ欄等）で使用している場合、通知ファイルに設定される「依頼人 Ref.No.」を仕訳処理画面に連携しない設定を選択します。

【対象の使用フォーマット：連携用_勘定奉行（OBC）_SN、連携用_勘定奉行（OBC）_BN】

 [仕訳処理] > [仕訳処理]を押下します。



- 仕訳処理画面の既存伝票を表示し、「摘要」を使用しているか確認します。「摘要」の使用用途を確認の上、使用フォーマットを選択ください。

仕訳処理
株式会社NTTデータフロンティア
会計期間: 2014年 4月 1日 ~ 2015年 3月 31日

新規 通常伝票 振替伝票
伝票日付: 14年 4月 1日 伝票No.:
伝票件数: 0
明細件数: 0

行	借方		貸方		摘要
	勘定科目 / 補助科目 取引先	金額	勘定科目 / 補助科目 取引先	金額	
1	131 電子記録債権 001 取引先A株式会社	100,000	135 売掛金 001 取引先A株式会社	100,000	REF.NO.0001
2	131 電子記録債権 002 取引先B株式会社	200,000	135 売掛金 001 取引先A株式会社	200,000	REF.NO.0002
3					
4					
5					
借方合計		300,000	貸方合計	300,000	
			貸借差額	0	

[F1] 操作説明 [F2] [F3] [F4] 定型登録 [F5] [F6] [F7] [F8] [F9] F10 中止 F11 F12 登録

2.2 本ソフトの事前設定

連携を行うための本ソフトの事前設定方法を説明します。

操作手順



操作方法

2.2.1 通知確認設定情報を設定する

- 本ソフトのシステム設定画面を開き、通知確認設定情報の予約通知を「出力しない」に設定し、[保存]を押下します。

システム設定

共通設定情報

請求者利用者番号 通常利用時 事務代行等での利用時
利用者番号

ファイル出力先 参照

座種別区分 別段を利用する 別段を利用しない

一括請求ファイル拡張子 付与する 付与しない

メニュー表示有無

発生記録(債権者)請求 表示する 表示しない

譲渡記録設定情報

保証随伴有無 選択可(保証有り/無し) 選択不可(保証有りのみ)

全額譲渡時の金額入力 入力する 入力しない

通知確認設定情報

予約通知 出力する 出力しない

読込CSV設定

使用フォーマット 修正 削除 新規作成 ファイル読込 ファイル出力

出力CSV設定

使用フォーマット 修正 削除 新規作成 ファイル読込 ファイル出力

一括請求ファイル 出力しない

一括請求結果ファイル 出力しない

通知ファイル 出力しない

キャンセル

2.2.2 取引先を設定する

- 本ソフトの取引先管理画面を開き、「2.1.2 補助科目を確認する」または「2.1.3 取引先を確認する」で登録した取引先が登録されていることを確認します。登録されていない場合は新規に登録します。

	利用者番号*	取引先名*	金融機関コード*	支店コード*	口座種別*	口座番号*	
▶ 1	111111111	取引先A株式会社	0000	001	1:普通	1111111	00
2	222222222	取引先B株式会社	0000	001	1:普通	2222222	00



本ソフトの[CSV 読込]を用いて「勘定奉行」「勘定奉行[建設業編]」の取引先情報を読込むことはできません。

取引先を補助科目登録画面で管理している場合の例を以下に示します。

【対象の使用フォーマット：連携用_勘定奉行（OBC）_BN、連携用_勘定奉行（OBC）_BY】

✚ 取引先 ID に補助科目のコードを登録します。

**勘定奉行
補助科目登録画面**

**一括請求Assist
(取引先管理画面)**

取引先名*	金融機関コード*	支店コード*	口座種別*	口座番号*	取引先ID
1 会社	0000	001	1: 普通	1111111	001
2 会社	0000	001	1: 普通	2222222	002



本ソフトへの登録時には、コピー&ペーストをするなどし、「勘定奉行」「勘定奉行[建設業編]」の設定値と完全に一致させてください。

取引先を取引先登録画面で管理している場合の例を以下に示します。

【対象の使用フォーマット：連携用_勘定奉行（OBC）_SN、連携用_勘定奉行（OBC）_SY】

✚ 取引先 ID に取引先登録画面のコードを登録します。

**勘定奉行
取引先登録画面**

取引先検索

検索条件
取引先名1 が [] を含む
無効な取引先を含める
検索(S)
詳細設定(I)>>

1~3件目を表示

コード	取引先名1	取引先名2
00000001	取引先A株式会社	
00000002	取引先B株式会社	
00000000	その他	

前の結果(P) 次の結果(N) OK 操作説明(H)

**一括請求Assist
(取引先管理画面)**

取引先管理

CSV読み込み CSV出力

取引先ID	取引先名*	金融機関コード*	支店コード*	口座種別*	口座番号*
1	会社	0000	001	1: 普通	11111111
2	会社	0000	001	1: 普通	22222222

行ジャンプ 検索 エラージャンプ
戻る 更新



本ソフトへの登録時には、コピー&ペーストをするなどし、「勘定奉行」「勘定奉行[建設業編]」の設定値と完全に一致させてください。

2.2.3 出力 CSV 設定を設定する

- 本ソフトのシステム設定画面を開き、出力 CSV 設定の使用フォーマットを選択し、[保存]を押下します。選択するフォーマットは「**1.4 使用フォーマットについて**」を参照ください。

システム設定

共通設定情報

請求者利用者番号 通常利用時 事務代行等での利用時
利用者番号

ファイル出力先

口座種別区分 別段を利用する 別段を利用しない

一括請求ファイル拡張子 付与する 付与しない

メニュー表示有無

発生記録(債権者)請求 表示する 表示しない

譲渡記録設定情報

保証随伴有無 選択可(保証有り/無し) 選択不可(保証有りのみ)

全額譲渡時の金額入力 入力する 入力しない

通知確認設定情報

予約通知 出力する 出力しない

読込CSV設定

使用フォーマット

出力CSV設定

使用フォーマット

一括請求ファイル

一括請求結果ファイル

通知ファイル

一括請求Assist標準
一括請求Assist標準
配信
連携用 勘定奉行 (OBC) -SN
連携用 勘定奉行 (OBC) -SY
連携用 勘定奉行 (OBC) -BN
連携用 勘定奉行 (OBC) -BY
連携用 商奉行 (OBC) -N
連携用 商奉行 (OBC) -Y
連携用 PCA会計 (PCA)
連携用 弥生会計 (弥生)
連携用 FXシリーズ (TKC)

2.2.4 固定値を設定する

出力 CSV フォーマット詳細設定画面を開き、「勘定奉行」「勘定奉行[建設業編]」に登録されている勘定科目コードと部門コードを設定します。

✚ 本ソフトのシステム設定画面を開き、出力 CSV 設定の[修正]を押下します。

システム設定

共通設定情報

請求者利用者番号 通常利用時 事務代行等での利用時
利用者番号

ファイル出力先 参照

口座種別区分 別段を利用する 別段を利用しない

一括請求ファイル拡張子 付与する 付与しない

メニュー表示有無

発生記録(債権者)請求 表示する 表示しない

譲渡記録設定情報

保証連伴有無 選択可(保証有り/無し) 選択不可(保証有りのみ)

全額譲渡時の金額入力 入力する 入力しない

通知確認設定情報

予約通知 出力する 出力しない

読込CSV設定

使用フォーマット 修正 削除 新規作成 ファイル読込 ファイル出力

出力CSV設定

使用フォーマット **修正** 削除 新規作成 ファイル読込 ファイル出力

一括請求結果ファイル 出力する 出力しない

通知ファイル 出力する 出力しない

キャンセル 保存

✚ 出力 CSV フォーマットの通知の[設定]を押下します。

出力CSVフォーマット共通設定

共通情報

フォーマット名

フォーマット形式

出力形式

日付形式 YYYYMMDD YYYY/MM/DD YYYY/M/D

金額形式 カンマ有 カンマ無

更新

出力CSVフォーマット

一括請求結果 ※未設定

通知

閉じる



連携用の出力 CSV フォーマットについては、「フォーマット名」の修正はできません。

- 出力 CSV フォーマット詳細設定画面の固定値を設定し、[保存]を押下します。
設定値については次ページ以降の通り設定します。

出力CSVフォーマット詳細設定 ×

フォーマット名 フォーマット形式

対象ファイル CSV項目数

利用者IDの自動設定有無

CSV出力の際、口座情報を条件に利用者IDを自動設定することができます。

通知先情報_利用者IDを社内口座管理より自動設定する 自動設定する 自動設定しない

義務者情報_利用者ID、権利者情報_利用者IDを社内口座管理もしくは取引先管理より自動設定する 自動設定する 自動設定しない

タイトル行有無

出力CSVの1行目にタイトル行(項目名)を設定する 設定する 設定しない

出力CSV項目設定

各項目の項目番号(出力位置)を指定してください。

項目名	項目番号	固定値
作成対象区分 *1	1	
通知作成日 *1	2	
通知先情報_利用者番号 *1	3	
通知先情報_通知先名か *1	4	
通知先情報_金融機関コード *1	5	
通知先情報_金融機関名か *1	6	
通知先情報_支店コード *1	7	
通知先情報_支店名か *1	8	

出力CSVに任意の固定値を設定する際に指定してください。

項目名	項目番号	固定値
借方勘定科目コード	37	
貸方勘定科目コード	38	
部門コード	39	

*1 CSV出力の際、全レコードに同一の値が設定されます。

検索 エラージャンプ

※上記サンプル画面は使用フォーマットに「連携用_勘定奉行 (OBC) _SY」を設定した場合の画面です。

- 借方勘定科目コードの固定値について
「勘定奉行」「勘定奉行[建設業編]」の勘定科目「電子記録債権」に対応するコードを設定します。

勘定奉行
(勘定科目登録画面)

勘定科目登録
株式会社NTTデータフロンティア

科目体系

- 基本科目体系
 - BS 貸借対照表
 - A1000 資産合計
 - A1100 流動資産計
 - A1300 当座資産計
 - A1200 現金及び預金計
 - A1220 現金計
 - 100 現金
 - 101 小口現金
 - A1230 預金計
 - 110 当座預金
 - 111 普通預金
 - 112 通知預金
 - 113 定期預金
 - 114 定期積金
 - 130 受取手形
 - 131 電子記録債権
 - 135 売掛金

コード 131

勘定科目名 電子記録債権

インデック

基本

貸借区分 0 借方

科目区分 A1300 当座資産計

使用区分

未使用

↓

一括請求Assist
(出力CSVフォーマット設定画面)

出力CSV項目設定

各項目の項目番号(出力位置)を指定してください。

| 項目名 | 項目番号 | 固定値 |
|------------------|------|-----|
| 作成対象区分 *1 | 1 | |
| 通知作成日 *1 | 2 | |
| 通知先情報_利用者番号 *1 | 3 | |
| 通知先情報_通知先名か *1 | 4 | |
| 通知先情報_金融機関コード *1 | 5 | |
| 通知先情報_金融機関名か *1 | 6 | |
| 通知先情報_支店コード *1 | 7 | |
| 通知先情報_支店名か *1 | 8 | |

出力CSVに任意の固定値を設定する際に指定してください。

| 項目名 | 項目番号 | 固定値 |
|-----------|------|-----|
| 借方勘定科目コード | 37 | 131 |
| 貸方勘定科目コード | 38 | |
| 部門コード | 39 | |

*1 CSV出力の際、全レコードに同一の値が設定されます。

37

- 貸方勘定科目コードの固定値について
「勘定奉行」「勘定奉行[建設業編]」の勘定科目「売掛金」に対応するコードを設定します。

勘定奉行
(勘定科目登録画面)

勘定科目登録
株式会社NTTデータフロンティア

科目体系

- 基本科目体系
 - BS 貸借対照表
 - A1000 資産合計
 - A1100 流動資産計
 - A1300 当座資産計
 - A1200 現金及び預金計
 - 100 現金
 - 101 小口現金
 - A1230 預金計
 - 110 当座預金
 - 111 普通預金
 - 112 通知預金
 - 113 定期預金
 - 114 定期積金
 - 130 受取手形
 - 131 電子記録債権
 - 135 売掛金
 - 145 有価証券

参照

コード 135

勘定科目 売掛金

インデックス 売掛金

基本消費税

貸借 0 借方

科目 A1300 当座資産計

使用 参照にする

一括請求Assist
(出力CSVフォーマット設定画面)

出力CSV項目設定

各項目の項目番号(出力位置)を指定してください。

| 項目名 | 項目番号 | 固定値 |
|------------------|------|-----|
| 作成対象区分 *1 | 1 | |
| 通知作成日 *1 | 2 | |
| 通知先情報_利用者番号 *1 | 3 | |
| 通知先情報_通知先名か *1 | 4 | |
| 通知先情報_金融機関コード *1 | 5 | |
| 通知先情報_金融機関名か *1 | 6 | |
| 通知先情報_支店コード *1 | 7 | |
| 通知先情報_支店名か *1 | 8 | |

出力CSVに任意の固定値を設定する際に指定してください。

| 項目名 | 項目番号 | 固定値 |
|-----------|------|-----|
| 借方勘定科目コード | 37 | 131 |
| 貸方勘定科目コード | 38 | 135 |
| 部門コード | 39 | |

*1 CSV出力の際、全レコードに同一の値が設定されます。

38

✚ 部門コードの固定値について

「勘定奉行」「勘定奉行[建設業編]」の「部門」に対応するコードを設定します。

「勘定奉行」「勘定奉行[建設業編]」で部門を未使用の場合は、本固定値の設定は「0」を設定してください。

勘定奉行 (部門登録画面)

部門登録
株式会社NTTデータフロンティア

| コード | 部門名 | インデックス | 有 |
|-----|------|--------|---|
| 001 | 東京支店 | 001 | |
| 002 | 大阪支店 | 002 | |
| 000 | その他 | 000 | |

一括請求Assist (出力CSVフォーマット設定画面)

出力CSV項目設定
各項目の項目番号(出力位置)を指定してください。

| 項目名 | 項目番号 | 値 |
|------------------|------|---|
| 作成対象区分 *1 | 1 | |
| 通知作成日 *1 | 2 | |
| 通知先情報_利用者番号 *1 | 3 | |
| 通知先情報_通知先名か *1 | 4 | |
| 通知先情報_金融機関コード *1 | 5 | |
| 通知先情報_金融機関名か *1 | 6 | |
| 通知先情報_支店コード *1 | 7 | |
| 通知先情報_支店名か *1 | 8 | |

出力CSVに任意の固定値を設定する際に指定してください。

| 項目名 | 項目番号 | 値 |
|-----------|------|-----|
| 借方勘定科目コード | 37 | 131 |
| 貸方勘定科目コード | 38 | 135 |
| 部門コード | 39 | 001 |

*1 CSV出力の際、全レコードに同一の値が設定されます。



本ソフトで設定する「勘定奉行」「勘定奉行[建設業編]」との連携用の「部門コード」は1種類になります。複数の部門を使い分けて利用する場合は、連携後の「勘定奉行」「勘定奉行[建設業編]」の仕訳処理画面で修正するか、連携の都度、本手順にて固定値を修正してください。

(仕訳処理画面での部門の修正方法については「勘定奉行」「勘定奉行[建設業編]」の操作説明をご参照ください。)

【参考】固定値の属性と桁数について

出力 CSV フォーマット詳細設定画面の固定値について、各項目は半角／全角で設定可能ですが、下記以外の属性と桁数で入力した場合、債権情報 CSV ファイル作成時にエラーが発生します。

| No | 固定値の項目名 | 属性 | 桁数 | 必須／任意 | 備考 |
|----|-----------|-------|----|-------|----|
| 1 | 借方勘定科目コード | 全角／半角 | 4 | 必須 | |
| 2 | 貸方勘定科目コード | 全角／半角 | 4 | 必須 | |
| 3 | 部門コード | 全角／半角 | 4 | 必須 | |

【参考】出力 CSV フォーマット詳細設定画面の初期設定値

| No | 項目 | 項目番号(カッコ内は固定値の値) |
|----|---------------------------------|------------------|
| 1 | CSV 項目数 | 39 |
| 2 | 利用者 ID の自動設定有無 | |
| 3 | 利用者 ID の自動設定有無
(通知先情報) | 自動設定しない |
| 4 | 利用者 ID の自動設定有無
(義務者情報、権利者情報) | 自動設定する |
| 5 | タイトル行有無 | |
| 6 | タイトル行有無 | 設定しない |
| 7 | 出力 CSV 項目設定 | |
| 8 | データレコード項目 | |
| 9 | 作成対象区分 | 1 |
| 10 | 通知作成日 | 2 |
| 11 | 通知先情報_利用者番号 | 3 |
| 12 | 通知先情報_通知先名か | 4 |
| 13 | 通知先情報_金融機関コード | 5 |
| 14 | 通知先情報_金融機関名か | 6 |
| 15 | 通知先情報_支店コード | 7 |
| 16 | 通知先情報_支店名か | 8 |
| 17 | 通知先情報_口座種別 | 9 |
| 18 | 通知先情報_口座番号 | 10 |
| 19 | 通知先情報_利用者 ID | - |
| 20 | 合計件数 (件) | 11 |
| 21 | 合計金額 (円) | 12 |
| 22 | データレコード区分 | 13 |
| 23 | 義務者情報_義務者名 | 14 |
| 24 | 義務者情報_金融機関コード | 15 |
| 25 | 義務者情報_金融機関名か | 16 |
| 26 | 義務者情報_支店コード | 17 |
| 27 | 義務者情報_支店名か | 18 |
| 28 | 義務者情報_口座種別 | 19 |
| 29 | 義務者情報_口座番号 | 20 |
| 30 | 義務者情報_利用者 ID | 35 |
| 31 | 権利者情報_権利者名 | 21 |
| 32 | 権利者情報_金融機関コード | 22 |

| No | 項目 | 項目番号(カッコ内は固定値の値) |
|----|------------------|------------------|
| 33 | 権利者情報_金融機関名か | 23 |
| 34 | 権利者情報_支店コード | 24 |
| 35 | 権利者情報_支店名か | 25 |
| 36 | 権利者情報_口座種別 | 26 |
| 37 | 権利者情報_口座番号 | 27 |
| 38 | 権利者情報_利用者 ID | 36 |
| 39 | 債権金額 (円) | 28 |
| 40 | 支払期日 | 29 |
| 41 | 譲渡制限有無 | 30 |
| 42 | 記録番号 | 31 |
| 43 | 依頼人 Ref. No. | 32 |
| 44 | 電子記録年月日 | 33 |
| 45 | 取消区分 | 34 |
| 46 | データレコード項目 (任意項目) | |
| 47 | 借方勘定科目コード | 37 (固定値：空) |
| 48 | 貸方勘定科目コード | 38 (固定値：空) |
| 49 | 部門コード | 39 (固定値：空) |

【参考】出力 CSV ファイルフォーマット

| No | 項目名 | 受入記号
(※1) | 出力内容
(※2) | 備考 |
|----|---------|--------------|--|--|
| 1 | 伝票区切 | OBCD001 | 固定値：* | |
| 2 | 伝票区分コード | CSJS001 | 半角スペース 2 桁 | |
| 3 | 用途区分 | CSJS002 | 半角スペース 2 桁 | |
| 4 | 部門指定方法 | CSJS003 | 半角スペース 1 桁 | |
| 5 | 伝票部門コード | CSJS004 | 固定値：出力 CSV フォーマット詳細設定画面で設定された値 | |
| 6 | 日付 | CSJS005 | 通知ファイル. 電子記録年月日 | |
| 7 | 整理区分 | CSJS006 | 半角スペース 1 桁 | |
| 8 | 伝票 No. | CSJS007 | 半角スペース 6 桁 | |
| 9 | 伝票入力形式 | CSJS009 | 半角スペース 1 桁 | |
| 10 | 借方情報 | | | |
| 11 | 部門コード | CSJS200 | 固定値：出力 CSV フォーマット詳細設定画面で設定された値 | |
| 12 | 勘定科目コード | CSJS201 | 固定値：出力 CSV フォーマット詳細設定画面で設定された値 | |
| 13 | 補助科目コード | CSJS202 | ① 固定値：0
② 通知ファイル. 義務者情報の口座情報 (金融機関コード/支店コード/口座種別/口座番号) に一致する取引先管理情報. 取引先 ID を自動設定 | ① 連携用_勘定奉行 (OBC) _SN 利用時
連携用_勘定奉行 (OBC) _SY 利用時
② 連携用_勘定奉行 (OBC) _BN 利用時
連携用_勘定奉行 (OBC) _BY 利用時 |
| 14 | 税区分コード | CSJS203 | 半角スペース 4 桁 | |
| 15 | 税率区分コード | CSJS204 | 半角スペース 4 桁 | |
| 16 | 事業区分コード | CSJS205 | 半角スペース 4 桁 | |
| 17 | 消費税計算 | CSJS206 | 半角スペース 1 桁 | |
| 18 | 端数処理 | CSJS207 | 半角スペース 1 桁 | |
| 19 | 取引先コード | CSJS208 | ① 通知ファイル. 義務者情報の口座情報 (金融機関コード/支店コード/口座種別/口座番号) に一致する取引先管理情報. 取引先 ID を自動設定
② 固定値：0 | ① 連携用_勘定奉行 (OBC) _SN 利用時
連携用_勘定奉行 (OBC) _SY 利用時
② 連携用_勘定奉行 (OBC) _BN 利用時
連携用_勘定奉行 (OBC) _BY 利用時 |
| 20 | 本体金額 | CSJS213 | 通知ファイル. 債権金額 | |
| 21 | 消費税額 | CSJS214 | 半角スペース 13 桁 | |
| 22 | 外貨コード | CSJS216 | 半角スペース 1 桁 | |
| 23 | レート | CSJS217 | 半角スペース 1 桁 | |
| 24 | 外貨本体金額 | CSJS218 | 半角スペース 14 桁 | |
| 25 | 外貨消費税額 | CSJS219 | 半角スペース 14 桁 | |
| 26 | 貸方情報 | | | |
| 27 | 部門コード | CSJS300 | 固定値：出力 CSV フォーマット詳細設定画面で設定された値 | |
| 28 | 勘定科目コード | CSJS301 | 固定値：出力 CSV フォーマット詳細設定画面で設定された値 | |

| No | 項目名 | 受入記号
(※1) | 出力内容
(※2) | 備考 |
|----|---------|--------------|--|--|
| 29 | 補助科目コード | CSJS302 | ① 固定値：0
② 通知ファイル. 義務者情報の口座情報（金融機関コード/支店コード/口座種別/口座番号）に一致する取引先管理情報. 取引先 ID を自動設定 | ① 連携用_勘定奉行 (OBC) _SN 利用時
連携用_勘定奉行 (OBC) _SY 利用時
② 連携用_勘定奉行 (OBC) _BN 利用時
連携用_勘定奉行 (OBC) _BY 利用時 |
| 30 | 税区分コード | CSJS303 | 半角スペース 4 桁 | |
| 31 | 税率区分コード | CSJS304 | 半角スペース 4 桁 | |
| 32 | 事業区分コード | CSJS305 | 半角スペース 4 桁 | |
| 33 | 消費税計算 | CSJS306 | 半角スペース 1 桁 | |
| 34 | 端数処理 | CSJS307 | 半角スペース 1 桁 | |
| 35 | 取引先コード | CSJS308 | ① 通知ファイル. 義務者情報の口座情報（金融機関コード/支店コード/口座種別/口座番号）に一致する取引先管理情報. 取引先 ID を自動設定
② 固定値：0 | ① 連携用_勘定奉行 (OBC) _SN 利用時
連携用_勘定奉行 (OBC) _SY 利用時
② 連携用_勘定奉行 (OBC) _BN 利用時
連携用_勘定奉行 (OBC) _BY 利用時 |
| 36 | 本体金額 | CSJS313 | 通知ファイル. 債権金額 | |
| 37 | 消費税額 | CSJS314 | 半角スペース 13 桁 | |
| 38 | 外貨コード | CSJS316 | 半角スペース 1 桁 | |
| 39 | レート | CSJS317 | 半角スペース 1 桁 | |
| 40 | 外貨本体金額 | CSJS318 | 半角スペース 14 桁 | |
| 41 | 外貨消費税額 | CSJS319 | 半角スペース 14 桁 | |
| 42 | 摘要など | | | |
| 43 | 摘要 | CSJS100 | ① 半角スペース 40 桁
② 通知ファイル. 依頼人 Ref.No. | ① 連携用_勘定奉行 (OBC) _SN 利用時
連携用_勘定奉行 (OBC) _BN 利用時
② 連携用_勘定奉行 (OBC) _SY 利用時
連携用_勘定奉行 (OBC) _BY 利用時 |
| 44 | 付箋色 | CSJS101 | 半角スペース 1 桁 | |
| 45 | 付箋文字 | CSJS102 | 半角スペース 400 桁 | |

※1 出力 CSV ファイルの 1 行目に受入記号が出力されます。

※2 出力 CSV ファイルの 2 行目以降に出力されます。

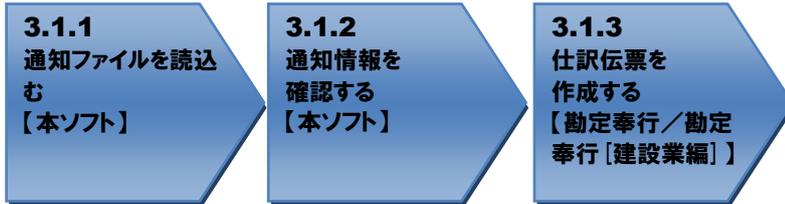
(CSV ファイルフォーマットの詳細については「勘定奉行」「勘定奉行[建設業編]」の操作説明をご参照ください。)

3 連携手順

3.1 連携手順

「勘定奉行」「勘定奉行[建設業編]」と本ソフトの連携手順を説明します。

操作手順



操作方法

3.1.1 通知ファイルを読み込む

本ソフトで電子記録債権取引システムからダウンロードした通知ファイルを読み込み、「勘定奉行」「勘定奉行[建設業編]」に読み込ませる債権情報 CSV ファイルを作成します。

- 本ソフトの通知確認画面を開き、作成対象に「受入債権一覧（発生・譲渡による受入）」を選択します。

通知確認

通知ファイル

作成対象 受入債権一覧(発生・譲渡による受入)

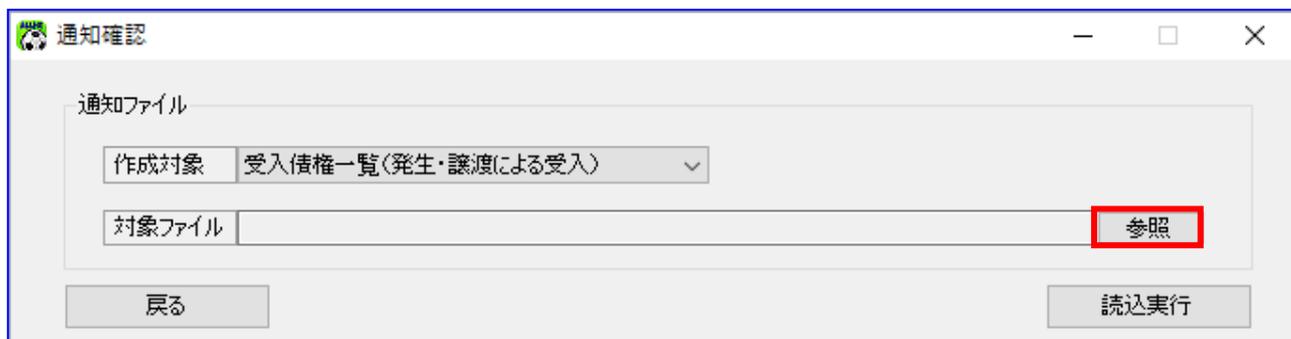
対象ファイル 参照

戻る 読み込実行

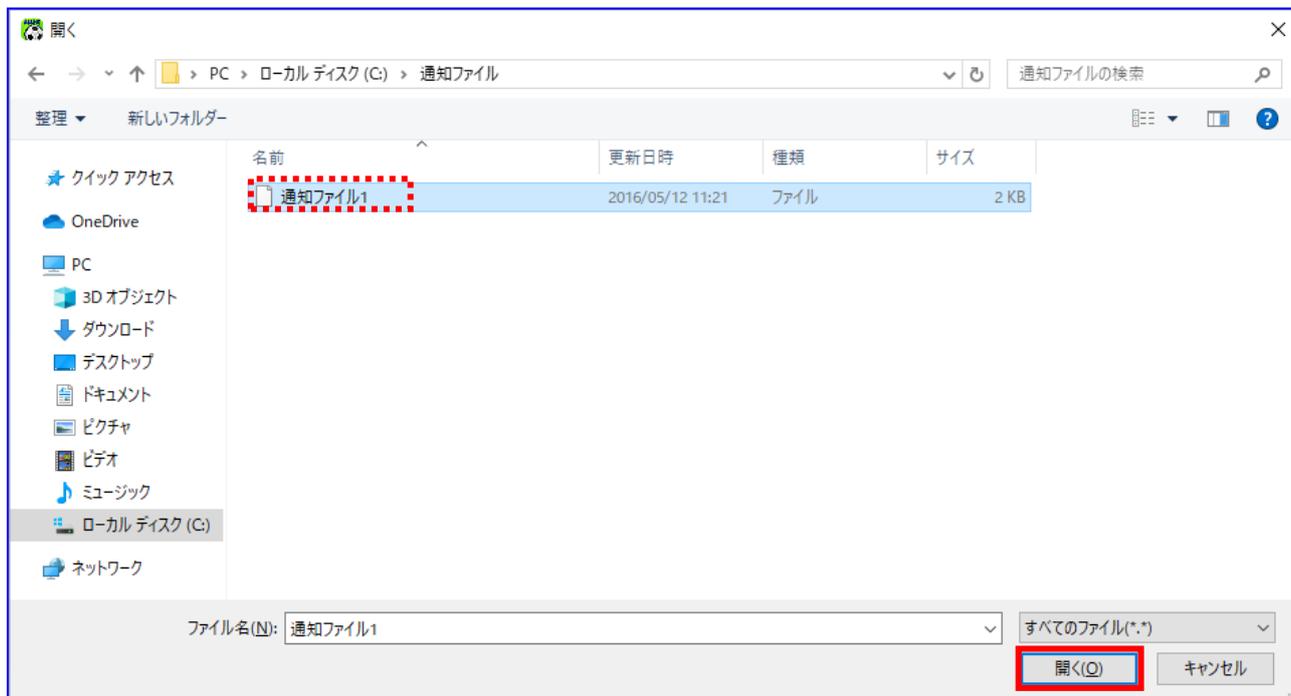


「受入債権一覧（発生・譲渡による受入）」を選択した場合、通知ファイルから発生・譲渡の受入情報のみを抽出した受入債権一覧を作成します。
読んだ通知ファイルの権利者口座情報に、自身の口座情報（通知先情報の口座情報）が設定されている債権を抽出します。

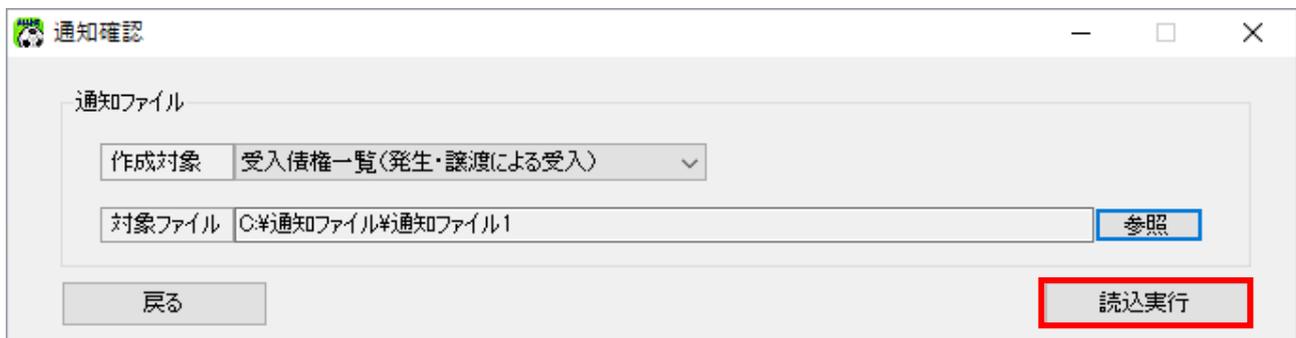
- ✚ 電子記録債権取引システムより取得した通知ファイルを読み込みます。
[参照]を押下します。



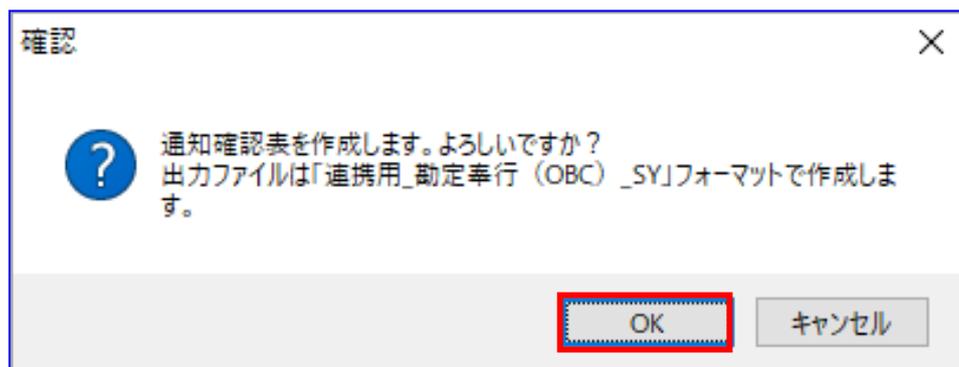
- ✚ [参照]を押下すると、ファイルを開くダイアログが表示されます。
内容を確認する通知ファイルを選択し、[開く]を押下します。



- ✚ 選択したファイルが対象ファイルに表示されます。
[読込実行]を押下します。



- ✚ [読込実行]を押下すると、確認ダイアログが表示されます。
よろしければ、[OK]を押下します。

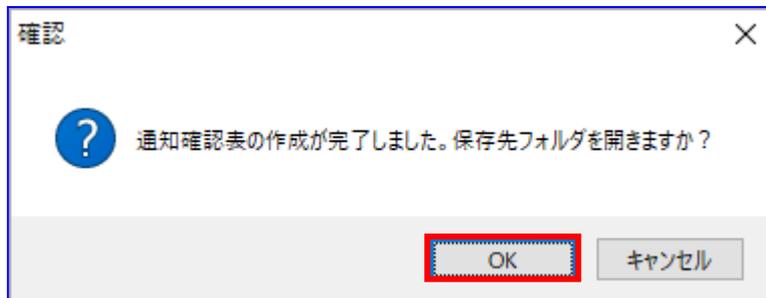


「**2.2.3 出力 CSV 設定を設定する**」で設定した使用フォーマット名（上記ダイアログの例では「連携用_勘定奉行 (OBC) _SY」）が表示されます。

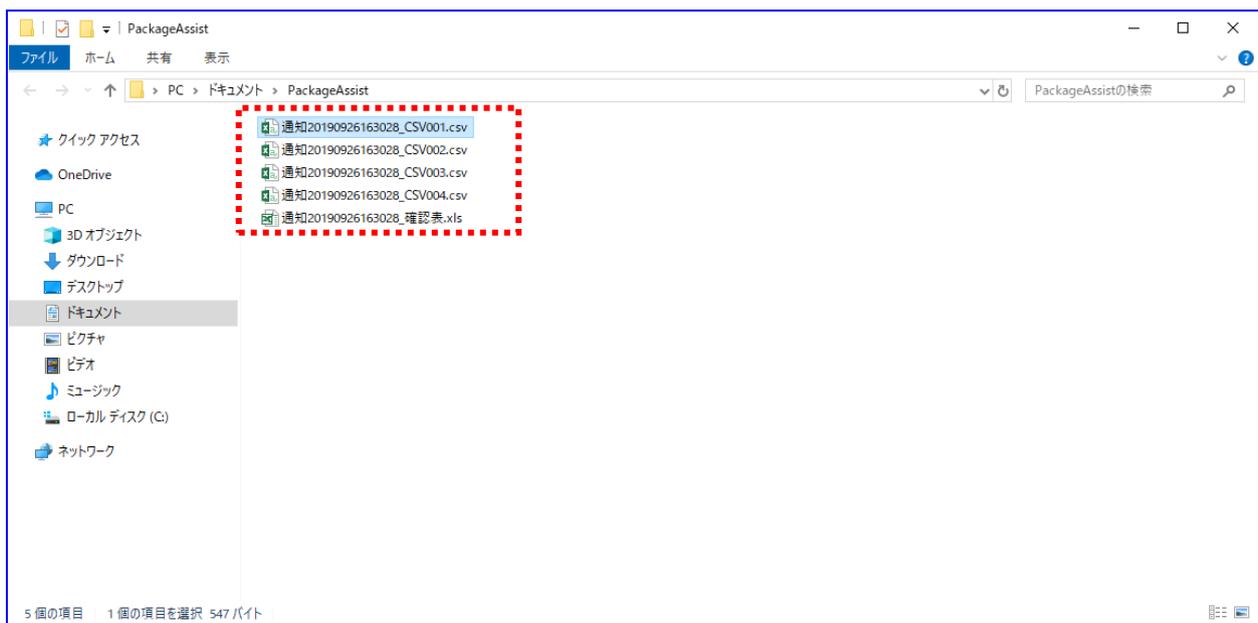


[OK]を押下後にエラーメッセージが表示される場合、トラブルシューティング「**2.1.10 連携エラー**」をご参照ください。

- 通知確認表の作成が完了すると、確認ダイアログが表示されます。作成した通知確認表の保存先を表示する場合、[OK]を押下します。



- 保存先フォルダが表示されますので、通知確認表、CSV ファイルが作成されていることを確認します。



通知確認表の作成時に出力されるファイルは下記の通りです。

通知確認表 : 通知 YYYYMMDDhhmmss_確認表.xls
CSV ファイル : 通知 YYYYMMDDhhmmss_CSVxxx.csv



「詳細シート」は、通知先口座情報（金融機関コード／支店コード／口座種別／口座番号）ごとに作成されます。

電子記録債権取引システムからダウンロードする際に、特定の通知先口座情報を指定した場合は、「詳細シート」が1つだけ作成されることになります。

出力ファイルも同様に、通知先口座情報の数だけ作成されます。



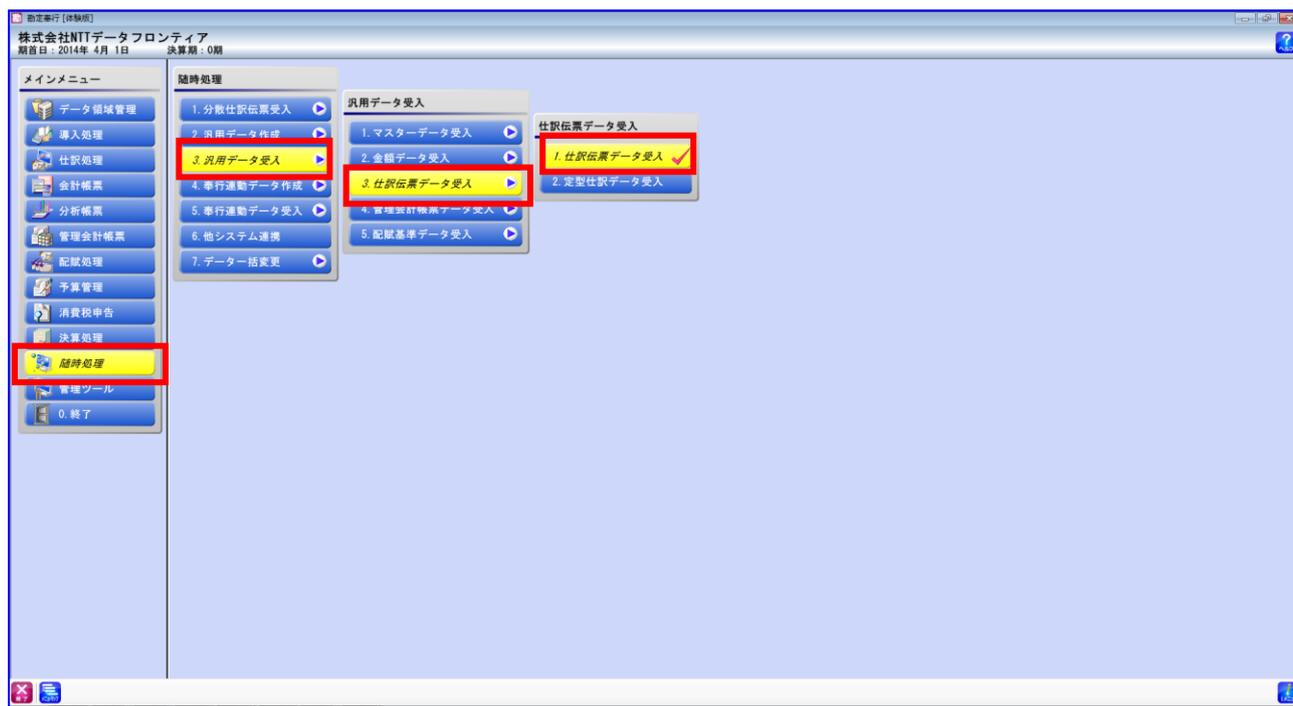
作成対象が「受入債権一覧（発生・譲渡による受入）」を選択した際は、条件に該当する債権が存在した通知先口座情報のみ詳細シートおよび出力ファイルが出力されます。

条件に該当する債権が存在しなかった通知先口座情報については、概要シートの「シート名」に「-（ハイフン）」が表示され、詳細シートおよび出力ファイルは出力されません。

3.1.3 仕訳伝票を作成する

「3.1.1 通知ファイルを読み込む」で作成した債権情報 CSV ファイルを「勘定奉行」「勘定奉行[建設業編]」で読み込み、仕訳伝票を作成します。

- 「勘定奉行」「勘定奉行[建設業編]」を開き、[随時処理]>[汎用データ受入]>[仕訳伝票データ受入]>[仕訳伝票データ受入]を押下します。



『税率5%の経過措置の取引伝票』については、本連携手順にて債権情報 CSV ファイルを読み込ませないようご注意ください。
(経過措置の取引伝票を利用する場合には、「勘定奉行」「勘定奉行[建設業編]」の操作説明をご参照ください。)

✚ [新規]を押下します。

仕訳伝票データ受入 - パターン選択

| パターンコード | パターン名 |
|---------|-------|
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |

新しいパターンは、[新規]または[複写]ボタンで作成します。
詳細⇒[操作説明]ボタン

OK
新規(N)
複写(C)...
削除(D)
キャンセル
操作説明(H)



仕訳伝票データ受入は一度受入を実施するとパターンが作成されるため、次回受入時は[新規]を押下せず、作成されたパターンを選択して[OK]を押下します。
作成されたパターンを選択した場合は[受入元ファイル設定]の受入元ファイル名を修正して[出力開始]を押下します。

- ✚ [基本設定]のパターンコードに任意の番号を入力し、パターン名に用途がわかるように任意の名称を入力します。

仕訳伝票データ受入 - 受入条件設定

基本設定 | 受入ファイル設定 | 拡張項目 | エラー情報設定

パターンコード 0000000001 | パターン名 一括請求Assist連携用パターン

伝票No. 指定
伝票No. 設定に従う

1 伝票ずつ画面に表示しながら受け入れる

伝票No. 設定 (参考)

| | |
|----------|----------|
| 付番方法 | 月度連番 |
| 付番基準 | 指定なし |
| システム自動付番 | 使用する |
| 自動付番確認 | 確認しない |
| 重複チェック方法 | 月度単位チェック |
| 重複時登録処理 | 登録不許可 |

受入開始(E)

キャンセル

操作説明(H)

- ✦ [受入ファイル設定]の[参照]を押下し、受入元ファイル名に「**3.1.1 通知ファイルを読み込む**」で作成した債権情報 CSV ファイルを選択し、[受入開始]を押下します。（受入データ形式は「OBC 受入形式」を選択）

仕訳伝票データ受入 - 受入条件設定

基本設定 受入ファイル設定 拡張項目 エラー情報設定

受入データ形式

[100] OBC受入形式 形式作成(S)...

詳細情報

区切文字 :
受入開始位置 :

受入元ファイル名

C:\Users\AssistUser\Documents\PackageAssist\通知20140611141949_CSV001.csv 参照(B)...

文字コード : Shift-JIS 変更(G)...

OBCC001,CSJS001,CSJS002,CSJS003,CSJS004,CSJS005,CSJS006,CSJS007,CSJS009,CSJS200,CSJS201,CSJS202,CSJS*, , , ,001,2014/06/11, , , ,001,131,0, , , , ,001,1000000, , , ,

[参照...] ボタンをクリックし、受け入れる汎用データのファイル名を指定します。
ファイル名を指定すると、汎用データの内容が表示されます。
注意 汎用データの内容が文字化けして表示される場合は、[変更...] ボタンをクリックし、文字コードを変更します。
詳細⇒[操作説明] ボタン

キャンセル
操作説明(H)



[基本設定]のチェックボックス「1 伝票ずつ画面に表示しながら受け入れる」をオンにして[受入開始]を押下すると、1 伝票ずつ確認しながら受け入れることができます。

- ✚ すべての債権情報 CSV データが受入済になったことを確認し、[閉じる]を押下します。

仕訳伝票データ受入 - 受入結果確認

確認内容 | 印刷設定 | プリンタ設定

汎用データ受入が終了しました。
受入結果を確認できます。

内容確認

| | | |
|---|---------|-----|
| <input checked="" type="radio"/> 受入済データ | 伝票件数 | 1 件 |
| | ファイルの行数 | 1 行 |
| <input type="radio"/> 未受入データ | 伝票件数 | 0 件 |
| | ファイルの行数 | 0 行 |

未受入データになった場合は、未受入データの内容を出力し、未受入理由をご確認ください。
未受入理由を参考に、未受入データを修正し、再度受け入れてください。
詳細⇒[操作説明]ボタン

印刷(P) | プレビュー(L) | 転送(E)... | 閉じる(C) | 操作説明(H)

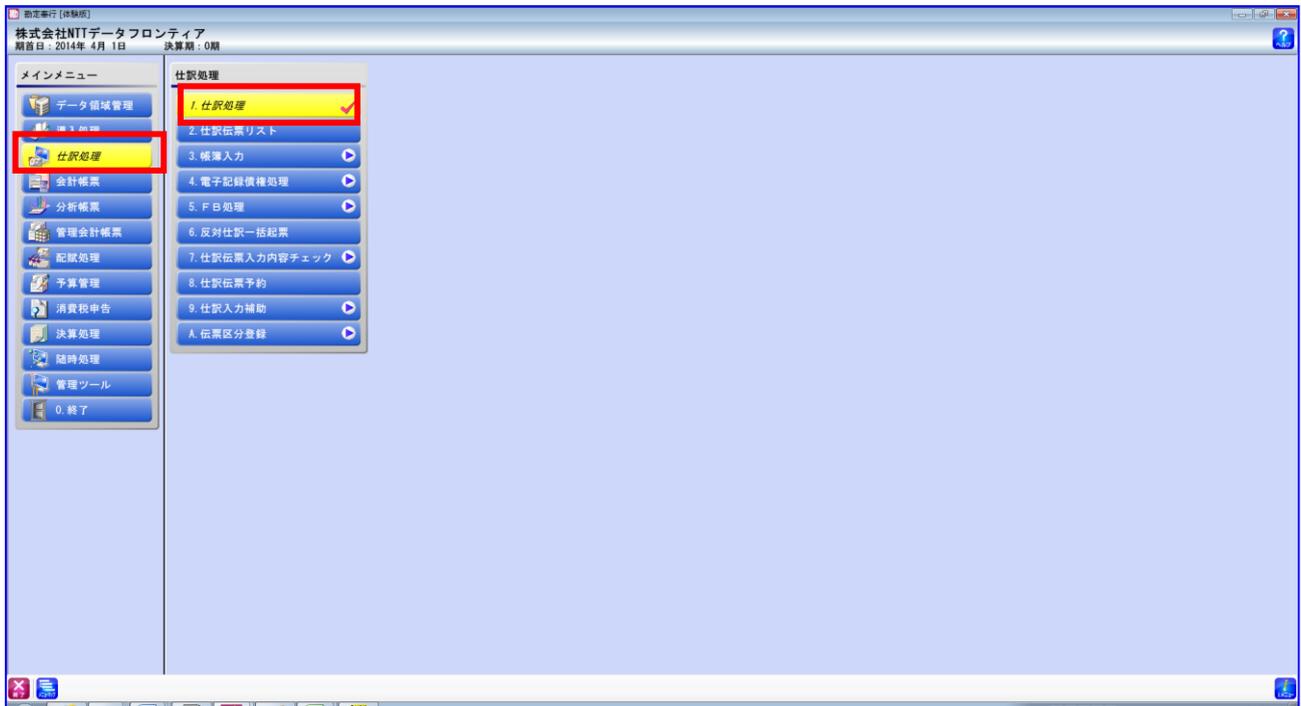


「**3.1.1 通知ファイルを読み込む**」にて複数の債権情報 CSV ファイルが作成された場合、本項の処理を CSV ファイル数分繰り返して受入を行ってください。



未受入データに件数が表示されている場合、[プレビュー]を押下し、エラー内容を確認してください。
また、「**2 連携事前設定**」の設定が正しく行われているか確認してください。

- 仕訳伝票の内容を確認します。
[仕訳処理]>[仕訳処理]を押下します。



- 仕訳伝票の内容を確認し、問題がある場合は本画面より修正を行います。
(仕訳処理画面での部門の修正方法については「勘定奉行」「勘定奉行[建設業編]」の操作説明をご参照ください。)

【対象の使用フォーマット：連携用_勘定奉行（OBC）_SY の場合の例】

仕訳処理
株式会社NTTデータフロンティア
会計期間：2014年 4月 1日 ~ 2015年 3月 31日

参照 通常伝票 振替伝票
伝票日付 14年 8月 11日 伝票No. 000017
伝票件数 4
明細件数 4

| 行 | 借方 | | | 貸方 | | | 摘要 |
|------|---------------------|---------|-----|---------------------|---------|---------|---------------|
| | 部門 / 勘定科目 / 補助科目 | 金額 | 取引先 | 部門 / 勘定科目 / 補助科目 | 金額 | 取引先 | |
| 1 | 001 東京支店 | | | 001 東京支店 | | | REF.NO-000001 |
| | 131 電子記録債権 | 100,000 | | 135 売掛金 | 100,000 | | |
| | 000 その他 | | | 000 その他 | | | |
| | 00000001 取引先 A 株式会社 | | | 00000001 取引先 A 株式会社 | | | |
| 2 | 通知ファイルの債権情報 | | | | | | |
| 3 | | | | | | | |
| 4 | | | | | | | |
| 借方合計 | | 100,000 | | 貸方合計 | | 100,000 | |
| | | | | 貸借差額 | | 0 | |

[F1] 操作説明 [F2] 伝票発行 [F3] 付箋 [F4] 前伝票 [F5] 次伝票 [F6] 複写 [F7] 削除 [F8] 反対仕訳 [F9] 修正 [F10] 中止 [F11] [F12] 閉じる

【対象の使用フォーマット：連携用_勘定奉行（OBC）_SN の場合の例】

仕訳処理
株式会社NTTデータフロンティア
会計期間：2014年 4月 1日 ~ 2015年 3月 31日

参照 通常伝票 振替伝票
伝票日付 14年 6月 11日 伝票No. 000027
伝票件数 12
明細件数 12

| 行 | 借方 | | | 貸方 | | | 摘要 |
|---|--|---------|---|---------|--|--|----|
| | 部 門 / 勘定科目 / 補助科目 | 金 額 | 部 門 / 勘定科目 / 補助科目 | 金 額 | | | |
| 1 | 001 東京支店
131 電子記録債権
000 その他
00000001 取引先 A 株式会社 | 100,000 | 001 東京支店
135 売掛金
000 その他
00000001 取引先 A 株式会社 | 100,000 | | | |
| 2 | 通知ファイルの債権情報 | | | | | | |
| 3 | | | | | | | |
| 4 | | | | | | | |
| | 借方合計 | 100,000 | 貸方合計 | 100,000 | | | |
| | | | 貸借差額 | 0 | | | |

F1 操作説明 F2 伝票発行 F3 付箋 F4 前伝票 F5 次伝票 F6 複写 F7 削除 F8 反対仕訳 F9 修正 F10 中止 F11 F12 閉じる

【対象の使用フォーマット：連携用_勘定奉行（OBC）_BN の場合の例】

仕訳処理
株式会社NTTデータフロンティア
会計期間：2014年 4月 1日 ~ 2015年 3月 31日

参照 通常伝票 振替伝票
伝票日付 14年 6月 11日 伝票No. 000029
伝票件数 14
明細件数 14

| 行 | 借方 | | 貸方 | | 摘要 |
|---|--|---------|---------------------------------------|---------|----|
| | 部門 / 勘定科目 / 補助科目 | 金額 | 部門 / 勘定科目 / 補助科目 | 金額 | |
| 1 | 001 東京支店
131 電子記録債権
001 取引先 A 株式会社 | 100,000 | 001 東京支店
135 売掛金
001 取引先 A 株式会社 | 100,000 | |
| 2 | 通知ファイルの債権情報 | | | | |
| 3 | | | | | |
| 4 | | | | | |
| | 借方合計 | 100,000 | 貸方合計 | 100,000 | |
| | | | 貸借差額 | 0 | |

[F1] 操作説明 [F2] 伝票発行 [F3] 付箋 [F4] 前伝票 [F5] 次伝票 [F6] 複写 [F7] 削除 [F8] 反対仕訳 [F9] 修正 [F10] 中止 [F11] [F12] 閉じる

【対象の使用フォーマット：連携用_勘定奉行（OBC）_BY の場合の例】

仕訳処理
株式会社NTTデータフロンティア
会計期間：2014年 4月 1日 ~ 2015年 3月 31日

参照 通常伝票 振替伝票
伝票日付 14年 6月 11日 伝票No. 000031
伝票件数 16
明細件数 16

| 行 | 借方 | | | 貸方 | | | 摘要 |
|---|--|---------|-----|---------------------------------------|---------|-----|---------------|
| | 部門 / 勘定科目 / 補助科目 | 金額 | 取引先 | 部門 / 勘定科目 / 補助科目 | 金額 | 取引先 | |
| 1 | 001 東京支店
131 電子記録債権
001 取引先 A 株式会社 | 100,000 | | 001 東京支店
135 売掛金
001 取引先 A 株式会社 | 100,000 | | REF.NO.000001 |
| 2 | 通知ファイルの債権情報 | | | | | | |
| 3 | | | | | | | |
| 4 | | | | | | | |
| | 借方合計 | 100,000 | | 貸方合計 | 100,000 | | |
| | | | | 貸借差額 | 0 | | |

F1 操作説明 F2 伝票発行 F3 付箋 F4 前伝票 F5 次伝票 F6 複写 F7 削除 F8 反対仕訳 F9 修正 F10 中止 F11 F12 閉じる



本ソフトで設定する「勘定奉行」「勘定奉行[建設業編]」との連携用の「部門コード」は1種類になります。複数の部門を使い分けて利用する場合は、連携後の本仕訳処理画面で修正するか、連携の都度、「2.2.4 固定値を設定する」にて固定値を修正してください。
（仕訳処理画面での部門の修正方法については「勘定奉行」「勘定奉行[建設業編]」の操作説明をご参照ください。）

一括請求 Assist[®] Ver.2 操作マニュアル

連携編(勘定奉行)

2023年1月4日 第2.6版 発行

- ・本書の内容の一部あるいは全部(ソフトウェアおよびプログラムを含む)は、でんさいネット(全国銀行協会が提供する電子債権記録機関)を使用する目的に限り使用できるものとします。
 - ・なお、無断で複写・複製・転載・配布すること、および磁気または光記録媒体、コンピュータネットワーク上等へ入力することは、法律で認められた場合を除き、一括請求 Assist の著作権および販売者の権利の侵害となります。
 - ・本マニュアルに記載された内容、および本ソフトの仕様は改良のため、予告なく変更する場合があります。
-

一括請求 Assist[®] Ver.2

操作マニュアル

連携編(商奉行)

第 2.6 版

目次

| | |
|---------------------------|----|
| はじめに..... | 2 |
| 1 連携の概要..... | 3 |
| 1.1 連携の概要..... | 3 |
| 1.2 連携条件について..... | 4 |
| 1.3 連携の流れ..... | 8 |
| 1.4 使用フォーマットについて..... | 9 |
| 2 連携事前設定..... | 10 |
| 2.1 「商奉行」の事前設定..... | 10 |
| 2.1.1 得意先を確認する..... | 10 |
| 2.1.2 摘要を確認する..... | 15 |
| 2.2 本ソフトの事前設定..... | 17 |
| 2.2.1 通知確認設定情報を設定する..... | 17 |
| 2.2.2 取引先を設定する..... | 18 |
| 2.2.3 出力 CSV 設定を設定する..... | 20 |
| 3 連携手順..... | 23 |
| 3.1 連携手順..... | 23 |
| 3.1.1 通知ファイルを読み込む..... | 23 |
| 3.1.2 通知情報を確認する..... | 27 |
| 3.1.3 入金伝票を作成する..... | 29 |

はじめに

本書では、本ソフトと株式会社オービック ビジネスコンサルタントの販売管理ソフト「商奉行」との連携について、事前設定、連携手順を説明します。

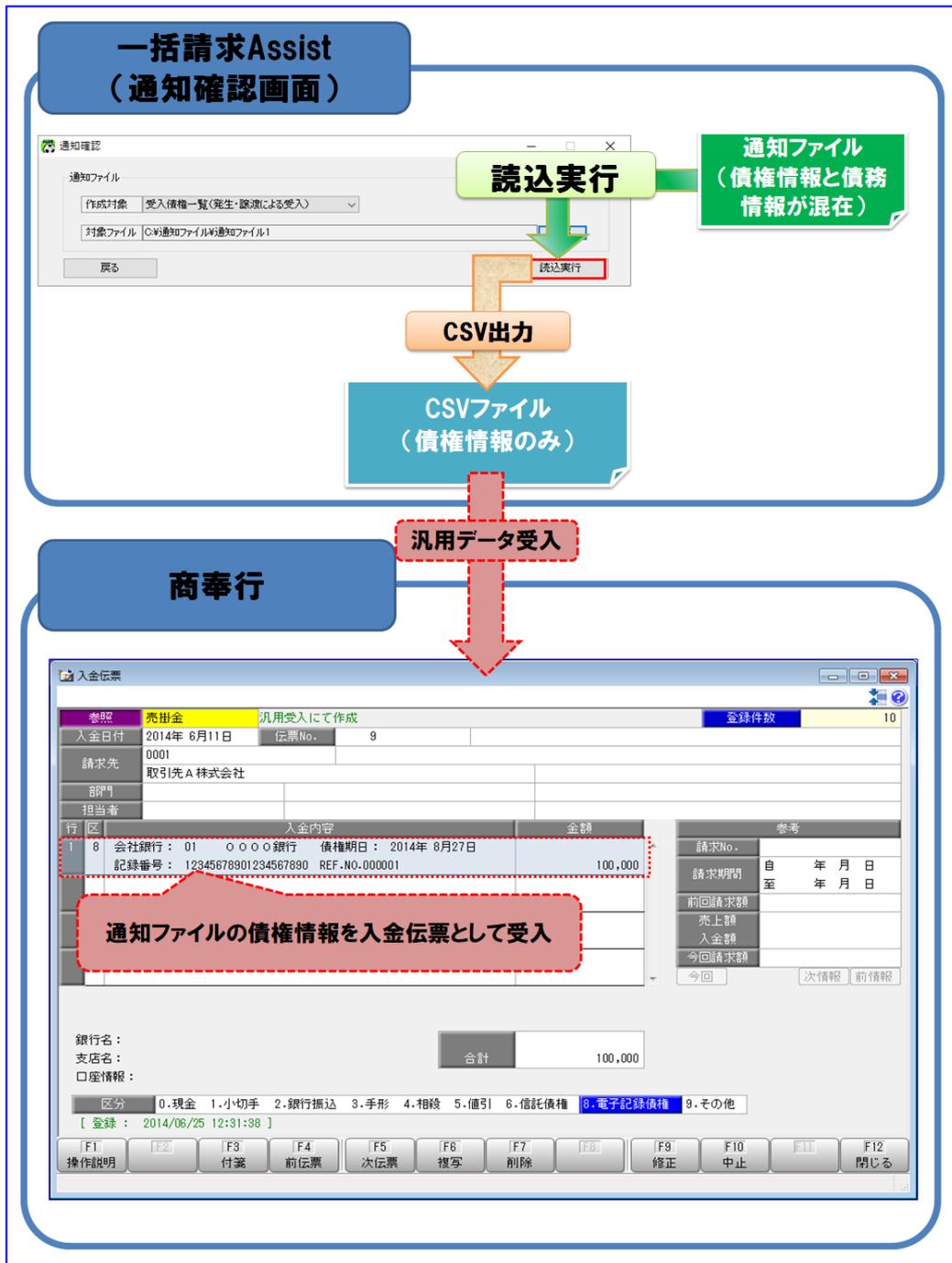
本書で使用する画面例については「商奉行 i8」のものとなります。会計ソフトのバージョンにより表示内容が異なる場合がありますが、操作方法に差異はありません。

本書に記載されていない「商奉行」のその他機能の詳細については、「商奉行」の操作説明をご参照ください。

1 連携の概要

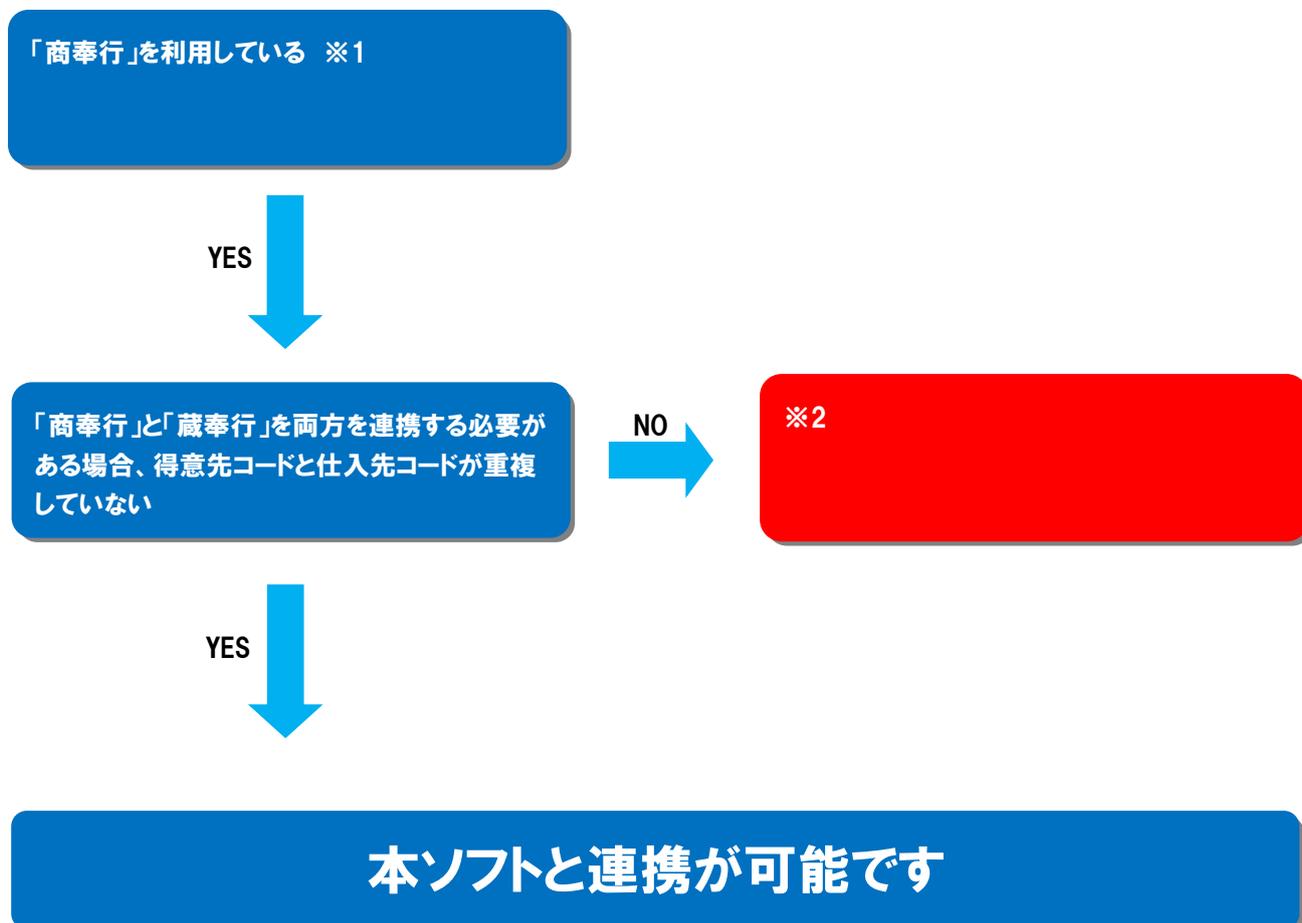
1.1 連携の概要

本ソフトは、電子記録債権取引システムからダウンロードした通知ファイル（でんさいネット標準フォーマット（固定長テキスト形式）1.2版の配信1）を読み込み、電子記録債権の債務情報を省いた債権情報 CSV ファイル（受入債権一覧）を出力することができます。出力した債権情報 CSV ファイルを「商奉行」に読み込むことにより、簡単に入金伝票を作成することができます。



1.2 連携条件について

本ソフトと連携が可能となる条件は下記の通りとなります。



※1 連携可能な商奉行のバージョンについては、株式会社NTT データフロンティアのホームページをご参照ください。

※2「商奉行」と「蔵奉行」では、管理している「得意先コード」と「仕入先コード」を別管理しているため、それぞれに同一のコード値を設定することができますが、本ソフト上の「取引先管理画面」に設定する連携用の「取引先 ID」については、共通の設定になります。

そのため、「商奉行」と「蔵奉行」で管理している「得意先コード」と「仕入先コード」の値が重複しないように設定をする（桁数、コード値が異なる）必要があります。

※コード値が重複している場合についても、「商奉行」と「蔵奉行」のいずれかのコード値のみ本ソフトに登録することで、いずれかのソフトのみとの連携は可能です。

※例として「得意先コード：0001」「仕入先コード：00001」は本ソフトでは重複しないで設定可能です。そのため、「商奉行」「蔵奉行」のコード桁数設定で「得意先コード」と「仕入先コード」に異なる桁数を設定できる場合は「商奉行」と「蔵奉行」の両ソフトと連携可能になります。

**一括請求Assist
(取引先管理画面)**

| 取引先名 | 金融機関コード | 支店コード | 口座種別 | 口座番号 |
|------------|---------|-------|------|---------|
| 取引先 A 株式会社 | 0000 | 001 | 支店 | 1111111 |
| 取引先 B 株式会社 | 0000 | 001 | 支店 | 2222222 |
| 仕入先 A 株式会社 | 0000 | 001 | 支店 | 3333333 |
| 仕入先 B 株式会社 | 0000 | 001 | 支店 | 4444444 |

**商奉行
得意先登録画面**

| 得意先コード | 得意先略称 | 得意先名1 | 得意先名2 |
|--------|----------|----------|-------|
| 0001 | 取引先A株式会社 | 取引先A株式会社 | |
| 0002 | 取引先B株式会社 | 取引先B株式会社 | |

**蔵奉行
仕入先登録画面**

| 仕入先コード | 仕入先略称 | 仕入先名1 | 仕入先名2 |
|--------|----------|----------|-------|
| 0003 | 仕入先A株式会社 | 仕入先A株式会社 | |
| 0004 | 仕入先B株式会社 | 仕入先B株式会社 | |

「商奉行」の「得意先コード」と「蔵奉行」の「仕入先コード」でコード値が重複しないように設定が必要

「商奉行」と「蔵奉行」の両ソフト連携可能例：
 ・得意先コードと仕入先コードの桁数が異なる
 ・得意先コードと仕入先コードのコード値に重複なし

一括請求Assist
 (取引先管理画面)

| 取引先名* | 全額振込コード* | 得意コード* | 口座種別* | 口座番号* |
|------------|----------|--------|-------|---------|
| 1 取引先A株式会社 | 0000 | 0001 | 2:当座 | 1111111 |
| 2 取引先B株式会社 | 0000 | 0001 | 2:当座 | 2222222 |
| 3 仕入先A株式会社 | 0000 | 0001 | 2:当座 | 3333333 |
| 4 仕入先B株式会社 | 0000 | 0001 | 2:当座 | 4444444 |

商奉行
 得意先登録画面

| 得意先コード | 得意先略称 | 得意先名1 | 得意先名2 |
|--------|----------|----------|-------|
| 0001 | 取引先A株式会社 | 取引先A株式会社 | |
| 0002 | 取引先B株式会社 | 取引先B株式会社 | |

得意先コード:0001、0002

両ソフトの連携が可能

蔵奉行
 仕入先登録画面

| 仕入先コード | 仕入先略称 | 仕入先名1 | 仕入先名2 |
|--------|----------|----------|-------|
| 00003 | 仕入先A株式会社 | 仕入先A株式会社 | |
| 00004 | 仕入先B株式会社 | 仕入先B株式会社 | |

仕入先コード:00003、00004

「商奉行」と「蔵奉行」の両ソフト連携可能例：
 ・得意先コードと仕入先コードの桁数が異なる
 ・得意先コードと仕入先コードのコード値に重複あり

一括請求Assist
 (取引先管理画面)

| 取引先名* | 全額振込コード* | 得意コード* | 口座種別* | 口座番号* |
|------------|----------|--------|-------|---------|
| 1 取引先A株式会社 | 0000 | 0001 | 2:当座 | 1111111 |
| 2 取引先B株式会社 | 0000 | 0001 | 2:当座 | 2222222 |
| 3 仕入先A株式会社 | 0000 | 0001 | 2:当座 | 3333333 |
| 4 仕入先B株式会社 | 0000 | 0001 | 2:当座 | 4444444 |

商奉行
 得意先登録画面

| 得意先コード | 得意先略称 | 得意先名1 | 得意先名2 |
|--------|----------|----------|-------|
| 0001 | 取引先A株式会社 | 取引先A株式会社 | |
| 0002 | 取引先B株式会社 | 取引先B株式会社 | |

得意先コード:0001、0002

両ソフトの連携が可能

蔵奉行
 仕入先登録画面

| 仕入先コード | 仕入先略称 | 仕入先名1 | 仕入先名2 |
|--------|----------|----------|-------|
| 00001 | 仕入先A株式会社 | 仕入先A株式会社 | |
| 00002 | 仕入先B株式会社 | 仕入先B株式会社 | |

仕入先コード:00001、00002

「商奉行」と「蔵奉行」の両ソフト連携可能例：
 ・得意先コードと仕入先コードが同一桁数
 ・得意先コードと仕入先コードのコード値に重複なし

一括請求Assist
 (取引先管理画面)

| 取引先番号 | 取引先名 | 金庫帳簿コード | 得意先コード | 口座種別 | 口座番号 |
|-------|----------|---------|--------|------|---------|
| 1 | 取引先A株式会社 | 0000 | 001 | 支：当座 | 1111111 |
| 2 | 取引先B株式会社 | 0000 | 001 | 支：当座 | 2222222 |
| 3 | 仕入先A株式会社 | 0000 | 001 | 支：当座 | 3333333 |
| 4 | 仕入先B株式会社 | 0000 | 001 | 支：当座 | 4444444 |

商奉行
 得意先登録画面

| 得意先コード | 得意先名称 | 得意先名1 | 得意先名2 |
|--------|----------|----------|-------|
| 0001 | 取引先A株式会社 | 取引先A株式会社 | |
| 0002 | 取引先B株式会社 | 取引先B株式会社 | |

得意先コード:0001, 0002

蔵奉行
 仕入先登録画面

| 仕入先コード | 仕入先名称 | 仕入先名1 | 仕入先名2 |
|--------|----------|----------|-------|
| 0003 | 仕入先A株式会社 | 仕入先A株式会社 | |
| 0004 | 仕入先B株式会社 | 仕入先B株式会社 | |

仕入先コード:0003, 0004

両ソフトの連携が可能

「商奉行」と「蔵奉行」のいずれかのみ連携可能例：
 ・得意先コードと仕入先コードが同一桁数
 ・得意先コードと仕入先コードのコード値に重複あり

一括請求Assist
 (取引先管理画面)

得意先コードと仕入先コードの桁数・
 コード値が同一であるため、「商奉行」と
 「蔵奉行」のいずれかのみ連携可能

商奉行
 得意先登録画面

| 得意先コード | 得意先名称 | 得意先名1 | 得意先名2 |
|--------|----------|----------|-------|
| 0001 | 取引先A株式会社 | 取引先A株式会社 | |
| 0002 | 取引先B株式会社 | 取引先B株式会社 | |

得意先コード:0001, 0002

蔵奉行
 仕入先登録画面

| 仕入先コード | 仕入先名称 | 仕入先名1 | 仕入先名2 |
|--------|----------|----------|-------|
| 0001 | 仕入先A株式会社 | 仕入先A株式会社 | |
| 0002 | 仕入先B株式会社 | 仕入先B株式会社 | |

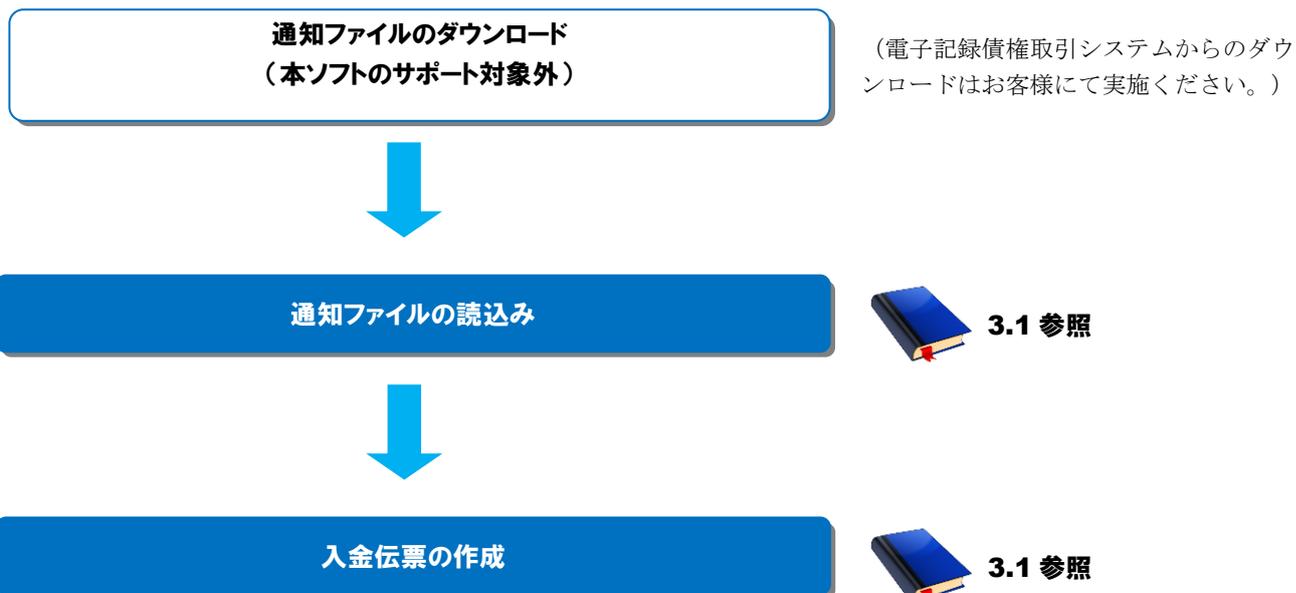
仕入先コード:0001, 0002

1.3 連携の流れ

事前設定



連携手順



1.4 使用フォーマットについて

「商奉行」との連携で使用するフォーマットについて説明します。

「商奉行」の利用状況に応じて、下記使用フォーマットから適切なものを選択してください。以降の設定については、選択した使用フォーマットに沿って実施してください。

| 条件1 ※1 | 選択する使用フォーマット |
|--------------------------------------|------------------|
| 「商奉行」の入金伝票画面の「摘要」を <u>使用している</u> 場合 | 連携用_商奉行 (OBC) _N |
| 「商奉行」の入金伝票画面の「摘要」を <u>使用していない</u> 場合 | 連携用_商奉行 (OBC) _Y |

※1：詳細は「**2.1.2 摘要を確認する**」をご参照ください。

2 連携事前設定

2.1 「商奉行」の事前設定

連携を行うための「商奉行」の事前設定方法を説明します。

操作手順

2.1.1
得意先を確認する

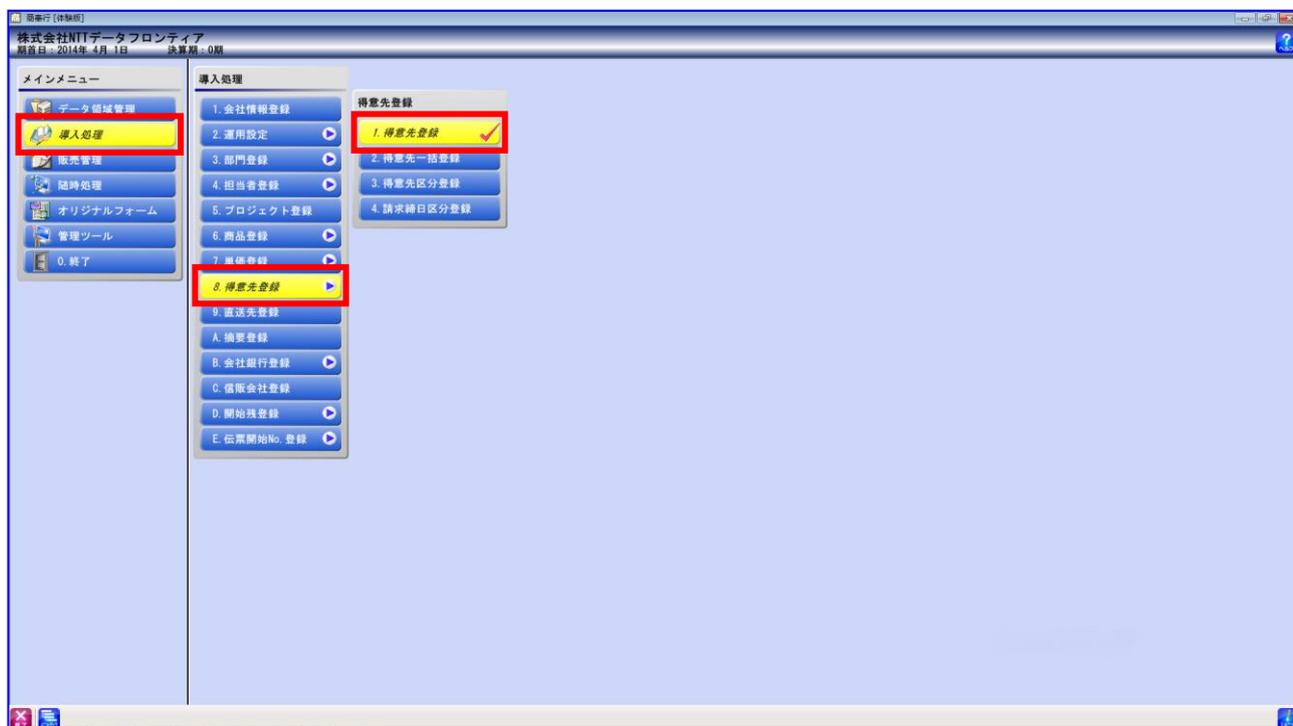
2.1.2
摘要を確認する

操作方法

2.1.1 得意先を確認する

連携で使用する得意先が登録されているか確認します。

「商奉行」を開き、[導入処理]>[得意先登録]>[得意先登録]を押下します。



「得意先コード」の[検索]を押下します。

得意先登録

得意先コード [検索] 登録件数 3

得意先名フリガナ
得意先名 1
得意先名 2
得意先略称

基本 属性 販売 請求 回収 振込 統一伝票 メモ

利用状態
台帳インデックス

郵便番号
住所 1
住所 2
電話番号 FAX番号
ホームページ

担当者名
担当者部署名
担当者役職名
担当者電話番号 担当者携帯番号
担当者FAX番号
担当者E-Mail

敬称

操作ガイド

得意先コード

【参考】

- コードは、数字、英大文字、英小文字、カナの順に並びます。
- コード桁数は、[コード桁数 / 項目名称設定]メニューで変更できます。
- 前ゼロを自動表示するかを、[会社機能設定]メニューで設定できます。

・英数カナ4～13桁
・検索⇒[Space]キー

F1 操作説明 F2 印刷 F3 短縮設定 F4 F5 次データ F6 複写 F7 削除 F8 検索 F9 初期値 F10 設定 F11 F12 閉じる

-
- 「即時検索しない」を選択し、[検索]を押下します。

得意先検索

検索条件

得意先名1 が [] を含む

無効な得意先を含める 得意先コード順で並べる

検索(S)

詳細設定(I)>>

即時検索しない

前の結果(P) 次の結果(N) OK キャンセル 操作説明(H)

- 得意先に対応するレコードを選択し、[OK]を押下します。
存在しない場合は、任意のコードで新規作成します。
(新規作成方法については「商奉行」の操作説明をご参照ください。)

得意先検索

検索条件

得意先名1 が を含む

無効な得意先を含める 得意先コード順で並べる

検索(S) 詳細設定(I)>>

1~2件目を表示

| 得意先コード | 得意先略称 | 得意先名1 | 得意先名2 |
|--------|----------|----------|-------|
| 0001 | 取引先A株式会社 | 取引先A株式会社 | |
| 0002 | 取引先B株式会社 | 取引先B株式会社 | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

即時検索しない

前の結果(P) 次の結果(N) **OK** キャンセル 操作説明(H)



電子記録債権を受け入れる対象の得意先をすべて登録しておく必要があります。
得意先が増減した場合は、都度修正ください。

また、電子記録債権以外で受け入れる得意先が登録されていても問題ありません。



登録した「得意先コード」「得意先名1」は、「**2.2.2 取引先を設定する**」にて、本ソフト用の事前設定として使用するため、値をお控えください。

- 得意先の[振込]に、会社銀行が設定されていることを確認します。

修正

| | |
|---------|--------------|
| 得意先コード | 0001 |
| 得意先フリガナ | トクイキョウブシカイシャ |
| 得意先名1 | 得意先A株式会社 |
| 得意先名2 | |
| 得意先略称 | 得意先A株式会社 |

登録件数
4

基本 属性 販売 請求 回収 振込 統一伝票 メモ 相殺

会社銀行 01 〇〇〇〇〇銀行

口座番号

| | |
|----------|--|
| 振込依頼人名1 | |
| 振込依頼人名2 | |
| 振込依頼人名3 | |
| 振込依頼人名4 | |
| 振込依頼人名5 | |
| 振込依頼人名6 | |
| 振込依頼人名7 | |
| 振込依頼人名8 | |
| 振込依頼人名9 | |
| 振込依頼人名10 | |

操作ガイド

得意先名1

見積書・納品書・請求書・注文書・宛名ラベル・送り状に印字する、得意先の正式名称を入力します。

【参考】

- 得意先名1を入力すると、自動的に得意先フリガナが表示されます。
- 得意先略称にも自動的に同じ名称が表示されます。

32文字

F1 操作説明 F2 F3 F4 前画面 F5 次画面 F6 F7 F8 F9 F10 中止 F11 F12 登録



電子記録債権を受け入れる対象の得意先が複数存在する場合、すべての得意先について確認してください。

2.1.2 摘要を確認する

入金伝票画面「摘要」の使用用途を確認します。

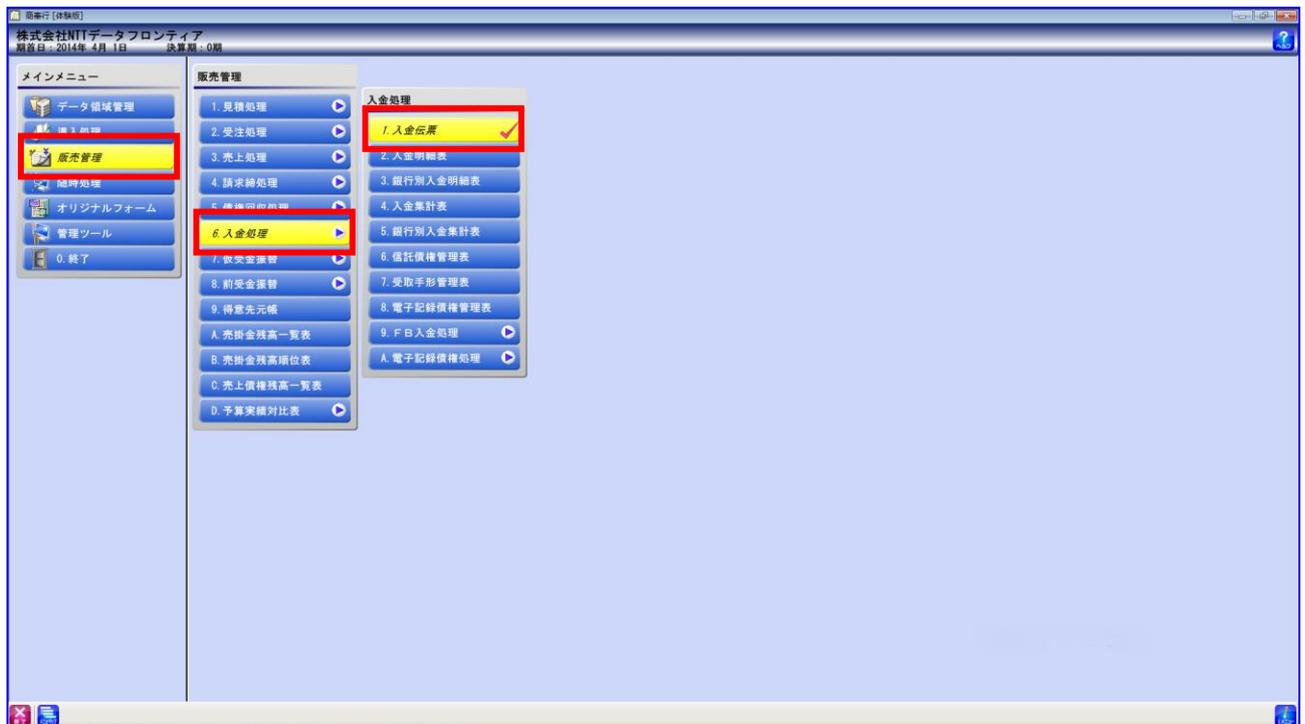
「摘要」を既存の用途（メモ欄等）で使用していない場合、通知ファイルに設定される「依頼人 Ref.No.」を入金伝票画面の「摘要」に連携する設定を選択します。

【対象の使用フォーマット：連携用_商奉行（OBC）_Y】

「摘要」を既存の用途（メモ欄等）で使用している場合、通知ファイルに設定される「依頼人 Ref.No.」を入金伝票画面に連携しない設定を選択します。

【対象の使用フォーマット：連携用_商奉行（OBC）_N】

☚ [販売管理] > [入金処理] > [入金伝票]を押下します。



- 入金伝票画面の既存伝票を表示し、「摘要」を使用しているか確認します。「摘要」の使用用途を確認の上、使用フォーマットを選択ください。

入金伝票

参照 **売掛金** 登録件数 8

入金日付 2014年 6月25日 伝票No. 5

請求先 0001
取引先A 株式会社

部門
担当者

| 行 | 区 | 入金内容 | 金額 |
|---|---|---|---------|
| 1 | 8 | 会社銀行： 01 ○○○○銀行 債権期日： 2014年 6月27日
記録番号： 12345678901234567890 REF.NO.000001 | 100,000 |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

銀行名：
支店名：
口座情報：

合計 100,000

区分 0.現金 1.小切手 2.銀行振込 3.手形 4.相殺 5.値引 6.信託債権 **8.電子記録債権** 9.その他

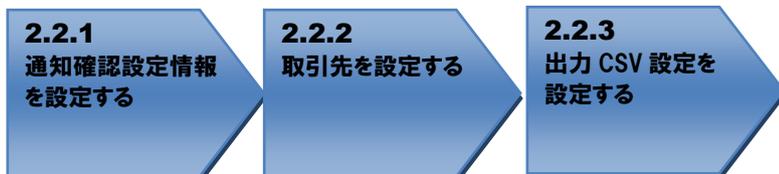
[登録： 2014/06/25 11:19:05]

[F1] 操作説明 [F2] [F3] 付箋 [F4] 前伝票 [F5] 次伝票 [F6] 複写 [F7] 削除 [F8] [F9] 修正 [F10] 中止 [F11] [F12] 閉じる

2.2 本ソフトの事前設定

連携を行うための本ソフトの事前設定方法を説明します。

操作手順



操作方法

2.2.1 通知確認設定情報を設定する

- 本ソフトのシステム設定画面を開き、通知確認設定情報の予約通知を「出力しない」に設定し、[保存]を押下します。

システム設定

共通設定情報

請求者利用者番号 通常利用時 事務代行等での利用時
利用者番号

ファイル出力先

座種別区分 別段を利用する 別段を利用しない

一括請求ファイル拡張子 付与する 付与しない

メニュー表示有無

発生記録(債権者)請求 表示する 表示しない

譲渡記録設定情報

保証随伴有無 選択可(保証有り/無し) 選択不可(保証有りのみ)

全額譲渡時の金額入力 入力する 入力しない

通知確認設定情報

予約通知 出力する 出力しない

読込CSV設定

使用フォーマット

出力CSV設定

使用フォーマット

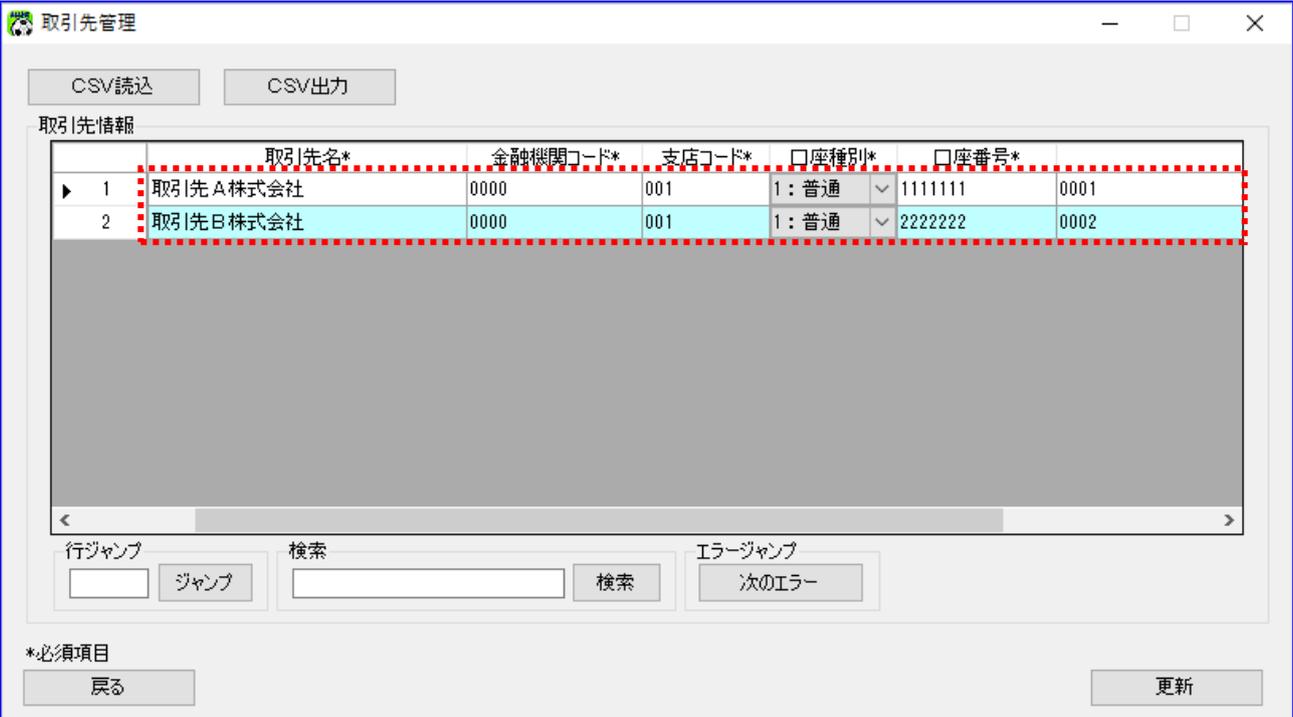
一括請求ファイル 出力しない

一括請求結果ファイル 出力しない

通知ファイル 出力しない

2.2.2 取引先を設定する

- 本ソフトの取引先管理画面を開き、「2.1.1 得意先を確認する」で登録した得意先が登録されていることを確認します。登録されていない場合は新規に登録します。



| | 取引先名* | 金融機関コード* | 支店コード* | 口座種別* | 口座番号* | |
|---|-----------|----------|--------|-------|---------|------|
| 1 | 取引先 A株式会社 | 0000 | 001 | 1:普通 | 1111111 | 0001 |
| 2 | 取引先 B株式会社 | 0000 | 001 | 1:普通 | 2222222 | 0002 |



本ソフトの[CSV 読込]を用いて「商奉行」の取引先情報を読み込むことはできません。

取引先 ID に得意先登録画面のコードを登録します。

商奉行 得意先登録画面

得意先検索

検索条件
得意先名1 が を含む 検索(S)
 無効な得意先を含める 得意先コード順で並べる 詳細設定(I)>>

1~2件目を表示

| 得意先コード | 得意先略称 | 得意先名1 | 得意先名2 |
|--------|----------|-------|-------|
| 0001 | 取引先 A 株式 | | |
| 0002 | 取引先 B 株式 | | |

前の結果(P) 次の結果(N) OK キャンセル 作業説明(H)

電子記録債権を受け入れる
対象の得意先

一括請求Assist (取引先管理画面)

取引先管理

CSV転送 CSV出力

| 取引先情報 | 取引先名* | 金融機関コード* | 支店コード* | 口座種別* | 口座番号* |
|-------|------------|----------|--------|-------|--------------|
| 1 | 取引先 A 株式会社 | 0000 | 001 | 2: 当座 | 1111111 0001 |
| 2 | 取引先 B 株式会社 | 0000 | 001 | 2: 当座 | 2222222 0002 |

戻る 更新

電子記録債権を受け入れる
対象の得意先を全て登録する



本ソフトへの登録時には、コピー&ペーストをするなどし、「商奉行」の設定値と完全に一致させてください。

2.2.3 出力 CSV 設定を設定する

- 本ソフトのシステム設定画面を開き、出力 CSV 設定の使用フォーマットを選択し、[保存]を押下します。選択するフォーマットは「1.4 使用フォーマットについて」をご参照ください。

The screenshot shows the 'システム設定' (System Settings) dialog box. The '出力CSV設定' (Output CSV Settings) section is active, with a dropdown menu open for '使用フォーマット' (Use Format). The dropdown list includes various options, with '一括請求Assist標準' (Batch Request Assist Standard) highlighted. A red dashed box highlights the '一括請求Assist標準' option in the dropdown. The '保存' (Save) button is highlighted with a red box. Other sections include '共通設定情報' (Common Settings), 'メニュー表示有無' (Menu Display), '譲渡記録設定情報' (Assignment Record Settings), and '通知確認設定情報' (Notification Confirmation Settings).

| 設定項目 | 設定内容 |
|-------------|---|
| 請求者利用者番号 | <input checked="" type="radio"/> 通常利用時 <input type="radio"/> 事務代行等での利用時
利用者番号: A12345678 |
| ファイル出力先 | C:\Users\assist-user\Documents\PackageAssist |
| 口座種別区分 | <input type="radio"/> 別段を利用する <input checked="" type="radio"/> 別段を利用しない |
| 一括請求ファイル拡張子 | <input type="radio"/> 付与する <input checked="" type="radio"/> 付与しない |
| メニュー表示有無 | 発生記録(債権者)請求 <input checked="" type="radio"/> 表示する <input type="radio"/> 表示しない |
| 譲渡記録設定情報 | 保証随伴有無 <input checked="" type="radio"/> 選択可(保証有り/無し) <input type="radio"/> 選択不可(保証有りのみ)
全額譲渡時の金額入力 <input checked="" type="radio"/> 入力する <input type="radio"/> 入力しない |
| 通知確認設定情報 | 予約通知 <input type="radio"/> 出力する <input checked="" type="radio"/> 出力しない |
| 読込CSV設定 | 使用フォーマット: 一括請求Assist標準 |
| 出力CSV設定 | 使用フォーマット: 一括請求Assist標準
一括請求ファイル: [空]
一括請求結果ファイル: [空]
通知ファイル: [空] |

【参考】出力 CSV フォーマット詳細設定画面の初期設定値

| No | 項目 | 項目番号(カッコ内は固定値の値)
連携用_商奉行(OBC)_N | 項目番号(カッコ内は固定値の値)
連携用_商奉行(OBC)_Y |
|----|---------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|
| 1 | CSV 項目数 | 24 | 24 |
| 2 | 利用者 ID の自動設定有無 | | |
| 3 | 利用者 ID の自動設定有無
(通知先情報) | 自動設定しない | 自動設定しない |
| 4 | 利用者 ID の自動設定有無
(義務者情報、権利者情報) | 自動設定する | 自動設定する |
| 5 | タイトル行有無 | | |
| 6 | タイトル行有無 | 設定しない | 設定しない |
| 7 | 出力 CSV 項目設定 | | |
| 8 | データレコード項目 | | |
| 9 | 作成対象区分 | - | - |
| 10 | 通知作成日 | - | - |
| 11 | 通知先情報_利用者番号 | - | - |
| 12 | 通知先情報_通知先名か | - | - |
| 13 | 通知先情報_金融機関コード | - | - |
| 14 | 通知先情報_金融機関名か | - | - |
| 15 | 通知先情報_支店コード | - | - |
| 16 | 通知先情報_支店名か | - | - |
| 17 | 通知先情報_口座種別 | - | - |
| 18 | 通知先情報_口座番号 | - | - |
| 19 | 通知先情報_利用者 ID | - | - |
| 20 | 合計件数 (件) | - | - |
| 21 | 合計金額 (円) | - | - |
| 22 | データレコード区分 | - | - |
| 23 | 義務者情報_義務者名 | - | - |
| 24 | 義務者情報_金融機関コード | - | - |
| 25 | 義務者情報_金融機関名か | - | - |
| 26 | 義務者情報_支店コード | - | - |
| 27 | 義務者情報_支店名か | - | - |
| 28 | 義務者情報_口座種別 | - | - |
| 29 | 義務者情報_口座番号 | - | - |
| 30 | 義務者情報_利用者 ID | 5 | 5 |
| 31 | 権利者情報_権利者名 | - | - |
| 32 | 権利者情報_金融機関コード | - | - |
| 33 | 権利者情報_金融機関名か | - | - |
| 34 | 権利者情報_支店コード | - | - |
| 35 | 権利者情報_支店名か | - | - |
| 36 | 権利者情報_口座種別 | - | - |
| 37 | 権利者情報_口座番号 | - | - |
| 38 | 権利者情報_利用者 ID | - | - |
| 39 | 債権金額 (円) | 22 | 22 |
| 40 | 支払期日 | 18 | 18 |
| 41 | 譲渡制限有無 | - | - |
| 42 | 記録番号 | 19 | 19 |
| 43 | 依頼人 Ref. No. | - | 12 |
| 44 | 電子記録年月日 | 3 | 3 |
| 45 | 取消区分 | - | - |

| No | 項目 | 項目番号(カッコ内は固定値の値)
連携用_商奉行(OBC)_N | 項目番号(カッコ内は固定値の値)
連携用_商奉行(OBC)_Y |
|----|------------------|------------------------------------|------------------------------------|
| 46 | データレコード項目 (任意項目) | | |
| 47 | 伝票区切 | 1 (固定値：*) | 1 (固定値：*) |
| 48 | 入金区分 | 10 (固定値：8) | 10 (固定値：8) |

【参考】出力 CSV ファイルフォーマット

| No | 項目名 | 受入記号(※1) | 出力内容(※2) | 備考 |
|----|-----------|----------|---|--|
| 1 | 伝票区切 | OBCD001 | 固定値：* | |
| 2 | 伝票区分 | DSRM007 | 半角スペース 1 桁 | |
| 3 | 入金日付 | DSRM001 | 通知ファイル. 電子記録年月日 | |
| 4 | 伝票 No. | DSRM002 | 半角スペース 6 桁 | |
| 5 | 請求先コード | DSRM003 | 通知ファイル. 義務者情報の
口座情報 (金融機関コード/支店コ
ード/口座種別/口座番号) に一致
する取引先管理情報. 取引先 ID を自
動設定 | |
| 6 | 部門コード | DSRM004 | 半角スペース 1 桁 | |
| 7 | 担当者コード | DSRM005 | 半角スペース 4 桁 | |
| 8 | プロジェクトコード | DSRM006 | 半角スペース 4 桁 | |
| 9 | 仕訳対象区分コード | DSRM008 | 半角スペース 1 桁 | |
| 10 | 入金区分 | DSRM201 | 固定値：8 | |
| 11 | 申告書計算区分 | DSRM203 | 半角スペース 2 桁 | |
| 12 | 明細摘要 | DSRM204 | ① 半角スペース 40 桁
② 通知ファイル. 依頼人 Ref. No. | ① 連携用_商奉行 (OBC) _N 利用時
② 連携用_商奉行 (OBC) _Y 利用時 |
| 13 | 手形期日 | DSRM205 | 半角スペース 11 桁 | |
| 14 | 手形 No. | DSRM206 | 半角スペース 10 桁 | |
| 15 | 会社銀行コード | DSRM207 | 半角スペース 2 桁 | |
| 16 | 信販会社コード | DSRM210 | 半角スペース 4 桁 | |
| 17 | 回収期日 | DSRM211 | 半角スペース 11 桁 | |
| 18 | 債権期日 | DSRM215 | 通知ファイル. 支払期日 | |
| 19 | 記録番号 | DSRM216 | 通知ファイル. 記録番号 | |
| 20 | 振込手数料 | DSRM208 | 半角スペース 6 桁 | |
| 21 | 信販手数料 | DSRM212 | 半角スペース 13 桁 | |
| 22 | 入金金額 | DSRM209 | 通知ファイル. 債権金額 | |
| 23 | 付箋色 | DSRM213 | 半角スペース 1 桁 | |
| 24 | 付箋メモ | DSRM214 | 半角スペース 400 桁 | |

※1 出力 CSV ファイルの 1 行目に受入記号が出力されます。

※2 出力 CSV ファイルの 2 行目以降に出力されます。

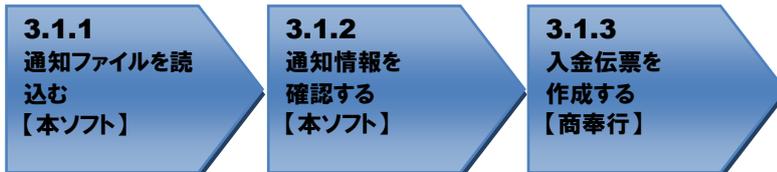
(CSV ファイルフォーマットの詳細については「商奉行」の操作説明をご参照ください。)

3 連携手順

3.1 連携手順

「商奉行」と本ソフトの連携手順を説明します。

操作手順

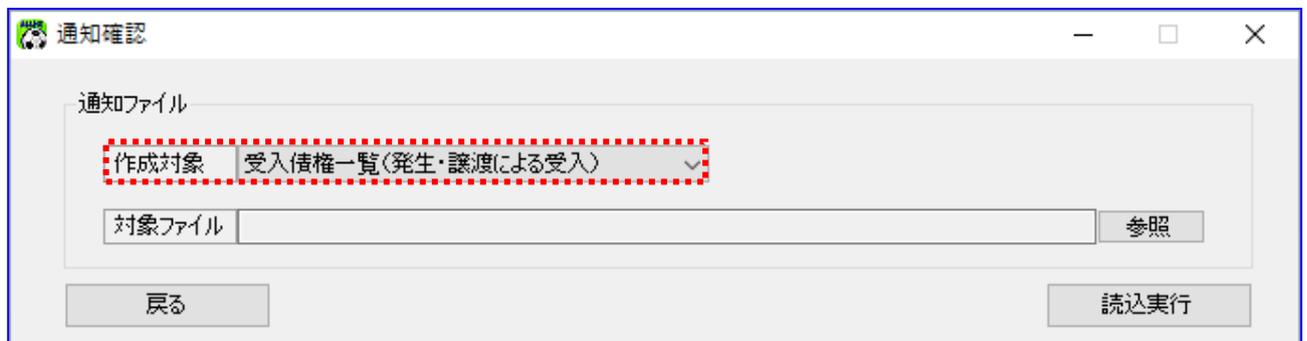


操作方法

3.1.1 通知ファイルを読み込む

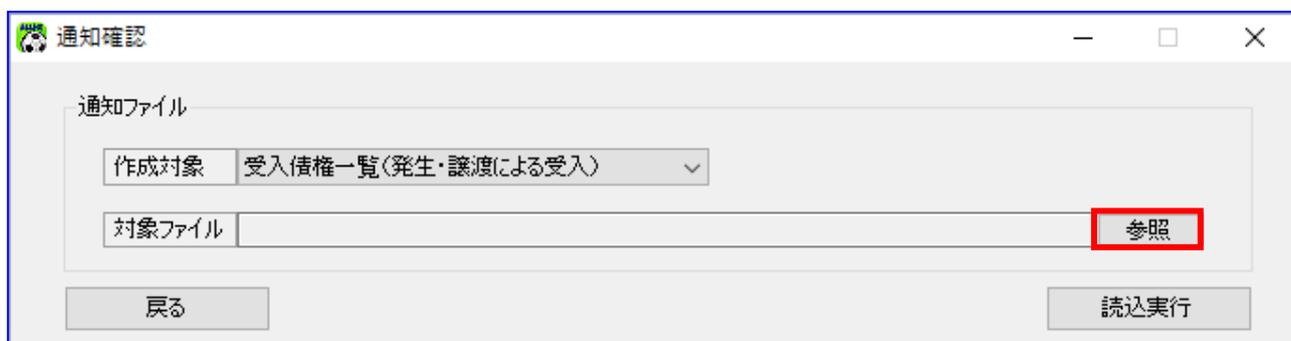
本ソフトで電子記録債権取引システムからダウンロードした通知ファイルを読み込み、「商奉行」に読み込ませる債権情報 CSV ファイルを作成します。

- 本ソフトの通知確認画面を開き、作成対象に「受入債権一覧（発生・譲渡による受入）」を選択します。

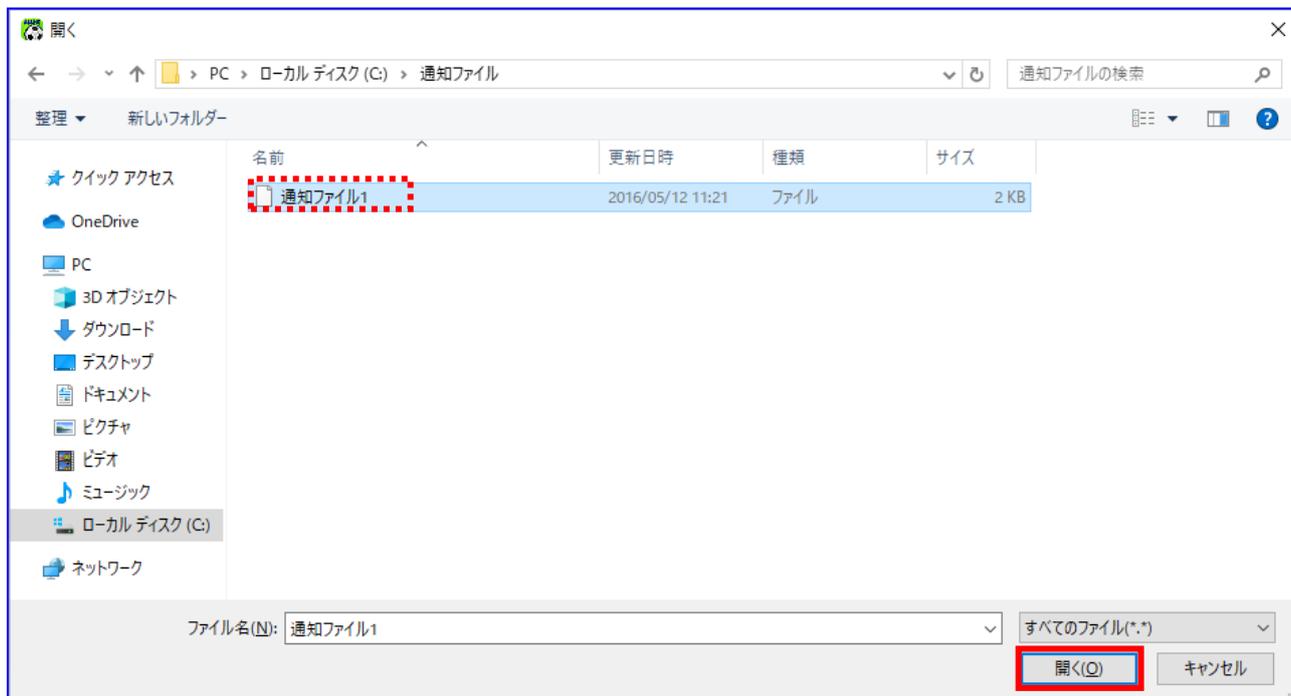


「受入債権一覧（発生・譲渡による受入）」を選択した場合、通知ファイルから発生・譲渡の受入情報のみを抽出した受入債権一覧を作成します。
読込んだ通知ファイルの権利者口座情報に、自身の口座情報（通知先情報の口座情報）が設定されている債権を抽出します。

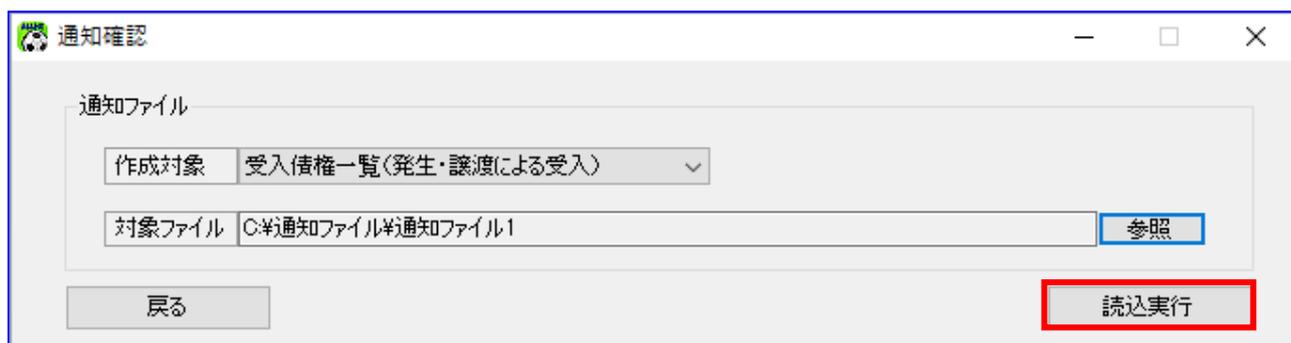
- 電子記録債権取引システムより取得した通知ファイルを読み込みます。
[参照]を押下します。



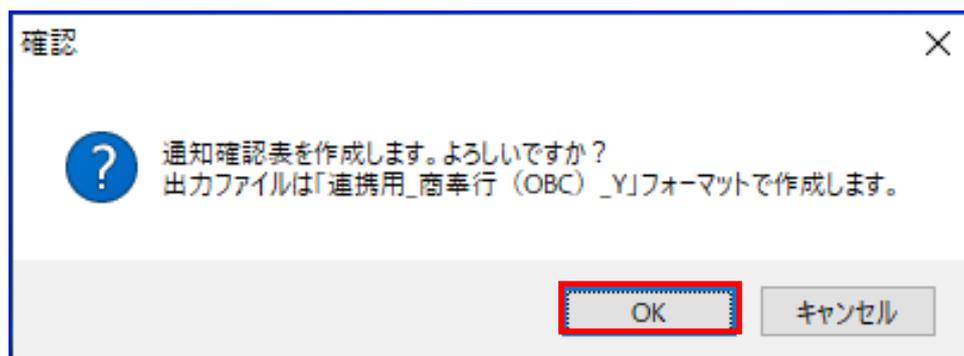
- [参照]を押下すると、ファイルを開くダイアログが表示されます。
内容を確認する通知ファイルを選択し、[開く]を押下します。



- ✚ 選択したファイルが対象ファイルに表示されます。
[読込実行]を押下します。



- ✚ [読込実行]を押下すると、確認ダイアログが表示されます。
よろしければ、[OK]を押下します。

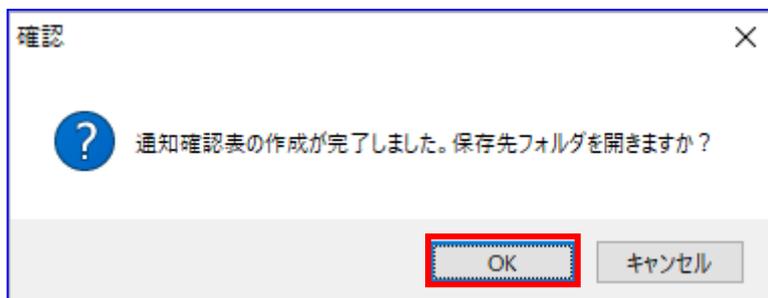


「**2.2.3 出力 CSV 設定を設定する**」で設定した使用フォーマット名（上記ダイアログの例では「連携用_商奉行 (OBC) _Y」）が表示されます。

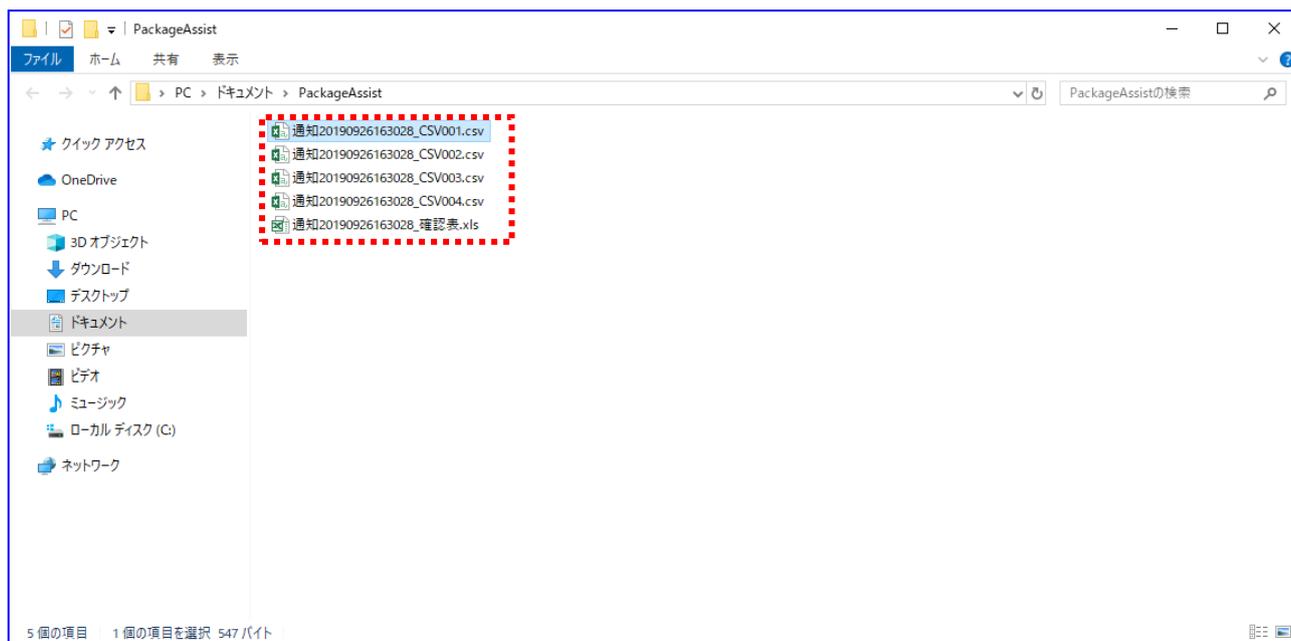


[OK]を押下後にエラーメッセージが表示される場合、トラブルシューティング「**2.1.10 連携エラー**」をご参照ください。

- 通知確認表の作成が完了すると、確認ダイアログが表示されます。作成した通知確認表の保存先を表示する場合、[OK]を押下します。



- 保存先フォルダが表示されますので、通知確認表、CSV ファイルが作成されていることを確認します。



通知確認表の作成時に出力されるファイルは下記の通りです。

通知確認表 : 通知 YYYYMMDDhhmmss_確認表.xls
CSV ファイル : 通知 YYYYMMDDhhmmss_CSVxxx.csv

3.1.2 通知情報を確認する

- 出力された通知確認表を開きます。
(通知確認表の詳細は、基本操作編「**6.2.8.1 通知確認表(概要)**」、「**6.2.8.2 通知確認表**」をご参照ください。)

通知確認表は、「概要シート」と「詳細シート」で構成されています。

- 「概要シート」には、各詳細シートにおける「出力ファイル」、「通知先情報」、「合計件数」、「合計金額」の一覧が出力されています。

例)通知確認表(概要シート)

通知確認表(概要) 出力日時: 2014/06/11 14:19:49

対象ファイル: 通知ファイル1

作成対象: 受入債権一覧(発生・譲渡による受入)

予約通知(出力条件): 出力しない

| No | シート名 | 出力ファイル | 通知先利用者番号 | 通知先名 | 通知先口座情報 | | | | 合計件数(件) | 合計金額(円) | | |
|----|----------|----------------------------|-----------|------------|---------|-------|-----|----|---------|---------|---|---------|
| 1 | 通知確認表001 | 通知20140611141949_CS001.csv | A12345678 | ツカワカブツ株式会社 | 0000 | ツカワカブ | 001 | ツカ | 2:当座 | 1110000 | 1 | 100,000 |
| 2 | 通知確認表002 | 通知20140611141949_CS002.csv | A12345678 | ツカワカブツ株式会社 | 0000 | ツカワカブ | 001 | ツカ | 2:当座 | 1110000 | 2 | 200,000 |
| 3 | 通知確認表003 | 通知20140611141949_CS003.csv | A12345678 | ツカワカブツ株式会社 | 0000 | ツカワカブ | 001 | ツカ | 2:当座 | 1110000 | 3 | 300,000 |
| 4 | 通知確認表004 | 通知20140611141949_CS004.csv | A12345678 | ツカワカブツ株式会社 | 0000 | ツカワカブ | 001 | ツカ | 2:当座 | 1110000 | 4 | 400,000 |

通知確認表(概要) / 通知確認表001 / 通知確認表002 / 通知確認表003 / 通知確認表004

概要シート 詳細シート

- 「詳細シート」には、読込んだ通知ファイルの通知先口座情報ごとの詳細情報が出力されています。

例)通知確認表(詳細シート)

通知確認表001 出力日時: 2014/06/11 14:19:49

出力ファイル: 通知20140611141949_CS001.csv

作成対象: 受入債権一覧(発生・譲渡による受入)

| | | | |
|-------------------|---------------------|---|--------------------|
| 予約通知(出力条件): 出力しない | 通知作成日: 2014/06/11 | 通知先利用者番号: A12345678 | 合計件数(件): 1 |
| 種別コード: 00:発生・譲渡通知 | 通知先名: ツカワカブツ株式会社 | 通知先口座情報: 0000 ツカワカブ 001 ツカ 2:当座 1110000 | 合計金額(円): 1,000,000 |
| 文字コード区分: 0:JIS | 電子記録年月日: 2014/06/11 | 義務者名: 債務者 | 譲渡制限: 0:無 |

| No | 区分 | 記録番号 | 債権金額(円) | 電子記録年月日 | 支払期日 | 債務者名 | 権利者名 | 義務者口座情報 | | | | 譲渡制限 | 依頼人 Ref.No. | 取消区分 | |
|----|------------------|----------------------|---------|------------|------|------|------|---------|-------|-----|----|------|-------------|---------------|--|
| 1 | 01:発生
(債務者請求) | 12345678901234567890 | 100,000 | 2014/06/11 | | 債務者 | 権利者 | 0000 | ツカワカブ | 001 | ツカ | 1:普通 | 1111111 | REF.NO.000001 | |
| | | | | 2014/06/27 | | 債権者 | 債務者 | 0000 | ツカワカブ | 001 | ツカ | 2:当座 | 1110000 | | |



「詳細シート」は、通知先口座情報（金融機関コード／支店コード／口座種別／口座番号）ごとに作成されます。

電子記録債権取引システムからダウンロードする際に、特定の通知先口座情報を指定した場合は、「詳細シート」が1つだけ作成されることになります。

出力ファイルも同様に、通知先口座情報の数だけ作成されます。



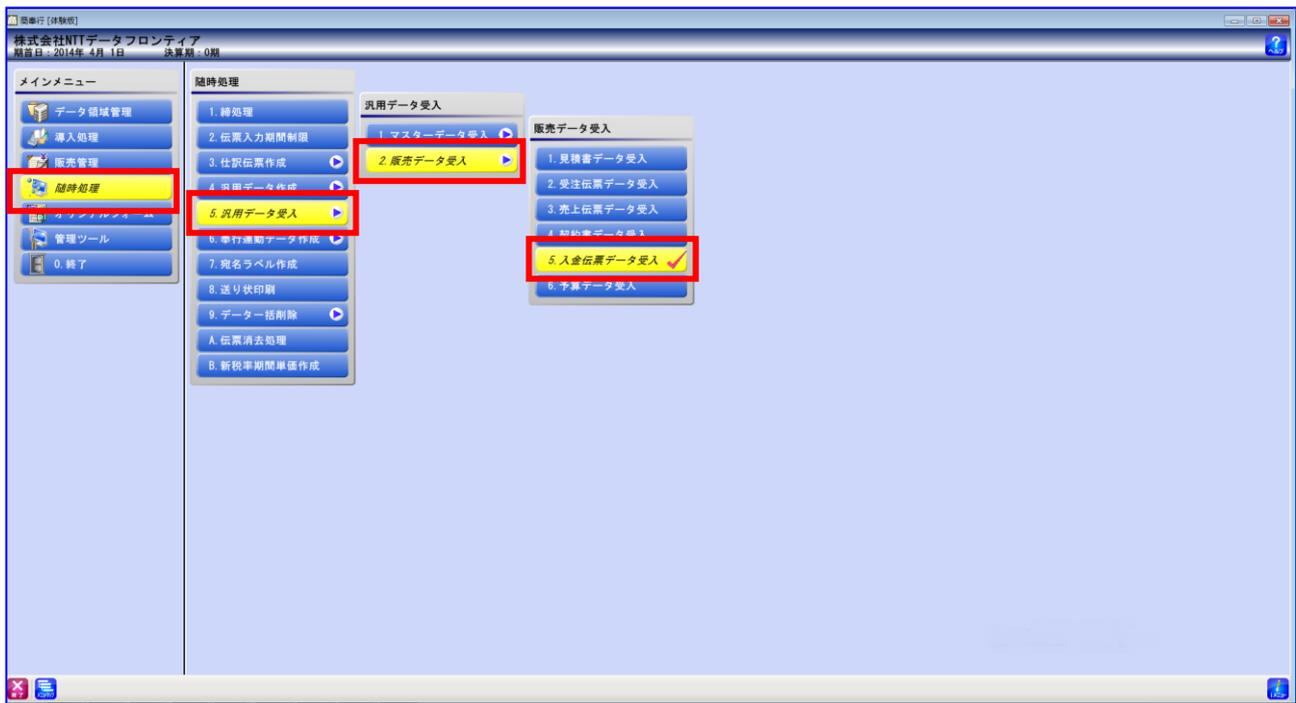
作成対象が「受入債権一覧（発生・譲渡による受入）」を選択した際は、条件に該当する債権が存在した通知先口座情報のみ詳細シートおよび出力ファイルが出力されます。

条件に該当する債権が存在しなかった通知先口座情報については、概要シートの「シート名」に「-（ハイフン）」が表示され、詳細シートおよび出力ファイルは出力されません。

3.1.3 入金伝票を作成する

「3.1.1 通知ファイルを読み込む」で作成した債権情報 CSV ファイルを「商奉行」で読み込み、入金伝票データを作成します。

「商奉行」を開き、[随時処理]>[汎用データ受入]>[販売データ受入]>[入金伝票データ受入]を押下します。



- ✦ [受入ファイル設定]の[参照]を押下し、受入元ファイル名に「**3.1.1 通知ファイルを読み込む**」で作成した債権情報 CSV ファイルを選択し、[受入開始]を押下します。（受入データ形式は「OBC 受入形式」を選択）

入金伝票データ受入 - 受入条件設定

受入ファイル設定 エラー情報設定

受入データ形式

[100] OBC受入形式 形式作成(S)...

詳細情報

区切文字 :
受入開始位置:

暦選択

西暦 和暦

受入元ファイル名

C:\Users\AssistUser\Documents\PackageAssist\通知020140611141949_CSV001.csv 参照(E)...

文字コード: Shift-JIS 変更(Q)...

OBCD001,DSRM007,DSRM001,DSRM002,DSRM003,DSRM004,DSRM005,DSRM006,DSRM008,DSRM201,DSRM203,DSRM20...
*, ,2014/06/11, ,0001, , , ,8, ,REF.NO.000001, , , ,

[参照...] ボタンをクリックし、受け入れる汎用データのファイル名を指定します。
ファイル名を指定すると、汎用データの内容が表示されます。
注意 汎用データの内容が文字化けして表示される場合は、[変更...] ボタンをクリックし、文字コードを変更します。
詳細⇒[操作説明] ボタン

キャンセル
操作説明(H)

- すべての債権情報 CSV データが受入済になったことを確認し、[閉じる]を押下します。

入金伝票データ受入 - 受入結果確認

確認内容 印刷設定 プリンタ設定

汎用データ受入が終了しました。
受入結果を確認できます。

内容確認

| | | |
|---|---------|----|
| <input checked="" type="radio"/> 受入済データ | 入金伝票件数 | 1件 |
| | ファイルの行数 | 1行 |
| <input type="radio"/> 未受入データ | 入金伝票件数 | 0件 |
| | ファイルの行数 | 0行 |

未受入データになった場合は、未受入データの内容を出力し、未受入理由をご確認ください。
未受入理由を参考に、未受入データを修正し、再度受け入れてください。
詳細⇒[操作説明]ボタン

印刷(P)
プレビュー(I)
転送(E)...
閉じる(C)
操作説明(H)



「3.1.1 通知ファイルを読み込む」にて複数の債権情報 CSV ファイルが作成された場合、本項の処理を CSV ファイル数分繰り返して受入を行ってください。



未受入データに件数が表示されている場合、[プレビュー]を押下し、エラー内容を確認してください。
また、「2 連携事前設定」の設定が正しく行われているか確認してください。

- ✚ 入金伝票の内容を確認します。
[販売管理]>[入金処理]>[入金伝票]を押下します。



- 入金伝票の内容を確認し、問題がある場合は本画面より修正を行います。
(入金伝票の修正方法については「商奉行」の操作説明をご参照ください。)

【対象の使用フォーマット：連携用_商奉行（OBC）_Yの場合の例】

入金伝票

参照 売掛金 汎用受入にて作成 登録件数 10

入金日付 2014年 6月11日 伝票No. 9

請求先 0001 取引先A株式会社

部門

担当者

| 行区 | 入金内容 | 金額 |
|-----|--|---------|
| 1 8 | 会社銀行: 01 〇〇〇〇銀行 債権期日: 2014年 08月27日
記録番号: 12345678901234567890 REF.No.000001 | 100,000 |

通知ファイルの債権情報

銀行名:

支店名:

口座情報:

合計 100,000

区分 0.現金 1.小切手 2.銀行振込 3.手形 4.相殺 5.値引 6.信託債権 8.電子記録債権 9.その他

[登録 : 2014/06/25 12:31:38]

F1 操作説明 F2 F3 付箋 F4 前伝票 F5 次伝票 F6 複写 F7 削除 F8 F9 修正 F10 中止 F11 F12 閉じる

【対象の使用フォーマット：連携用_商奉行（OBC）_Nの場合の例】

入金伝票

| | | | | |
|------|--------------|----------|------|----|
| 参照 | 売掛金 | 汎用受入にて作成 | 登録件数 | 12 |
| 入金日付 | 2014年 06月11日 | 伝票No. | 11 | |
| 請求先 | 0001 | | | |
| | 取引先A 株式会社 | | | |
| 部門 | | | | |
| 担当者 | | | | |

| 行 | 区 | 入金内容 | 金額 |
|---|---|--|---------|
| 1 | 8 | 会社銀行： 01 〇〇〇〇銀行 債権期日： 2014年 08月27日
記録番号： 12345678901234567890 | 100,000 |

通知ファイルの債権情報

| | |
|-------|--------------------|
| 請求No. | |
| 請求期間 | 自 年 月 日
至 年 月 日 |
| 前回請求額 | |
| 売上額 | |
| 入金額 | |
| 今回請求額 | |

銀行名：
支店名：
口座情報：

合計 100,000

区分 0.現金 1.小切手 2.銀行振込 3.手形 4.相殺 5.値引 6.信託債権 8.電子記録債権 9.その他

[登録： 2014/06/25 12:35:13]

[F1] 操作説明 [F2] [F3] 付箋 [F4] 前伝票 [F5] 次伝票 [F6] 複写 [F7] 削除 [F8] [F9] 修正 [F10] 中止 [F11] [F12] 閉じる

一括請求 Assist[®] Ver.2 操作マニュアル

連携編(商奉行)

2023年1月4日 第2.6版 発行

- ・本書の内容の一部あるいは全部(ソフトウェアおよびプログラムを含む)は、でんさいネット(全国銀行協会が提供する電子債権記録機関)を使用する目的に限り使用できるものとします。
 - ・なお、無断で複写・複製・転載・配布すること、および磁気または光記録媒体、コンピュータネットワーク上等へ入力することは、法律で認められた場合を除き、一括請求 Assist の著作者および販売者の権利の侵害となります。
 - ・本マニュアルに記載された内容、および本ソフトの仕様は改良のため、予告なく変更する場合があります。
-

一括請求 Assist[®] Ver.2

操作マニュアル

連携編(蔵奉行)

第 2.6 版

目次

| | |
|---------------------------|----|
| はじめに..... | 2 |
| 1 連携の概要..... | 3 |
| 1.1 連携の概要..... | 3 |
| 1.2 連携条件について..... | 4 |
| 1.3 連携の流れ..... | 8 |
| 2 連携事前設定..... | 9 |
| 2.1 蔵奉行事前設定..... | 9 |
| 2.1.1 暦表示を確認する..... | 9 |
| 2.1.2 仕入先を確認する..... | 11 |
| 2.2 本ソフトの事前設定..... | 15 |
| 2.2.1 共通設定情報を設定する..... | 15 |
| 2.2.2 取引先を設定する..... | 16 |
| 2.2.3 社内口座を設定する..... | 18 |
| 2.2.4 読込 CSV 設定を設定する..... | 19 |
| 2.2.5 固定値を設定する..... | 20 |
| 3 連携手順..... | 26 |
| 3.1 連携手順..... | 26 |
| 3.1.1 支払伝票を作成する..... | 26 |
| 3.1.2 支払伝票データを作成する..... | 30 |
| 3.1.3 一括請求ファイルを作成する..... | 36 |
| 3.1.4 支払伝票を更新する..... | 43 |

はじめに

本書では、本ソフトと株式会社オービックビジネスコンサルタントの仕入在庫管理ソフト「蔵奉行」との連携について、事前設定、連携手順を説明します。

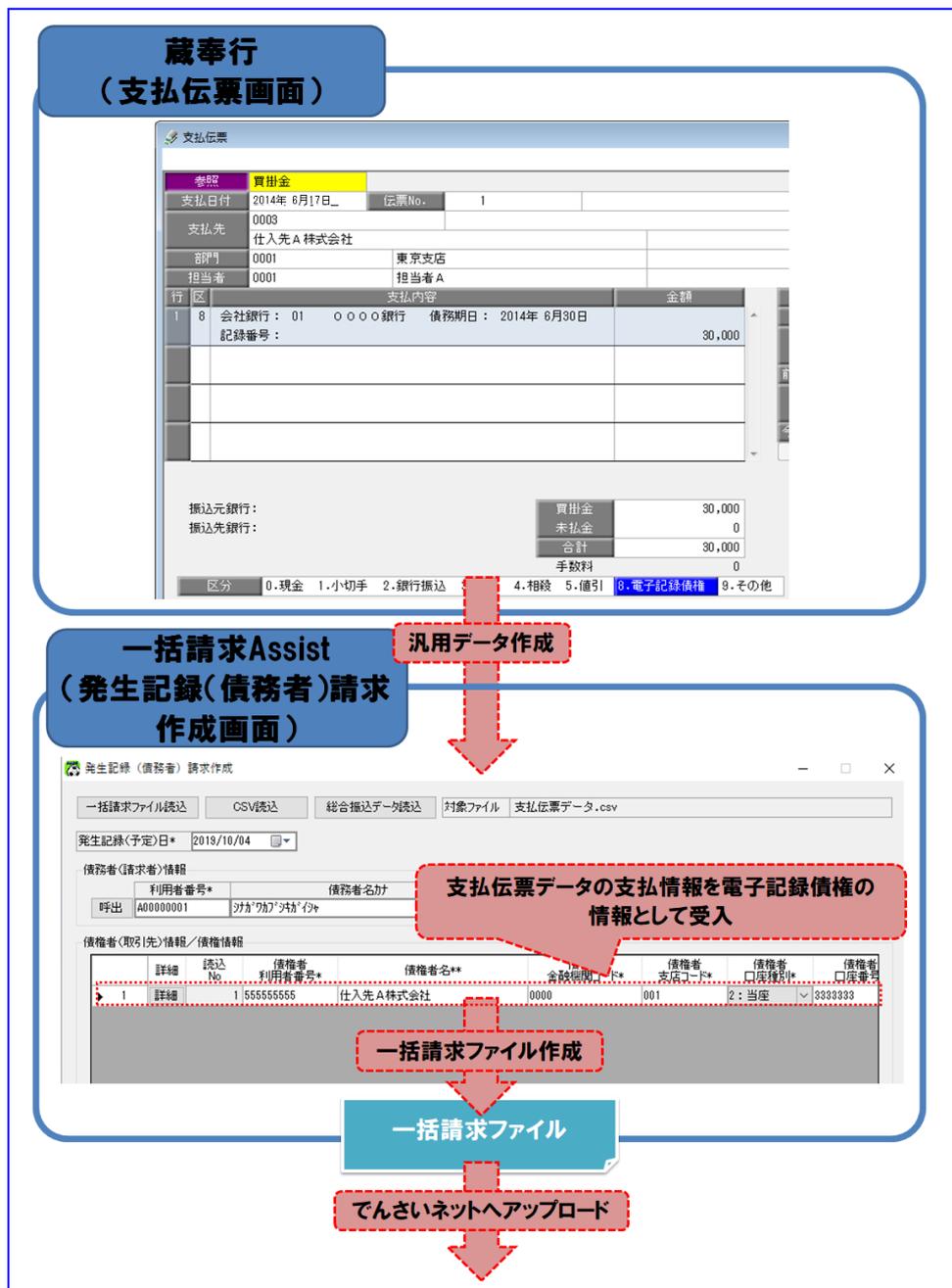
本書で使用する画面例については「蔵奉行 i8」のものとなります。会計ソフトのバージョンにより表示内容が異なる場合がありますが、操作方法に差異はありません。

本書に記載されていない「蔵奉行」のその他機能の詳細については、「蔵奉行」の操作説明をご参照ください。

1 連携の概要

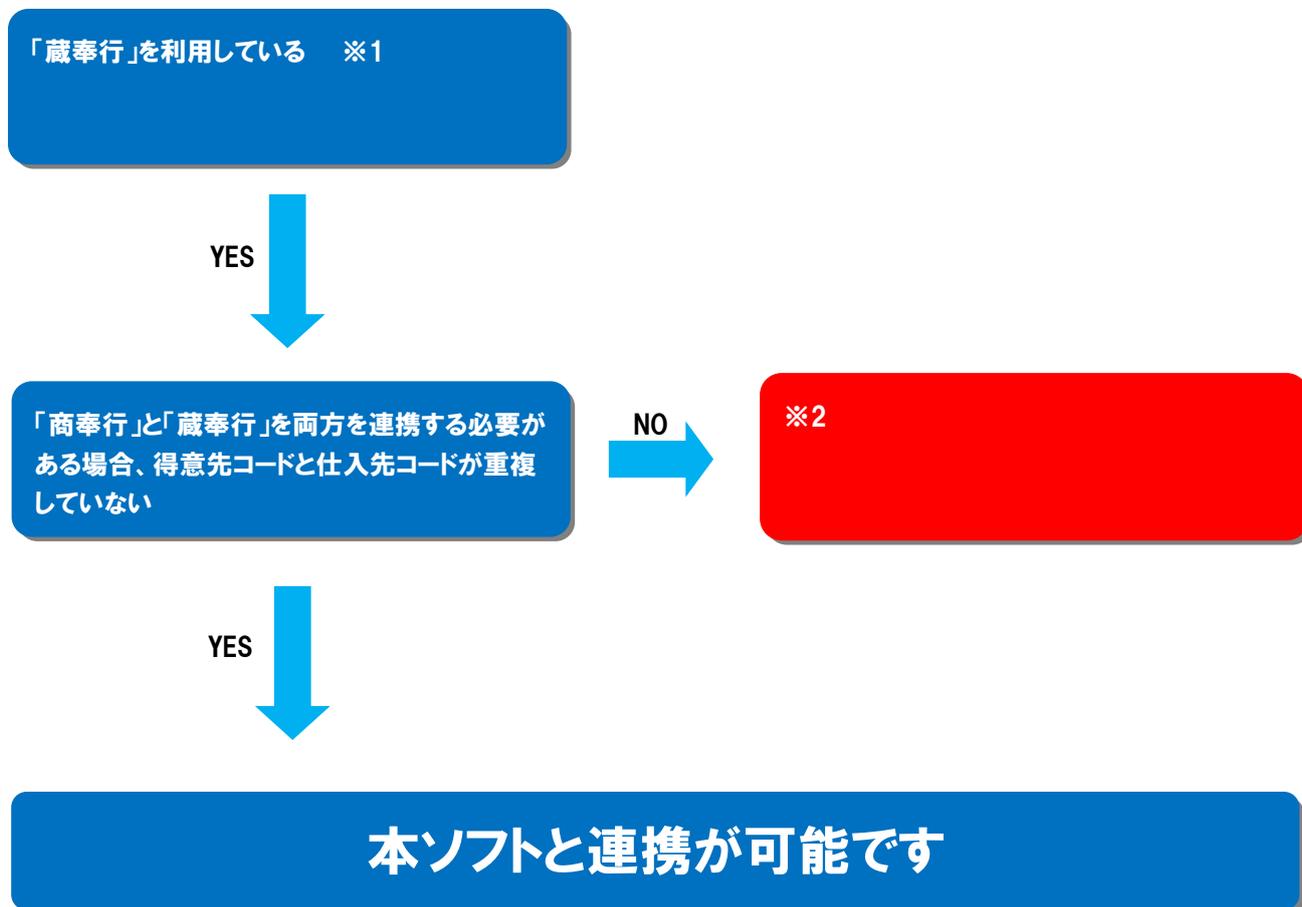
1.1 連携の概要

本ソフトは、「蔵奉行」から出力した支払伝票データを読み込み、電子記録債権の債務情報を付加した発生記録（債務者）一括請求ファイル（でんさいネット標準フォーマット（固定長テキスト形式）1.2版の集信1）を出力することができます。「蔵奉行」をご利用の場合、本ソフトと連携することにより、簡単に仕入先へ電子記録債権で支払うことができます。



1.2 連携条件について

本ソフトと連携が可能となる条件は下記の通りとなります。



※1 連携可能な商奉行のバージョンについては、株式会社 NTT データフロンティアのホームページをご参照ください。

※2「商奉行」と「蔵奉行」では、管理している「得意先コード」と「仕入先コード」を別管理しているため、それぞれに同一のコード値を設定することができますが、本ソフト上の「取引先管理画面」に設定する連携用の「取引先 ID」については、共通の設定になります。

そのため、「商奉行」と「蔵奉行」で管理している「得意先コード」と「仕入先コード」の値が重複しないように設定をする（桁数、コード値が異なる）必要があります。

※コード値が重複している場合についても、「商奉行」と「蔵奉行」のいずれかのコード値のみ本ソフトに登録することで、いずれかのソフトのみとの連携は可能です。

※例として「得意先コード：0001」「仕入先コード：00001」は本ソフトでは重複しないで設定可能です。そのため、「商奉行」「蔵奉行」のコード桁数設定で「得意先コード」と「仕入先コード」に異なる桁数を設定できる場合は「商奉行」と「蔵奉行」の両ソフトと連携可能になります。

一括請求Assist (取引先管理画面)

| 取引先ID | 取引先名* | 金融機関コード* | 支店コード* | 口座種別* | 口座番号* |
|-------|----------|----------|--------|-------|--------------|
| 1 | 取引先A株式会社 | 0000 | 001 | 2: 当座 | 1111111 0001 |
| 2 | 取引先B株式会社 | 0000 | 001 | 2: 当座 | 2222222 0002 |
| 3 | 仕入先A株式会社 | 0000 | 001 | 2: 当座 | 2222222 0003 |
| 4 | 仕入先B株式会社 | 0000 | 001 | 2: 当座 | 4444444 0004 |

商奉行 得意先登録画面

| 得意先コード | 得意先略称 | 得意先名1 | 得意先名2 |
|--------|----------|----------|-------|
| 0001 | 取引先A株式会社 | 取引先A株式会社 | |
| 0002 | 取引先B株式会社 | 取引先B株式会社 | |

蔵奉行 仕入先登録画面

| 仕入先コード | 仕入先略称 | 仕入先名1 | 仕入先名2 |
|--------|----------|----------|-------|
| 0003 | 仕入先A株式会社 | 仕入先A株式会社 | |
| 0004 | 仕入先B株式会社 | 仕入先B株式会社 | |

「商奉行」の「得意先コード」と「蔵奉行」の仕入先コードでコード値が重複しないように設定が必要

「商奉行」と「蔵奉行」の両ソフト連携可能例：
 ・得意先コードと仕入先コードの桁数が異なる
 ・得意先コードと仕入先コードのコード値に重複なし

一括請求Assist
 (取引先管理画面)

| 取引先名* | 全額振替コード* | 得意コード* | 口座種別* | 口座番号* |
|------------|----------|--------|-------|---------|
| 1 取引先A株式会社 | 0000 | 0001 | 2:当座 | 1111111 |
| 2 取引先B株式会社 | 0000 | 0001 | 2:当座 | 2222222 |
| 3 仕入先A株式会社 | 0000 | 0001 | 2:当座 | 3333333 |
| 4 仕入先B株式会社 | 0000 | 0001 | 2:当座 | 4444444 |

商奉行
 得意先登録画面

| 得意先コード | 得意先略称 | 得意先名1 | 得意先名2 |
|--------|----------|----------|-------|
| 0001 | 取引先A株式会社 | 取引先A株式会社 | |
| 0002 | 取引先B株式会社 | 取引先B株式会社 | |

得意先コード:0001、0002

両ソフトの連携が可能

蔵奉行
 仕入先登録画面

| 仕入先コード | 仕入先略称 | 仕入先名1 | 仕入先名2 |
|--------|----------|----------|-------|
| 00003 | 仕入先A株式会社 | 仕入先A株式会社 | |
| 00004 | 仕入先B株式会社 | 仕入先B株式会社 | |

仕入先コード:00003、00004

「商奉行」と「蔵奉行」の両ソフト連携可能例：
 ・得意先コードと仕入先コードの桁数が異なる
 ・得意先コードと仕入先コードのコード値に重複あり

一括請求Assist
 (取引先管理画面)

| 取引先名* | 全額振替コード* | 得意コード* | 口座種別* | 口座番号* |
|------------|----------|--------|-------|---------|
| 1 取引先A株式会社 | 0000 | 0001 | 2:当座 | 1111111 |
| 2 取引先B株式会社 | 0000 | 0001 | 2:当座 | 2222222 |
| 3 仕入先A株式会社 | 0000 | 0001 | 2:当座 | 3333333 |
| 4 仕入先B株式会社 | 0000 | 0001 | 2:当座 | 4444444 |

商奉行
 得意先登録画面

| 得意先コード | 得意先略称 | 得意先名1 | 得意先名2 |
|--------|----------|----------|-------|
| 0001 | 取引先A株式会社 | 取引先A株式会社 | |
| 0002 | 取引先B株式会社 | 取引先B株式会社 | |

得意先コード:0001、0002

両ソフトの連携が可能

蔵奉行
 仕入先登録画面

| 仕入先コード | 仕入先略称 | 仕入先名1 | 仕入先名2 |
|--------|----------|----------|-------|
| 00001 | 仕入先A株式会社 | 仕入先A株式会社 | |
| 00002 | 仕入先B株式会社 | 仕入先B株式会社 | |

仕入先コード:00001、00002

「商奉行」と「蔵奉行」の両ソフト連携可能例：
 ・得意先コードと仕入先コードが同一桁数
 ・得意先コードと仕入先コードのコード値に重複なし

一括請求Assist
 (取引先管理画面)

| 取引先番号 | 取引先名 | 金庫帳簿コード | 得意先コード | 口座種別 | 口座番号 |
|-------|----------|---------|--------|------|---------|
| 1 | 取引先A株式会社 | 0000 | 001 | 支：当座 | 1111111 |
| 2 | 取引先B株式会社 | 0000 | 001 | 支：当座 | 2222222 |
| 3 | 仕入先A株式会社 | 0000 | 001 | 支：当座 | 3333333 |
| 4 | 仕入先B株式会社 | 0000 | 001 | 支：当座 | 4444444 |

商奉行
 得意先登録画面

| 得意先コード | 得意先名称 | 得意先名1 | 得意先名2 |
|--------|----------|----------|-------|
| 0001 | 取引先A株式会社 | 取引先A株式会社 | |
| 0002 | 取引先B株式会社 | 取引先B株式会社 | |

得意先コード:0001,0002

蔵奉行
 仕入先登録画面

| 仕入先コード | 仕入先名称 | 仕入先名1 | 仕入先名2 |
|--------|----------|----------|-------|
| 0003 | 仕入先A株式会社 | 仕入先A株式会社 | |
| 0004 | 仕入先B株式会社 | 仕入先B株式会社 | |

仕入先コード:0003,0004

両ソフトの連携が可能

「商奉行」と「蔵奉行」のいずれかのみ連携可能例：
 ・得意先コードと仕入先コードが同一桁数
 ・得意先コードと仕入先コードのコード値に重複あり

一括請求Assist
 (取引先管理画面)

得意先コードと仕入先コードの桁数・
 コード値が同一であるため、「商奉行」と
 「蔵奉行」のいずれかのみ連携可能

商奉行
 得意先登録画面

| 得意先コード | 得意先名称 | 得意先名1 | 得意先名2 |
|--------|----------|----------|-------|
| 0001 | 取引先A株式会社 | 取引先A株式会社 | |
| 0002 | 取引先B株式会社 | 取引先B株式会社 | |

得意先コード:0001,0002

蔵奉行
 仕入先登録画面

| 仕入先コード | 仕入先名称 | 仕入先名1 | 仕入先名2 |
|--------|----------|----------|-------|
| 0001 | 仕入先A株式会社 | 仕入先A株式会社 | |
| 0002 | 仕入先B株式会社 | 仕入先B株式会社 | |

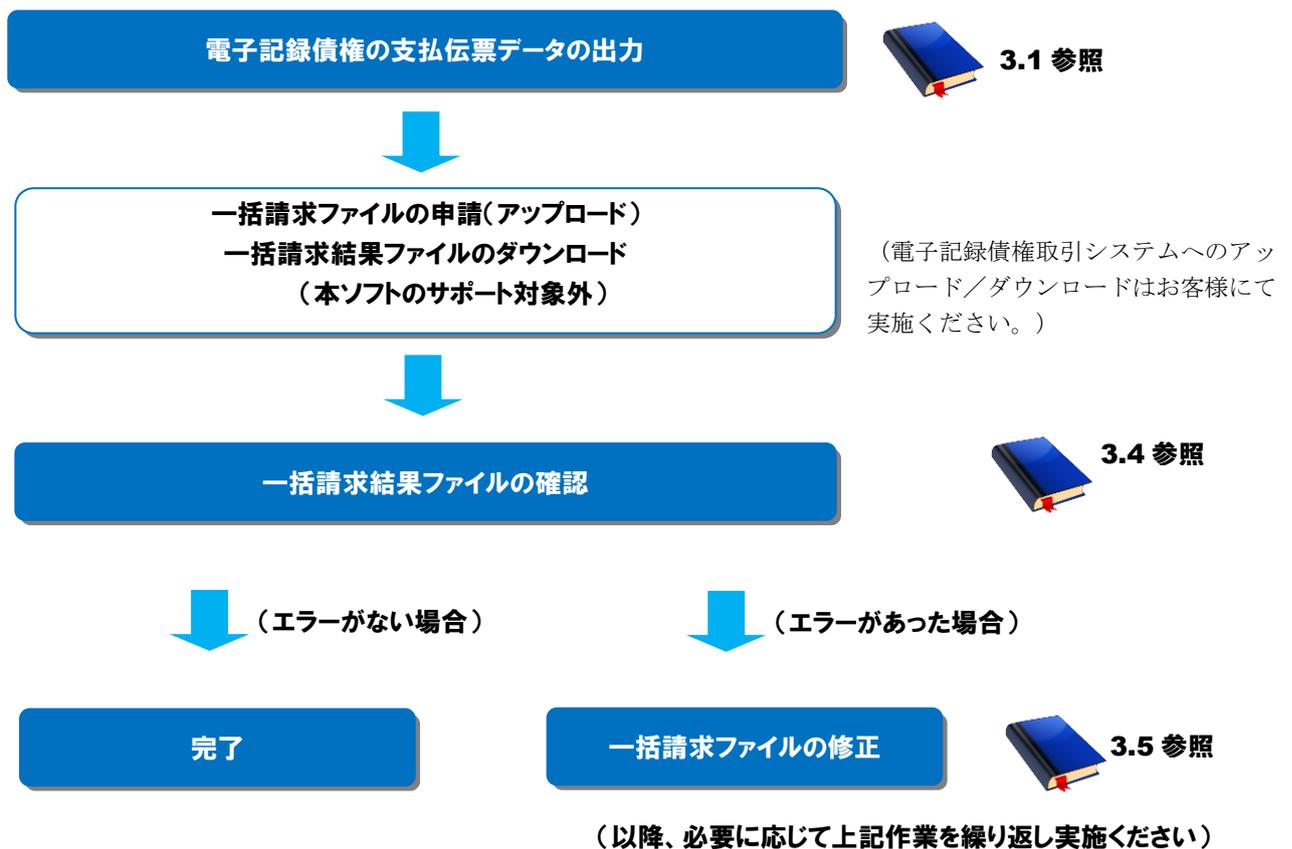
仕入先コード:0001,0002

1.3 連携の流れ

事前設定



連携手順



2 連携事前設定

2.1 蔵奉行事前設定

連携を行うための「蔵奉行」の事前設定方法を説明します。

操作手順

2.1.1
暦表示を確認する

2.1.2
仕入先を確認する

操作方法

2.1.1 暦表示を確認する

「蔵奉行」の暦表示が「西暦」となっているか確認します。

🏠 「蔵奉行」を開き、[導入処理]>[運用設定]>[会社運用設定]を押下します。



✚ 暦表示が「西暦」であることを確認します。

会社通用設定

会計期間設定

会計期や決算期などを入力します。

暦表示 西暦 和暦

会計期首 2014年 4月 1日

会計期末 2015年 3月 31日

決算期 第 0 期

開始残登録日 2014年 4月 1日

伝票入力開始日 2013年 4月 1日

F1 操作説明 F2 印刷 F3 F4 F5 F6 F7 F8 F9 F10 F11 ガイド F12 閉じる

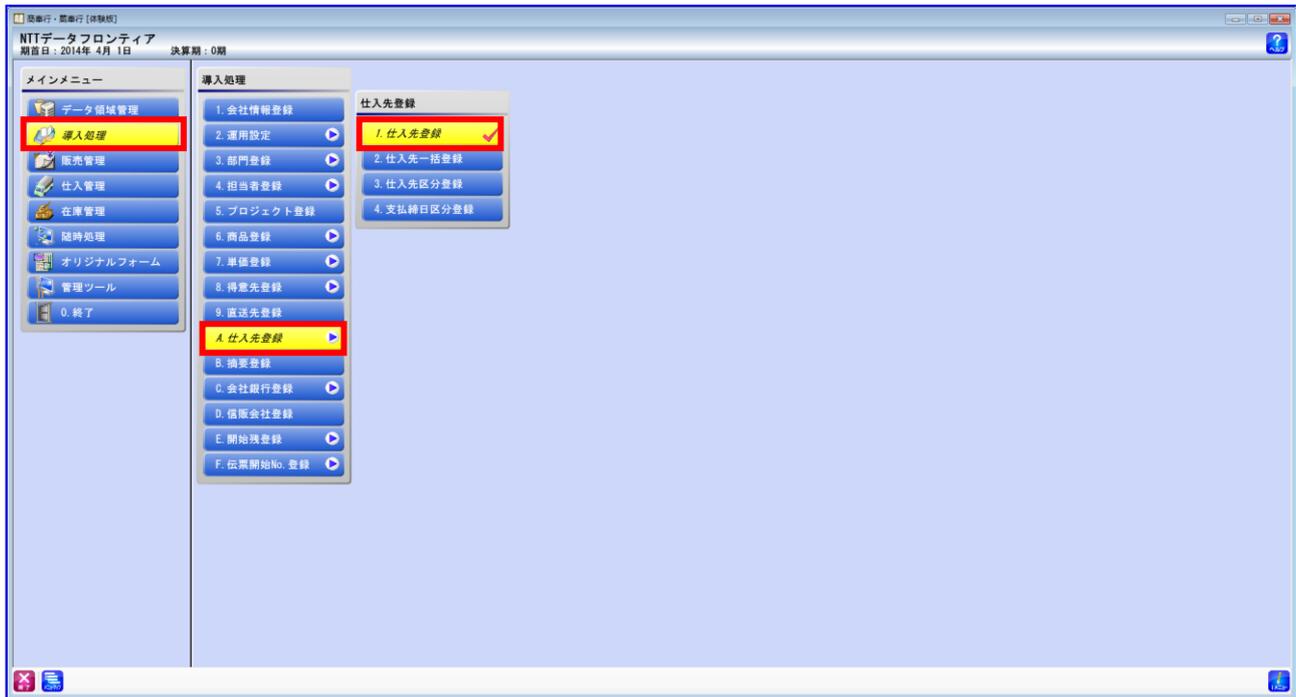


暦表示が「和暦」の場合、「**3.1.3 一括請求ファイルを作成する**」にてエラーが発生するため、本ソフトとの連携ができません。暦表示を変更する場合、伝票や管理資料での暦の表示方法が変更になりますのでご注意ください。

2.1.2 仕入先を確認する

連携で使用する仕入先が登録されているか確認します。

🏠 [導入処理] > [仕入先登録] > [仕入先登録] を押下します。



「仕入先コード」の[検索]を押下します。

仕入先登録

仕入先コード [検索]

仕入先名フリガナ

仕入先名 1

仕入先名 2

仕入先略称

登録件数

基本 属性 仕入 精算 支払 振込 メモ 相殺

利用状態

台帳インデックス

郵便番号

住所 1

住所 2

電話番号 FAX番号

ホームページ

担当者名

担当者部署名

担当者役職名

担当者電話番号 担当者携帯番号

担当者FAX番号

担当者E-Mail

敬称

操作ガイド

仕入先コード

【参考】

- コードは、数字、英大文字、英小文字、カナの順に並びます。
- コード桁数は、[コード桁数/項目名称設定]メニューで変更できます。
- 前ゼロを自動表示するかを、[会社機能設定]メニューで設定できます。

・英数カナ4～13桁
・検索⇒[Space]キー

[F1] 操作説明 [F2] 印刷 [F3] 短縮設定 [F4] [F5] 次データ [F6] 複写 [F7] 削除 [F8] 検索 [F9] 初期値 [F10] 設定 [F11] [F12] 閉じる

-
- 「即時検索しない」を選択し、[検索]を押下します。

仕入先検索

検索条件

仕入先名 1 が 1 を含む

無効な仕入先を含める 仕入先コード順で並べる

検索(S)

詳細設定(I)>>

即時検索しない

前の結果(P) 次の結果(N) OK キャンセル 操作説明(H)

- 仕入先に対応するレコードが存在することを確認します。
存在しない場合は、任意のコードで新規作成します。
(新規作成方法については「蔵奉行」の操作説明をご参照ください。)

仕入先検索

検索条件

仕入先名1 が を含む

無効な仕入先を含める 仕入先コード順で並べる

検索(S) 詳細設定(I)>>

1~2件目を表示

| 仕入先コード | 仕入先略称 | 仕入先名1 | 仕入先名2 |
|--------|----------|----------|-------|
| 0003 | 仕入先A株式会社 | 仕入先A株式会社 | |
| 0004 | 仕入先B株式会社 | 仕入先B株式会社 | |

電子記録債権で支払う仕入先

即時検索しない

前の結果(P) 次の結果(N) OK キャンセル 操作説明(H)



電子記録債権で支払う対象の仕入先をすべて登録する必要があります。
仕入先が増減した場合は、都度修正ください。
また、電子記録債権以外で支払う仕入先が登録されていても問題ありません。

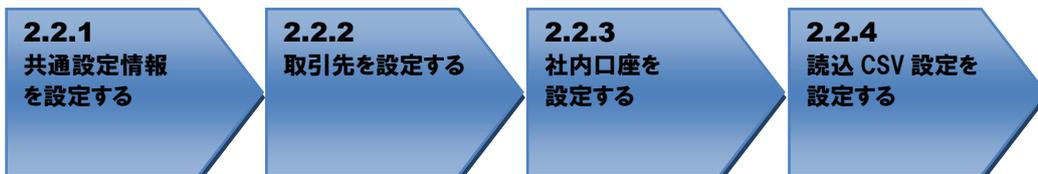


登録した「仕入先コード」「仕入先名1」は、「**2.2.2 取引先を設定する**」にて、本ソフト用の事前設定として使用するため、値をお控えください。

2.2 本ソフトの事前設定

連携を行うための本ソフトの事前設定方法を説明します。

操作手順



操作方法

2.2.1 共通設定情報を設定する

- 本ソフトのシステム設定画面を開き、共通設定情報の請求者利用者を「事務代行等での利用時」に設定し[保存]を押下します。

システム設定

共通設定情報

請求者利用者番号 通常利用時 事務代行等での利用時

ファイル出力先 C:\Users\%assist-user%\Documents\%Package Assist 参照

口座種別区分 別段を利用する 別段を利用しない

一括請求ファイル拡張子 付与する 付与しない

メニュー表示有無

発生記録(債権者)請求 表示する 表示しない

読込記録設定情報

保証連伴有無 選択可(保証有り/無し) 選択不可(保証有りのみ)

全額読渡時の金額入力 入力する 入力しない

通知確認設定情報

予約通知 出力する 出力しない

読込CSV設定

使用フォーマット 一括請求Assist標準 修正 削除 新規作成 ファイル読込 ファイル出力

出力CSV設定

使用フォーマット 一括請求Assist標準 修正 削除 新規作成 ファイル読込 ファイル出力

一括請求ファイル 出力する 出力しない

一括請求結果ファイル 出力する 出力しない

通知ファイル 出力する 出力しない

キャンセル 保存



請求者利用者を「事務代行等での利用時」に設定する際、下記のメッセージが表示されますが問題ありません。「請求者情報に複数の利用者番号を使用する場合（事務代行等での利用時）に設定してください。使用する利用者番号は社内口座管理画面で口座ごとに設定してください。」

2.2.2 取引先を設定する

- 本ソフトの取引先管理画面を開き、「2.1.2 仕入先を確認する」で登録した仕入先情報が登録されていることを確認します。登録されていない場合は新規に登録します。

| No. | 利用者番号* | 取引先名* | 金融機関コード* | 支店コード* | 口座種別* | 口座番号* | |
|-----|-----------|----------|----------|--------|-------|---------|-----|
| 1 | 555555555 | 仕入先A株式会社 | 0000 | 001 | 2:当座 | 3333333 | 001 |
| 2 | 666666666 | 仕入先B株式会社 | 0000 | 001 | 2:当座 | 4444444 | 001 |



本ソフトの[CSV 読み込み]を用いて「蔵奉行」の取引先情報を読み込むことはできません。

- 取引先 ID に仕入先コードを登録します。

蔵奉行 仕入先登録画面

電子記録債権で支払う仕入先

検索条件

仕入先名1 が

無効な仕入先を含める 仕入先コード順で並べ

1~2件目を表示

| 仕入先コード | 仕入先略称 | 仕入先名1 | 仕 |
|--------|------------|------------|---|
| 0003 | 仕入先 A 株式会社 | 仕入先 A 株式会社 | |
| 0004 | 仕入先 B 株式会社 | 仕入先 B 株式会社 | |

一括請求 Assist (取引先管理画面)

取引先管理

CSV誘込 CSV出力

取引先情報

| | 取引先名* | 金融機関コード* | 支店コード* | 口座種別* | 口座番号* |
|---|------------|----------|--------|-------|---------|
| 1 | 取引先 A 株式会社 | 0000 | 001 | 1: 普通 | 3333333 |
| 2 | 取引先 B 株式会社 | 0000 | 001 | 1: 普通 | 4444444 |

電子記録債権で支払う仕入先を全て登録する

行ジャンプ ジャンプ 検索 検索 エラージャンプ 次のエラー

*必須項目 戻る 更新



本ソフトへの登録時には、コピー&ペーストをするなどし、「蔵奉行」の設定値と完全に一致させてください。

2.2.3 社内口座を設定する

- 本ソフトの社内口座管理画面を開き、社内口座情報が登録されていることを確認します。登録されていない場合は新規に登録します。

| 利用者番号* | 利用者名(検索用)* | 利用者名カナ* | 金融機関コード* | 支店コード* | 口座種別* | |
|--------|------------|--------------|--------------|--------|-------|------|
| 1 | AAAAAAAAA | NTTデータフロンティア | NTTデータフロンティア | 0000 | 001 | 2:当座 |

社内口座情報を登録しない場合も連携は可能です。



社内口座情報を登録しない場合は、「**3.1.3 一括請求ファイルを作成する**」にて債務者（請求者）情報を社内口座選択画面からの入力ではなく、直接入力する必要があります。

2.2.4 読込 CSV 設定を設定する

- 本ソフトのシステム設定画面を開き、読込 CSV 設定の使用フォーマットに「連携用_蔵奉行 (OBC)」を選択し、[保存]を押下します。

The screenshot shows the 'システム設定' (System Settings) dialog box. The '読込CSV設定' (Import CSV Settings) section is highlighted. The '使用フォーマット' (Use Format) dropdown menu is open, showing the selection of '連携用_蔵奉行 (OBC)'. The '保存' (Save) button is highlighted with a red box.

| 設定項目 | 設定内容 |
|-------------|--|
| 請求者利用者番号 | <input type="radio"/> 通常利用時 <input checked="" type="radio"/> 事務代行等での利用時 |
| ファイル出力先 | C:\Users\%assist-user%\Documents\%PackageAssist 参照 |
| 口座種別区分 | <input type="radio"/> 別段を利用する <input checked="" type="radio"/> 別段を利用しない |
| 一括請求ファイル拡張子 | <input type="radio"/> 付与する <input checked="" type="radio"/> 付与しない |
| メニュー表示有無 | |
| 発生記録(債権者)請求 | <input checked="" type="radio"/> 表示する <input type="radio"/> 表示しない |
| 読込記録設定情報 | |
| 保証随伴有無 | <input checked="" type="radio"/> 選択可(保証有り/無し) <input type="radio"/> 選択不可(保証有りのみ) |
| 全額読込時の金額入力 | <input checked="" type="radio"/> 入力する <input type="radio"/> 入力しない |
| 通知確認設定情報 | |
| 予約通知 | <input type="radio"/> 出力する <input checked="" type="radio"/> 出力しない |
| 読込CSV設定 | |
| 使用フォーマット | 一括請求Assist標準 (修正 削除 新規作成 ファイル読込 ファイル出力) |
| 出力CSV設定 | |
| 使用フォーマット | 一括請求Assist標準 (修正 削除 新規作成 ファイル読込 ファイル出力) |
| 一括請求ファイル | <input checked="" type="radio"/> 出力する <input type="radio"/> 出力しない |
| 一括請求結果ファイル | <input checked="" type="radio"/> 出力する <input type="radio"/> 出力しない |
| 通知ファイル | <input checked="" type="radio"/> 出力する <input type="radio"/> 出力しない |

キャンセル 保存

2.2.5 固定値を設定する

読込 CSV フォーマット詳細設定画面を開き、譲渡制限有無を設定します。

🔗 読込 CSV 設定の[修正]を押下します。

システム設定

共通設定情報

請求者利用者番号 通常利用時 事務代行等での利用時

ファイル出力先 参照

口座種別区分 別段を利用する 別段を利用しない

一括請求ファイル拡張子 付与する 付与しない

メニュー表示有無

発生記録(債権者)請求 表示する 表示しない

譲渡記録設定情報

保証随伴有無 選択可(保証有り/無し) 選択不可(保証有りのみ)

全額譲渡時の金額入力 入力する 入力しない

通知確認設定情報

予約通知 出力する 出力しない

読込CSV設定

使用フォーマット 削除 新規作成 ファイル読込 ファイル出力

出力CSV設定

使用フォーマット 修正 削除 新規作成 ファイル読込 ファイル出力

一括請求ファイル 出力する 出力しない

一括請求結果ファイル 出力する 出力しない

通知ファイル 出力する 出力しない

キャンセル 保存

-
- ✚ 読込 CSV フォーマットの発生記録（債務者）請求の [設定] を押下します。

The screenshot shows a dialog box titled "読込CSVフォーマット共通設定" (Import CSV Format Common Settings). It is divided into two sections: "共通情報" (Common Information) and "読込CSVフォーマット" (Import CSV Format). In the "共通情報" section, there are two input fields: "フォーマット名" (Format Name) with the value "連携用 蔵奉行(OBC)" and "フォーマット形式" (Format Type) with the value "ヘッダレコード無". A "更新" (Update) button is located below these fields. The "読込CSVフォーマット" section contains a table of settings for different request types. The "発生記録(債務者)請求" (Incident Record (Debtor) Request) row has its "設定" (Settings) button highlighted with a red box. The other rows have "設定" buttons and a "※未設定" (Not Set) status.

| 読込CSVフォーマット | 設定 | ※未設定 |
|---------------|----|------|
| 発生記録(債務者)請求 | 設定 | |
| 発生記録(債権者)請求 | 設定 | ※未設定 |
| 譲渡記録請求 | 設定 | ※未設定 |
| 譲渡記録請求(複数取引先) | 設定 | ※未設定 |

Buttons: 閉じる (Close)

譲渡制限有無に「0：無」もしくは「1：有」を選択し、[保存]を押下します。

読込CSVフォーマット詳細設定

フォーマット名 フォーマット形式

対象ファイル

利用者情報の自動設定有無

CSV読込の際、口座情報もしくは利用者IDを条件に利用者情報を自動設定することができます。
口座情報を指定した場合は、利用者情報(利用者番号、利用者名)が自動設定されます。
利用者IDを指定した場合は、利用者情報(利用者番号、利用者名、口座情報)が自動設定されます。

債務者情報を社内口座管理より自動設定する 自動設定する 自動設定しない

債権者情報を取引先管理より自動設定する 自動設定する 自動設定しない

タイトル行有無

読込CSVの1行目にタイトル行が設定されている場合、2行目から読込を開始することができます。

タイトル行有(2行目から読込) タイトル行無(1行目から読込)

読込CSV項目設定

各項目の項目番号(読込位置)を指定してください。

| 項目名 | 項目番号 | 固定値 |
|---------------|------|-----|
| 債権者情報_利用者番号 | | |
| 債権者情報_債権者名 | | |
| 債権者情報_金融機関コード | | |
| 債権者情報_支店コード | | |
| 債権者情報_口座種別 | | |
| 債権者情報_口座番号 | | |
| 債権者情報_利用者ID | 3 | |
| 債権金額(円) | 7 | |
| 支払期日 | 6 | |
| 譲渡制限有無 #2 | | 0：無 |
| 依頼人Ref.No. | | |

*1 請求作成画面ヘッダ情報(読込CSVの全レコード、同一の値を設定してください。)
*2 固定値を設定した場合、CSV読込の際、請求作成画面の初期値として設定されます。(項目番号は設定できません。)

検索



選択した「譲渡制限有無」は、本ソフトと連携する際に、発生記録（債務者）請求作成画面の各レコードの「譲渡制限有無」に一律反映されます。

発生記録（債務者）請求作成

一括請求ファイル読込 CSV読込 総合振込データ読込 対象ファイル 支払伝票データ.csv

発生記録(予定)日* 2019/10/04

債務者(請求者)情報

| 利用者番号* | 債務者名か | 金融機関コード* | 支店コード* | 口座種別* | 口座番号* |
|--------------|-------------|----------|--------|-------|---------|
| 呼出 A00000001 | シカゴカブシキカイシャ | 0000 | 001 | 2: 当座 | 1100000 |

債権者(取引先)情報/債権情報

| 詳細 | 読込 No | 債権者 口座番号* | 債権金額(円)* | 支払期日* | 譲渡制限 有無* | 依頼人 Ref.No. |
|--------|-------|-----------|----------|------------|----------|-------------|
| ▶ 1 詳細 | 1 | 33 | 30,000 | 2019/11/01 | 0: 無 | |

行ジャンプ 検索 エラージャンプ

合計件数(件) 1
合計金額(円) 30,000

*必須項目 **一括請求ファイル出力対象外項目

戻る 一括請求ファイル作成

【参考】 読込 CSV フォーマット詳細設定画面の初期設定値

| No | 項目 | 項目番号 |
|----|--------------------------|-------------------|
| 1 | 利用者 ID の自動設定有無 | |
| 2 | 利用者情報の自動設定有無
(社内口座管理) | 自動設定しない |
| 3 | 利用者情報の自動設定有無
(取引先管理) | 自動設定する |
| 4 | タイトル行有無 | |
| 5 | タイトル行有無 | タイトル行有 (2 行目から読込) |
| 6 | 読込 CSV 項目設定 | |
| 7 | データレコード項目 | |
| 8 | 発生記録 (予定) 日 | 2 |
| 9 | 債務者情報_利用者番号 | - |
| 10 | 債務者情報_債務者名 | - |
| 11 | 債務者情報_金融機関コード | - |
| 12 | 債務者情報_支店コード | - |
| 13 | 債務者情報_口座種別 | - |
| 14 | 債務者情報_口座番号 | - |
| 15 | 債務者情報_利用者 ID | - |
| 16 | 債権者情報_利用者番号 | - |
| 17 | 債権者情報_債権者名 | - |
| 18 | 債権者情報_金融機関コード | - |
| 19 | 債権者情報_支店コード | - |
| 20 | 債権者情報_口座種別 | - |
| 21 | 債権者情報_口座番号 | - |
| 22 | 債権者情報_利用者 ID | 3 |
| 23 | 債権金額 (円) | 7 |
| 24 | 支払期日 | 6 |
| 25 | 譲渡制限有無 | - (固定値: 「0: 無」) |
| 26 | 依頼人 Ref. No. | - |

【参考】 読込 CSV ファイルフォーマット (※1)

| No | 項目名 | 内容 | 備考 |
|----|--------|--------------------|-------|
| 1 | 区切 | 蔵奉行：支払伝票データ、伝票区切 | 固定値：* |
| 2 | 支払日付 | 蔵奉行：支払伝票データ、支払日付 | |
| 3 | 支払先コード | 蔵奉行：支払伝票データ、支払先コード | |
| 4 | 支払先名 1 | 蔵奉行：支払伝票データ、支払先名 1 | |
| 5 | 支払先名 2 | 蔵奉行：支払伝票データ、支払先名 2 | |
| 6 | 債務期日 | 蔵奉行：支払伝票データ、債務期日 | |
| 7 | 支払金額 | 蔵奉行：支払伝票データ、支払金額 | |

※1 「**3.1.2 支払伝票データを作成する**」を実施することで出力されるファイルフォーマットです。

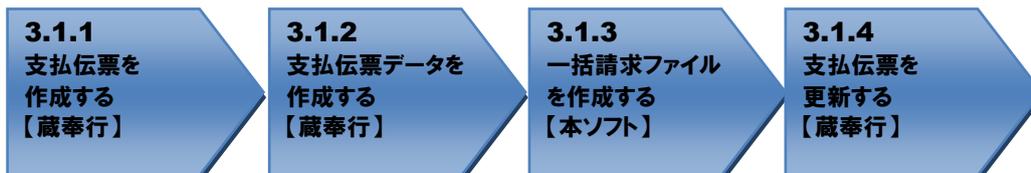
(CSV ファイルフォーマットの詳細については「蔵奉行」の操作説明をご参照ください。)

3 連携手順

3.1 連携手順

「蔵奉行」と本ソフトの連携手順を説明します。

操作手順



操作方法

3.1.1 支払伝票を作成する

支払伝票を作成します。

「蔵奉行」を開き、[仕入管理]>[支払処理]>[支払伝票]を押下します。



- 支払伝票を作成します。
下記項目を登録し、[終了]を押下します。

支払伝票 電子記録債権で支払う支払伝票

修正 買掛金 1 登録件数 3

支払日付 2014年 6月17日 1

支払先 0003 仕入先A株式会社 2

部門 0001 東京支店

担当者 0001 担当者A

| 行 | 区 | 支払内容 | 金額 |
|---|---|--|----------|
| 1 | 8 | 会社銀行：01 〇〇〇〇銀行 債務期日：2014年 6月30日
記録番号： 3 | 30,000 6 |

振込元銀行： 買掛金 30,000
振込先銀行： 未払金 0
合計 30,000
手数料 0

区分 0.現金 1.小切手 2.銀行振込 3.手形 4.相殺 5.値引 6.電子記録債権 9.その他

[登録： 2014/06/16 12:31:05] [修正： 2014/06/17 19:58:23]

F1 操作説明 F2 F3 付箋 F4 F5 振込情報 F6 F7 F8 F9 F10 中止 F11 F12 終了

金額を入力してください。([/]または[,]キーで、「000」を入力できます。)

| No | 項目 | 説明 |
|----|------|--|
| 1 | 支払日付 | 支払日付を入力します。 |
| 2 | 支払先 | 支払先コードを入力します。
[検索]を押下し、一覧から選択することも可能です。 |
| 3 | 区分 | 「8：電子記録債権」を入力します。 |
| 4 | 会社銀行 | 会社銀行を入力します。
[検索]を押下し、一覧から選択することも可能です。 |
| 5 | 債務期日 | 債務期日を入力します。 |
| 6 | 金額 | 金額を入力します。 |



表に記載のない項目は本ソフトへは連携されませんが、支払伝票には入力しても問題ありません。
また、記録番号については「**3.1.4 支払伝票を更新する**」で入力します。



本例では1件（明細）となりますが、最大30件（明細）を1伝票内で登録でき、連携することが可能です。
連携時における注意点は、「**3.1.2 支払伝票データを作成する**」をご確認ください。



1伝票内に区分「8：電子記録債権」以外を登録した場合、支払伝票の作成は正常終了しますが、本ソフトとの連携はできません。
連携する場合は1伝票内に区分「8：電子記録債権」の明細のみを登録してください。



支払伝票で入力した項目は、本ソフトの発生記録（債務者請求）作成画面に連携されます。連携される項目は下記の通りです。

発生記録（債務者）請求作成

一括請求ファイル読込 CSV読込 総合振込データ読込 対象ファイル 支払伝票データ.csv

発生記録(予定)日* 2019/10/04 **1**

債務者(請求者)情報

| | | | | | |
|-------------|------------|----------|--------|-------|---------|
| 利用者番号* | 債務者名* | 金融機関コード* | 支店コード* | 口座種別* | 口座番号* |
| 呼出 A0000001 | NTTデータメディア | 0000 | 001 | 2:当座 | 1100000 |

債権者(取引先)情報/債権情報

| 詳細 | 読込 No | 債権者利用者番号* | 債権者名** | 債権者金融機関コード* | 債権者支店コード* | 債権者口座種別* | 債権者口座番号* |
|-----|-------|-----------|----------|-------------|-----------|----------|----------|
| ▶ 1 | 詳細 | 155555555 | 仕入先A株式会社 | 0000 | 001 | 2:当座 | 13333333 |

画面左

エラージャンプ 検索 合計件数(件) 1 合計金額(円) 30,000

*必須項目 **一括請求ファイル出力対象外項目

戻る 一括請求ファイル作成

発生記録（債務者）請求作成

一括請求ファイル読込 CSV読込 総合振込データ読込 対象ファイル 支払伝票データ.csv

発生記録(予定)日* 2019/10/04

債務者(請求者)情報

| | | | | | |
|-------------|------------|----------|--------|-------|---------|
| 利用者番号* | 債務者名* | 金融機関コード* | 支店コード* | 口座種別* | 口座番号* |
| 呼出 A0000001 | NTTデータメディア | 0000 | 001 | 2:当座 | 1100000 |

債権者(取引先)情報/債権情報

| 詳細 | 読込 No | 債権者利用者番号* | 債権金額(円)* | 支払期日* | 返済制限 | 依頼人Ref No. |
|-----|-------|-----------|----------|------------|------|------------|
| ▶ 1 | 詳細 | 155555555 | 30,000 | 2019/11/01 | 0 | |

画面右

行ジャンプ 検索 エラージャンプ 合計件数(件) 1 合計金額(円) 30,000

*必須項目 **一括請求ファイル出力対象外項目

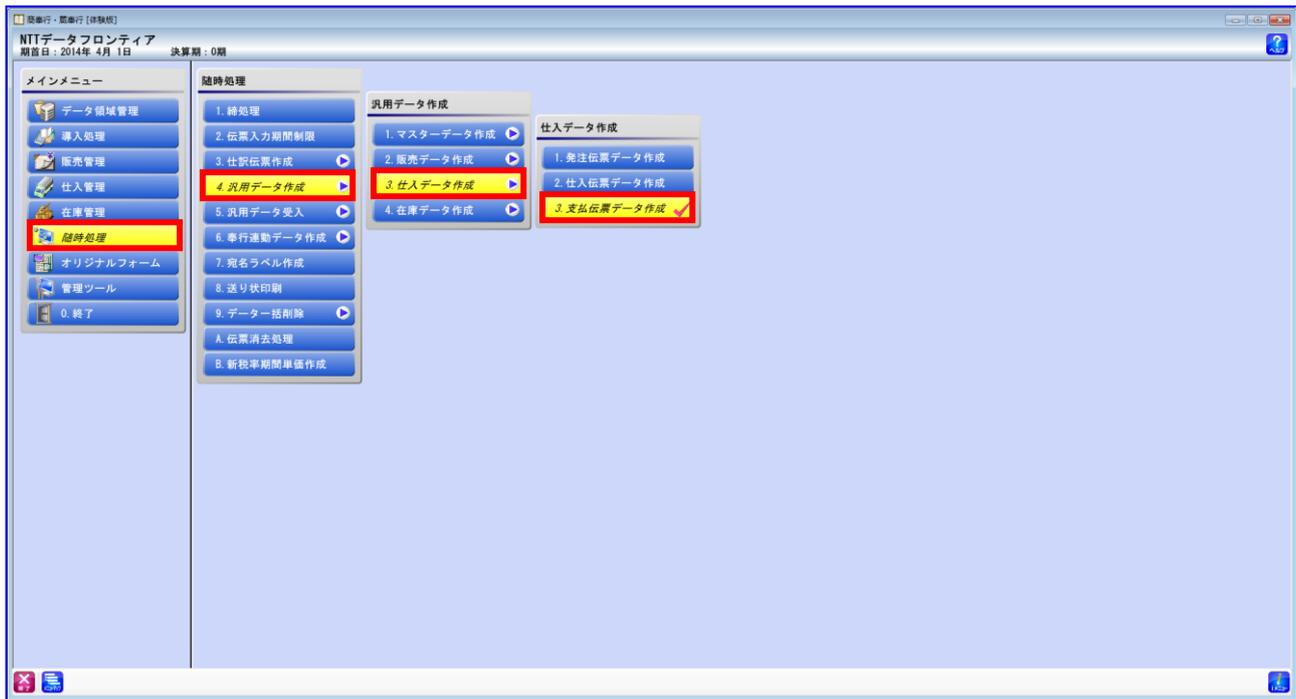
戻る 一括請求ファイル作成

| No | 項目 | 本ソフトへの連携先 |
|----|------|--|
| 1 | 支払日付 | 発生記録予定日 |
| 2 | 支払先 | 債権者（取引先）情報/債権情報の下記項目を支払先より補完して連携します。
利用者番号、債権者名、金融機関コード、支店コード、口座種別、口座番号 |
| 3 | 区分 | — |
| 4 | 会社銀行 | — |
| 5 | 債務期日 | 債権者（取引先）情報/債権情報の支払期日 |
| 6 | 金額 | 債権者（取引先）情報/債権情報の債権金額（円） |

3.1.2 支払伝票データを作成する

支払伝票データを作成します。

📌 [随時処理] > [汎用データ作成] > [仕入データ作成] > [支払伝票データ作成]を押下します。



✚ [新規]を押下します。

支払伝票データ作成 - 作成パターン選択

| パターンコード | パターン名 |
|---------|-------|
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |

リストから選択し、[OK]ボタンをクリックします。新しいパターンを作成する場合は、[新規]ボタンをクリックします。
詳細⇒[操作説明]ボタン

OK
新規(N)
複写(C)...
削除(D)
キャンセル
操作説明(H)



支払伝票データ作成は一度作成を実施するとパターンが作成されるため、次回受入時は[新規]を押下せず、作成されたパターンを選択して[OK]を押下します。
作成されたパターンを選択した場合は基本設定タブの範囲と出力設定タブの出力先ファイル名を修正して[出力開始]を押下します。

- 「編集する」にチェックをいれ、パターンコードに任意の番号を入力し、パターン名に用途がわかるように任意の名称を入力します。
範囲指定に支払日付を選択し、範囲に「**3.1.1 支払伝票を作成する**」で入力した支払伝票の支払日付を入力します。

支払伝票データ作成 - 出力条件設定

基本項目 | 利用情報 | 付箋情報 | 拡張項目 | 出力設定 | 項目選択

作成パターン

パターンコード 0000000001

パターン名 一括請求Assist連携用パターン 編集する

伝票区分 全範囲 作成区分 すべて

支払日付 2014年 6月17日 ~ 2014年 6月17日

指定なし ~

並び順

支払日付順 昇順 降順

コード 検索⇒[Space]キー
参考 最初～最後に戻すには、開始コード・終了コードの順に空欄にします。

名称/摘要 部分一致検索です。入力した文字を含む伝票が検索されます。

状態区分 「0：通常」「2：前払金振替」「3：返金」を指定します。

詳細⇒[操作説明]ボタン

出力開始(E)

コード保存(C)

キャンセル

操作説明(H)



範囲の開始日付と終了日付の両方に、支払伝票で入力した支払日付（同じ日付）を入力してください。
支払日付が異なる複数の支払伝票を作成した場合、「**3.1.2 支払伝票データを作成する**」を繰り返し実施し、複数の支払伝票データを作成します。

出力設定タブのファイルの種類に転送ファイルを選択し、作成形式にカンマ区切を選択します。
[参照]を押下し、出力先ファイル名を入力します。

支払伝票データ作成 - 出力条件設定

基本項目 利用情報 付箋情報 拡張項目 出力設定 項目選択

ファイルの種類
 転送ファイル Excelファイル

作成形式
 カンマ区切 タブ区切 OBC受入形式
文字コード: Shift-JIS 変更(G)...

出力先ファイル名
s¥AssistUser¥Documents¥PackageAssist¥支払伝票データ.csv 参照(B)...

[参照...] ボタンをクリックし、ファイルの出力先とファイル名を設定します。

出力開始(E)
コード保存(C)
キャンセル
操作説明(H)

- 項目選択タブの項目種類に支払伝票を選択します。
 選択項目より「支払日付」「支払先」「債務期日」「支払金額」を選択して[選択]を押下し、選択済項目に反映されることを確認します。
 各設定が完了しましたら[出力開始]を押下します。

支払伝票データ作成 - 出力条件設定

基本項目 | 利用情報 | 付箋情報 | 拡張項目 | 出力設定 | 項目選択

項目種類
 支払伝票

選択項目

| 項目名 | |
|---------|--|
| 伝票区分 | |
| 伝票No. | |
| 部門 | |
| 担当者 | |
| 支払内訳 | |
| 支払区分 | |
| 申告書計算区分 | |
| 税率 | |
| 明細摘要 | |
| 手形期日 | |

全選択(A)

選択(S)

全削除(L)

削除(D)

選択済項目

| 項目名 | |
|------|--|
| 支払日付 | |
| 支払先 | |
| 債務期日 | |
| 支払金額 | |

出力開始(E)

コード保存(C)

キャンセル

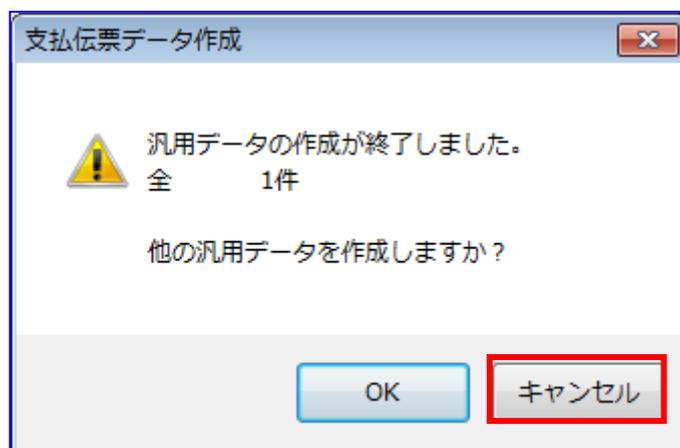
操作説明(H)

作成する項目を選択し、[選択]ボタンをクリックします。
 [Shift]キーまたは[Ctrl]キーを押しながら選択すると、複数の項目を一度に選択できます。
 詳細⇒[操作説明]ボタン



選択済項目は「支払日付」「支払先」「債務期日」「支払金額」の順に設定してください。

📌 下記ダイアログの[キャンセル]を押下します。



ダイアログに表示される件数には、支払伝票の明細数ではなく、支払伝票の数が表示されます。



作成された支払伝票データを「**3.1.3 一括請求ファイルを作成する**」で本ソフトに読み込みますが、支払伝票の明細データの件数が1,000件を超える場合、本ソフトでエラーが発生します。

大量の支払伝票の明細データを作成する場合、支払伝票の明細が1,000件作成したタイミングで支払伝票データを作成する等の対処が必要になります。



支払日付が異なる複数の支払伝票を作成した場合、[OK]を押下し、繰り返し複数の支払伝票データを作成します。

3.1.3 一括請求ファイルを作成する

「3.1.2 支払伝票データを作成する」で作成した支払伝票データを本ソフトで読み込み、一括請求ファイルを作成します。

- 本ソフトの発生記録（債務者）請求作成画面を開き、[CSV 読込]を押下します。

発生記録（債務者）請求作成

一括請求ファイル読込 **CSV読込** 総合振込データ読込 対象ファイル

発生記録(予定)日* 2019/10/04

債務者(請求者)情報

| 呼出 | 利用者番号* | 債務者名か | 金融機関コード* | 支店コード* | 口座種別* | 口座番号* |
|----|--------|-------|----------|--------|-------|-------|
| | | | | | ▼ | |

債権者(取引先)情報/債権情報

| | 詳細 | 読込 No | 債権者利用者番号* | 債権者名** | 債権者金融機関コード* | 債権者支店コード* | 債権者口座種別* | 債権者口座番号 |
|-----|----|-------|-----------|--------|-------------|-----------|----------|---------|
| ▶ 1 | 詳細 | | | | | | ▼ | |

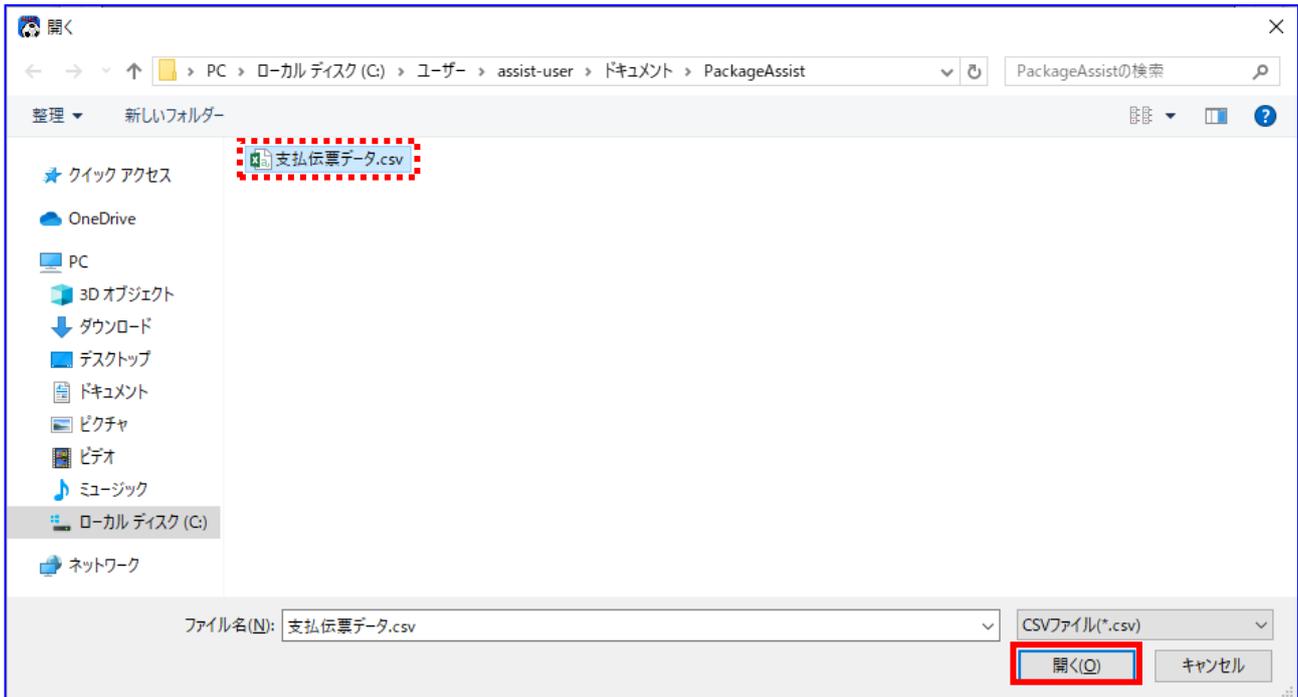
行ジャンプ ジャンプ 検索 検索 エラージャンプ 次のエラー

| | |
|---------|---|
| 合計件数(件) | 1 |
| 合計金額(円) | 0 |

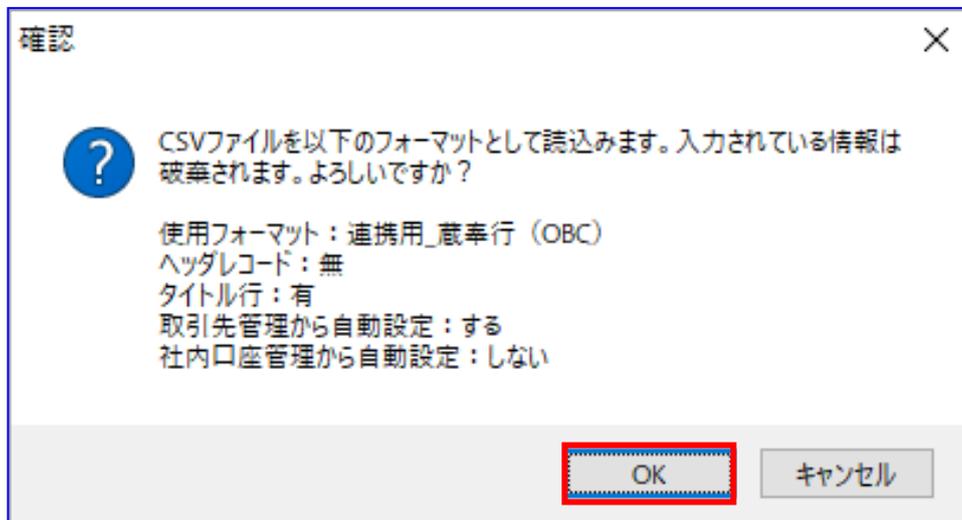
*必須項目 **一括請求ファイル出力対象外項目

戻る 一括請求ファイル作成

✚ 支払伝票データを選択し、[開く]を押下します。



✚ 下記ダイアログの[OK]を押下します。



- 発生記録（債務者）請求作成画面に支払伝票データが表示されます。債務者（請求者）情報を入力するため、[呼出]を押下します。

発生記録（債務者）請求作成

一括請求ファイル読込 CSV読込 総合振込データ読込 対象ファイル 支払伝票データ.csv

発生記録(予定)日* 2019/10/04

債務者(請求者)情報

| | | | | | | |
|----|--------|-------|----------|--------|-------|-------|
| 呼出 | 利用者番号* | 債務者名か | 金融機関コード* | 支店コード* | 口座種別* | 口座番号* |
|----|--------|-------|----------|--------|-------|-------|

債権者(取引先)情報/債権情報

| 詳細 | 読込 No | 債権者
利用者番号* | 債権者名** | 債権者
金融機関コード* | 債権者
支店コード* | 債権者
口座種別* | 債権者
口座番号 |
|--------|-------|---------------|-----------|-----------------|---------------|--------------|-------------|
| ▶ 1 詳細 | 1 | 55555555 | 仕入先 A株式会社 | 0000 | 001 | 2:当座 | 3333333 |

電子記録債権で支払う支払伝票データ

行ジャンプ 検索 エラージャンプ

合計件数(件) 1
合計金額(円) 999,999,999

*必須項目 **一括請求ファイル出力対象外項目

戻る 一括請求ファイル作成



「3.1.1 支払伝票を作成する」で作成した支払伝票の支払日付は「発生記録（予定）日」に連携されますが、支払日付に過去日を入力した場合、「発生記録（予定）日」はエラーになります。

「3.1.1 支払伝票を作成する」で作成した支払伝票の支払日付を当日以降の日付に修正し、本画面の「発生記録（予定）日」もあわせて修正してください。

- 社内口座を選択し、[選択]を押下します。

社内口座選択

検索条件

| | |
|-----------|--------------------------------|
| 利用者番号 | <input type="text"/> |
| 利用者名(検索用) | <input type="text"/> |
| 利用者名か | <input type="text"/> |
| 金融機関コード | <input type="text"/> |
| 支店コード | <input type="text"/> |
| 口座種別 | <input type="text" value="v"/> |
| 口座番号 | <input type="text"/> |
| 社内口座ID | <input type="text"/> |

検索 検索条件クリア

社内口座情報

| 選択 | 利用者番号 | 利用者名(検索用) | 利用者名か | 金融機関コード | 支店コード | 口座種別 |
|-------------------------------------|-----------|--------------|--------------|---------|-------|------|
| <input checked="" type="checkbox"/> | AAAAAAAAA | NTTデータフロンティア | NTTデータフロンティア | 0000 | 001 | 2:当座 |

閉じる

- 債務者（請求者）情報に社内口座情報が表示されます。
表示内容に誤りがないことを確認し、[一括請求ファイル作成]を押下します。

発生記録（債務者）請求作成

一括請求ファイル読込 CSV読込 総合振込データ読込 対象ファイル 支払伝票データ.csv

発生記録(予定)日* 2019/10/04

自社の口座情報

| 利用者番号* | 債務者名** | 金融機関コード* | 支店コード* | 口座種別* | 口座番号* |
|--------|-----------|------------|--------|-------|--------------|
| 呼出 | AAAAAAAAA | NTTデータロジック | 0000 | 001 | 2:当座 1100001 |

債権者(取引先)情報/債権情報

| 詳細 | 読込No | 債権者利用者番号* | 債権者名** | 債権者金融機関コード* | 債権者支店コード* | 債権者口座種別* | 債権者口座番号 |
|----|------|-----------|-----------|-------------|-----------|----------|--------------|
| 1 | 詳細 | 1 | 555555555 | 仕入先A株式会社 | 0000 | 001 | 2:当座 3333333 |

電子記録債権で支払う支払伝票データ

行ジャンプ 検索 エラージャンプ 合計件数(件) 1 合計金額(円) 999,999,999

*必須項目 **一括請求ファイル出力対象外項目

戻る **一括請求ファイル作成** キャンセル

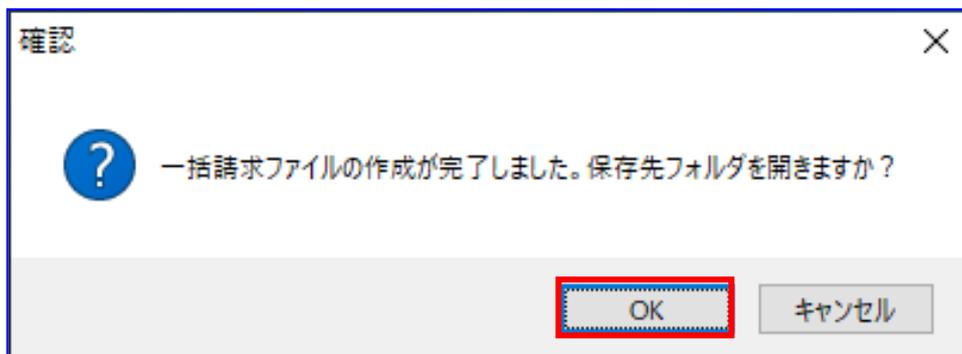
- 下記ダイアログの[OK]を押下します。

確認

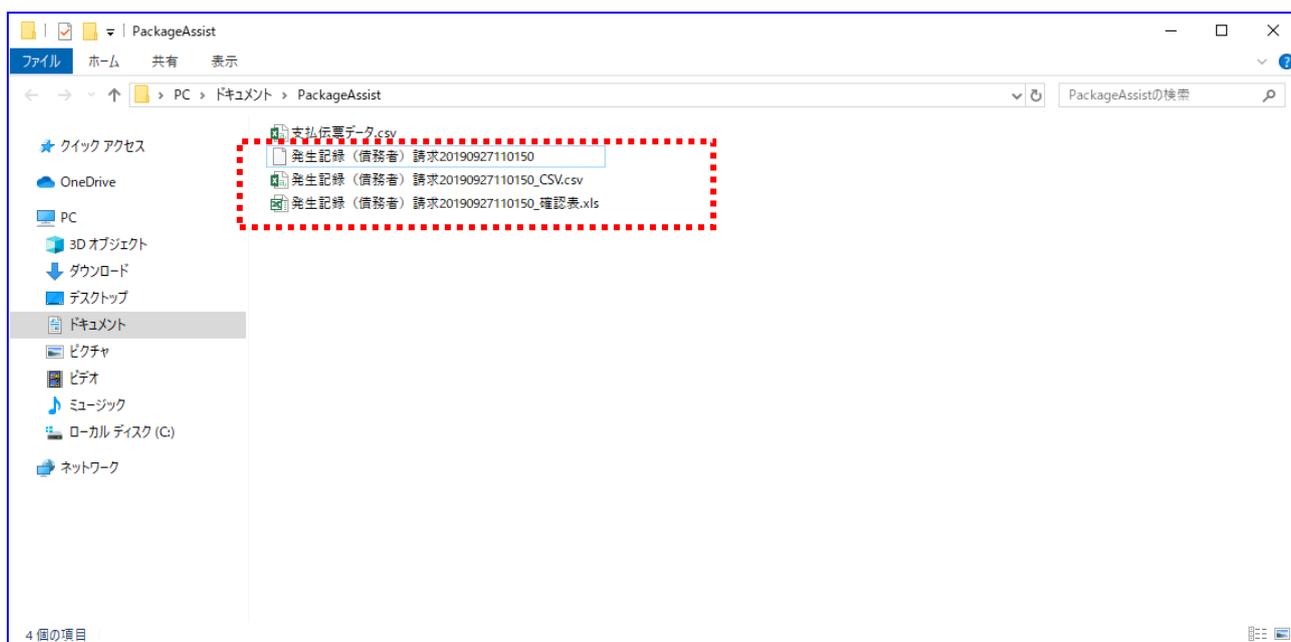
一括請求ファイルを作成します。よろしいですか?

OK キャンセル

- ✚ 下記ダイアログの[OK]を押下します。



- ✚ 保存先フォルダが表示されますので、一括請求ファイル、一括請求確認表が作成されていることを確認します。
(CSV ファイルは、システム設定画面にて「出力 CSV 設定」の「一括請求ファイル」を「出力する」に設定している場合のみ出力されます。)



一括請求ファイルの作成時に出力されるファイルは下記の通りです。



| | |
|----------|--|
| 一括請求ファイル | : 発生記録 (債務者) 請求 YYYYMMDDhhmmss※ |
| CSV ファイル | : 発生記録 (債務者) 請求 YYYYMMDDhhmmss_CSV.csv |
| 一括請求確認表 | : 発生記録 (債務者) 請求 YYYYMMDDhhmmss_確認表.xls |

※システム設定画面「共通設定情報」の「一括請求ファイル拡張子」にて「付与する」を選択した場合、設定した拡張子が付与されます。

- 出力された一括請求確認表を確認し、想定した請求内容になっていることをご確認ください。
(一括請求確認表の詳細は、基本操作編「**6.2.2 発生記録(債務者)請求確認表**」、
「**6.2.3 発生記録(債権者)請求確認表**」をご参照ください。)

請求内容に誤りがある場合は、再度「**3.1.1 支払伝票を作成する**」を実施し、該当箇所を修正の上、一括請求ファイルを作成してください。

例)発生記録(債務者)請求確認表

| 発生記録(債務者)請求確認表 | | | | | | | | | | 出力日時:2014/06/17 16:40:01 | | | |
|----------------------------------|-----------|----------|---------|-------|---------|---------|---------|------------|------------|--------------------------|--|--------|--|
| 対象ファイル:発生記録(債務者)請求20140617164001 | | | | | | | | | | | | | |
| 発生記録(予定)日 | | | | | | | | | | 2014/06/17 | | | |
| 債務者(請求者)情報 | | | | | | | | | | | | | |
| 利用者番号 | 債務者名 | 金融機関コード | 支店コード | 口座種別 | 口座番号 | 合計件数(件) | | 1 | | 合計金額(円) | | 30,000 | |
| A0000001 | NTTサービス | 0000 | 001 | 2:当座 | 1100000 | | | | | | | | |
| 債権者(取引先)情報/債権情報 | | | | | | | | | | | | | |
| No | 利用者番号 | 債権者名 | 金融機関コード | 支店コード | 口座種別 | 口座番号 | 債権金額(円) | 支払期日 | 譲渡制限
有無 | 依頼人RefNo. | | | |
| 1 | 153555555 | 住入先米株式会社 | 0000 | 001 | 2:当座 | 3333333 | 30,000 | 2014/06/30 | 0:無 | | | | |

- 電子記録債権取引システムへの一括請求ファイル申請(アップロード)作業を実施してください。
電子記録債権取引システムより一括請求結果が返却後、業務編「**3.4 発生記録(債務者/債権者)請求の一括請求結果確認**」を実施してください。

例)一括請求結果確認表

| 一括請求結果確認表 | | | | | | | | | | 出力日時:2014/06/17 17:11:11 | | | |
|------------------------------------|------------------|----------------------|---------|--------------------------|----------------|--------------|--------------------|--------------|--------------------|--------------------------|--|--------|--|
| 読み込みファイル:発生記録(債務者)請求20140617164001 | | | | | | | | | | | | | |
| 結果 | | | | | | | | | | 正常 | | | |
| 通知作成日 | | | | | | | | | | 2014/06/17 | | | |
| 通知先利用者番号 | | | | | | | | | | A0000001 | | | |
| 種別コード | 00:発生・譲渡通知 | 通知先名 | | NTTサービス | | 合計件数(件) | | 1 | | 合計金額(円) | | 30,000 | |
| 文字コード区分 | 0:JIS | 通知先口座情報 | | 0000 001 2:当座 1100000 | | | | | | | | | |
| No | 区分 | 記録番号 | 債権金額(円) | 電子記録年月日
支払期日 | 債務者名
権利者名 | | 債務者口座情報
権利者口座情報 | | 譲渡制限
有無 | 依頼人RefNo. | | | |
| 1 | 01:発生
(債務者請求) | A0000000100000100000 | 30,000 | 2014/06/17
2014/06/30 | 債務者
NTTサービス | 0000
0000 | 001
001 | 2:当座
2:当座 | 1100000
3333333 | 0:無 | | | |

3.1.4 支払伝票を更新する

支払伝票の記録番号を入力し、支払伝票を更新します。

「蔵奉行」を開き、[仕入管理]>[支払処理]>[支払伝票]を押下します。



- 「3.1.3 一括請求ファイルを作成する」で出力した一括請求結果確認表をもとに、「3.1.1 支払伝票を作成する」で作成した支払伝票の記録番号を入力して設定します。
(修正の操作方法については「蔵奉行」の操作説明をご参照ください。)

一括請求Assist
(一括請求結果確認表)

一括請求結果確認表

読込ファイル:発生記録(債務者)請求20140617164001

| | | | | | |
|---------|------------|----------|------------|------|------|
| 結果 | 正常 | 通知作成日 | 2014/06/17 | | |
| 種別コード | 00:発生・請求通知 | 通知先利用者番号 | A00000001 | | |
| 文字コード区分 | 0:JIS | 通知先名 | NTTデータ | | |
| | | 通知先口座情報 | 0000 | 0001 | 0000 |

| No | 区分 | 記録番号 | 債権金額(円) | 電子記録年月日 | | 債務者名 | | 債権者名 | |
|----|------------------|----------------------|---------|------------|------------|---------------|---------------|------|------|
| | | | | 支払期日 | | 権利者名 | | | |
| 1 | 01:発生
(債務者請求) | A0000000100000100000 | 30,000 | 2014/06/17 | 2014/06/30 | 債務者
NTTデータ | 債権者
NTTデータ | 0000 | 0000 |

蔵奉行
(支払伝票画面)

支払伝票

| | | | |
|------|-------|----------|---------|
| 参照 | 買掛金 | | |
| 支払日付 | 2014年 | 8日 | 伝票No. 3 |
| 支払先 | 0003 | 仕入先 株式会社 | |
| 部門 | | | |
| 担当者 | | | |

| 行 | 区 | 支払内容 | 金額 |
|---|---|---|--------|
| 1 | 8 | 会社銀行: 01 0000銀行 債務期日: 2014年 6月30日
記録番号: A0000000100000100000 | 30,000 |

一括請求 Assist[®] Ver.2 操作マニュアル

連携編(蔵奉行)

2023年1月4日 第2.6版 発行

- ・本書の内容の一部あるいは全部(ソフトウェアおよびプログラムを含む)は、でんさいネット(全国銀行協会が提供する電子債権記録機関)を使用する目的に限り使用できるものとします。
 - ・なお、無断で複写・複製・転載・配布すること、および磁気または光記録媒体、コンピュータネットワーク上等へ入力することは、法律で認められた場合を除き、一括請求 Assist の著作者および販売者の権利の侵害となります。
 - ・本マニュアルに記載された内容、および本ソフトの仕様は改良のため、予告なく変更する場合があります。
-

一括請求 Assist[®] Ver.2

操作マニュアル

連携編(PCA 会計)

第 2.6 版

目次

| | |
|-------------------------------------|----|
| はじめに..... | 3 |
| 1 連携の概要..... | 4 |
| 1.1 連携の概要..... | 4 |
| 1.1.1 買掛金の支払を電子記録債権で実施する(連携 1)..... | 4 |
| 1.1.2 通知ファイルから仕訳伝票を作成する(連携 2)..... | 6 |
| 1.2 連携条件について..... | 7 |
| 1.3 連携の流れ..... | 8 |
| 1.3.1 連携の流れ(連携 1)..... | 8 |
| 1.3.2 連携の流れ(連携 2)..... | 9 |
| 2 事前設定(連携 1)..... | 10 |
| 2.1 「PCA 会計」事前設定(連携 1)..... | 10 |
| 2.1.1 勘定科目を確認する..... | 10 |
| 2.1.2 会社口座を確認する..... | 13 |
| 2.1.3 補助科目を確認する (連携 1-①)..... | 16 |
| 2.1.4 補助科目を確認する (連携 1-②)..... | 22 |
| 2.1.5 振込先を確認する..... | 27 |
| 2.2 本ソフトの事前設定(連携 1)..... | 31 |
| 2.2.1 取引先を設定する (連携 1-①)..... | 31 |
| 2.2.2 取引先を設定する (連携 1-②)..... | 33 |
| 2.2.3 社内口座を設定する..... | 35 |
| 3 連携手順(連携 1)..... | 37 |
| 3.1 連携手順(連携 1)..... | 37 |
| 3.1.1 掛仕入の仕訳伝票を作成する..... | 37 |
| 3.1.2 振込データを作成する (連携 1-①)..... | 39 |

| | | |
|-------|--------------------|----|
| 3.1.3 | 振込データを作成する（連携 1-②） | 44 |
| 3.1.4 | 一括請求ファイルを作成する | 54 |
| 4 | 事前設定（連携 2） | 61 |
| 4.1 | 「PCA 会計」事前設定（連携 2） | 61 |
| 4.1.1 | 勘定科目を確認する | 61 |
| 4.1.2 | 補助科目を確認する | 64 |
| 4.1.3 | 部門を確認する | 70 |
| 4.2 | 本ソフトの事前設定（連携 2） | 72 |
| 4.2.1 | 通知確認設定情報を設定する | 72 |
| 4.2.2 | 取引先を設定する | 73 |
| 4.2.3 | 出力 CSV 設定を設定する | 75 |
| 4.2.4 | 固定値を設定する | 76 |
| 5 | 連携手順（連携 2） | 85 |
| 5.1 | 連携手順（連携 2） | 85 |
| 5.1.1 | 通知ファイルを読み込む | 85 |
| 5.1.2 | 通知情報を確認する | 89 |
| 5.1.3 | 仕訳伝票を作成する | 91 |

はじめに

本書では、本ソフトとピー・シー・エー株式会社の会計ソフト「PCA 会計」との連携について、事前設定、連携手順を説明します。

本書で使用する画面例については「PCA 会計 X」のものとなります。会計ソフトのバージョンにより表示内容が異なる場合がありますが、操作方法に差異はありません。

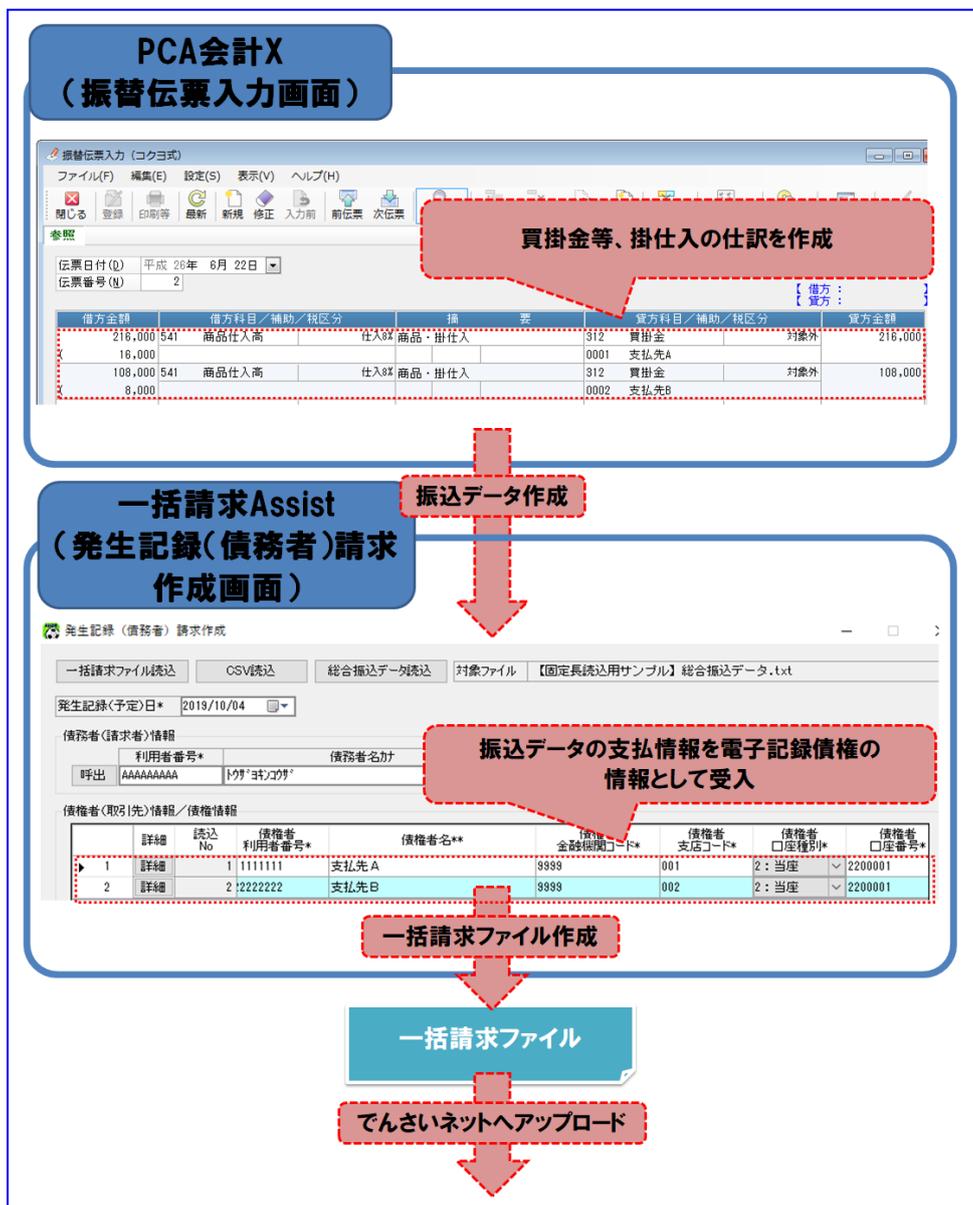
本書に記載されていない「PCA 会計」のその他機能の詳細については、「PCA 会計」のヘルプをご参照ください。

1 連携の概要

1.1 連携の概要

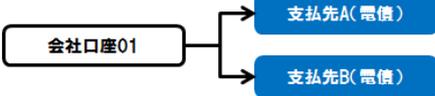
1.1.1 買掛金の支払を電子記録債権で実施する(連携 1)

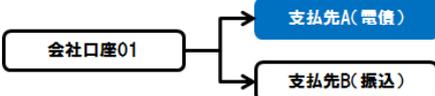
本ソフトは、「PCA 会計」から出力した振込データを読み込み、電子記録債権の債務情報を付加した発生記録(債務者)一括請求ファイル(でんさいネット標準フォーマット(固定長テキスト形式)1.2版の集信1)を出力することができます。「PCA 会計」をご利用の場合、本ソフトと連携することにより、簡単に支払先へ電子記録債権で支払うことができます。(以下、連携 1)



なお、「PCA 会計」と本ソフトを連携（連携 1）する場合、お客様の利用方法により、連携ができない場合や、事前設定方法が異なりますのでご注意ください。（下図参照）

| | 会社口座のパターン
会社口座01：電子記録債権&振込の決済用口座 | マニュアル参照箇所 | |
|-------------|---|---|---|
| 支払先への決済パターン | ① 支払先企業全てに電子記録債権で決済
・支払先A：電子記録債権で決済
・支払先B：電子記録債権で決済 | 本ソフトと「PCA会計X」の連携は可能です。
右記を参照し、事前設定と連携を行ってください。

 | 2 事前設定（連携1）
2.1.1 勘定科目を確認する
2.1.2 会社口座を確認する
2.1.3 補助科目を確認する（連携1-①）
2.1.5 振込先を確認する
2.2.1 取引先を設定する（連携1-①）
2.2.3 社内口座を設定する
3 連携手順（連携1）
3.1.1 掛仕入の仕訳を作成する
3.1.2 振込データを作成する（連携1-①）
3.1.4 一括請求ファイルを作成する |
| | ② 支払先企業ごとに電子記録債権と振込で決済
・支払先A：電子記録債権で決済
・支払先B：振込で決済 | 本ソフトと「PCA会計X」の連携は可能です。
右記を参照し、事前設定と連携を行ってください。

 | 2 事前設定（連携1）
2.1.1 勘定科目を確認する
2.1.2 会社口座を確認する
2.1.4 補助科目を確認する（連携1-②）
2.1.5 振込先を確認する
2.2.2 取引先を設定する（連携1-②）
2.2.3 社内口座を設定する
3 連携手順（連携1）
3.1.1 掛仕入の仕訳を作成する
3.1.3 振込データを作成する（連携1-②）
3.1.4 一括請求ファイルを作成する |
| | ③ 同一の支払先企業に電子記録債権と振込で決済
・支払先A：電子記録債権&振込で決済 | 本ソフトと「PCA会計」の連携はできません。
電子記録債権は本ソフトの発生記録（債務者）請求作成より
決済してください。
振込は「PCA会計」の銀行振込依頼書より決済してください。

 | - |



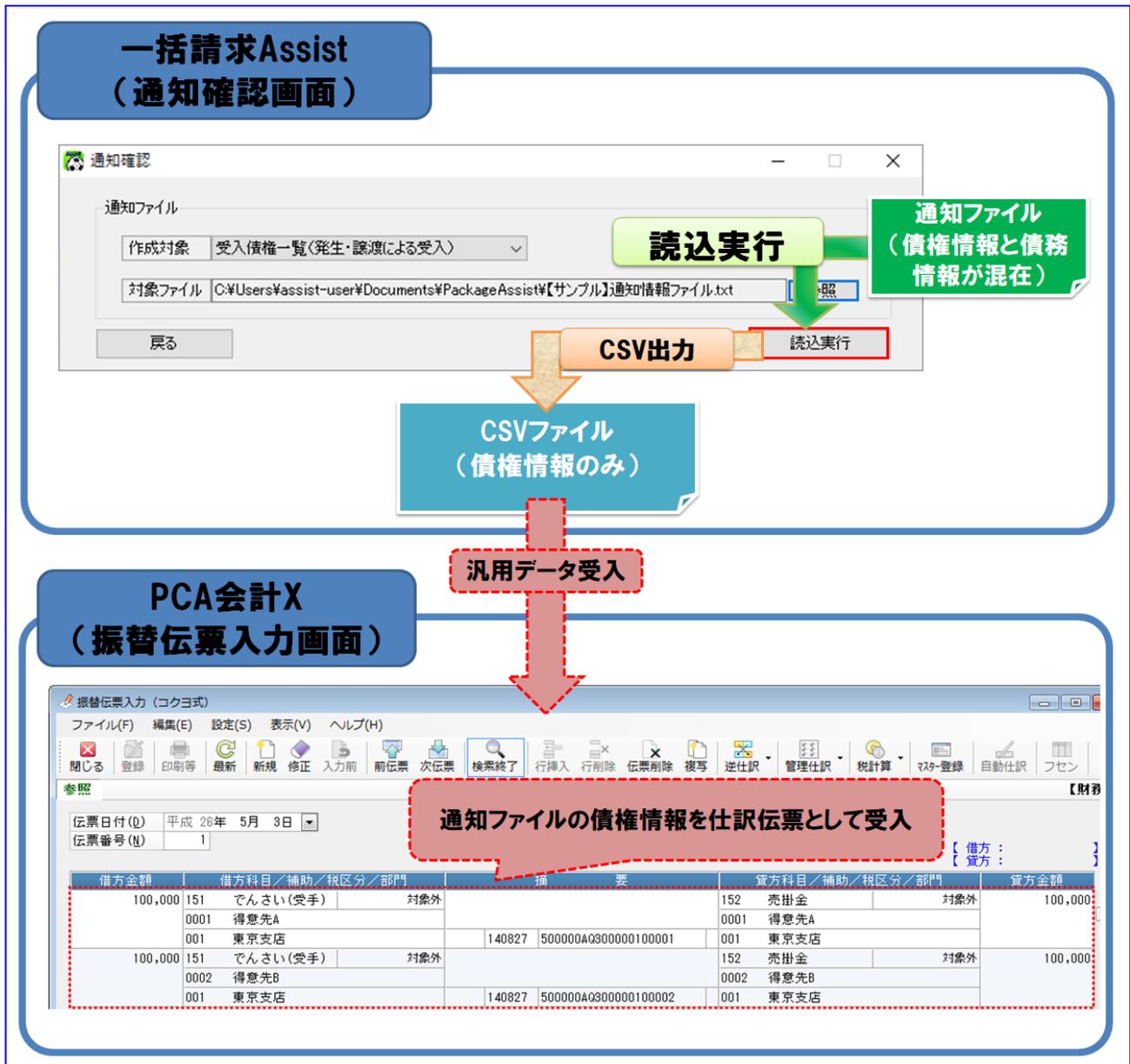
上記①②の決済パターンについて、「支払先A」「支払先B」のように2社の例を記載しておりますが、2社以上でも連携可能です。



振込は本ソフト経由では実施できません。振込データはEBソフト等に読み込み、振込を実施してください。
 振込データの作成については「**3 連携手順(連携1)**」をご参照ください。

1.1.2 通知ファイルから仕訳伝票を作成する(連携 2)

本ソフトは、電子記録債権取引システムからダウンロードした通知ファイル（でんさいネット標準フォーマット（固定長テキスト形式）1.2 版の配信 1）を読み込み、電子記録債権の債務情報を省いた債権情報 CSV ファイル（受入債権一覧）を出力することができます。出力した債権情報 CSV ファイルを「PCA 会計」に読み込むことにより簡単に仕訳伝票を作成することができます。（以下、連携 2）



また、「PCA 会計」と本ソフトの連携を実施する場合、お客様の電子記録債権の利用方法に関わらず、連携は可能になります。

1.2 連携条件について

連携可能な「PCA 会計」のバージョンについては、株式会社 NTT データフロンティアのホームページをご参照ください。

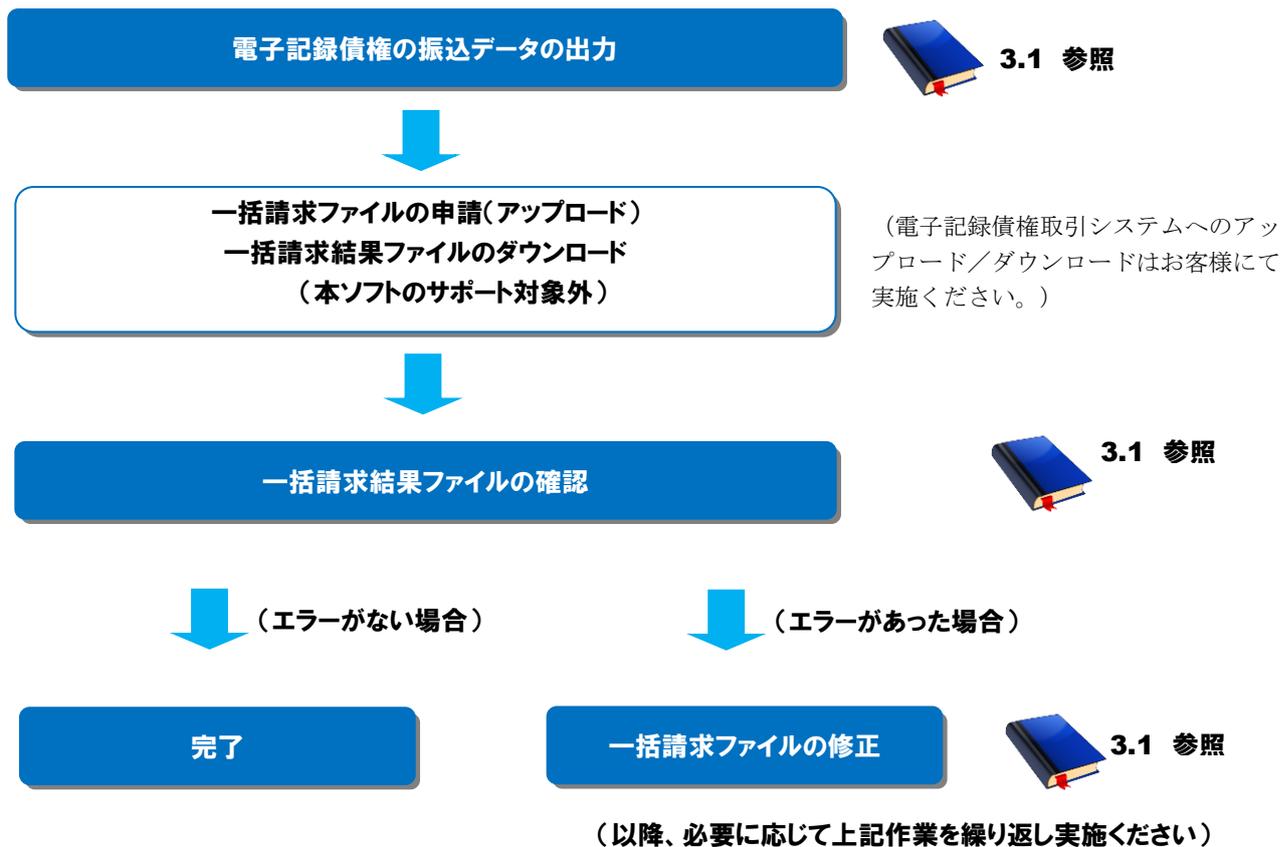
1.3 連携の流れ

1.3.1 連携の流れ(連携 1)

事前設定



連携手順

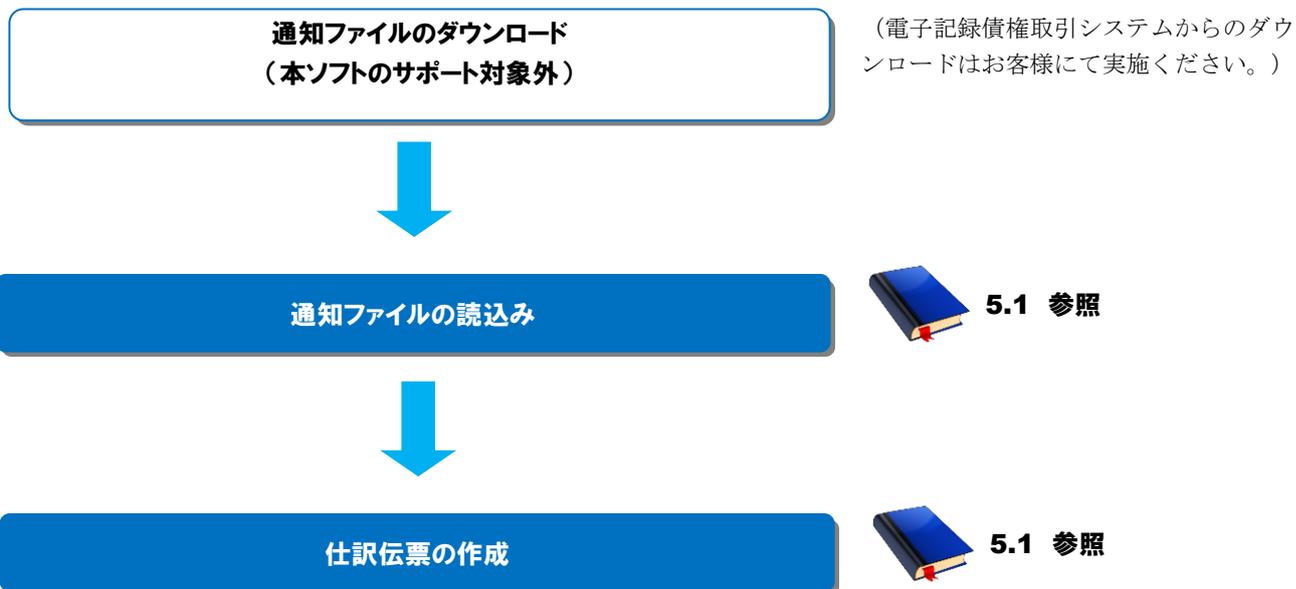


1.3.2 連携の流れ(連携 2)

事前設定



連携手順



2 事前設定（連携1）

2.1 「PCA 会計」事前設定(連携1)

買掛金の支払を電子記録債権で実施する際（連携1）の「PCA 会計」事前設定方法を説明します。

操作手順

2.1.1
勘定科目を
確認する

2.1.2
会社口座を
確認する

2.1.3
補助科目を
確認する
(連携1-①)

2.1.4
補助科目を
確認する
(連携1-②)

2.1.5
振込先を
確認する

操作方法

2.1.1 勘定科目を確認する

連携で使用する勘定科目が登録されているか確認します。

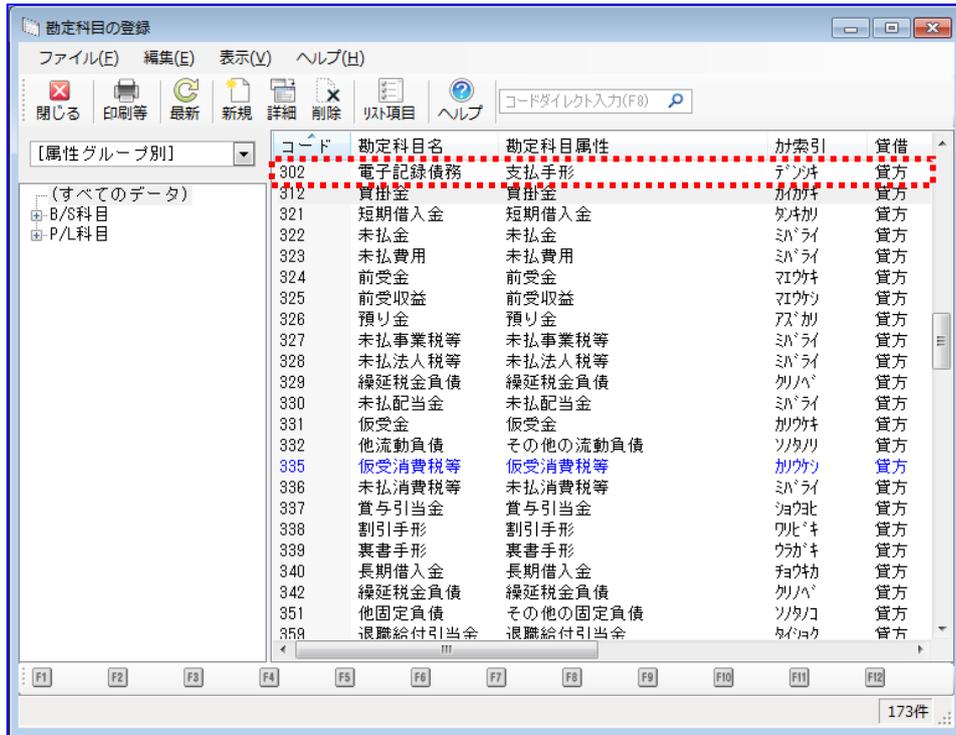
- 「PCA 会計」を開き、[前準備]>[勘定科目の登録]を押下します。



- 勘定科目「買掛金」が存在することを確認します。
勘定科目「買掛金」が存在しない場合は、任意のコードで新規作成します。
(新規作成方法については「PCA 会計」のヘルプをご参照ください。)

| コード | 勘定科目名 | 勘定科目属性 | 勘索引 | 貸借 |
|-----|---------|----------|------|----|
| 302 | 電子記録債務 | 支払手形 | デビツト | 貸方 |
| 312 | 買掛金 | 買掛金 | カレツト | 貸方 |
| 321 | 短期借入金 | 短期借入金 | カレツト | 貸方 |
| 322 | 未払金 | 未払金 | ミヅライ | 貸方 |
| 323 | 未払費用 | 未払費用 | ミヅライ | 貸方 |
| 324 | 前受金 | 前受金 | マウツト | 貸方 |
| 325 | 前受収益 | 前受収益 | マウツト | 貸方 |
| 326 | 預り金 | 預り金 | アツカ | 貸方 |
| 327 | 未払事業税等 | 未払事業税等 | ミヅライ | 貸方 |
| 328 | 未払法人税等 | 未払法人税等 | ミヅライ | 貸方 |
| 329 | 繰延税金負債 | 繰延税金負債 | カレツト | 貸方 |
| 330 | 未払配当金 | 未払配当金 | ミヅライ | 貸方 |
| 331 | 仮受金 | 仮受金 | カウツト | 貸方 |
| 332 | 他流動負債 | その他の流動負債 | ソツカリ | 貸方 |
| 335 | 仮受消費税等 | 仮受消費税等 | カウツト | 貸方 |
| 336 | 未払消費税等 | 未払消費税等 | ミヅライ | 貸方 |
| 337 | 賞与引当金 | 賞与引当金 | ヨウツヒ | 貸方 |
| 338 | 割引手形 | 割引手形 | ワヒキ | 貸方 |
| 339 | 裏書手形 | 裏書手形 | ウツカキ | 貸方 |
| 340 | 長期借入金 | 長期借入金 | チョウキ | 貸方 |
| 342 | 繰延税金負債 | 繰延税金負債 | カレツト | 貸方 |
| 351 | 他固定負債 | その他の固定負債 | ソツカコ | 貸方 |
| 359 | 退職給付引当金 | 退職給付引当金 | タイヨク | 貸方 |

- 勘定科目「電子記録債務」が存在することを確認します。
勘定科目「電子記録債務」が存在しない場合は、任意のコードで新規作成します。
(新規作成方法については「PCA 会計」のヘルプをご参照ください。)



| コード | 勘定科目名 | 勘定科目属性 | 加索引 | 貸借 |
|-----|---------|----------|-------|----|
| 302 | 電子記録債務 | 支払手形 | デフォルト | 貸方 |
| 312 | 貸付金 | 貸付金 | 加付 | 貸方 |
| 321 | 短期借入金 | 短期借入金 | 加付 | 貸方 |
| 322 | 未払金 | 未払金 | デフォルト | 貸方 |
| 323 | 未払費用 | 未払費用 | デフォルト | 貸方 |
| 324 | 前受金 | 前受金 | デフォルト | 貸方 |
| 325 | 前受収益 | 前受収益 | デフォルト | 貸方 |
| 326 | 預り金 | 預り金 | デフォルト | 貸方 |
| 327 | 未払事業税等 | 未払事業税等 | デフォルト | 貸方 |
| 328 | 未払法人税等 | 未払法人税等 | デフォルト | 貸方 |
| 329 | 繰延税金負債 | 繰延税金負債 | 加付 | 貸方 |
| 330 | 未払配当金 | 未払配当金 | デフォルト | 貸方 |
| 331 | 仮受金 | 仮受金 | 加付 | 貸方 |
| 332 | 他流動負債 | その他の流動負債 | デフォルト | 貸方 |
| 335 | 仮受消費税等 | 仮受消費税等 | 加付 | 貸方 |
| 336 | 未払消費税等 | 未払消費税等 | デフォルト | 貸方 |
| 337 | 賞与引当金 | 賞与引当金 | デフォルト | 貸方 |
| 338 | 割引手形 | 割引手形 | 加付 | 貸方 |
| 339 | 裏書手形 | 裏書手形 | 加付 | 貸方 |
| 340 | 長期借入金 | 長期借入金 | デフォルト | 貸方 |
| 342 | 繰延税金負債 | 繰延税金負債 | 加付 | 貸方 |
| 351 | 他固定負債 | その他の固定負債 | デフォルト | 貸方 |
| 359 | 退職給付引当金 | 退職給付引当金 | 加付 | 貸方 |



勘定科目「電子記録債務」の新規作成について

- 勘定科目属性は「支払手形」を設定してください。
- 貸借区分は「貸方」を設定してください。

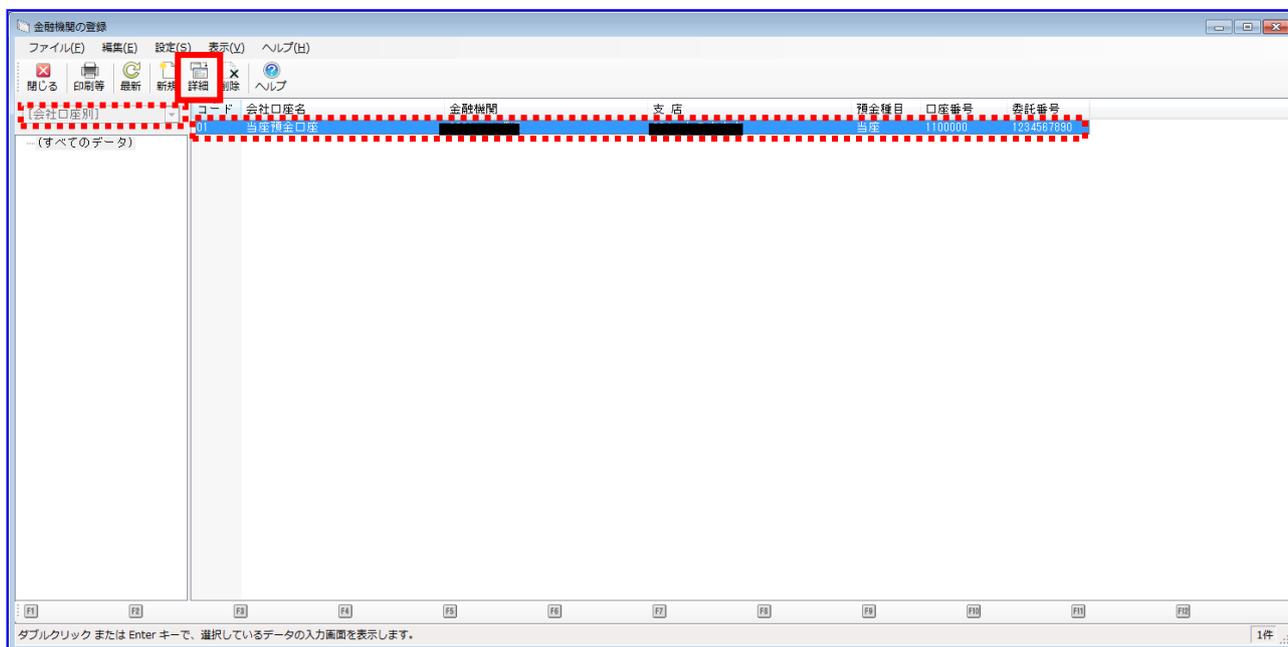
2.1.2 会社口座を確認する

連携で使用する会社口座が登録されているか確認します。

- ✚ [前準備]>[金融機関の登録]を押下します。



- プルダウンで会社口座別を選択し、登録されている会社口座を選択し、[詳細]を押下します。
会社口座が存在しない場合は、任意のコードで新規作成します。
(新規作成方法については「PCA 会計」のヘルプをご参照ください。)



- 金融機関情報、会社口座情報、関連科目情報が入力されていることを確認します。

金融機関の登録

ファイル(E) 編集(E) 設定(S) 表示(V) ヘルプ(H)

閉じる 登録 最新 新規 修正 入力前 前移動 次移動 削除 一覧 ヘルプ

修正

基本情報(A):

コード 01
会社口座名 当座預金口座

金融機関情報(B):

金融機関コード []
金融機関名 []
金融機関名フリガナ []
店番号 []
支店名 []
支店名フリガナ []

会社口座情報(C):

預金種目 2:当座
口座番号 1100000
委託番号 1234567890
委託者名 委託者名
委託者名フリガナ イクサメル
区切り文字 0:CR・LF付

手数料情報(D):

| 振込先 | 金額範囲 | 電 | 信 | 文 | 書 |
|-------|------------|-----|---|-----|---|
| 同行同支店 | 30,000 円未満 | 0 円 | | 0 円 | |
| | 30,000 円以上 | 0 円 | | 0 円 | |
| 同行他支店 | 30,000 円未満 | 0 円 | | 0 円 | |
| | 30,000 円以上 | 0 円 | | 0 円 | |
| 他行 | 30,000 円未満 | 0 円 | | 0 円 | |
| | 30,000 円以上 | 0 円 | | 0 円 | |

手数料グループを使用する

関連科目情報(G):

会社口座科目 121 当座預金
会社口座補助科目 []
支払手数料科目 741 支払手数料
支払手数料補助科目 []
雑収入科目 819 雑収入
雑収入補助科目 []

F1 F2 F3 F4 F5 F6 F7 F8 F9 F10 F11 F12



委託番号とは、総合振込や給与振込サービスを利用する際に、会社口座を管理する金融機関が振込依頼人を識別するのに使用される番号です。これらのサービスを利用するためには、前もって金融機関に委託番号を割り当ててもらう必要があります。



都合により金融機関、支店は黒塗りでマスクしていますが、入力が必要な項目になります。以降の金融機関、支店についても同様になります。

2.1.3 補助科目を確認する（連携 1-①）

連携で使用する補助科目が登録されているか確認します。

- ✚ [前準備] > [補助科目の登録]を押下します。



- 振込先に対応する補助科目が存在することを確認します。
補助科目が存在しない場合は、任意のコードで新規作成します。（下記例 1~4 を参照）
（新規作成方法については「PCA 会計」のヘルプをご参照ください。）

| コード | 補助科目名 | 加索引 | 勘定科目名 | 補助区分 | 借税 | 貸税 | 税自動計算 | 税端数処理 | 振込先 | 締日 |
|------|-------|-----|--------|------|----|----|--------|-------|-------|----|
| 0001 | 支払先A | 汎用 | 電子記録債務 | 共通 | 00 | 00 | 税計算しない | 指定なし | 使用しない | 0 |
| 0001 | 支払先A | 汎用 | 買掛金 | 共通 | 00 | 00 | 税計算しない | 指定なし | 使用する | 0 |
| 0002 | 支払先B | 汎用 | 電子記録債務 | 共通 | 00 | 00 | 税計算しない | 指定なし | 使用しない | 0 |
| 0002 | 支払先B | 汎用 | 買掛金 | 共通 | 00 | 00 | 税計算しない | 指定なし | 使用する | 0 |


 電子記録債務の支払先は、最初に登録する補助科目は「科目別補助」で作成し、2つ目以降は、最初に登録した補助科目を「共通補助」として呼出して登録します。
 結果としては、上図の通り、補助区分「共通補助」で勘定科目「電子記録債務」「買掛金」が登録されます。

例 1：補助科目名「支払先 A」、勘定科目「電子記録債務」の設定例

| No | 項目 | 説明 |
|----|-------|----------------------|
| 1 | 勘定科目 | 勘定科目「電子記録債務」を設定します。 |
| 2 | 補助区分 | 「科目別補助」を設定します。 |
| 3 | コード | 任意のコードを入力します。 |
| 4 | 補助科目名 | 「支払先A」を設定します。 |
| 5 | 振込先 | 「0：振込先に使用しない」を選択します。 |



表に記載のない項目は本ソフトとの連携を行う上で必須ではありませんが、入力が可能です。

例 2：補助科目名「支払先 A」、勘定科目「買掛金」の設定例

| No | 項目 | 説明 |
|----|------|--|
| 1 | 勘定科目 | 勘定科目「買掛金」を設定します。 |
| 2 | 補助区分 | 「共通補助」を設定します。 |
| 3 | 基本設定 | [補助選択]を押下し、補助科目の検索画面にて例1で設定した補助科目名を選択する。 |
| 4 | 振込先 | 「1：振込先に使用する」を選択します。 |



表に記載のない項目は本ソフトとの連携を行う上で必須ではありませんが、入力が可能です。

例3：補助科目名「支払先B」、勘定科目「電子記録債務」の設定例

補助科目の登録

ファイル(E) 編集(E) 設定(S) 表示(V) ヘルプ(H)

閉じる 登録 最新 新規 修正 入力前 前移動 次移動 削除 一覧 ヘルプ

新規

1 勘定科目(K) 302 電子記録債務

2 補助区分(C) 科目別補助 共通補助

基本設定(B):

3 コード 0002

4 補助科目名 支払先B

加索引 支払先

補助科目正式名 支払先B

正式名フリガナ 支払先B

税設定 住所情報 振込先

5 振込先情報(P):

振込先 0:振込先に使用しない

締日 0

支払日 0

F1 F2 F3 F4 F5 F6 F7 F8 F9 F10 F11 F12

半角30文字以内で入力してください。

| No | 項目 | 説明 |
|----|-------|----------------------|
| 1 | 勘定科目 | 勘定科目「電子記録債務」を設定します。 |
| 2 | 補助区分 | 「科目別補助」を設定します。 |
| 3 | コード | 任意のコードを入力します。 |
| 4 | 補助科目名 | 「支払先B」を設定します。 |
| 5 | 振込先 | 「0：振込先に使用しない」を選択します。 |



表に記載のない項目は本ソフトとの連携を行う上で必須ではありませんが、入力が可能です。

例 4：補助科目名「支払先 B」、勘定科目「買掛金」の設定例

| No | 項目 | 説明 |
|----|------|--|
| 1 | 勘定科目 | 勘定科目「買掛金」を設定します。 |
| 2 | 補助区分 | 「共通補助」を設定します。 |
| 3 | 基本設定 | [補助選択]を押下し、補助科目の検索画面にて例3で設定した補助科目名を選択する。 |
| 4 | 振込先 | 「1：振込先に使用する」を選択します。 |



表に記載のない項目は本ソフトとの連携を行う上で必須ではありませんが、入力が可能です。

2.1.4 補助科目を確認する（連携 1-②）

連携で使用する補助科目が登録されているか確認します。

- ✚ [前準備]>[補助科目の登録]を押下します。



- 振込先に対応する補助科目が存在することを確認します。
補助科目が存在しない場合は、任意のコードで新規作成します。（下記例 1～3 を参照）
（新規作成方法については「PCA 会計」のヘルプをご参照ください）。

| コード | 補助科目名 | 勘定科目名 | 補助区分 | 借税 | 貸税 | 税自動計算 | 税端処理 | 振込先 | 締日 |
|------|---------|--------|------|----|----|-------|------|-------|----|
| 0001 | 支払先A(で) | 電子記録債務 | 共通 | 00 | 00 | 指定なし | 指定なし | 使用しない | 0 |
| 0001 | 支払先A(で) | 買掛金 | 共通 | 00 | 00 | 指定なし | 指定なし | 使用する | 0 |
| 0002 | 支払先B | 買掛金 | 科目別 | 00 | 00 | 指定なし | 指定なし | 使用する | 0 |


 電子記録債務の振込先（支払先 A（で））は、最初に登録する補助科目は「科目別補助」で作成し、2つ目以降は、最初に登録した補助科目を「共通補助」として呼出して登録します。
 結果としては、上図の通り、補助区分「共通補助」で勘定科目「電子記録債務」「買掛金」が登録されます。
 銀行振込の振込先（支払先 B）は、補助区分「科目別補助」で作成し、勘定科目「買掛金」で登録します。

例 1：補助科目名「支払先 A（で）」、勘定科目「電子記録債務」の設定例

| No | 項目 | 説明 |
|----|-------|----------------------|
| 1 | 勘定科目 | 勘定科目「電子記録債務」を設定します。 |
| 2 | 補助区分 | 「科目別補助」を設定します。 |
| 3 | コード | 任意のコードを入力します。 |
| 4 | 補助科目名 | 「支払先A(で)」を設定します。 |
| 5 | 振込先 | 「0：振込先に使用しない」を選択します。 |



表に記載のない項目は本ソフトとの連携を行う上で必須ではありませんが、入力が可能です。

例 2：補助科目名「支払先 A（で）」、勘定科目「買掛金」の設定例

| No | 項目 | 説明 |
|----|------|--|
| 1 | 勘定科目 | 勘定科目「買掛金」を設定します。 |
| 2 | 補助区分 | 「共通補助」を設定します。 |
| 3 | 基本設定 | [補助選択]を押下し、補助科目の検索画面にて例1で設定した補助科目名を選択する。 |
| 4 | 振込先 | 「1：振込先に使用する」を選択します。 |
| 5 | 締日 | 支払先Bと重複しない締日（00～99の数字）を入力します。 |



締日とは、振込先をグループ化する番号になります。銀行振込依頼書の集計時のキーとして使用します。
実際の締日とは異なる番号を入力することが可能です。



補助科目の新規登録時は締日の入力できませんが、新規登録後に[修正]を押下することで締日の入力が可能です。



表に記載のない項目は本ソフトとの連携を行う上で必須ではありませんが、入力が可能です。

例 3：補助科目名「支払先 B」の設定例

| No | 項目 | 説明 |
|----|-------|-------------------------------|
| 1 | 勘定科目 | 勘定科目「買掛金」を設定します。 |
| 2 | 補助区分 | 「科目別補助」を設定します。 |
| 3 | コード | 任意のコードを入力します。 |
| 4 | 補助科目名 | 「支払先B」を設定します。 |
| 5 | 振込先 | 「1：振込先に使用する」を選択します。 |
| 6 | 締日 | 支払先Aと重複しない締日（00～99の数字）を入力します。 |



締日とは、振込先をグループ化する番号になります。銀行振込依頼書の集計時のキーとして使用します。
実際の締日とは異なる番号を入力することが可能です。



表に記載のない項目は本ソフトとの連携を行う上で必須ではありませんが、入力が可能です。

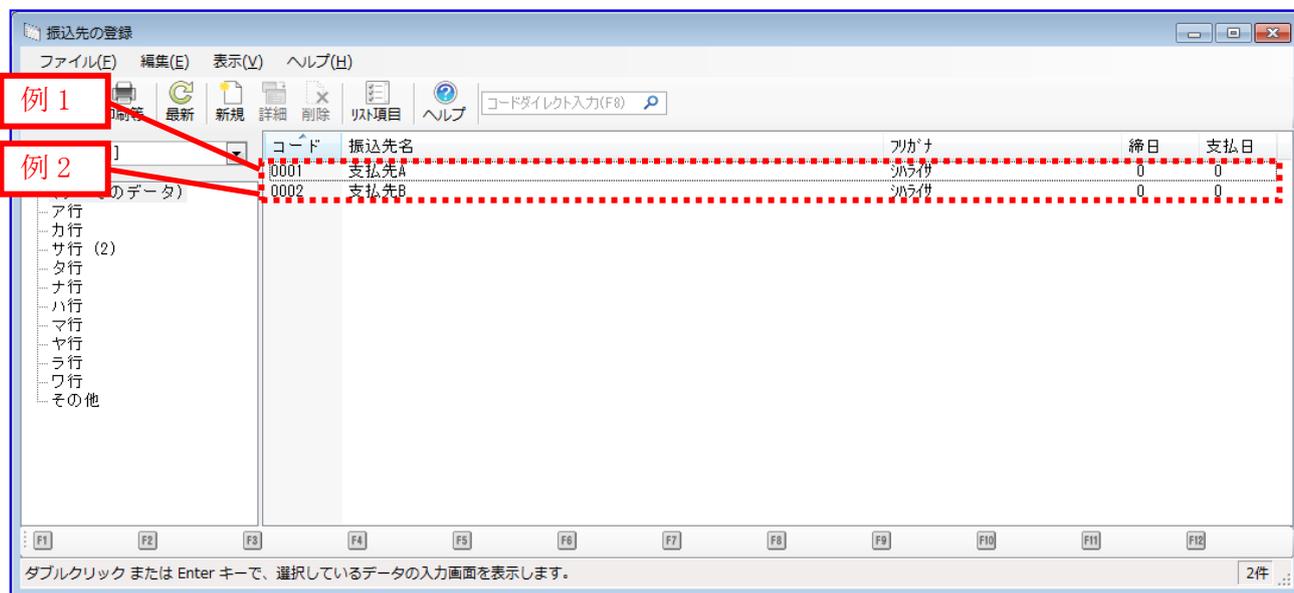
2.1.5 振込先を確認する

連携で使用する振込先が登録されているか確認します。

- ✚ [前準備] > [振込先の登録]を押下します。



- 振込先が存在することを確認します。
振込先が存在しない場合は、任意のコードで新規作成します。



上記画面は「**2.1.3 補助科目を確認する（連携 1-①）**」の例になります。
「**2.1.4 補助科目を確認する（連携 1-②）**」の場合は締日の表示が異なります。

例 1：支払先 A の振込先の登録

| No | 項目 | 説明 |
|----|---------|-----------------------|
| 1 | 補助コード | 「支払先A」の補助科目コードを設定します。 |
| 2 | 会社口座 | 会社口座を設定します。 |
| 3 | 振込先金融機関 | 「支払先A」の口座情報を設定します。 |



表に記載のない項目は本ソフトとの連携を行う上で必須ではありませんが、入力が可能です。

例 2 : 支払先 B の振込先の登録

| No | 項目 | 説明 |
|----|---------|-----------------------|
| 1 | 補助コード | 「支払先B」の補助科目コードを設定します。 |
| 2 | 会社口座 | 会社口座を設定します。 |
| 3 | 振込先金融機関 | 「支払先B」の口座情報を設定します。 |



表に記載のない項目は本ソフトとの連携を行う上で必須ではありませんが、入力が可能です。

2.2 本ソフトの事前設定(連携 1)

連携を行うための本ソフトの事前設定方法を説明します。

操作手順

2.2.1
取引先を
設定する
(連携 1-①)

2.2.2
取引先を
設定する
(連携 1-②)

2.2.3
社内口座を
設定する

操作方法

2.2.1 取引先を設定する (連携 1-①)

- 本ソフトの取引先管理画面を開き、「2.1.3 補助科目を確認する(連携 1-①)」で登録した振込先が登録されていることを確認します。登録されていない場合は新規に登録します。

| | 利用者番号* | 取引先名* | 金融機関コード* | 支店コード* | 口座種別* | 口座番号* |
|---|-----------|-------|----------|--------|-------|---------|
| 1 | 111111111 | 支払先 A | | | 2: 当座 | 2200001 |
| 2 | 222222222 | 支払先 B | | | 2: 当座 | 2200002 |



「取引先 ID」は本連携では入力不要です。

- 取引先管理画面に、振込先金融機関の口座情報を登録します。

**PCA会計X
振込先の登録画面**

**一括請求Assist
(取引先管理画面)**

| | 利用者番号* | 支払先* | 金融機関コード* | 支店コード* | 口座種別* | 口座番号* |
|---|-----------|-------|------------|------------|-------|---------|
| 1 | 111111111 | 支払先 A | [redacted] | [redacted] | 2: 当座 | 2200001 |
| 2 | 222222222 | 支払先 B | [redacted] | [redacted] | 2: 当座 | 2200002 |



本ソフトへの登録時には、コピー&ペーストをするなどし、「PCA 会計」の設定値と完全に一致させてください。

2.2.2 取引先を設定する（連携 1-②）

- 本ソフトの取引先管理画面を開き、「2.1.3 補助科目を確認する（連携 1-②）」で登録した振込先が登録されていることを確認します。登録されていない場合は新規に登録します。

| | 利用者番号* | 取引先名* | 金融機関コード* | 支店コード* | 口座種別* | 口座番号* |
|---|--------|-----------|----------|--------|-------|---------|
| ▶ | 1 | 111111111 | 支払先 A | | 2:当座 | 2200001 |



「取引先 ID」は本連携では入力不要です。

- 取引先管理画面に、振込先金融機関の口座情報を登録します。

PCA会計X 振込先の登録画面

一括請求Assist (取引先管理画面)

 本ソフトへの登録時には、コピー&ペーストをするなどし、「PCA 会計」の設定値と完全に一致させてください。

2.2.3 社内口座を設定する

- 本ソフトの社内口座管理画面を開き、社内口座情報が登録されていることを確認します。登録されていない場合は新規に登録します。

| | 利用者名(検索用)* | 利用者名加* | 金融機関コード* | 支店コード* | 口座種別* | 口座番号* |
|---|------------|------------|------------|------------|-------|---------|
| 1 | 当座預金口座 | トウザヨウキンコウザ | [Redacted] | [Redacted] | 2:当座 | 1100000 |



「社内口座 ID」は本連携では入力不要です。

- 社内口座管理画面に、会社口座の口座情報を登録します。

**PCA会計X
金融機関の登録画面**

**一括請求Assist
(社内口座管理画面)**

| 社内口座情報 | 利用者名(検索用)* | 利用者名カナ | 金融機関コード* | 支店コード* | 口座種別* | 口座番号* |
|--------|------------|--------|----------|--------|-------|---------|
| 1 | 当座預金口座 | トクモトナガ | | | 2:当座 | 1100000 |

3 連携手順(連携 1)

3.1 連携手順(連携 1)

「PCA 会計」と本ソフトの連携手順を説明します。

操作手順



操作方法

3.1.1 掛仕入の仕訳伝票を作成する

掛仕入の仕訳伝票を作成します。

- 「PCA 会計」を開き、[データ入力]>[振替伝票入力(コクヨ式)]、または [データ入力]>[振替伝票入力(連想摘要)]を押下します。(本例ではコクヨ式にて実施します。)



- 掛仕入の仕訳伝票を作成します。

振替伝票入力 (コクヨ式)

ファイル(F) 編集(E) 設定(S) 表示(V) ヘルプ(H)

閉じる 登録 印刷等 最新 新規 修正 入力前 前伝票 次伝票 検索終了 行挿入 行削除 伝票削除 複写 逆仕訳 管理仕訳 税計算 マタ登録 自動仕訳

参照 【財務】

伝票日付(D) 平成 28年 6月 22日 1

伝票番号(N) 2

【借方 : 貸方 :】

| 借方金額 | 借方科目/補助/税区分 | 摘要 | 貸方科目/補助/税区分 | 貸方金額 |
|---------|-------------|------------|-------------|---------|
| 216,000 | 541 商品仕入高 | 仕入% 商品・掛仕入 | 312 買掛金 対象外 | 216,000 |
| 16,000 | | | 0001 支払先A | |
| 108,000 | 541 商品仕入高 | 仕入% 商品・掛仕入 | 312 買掛金 対象外 | 108,000 |
| 8,000 | | | 0002 支払先B | |
| 324,000 | 合計 | 差 額 | 0 | 324,000 |

F1 F2 F3 F4 F5 F6 F7 F8 F9 F10 F11 F12 1 / 999

| No | 項目 | 説明 |
|----|--------|-----------------------|
| 1 | 伝票日付 | 伝票日付を入力します。 |
| 2 | 仕訳データA | 支払先Aに対する掛仕入の内容を入力します。 |
| 3 | 仕訳データB | 支払先Bに対する掛仕入の内容を入力します。 |



1枚の伝票に複数レコード登録し、連携することは可能です。
また、複数枚の伝票を作成し、連携することも可能です。



振替伝票入力画面で入力した金額、補助科目（振込先情報）は、本ソフトの発生記録（債務者請求）作成画面に連携されます。

3.1.2 振込データを作成する（連携 1-①）

電子記録債権で支払う支払先 A、支払先 B 向けの振込データを作成します。

- ✚ [銀行処理] > [銀行振込依頼書]を押下します。



- ✚ 条件を入力し、[画面出力]を押下します。

| No | 項目 | 説明 |
|----|-------|-----------------------------|
| 1 | 出力の種類 | 「画面」を選択します。 |
| 2 | 集計期間 | 振替伝票入力画面で入力した伝票日付の範囲を入力します。 |
| 3 | 会社口座 | 会社口座を入力します。 |



集計期間には「**3.1.1 掛仕入の仕訳を作成する**」で作成した伝票の伝票日付が含まれる範囲を選択してください。

振込先、金額を確認し、[振込データ作成]を押下します。

The screenshot shows a software window titled "銀行振込依頼書" (Bank Remittance Request Form). The menu bar includes "ファイル(F)", "編集(E)", "設定(S)", "データ作成(D)", "表示(V)", and "ヘルプ(H)". The toolbar contains icons for "閉じる", "印刷等", "アビリティ", "集計条件", "再集計", "行コピー", "画面切替", "振込金額編集", "振込データ作成" (highlighted with a red box), and "ヘルプ".

Form fields include:
会社口座(B): 01 (当座預金口座 (でんさい用))
締日(Q): 0
支払日(M): 0
集計期間(Q): 2014年 6月 22日 ~ 2014年 6月 22日

A table displays remittance data:

| 金融機関 | 振込先 | 預金種目 | 振込金額 | 口座番号 | 振込方法 | 先方手数料 |
|------|------|------|---------|---------|------|-------|
| | | 当座 | | 2200001 | 電信 | |
| 0001 | 支払先A | | 216,000 | | | 0 |
| | | 当座 | | 2200002 | 電信 | |
| 0002 | 支払先B | | 108,000 | | | 0 |
| 合 計 | | | 324,000 | 0 | | 0 |

At the bottom, a status bar shows "集計が完了しました。" (Summary completed).

- 条件を入力し、[実行]を押下します。

振込データの作成

選択中の会社口座

| | |
|-------|------------|
| 金融機関 | ■■■■■ |
| 支店 | ■■■■■ |
| 委託番号 | 1234567890 |
| 預金種目 | 当座 |
| 口座番号 | 1100000 |
| 区切り文字 | CR・LF付 |

仕訳設定 (I)

集計仕訳を転送済みに変更する 支払伝票を作成する 1

出力設定

取組日 (D) 2 平成 26年 6月 22日

出力指定 (O) 3 振込データの作成 PCA電子通帳と連動 EBNext2DXと連動

出力先パス (P) 4 C:\Users\dev-original\Desktop\振込データ.txt

実行(F5) キャンセル

| No | 項目 | 説明 |
|----|-------|---|
| 1 | 仕訳設定 | 「支払伝票を作成する」をチェックします。 |
| 2 | 取組日 | 取組日を入力します。
本ソフトの「発生記録（予定）日」に連携される項目です。 |
| 3 | 出力指定 | 「振込データの作成」を選択します。 |
| 4 | 出力先パス | 任意の出力先を選択します。 |



取組日には本日以降、1ヶ月以内の日付を入力してください。

- 出力先パスで設定したフォルダに振込データが作成され、支払伝票が表示されます。貸方勘定科目を「電子記録債務」、補助科目を「支払先 A」「支払先 B」、摘要を電子記録債権での支払である旨がわかるよう修正して登録します。

The screenshots illustrate the process of editing a payment slip entry. In the first screenshot, the entry is for a bank transfer from a company account to a current account. In the second screenshot, the entry is updated to reflect that the payment is made via electronic record debt, with the credit account changed from '当座預金' (Current Account) to '電子記録債務' (Electronic Record Debt).

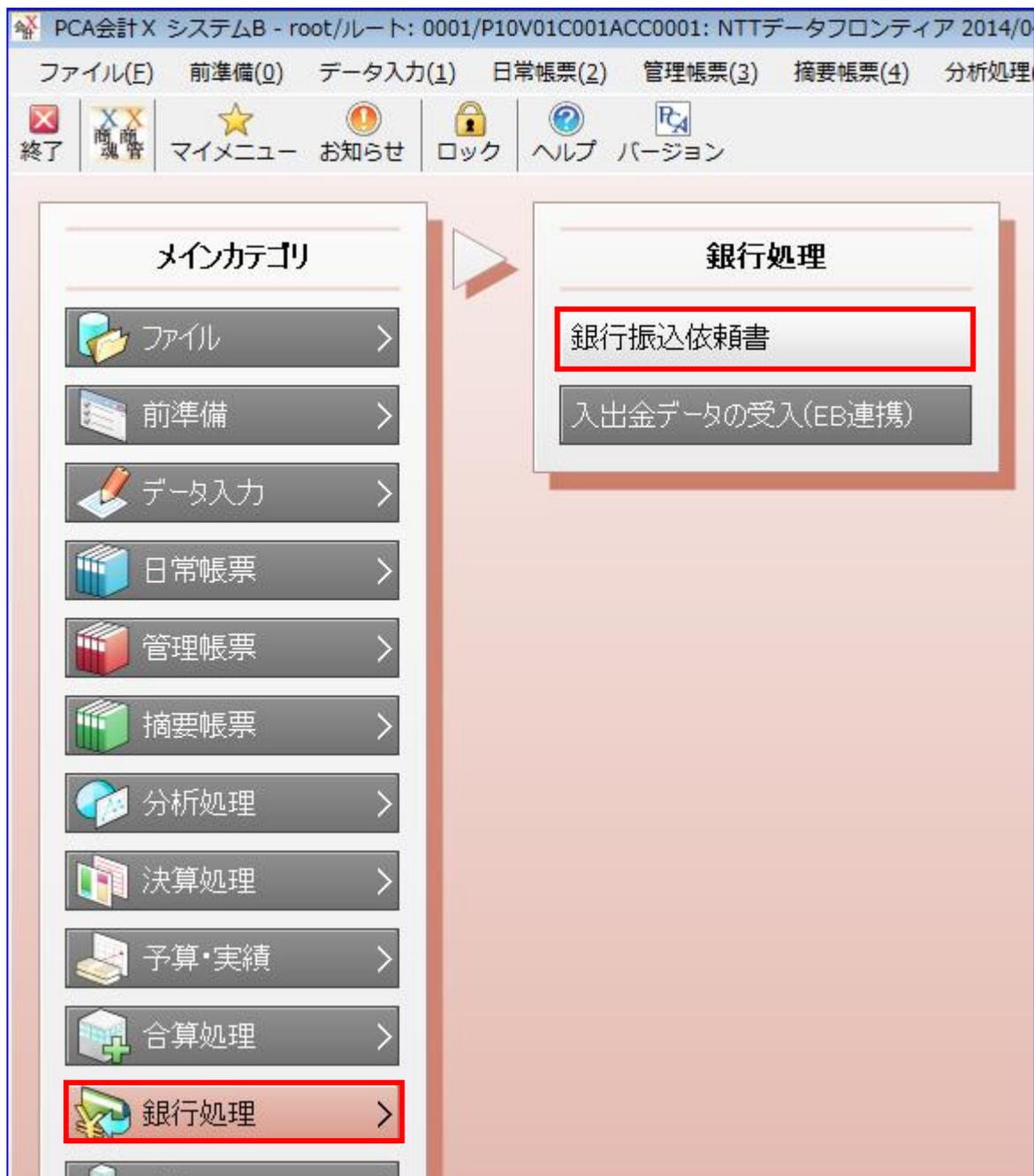


作成された支払先 A & 支払先 B の振込データは「**3.1.4 一括請求ファイルを作成する**」で本ソフトに読み込み、一括請求ファイルを作成します。

3.1.3 振込データを作成する（連携 1-②）

電子記録債権で支払う支払先 A、銀行振込で支払う支払先 B 向けの振込データを作成します。

- ✚ 支払先 A 向けの振込データを作成します。
[銀行処理]>[銀行振込依頼書]を押下します。



- 条件を入力し、[画面出力]を押下します。

| No | 項目 | 説明 |
|----|--------|--|
| 1 | 出力の種類 | 「画面」を選択します。 |
| 2 | 集計期間 | 振替伝票入力画面で入力した伝票日付の範囲を入力します。 |
| 3 | 会社口座 | 会社口座を入力します。 |
| 4 | 締日/支払日 | 「2.1.4 補助科目を確認する (連携1-2)」で設定した支払先Aの締日を入力します。 |



集計期間には「3.1.1 掛仕入の仕訳を作成する」で作成した伝票の伝票日付が含まれる範囲を選択してください。



支払先 A の締日を設定することにより、支払先 A 向けの振込データを作成します。

振込先、金額を確認し、[振込データ作成]を押下します。

銀行振込依頼書

ファイル(F) 編集(E) 設定(S) データ作成(D) 表示(V) ヘルプ(H)

閉じる 印刷等 実行 集計条件 再集計 行コピー 画面切替 振込金額編集 **振込データ作成** ヘルプ

会社口座(B) 01 当座預金口座 集計開始(F5)

締日(D) 90
 支払日(M) 0

集計期間(Q) 2014年 6月 22日 ~ 2014年 6月 22日

| 金融機関 | 振込先 | 預金種目 | 口座番号 | 振込方法 |
|------|--------|---------|---------|------|
| 0001 | 支払先(デ) | 当座 | 2200001 | 電信 |
| | | 216,000 | | 0 |
| 合 計 | | 216,000 | 0 | 0 |

F1 F2 F3 F4 F5 F6 F7 F8 F9 F10 F11 F12

集計が完了しました。

- ✚ 条件を入力し、[実行]を押下します。

振込データの作成

選択中の会社口座

| | |
|-------|------------|
| 金融機関 | ■■■■■■■■■■ |
| 支店 | ■■■■■■■■■■ |
| 委託番号 | 1234567890 |
| 預金種目 | 当座 |
| 口座番号 | 1100000 |
| 区切り文字 | CR・LF付 |

仕訳設定 (I)

集計仕訳を転送済みに変更する 支払伝票を作成する 1

出力設定

取組日 (D) 2 平成 26年 6月 22日

出力指定 (C) 3 振込データの作成 PCA電子通帳と連動 EBNext2DXと連動

出力先パス (P) 4 C:\%Users%\dev-original\Desktop\振込データ.txt

実行(F5) キャンセル

| No | 項目 | 説明 |
|----|-------|---|
| 1 | 仕訳設定 | 「支払伝票を作成する」をチェックします。 |
| 2 | 取組日 | 取組日を入力します。
本ソフトの「発生記録（予定）日」に連携される項目です。 |
| 3 | 出力指定 | 「振込データの作成」を選択します。 |
| 4 | 出力先パス | 任意の出力先を選択します。 |



取組日には本日以降、1ヶ月以内の日付を入力してください。

- 出力先パスで設定したフォルダに振込データが作成され、支払伝票が表示されます。貸方勘定科目を「電子記録債務」、補助科目を「支払先A(で)」、摘要を電子記録債権での支払である旨がわかるよう修正して登録します。

振替伝票入力 (コクヨ式)

ファイル(E) 編集(E) 設定(S) 表示(V) ヘルプ(H)

閉じる 登録 印刷等 最新 新規 修正 入力前 前伝票 次伝票 検索 行挿入 行削除 伝票削除 復写 逆仕訳 管理仕訳 税計算 マスタ登録 自動仕訳

新規 残り伝票数 1 【財務】

伝票日付(D) 平成 26年 6月 22日

伝票番号(N) 自動

| 借方金額 | 借方科目/補助/税区分 | 摘要 | 貸方科目/補助/税区分 | 貸方金額 |
|---------|-------------------------|----------------|-----------------|---------|
| 216,000 | 312 買掛金
0001 支払先A(で) | 対象外 会社口座 [] 振 | 121 当座預金
対象外 | 216,000 |

【借方 : 貸方 :】

振替伝票入力 (コクヨ式)

ファイル(E) 編集(E) 設定(S) 表示(V) ヘルプ(H)

閉じる 登録 印刷等 最新 新規 修正 入力前 前伝票 次伝票 検索 行挿入 行削除 伝票削除 復写 逆仕訳 管理仕訳 税計算 マスタ登録 自動仕訳 フェセン ヘルプ

新規 残り伝票数 1 【財務】

伝票日付(D) 平成 26年 6月 22日

伝票番号(N) 自動

| 借方金額 | 借方科目/補助/税区分 | 摘要 | 貸方科目/補助/税区分 | 貸方金額 |
|---------|-------------------------|----------------|----------------------------|---------|
| 216,000 | 312 買掛金
0001 支払先A(で) | 対象外 電子記録債権にて支払 | 302 電子記録債務
0001 支払先A(で) | 216,000 |
| 216,000 | 合計 | 差 額 | 0 | 216,000 |

【借方 : 貸方 :】

18 / 999



作成された支払先A向けの振込データは、「**3.1.4 一括請求ファイルを作成する**」で本ソフトに読み込み、一括請求ファイルを作成します。

- 支払先 B 向けのデータを作成します。
[銀行処理]>[銀行振込依頼書]を押下します。



- 条件を入力し、[画面出力]を押下します。

| No | 項目 | 説明 |
|----|--------|--|
| 1 | 出力の種類 | 「画面」を選択します。 |
| 2 | 集計期間 | 振替伝票入力画面で入力した伝票日付の範囲を入力します。 |
| 3 | 会社口座 | 会社口座を入力します。 |
| 4 | 締日/支払日 | 「2.1.4 補助科目を確認する (連携1-②)」で設定した支払先Bの締日を入力します。 |



集計期間には「3.1.1 掛仕入の仕訳を作成する」で作成した伝票の伝票日付が含まれる範囲を選択してください。



支払先Bの締日を設定することにより、支払先B向けの振込データを作成します。

振込先、金額を確認し、[振込データ作成]を押下します。

The screenshot shows a software window titled '銀行振込依頼書' (Bank Remittance Request Form). The menu bar includes 'ファイル(F)', '編集(E)', '設定(S)', 'データ作成(D)', '表示(V)', and 'ヘルプ(H)'. The toolbar contains icons for '開じる', '印刷等', 'アルビ', '集計条件', '再集計', '行コピー', '画面切替', '振込金額編集', and '振込データ作成' (highlighted with a red box). Below the toolbar, there are input fields for '会社口座(B)' (01), '当座預金口座', '締日(D)' (20), '支払日(M)' (0), and '集計期間(L)' (2014年 6月 22日 ~ 2014年 6月 22日). A '集計開始(F5)' button is on the right. The main area is a table with columns: '金融機関', '振込先', '預金種目', '振込金額', '口座番号', '当方手数料', '振込方法', and '先方手数料'. A red dashed box highlights the first row of data.

| 金融機関 | 振込先 | 預金種目 | 振込金額 | 口座番号 | 当方手数料 | 振込方法 | 先方手数料 |
|------|-----------|------|---------|---------|-------|------|-------|
| | 0002 支払先8 | 当座 | 108,000 | 2200002 | | 電信 | 0 |
| 合 計 | | | 108,000 | | 0 | | 0 |

At the bottom, there are function keys F1 through F12 and a status bar that says '集計が完了しました。' (Calculation completed).

- ✚ 条件を入力し、[実行]を押下します。

振込データの作成

選択中の会社口座

| | |
|-------|------------|
| 金融機関 | |
| 支店 | |
| 委託番号 | 1234567890 |
| 預金種目 | 当座 |
| 口座番号 | 1100000 |
| 区切り文字 | CR・LF付 |

仕訳設定 (I)

集計仕訳を転送済みに変更する 支払伝票を作成する

出力設定

取組日 (D) 平成 26年 6月 22日

出力指定 (O) 振込データの作成 PCA電子通帳と連動 EBNext2DXと連動

出力先パス (P) C:\Users\dev-original\Desktop\振込データ.txt

実行(F5) キャンセル

| No | 項目 | 説明 |
|----|-------|----------------------|
| 1 | 仕訳設定 | 「支払伝票を作成する」をチェックします。 |
| 2 | 取組日 | 取組日を入力します。 |
| 3 | 出力指定 | 「振込データの作成」を選択します。 |
| 4 | 出力先パス | 任意の出力先を選択します。 |

- 出力先パスで設定したフォルダに振込データが作成され、支払伝票が表示されます。修正せず、そのまま登録します。

振替伝票入力 (コクヨ式)

ファイル(E) 編集(E) 設定(S) 表示(V) ヘルプ(H)

登録 印刷等 最新 新規 修正 入力前 前伝票 次伝票 検索 行挿入 行削除 伝票削除 複写 逆仕訳 管理仕訳 税計算 マスタ登録 自動仕訳

新規 残り伝票数 1 【財務】

伝票日付(D) 平成 26年 6月 22日

伝票番号(N) 自動

【借方 : 貸方 :】

| 借方金額 | 借方科目/補助/税区分 | 摘要 | 貸方科目/補助/税区分 | 貸方金額 |
|---------|----------------------|----------------|-----------------|---------|
| 108,000 | 312 買掛金
0002 支払先B | 対象外 会社口座 [] 振 | 121 当座預金
対象外 | 108,000 |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| 108,000 | 合計 | 差額 | 0 | 108,000 |

F1 F2 F3 F4 F5 F6 F7 F8 F9 F10 F11 F12

1 / 999



作成された支払先 B 向けの振込データは、EB ソフト等に送信し、振込を実施してください。

3.1.4 一括請求ファイルを作成する

「3.1.2 振込データを作成する(連携1-①)」もしくは「3.1.3 振込データを作成する(連携1-②)」で作成した振込データを本ソフトで読み込み、一括請求ファイルを作成します。

本ソフトの発生記録(債務者)請求作成画面を開き、[総合振込データ読込]を押下します。

発生記録(債務者)請求作成

一括請求ファイル読込 CSV読込 **総合振込データ読込** 対象ファイル

発生記録(予定)日* 2019/10/04

債務者(請求者)情報

| 呼出 | 利用者番号* | 債務者名カ | 金融機関コード* | 支店コード* | 口座種別* | 口座番号* |
|----|-----------|-------|----------|--------|-------|-------|
| 呼出 | AAAAAAAAA | | | | | |

債権者(取引先)情報/債権情報

| | 詳細 | 読込 No | 債権者利用者番号* | 債権者名** | 債権者金融機関コード* | 債権者支店コード* | 債権者口座種別* | 債権者口座番号 |
|-----|----|-------|-----------|--------|-------------|-----------|----------|---------|
| ▶ 1 | 詳細 | | | | | | | |

行ジャンプ 検索 エラージャンプ

合計件数(件) 1
合計金額(円) 0

*必須項目 **一括請求ファイル出力対象外項目

戻る 一括請求ファイル作成

総合振込データ読込
×

債務者(請求者)情報

総合振込データの支払口座情報を条件に下記情報が自動設定されます。未登録の場合は、空白で設定されます。

利用者番号 システム設定もしくは社内口座管理より自動設定されます。

債務者名 社内口座管理より自動設定されます。

債権者(取引先)情報

総合振込データの振込先口座情報を条件に下記情報が自動設定されます。未登録の場合は、空白で設定されます。

利用者番号 取引先管理より自動設定されます。

債権者名 取引先管理より自動設定されます。

発生記録(予定)日/支払期日

総合振込データの取組日(振込指定日)の割り当て先を設定してください。

1 発生記録(予定)日 支払期日

支払期日を設定してください。(全ての請求情報に同一の値が設定されます。)

支払期日 2 2019/11/01

譲渡制限有無

譲渡制限有無を設定してください。(全ての請求情報に同一の値が設定されます。)

譲渡制限有無 3 0:無

総合振込データ

対象ファイル C:\Users\assist-user\Documents\PackageAssist\振込データ.txt 参照

4

閉じる
読込実行

✚ 条件を入力し、[読込実行]を押下します。

| No | 項目 | 説明 |
|----|------------------|----------------------|
| 1 | 取組日(振込指定日)の割り当て先 | 「発生記録(予定)日」を選択します。 |
| 2 | 支払期日 | 電子記録債権の支払期日を入力します。 |
| 3 | 譲渡制限有無 | 電子記録債権の譲渡制限有無を選択します。 |
| 4 | 対象ファイル | 作成した振込データを選択します。 |

表示された内容を確認し、[一括請求ファイル作成]を押下します。

発生記録(予定)日* 2019/10/30

| 呼出 | 利用者番号* | 債務者名か | 金融機関コード* | 支店コード* | 口座種別* | 口座番号* |
|-----------|----------|-------|----------|--------|-------|---------|
| A12345678 | トク*ヨクコガ* | | | | 2:当座 | 1100000 |

| 詳細 | 読込 | 債権者
利用者番号* | 債権者名** | 債権者
金融機関コード* | 債権者
支店コード* | 債権者
口座種別* | 債権者
口座番号 |
|----|----|---------------|--------|-----------------|---------------|--------------|-------------|
| 1 | | 111111111 | 支払先 A | | | 2:当座 | 1100001 |
| 2 | | 222222222 | 支払先 B | | | 2:当座 | 1100002 |

合計件数(件) 2
合計金額(円) 324,000

一括請求ファイル作成

発生記録(予定)日* 2019/10/30

| 呼出 | 利用者番号* | 債務者名か | 金融機関コード* | 支店コード* | 口座種別* | 口座番号* |
|-----------|----------|-------|----------|--------|-------|---------|
| A12345678 | トク*ヨクコガ* | | | | 2:当座 | 1100000 |

| 詳細 | 読込
No | 債権者
/口座番号* | 債権金額(円)* | 支払期日* | 読込制限
有無* | 依頼人Ref.No. |
|----|----------|---------------|----------|------------|-------------|------------|
| 1 | 1 01 | | 218,000 | 2019/11/01 | 0:無 | |
| 2 | 2 02 | | 108,000 | 2019/11/01 | 0:無 | |

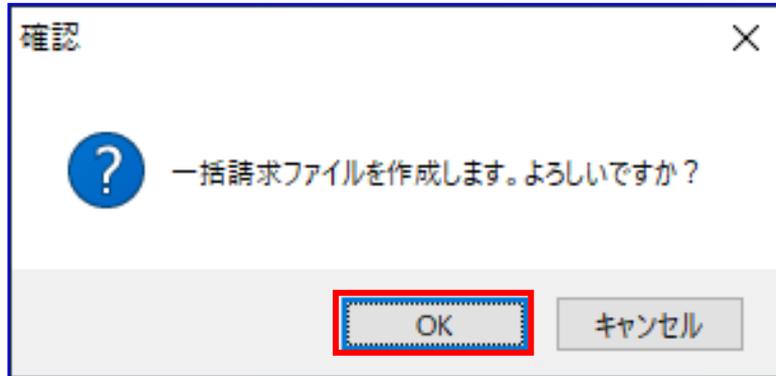
合計件数(件) 2
合計金額(円) 324,000

一括請求ファイル作成

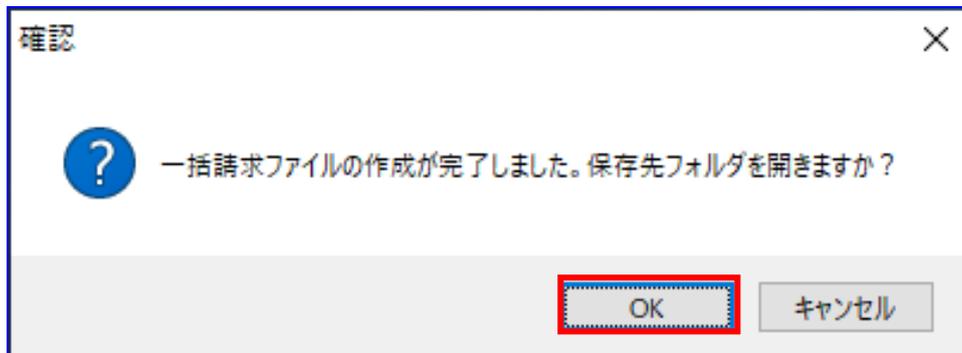
| No | 項目 | 説明 |
|----|-------------|--|
| 1 | 発生記録 (予定) 日 | 「3.1.2 振込データを作成する (連携1-①)」,または「3.1.3 振込データを作成する (連携1-②)」で入力した取組日が設定されます。 |
| 2 | 債権者情報 | 「3.1.1 掛仕入の仕訳伝票を作成する」で入力した補助科目に対応する情報が設定されます。 |
| 3 | 債権金額 (円) | 「3.1.1 掛仕入の仕訳伝票を作成する」で入力した金額が設定されます。 |

| | | |
|---|--------|------------------------|
| 4 | 支払期日 | 前画面で入力した支払期日が設定されます。 |
| 5 | 譲渡制限有無 | 前画面で入力した譲渡制限有無が設定されます。 |

✚ 下記ダイアログの[OK]を押下します。

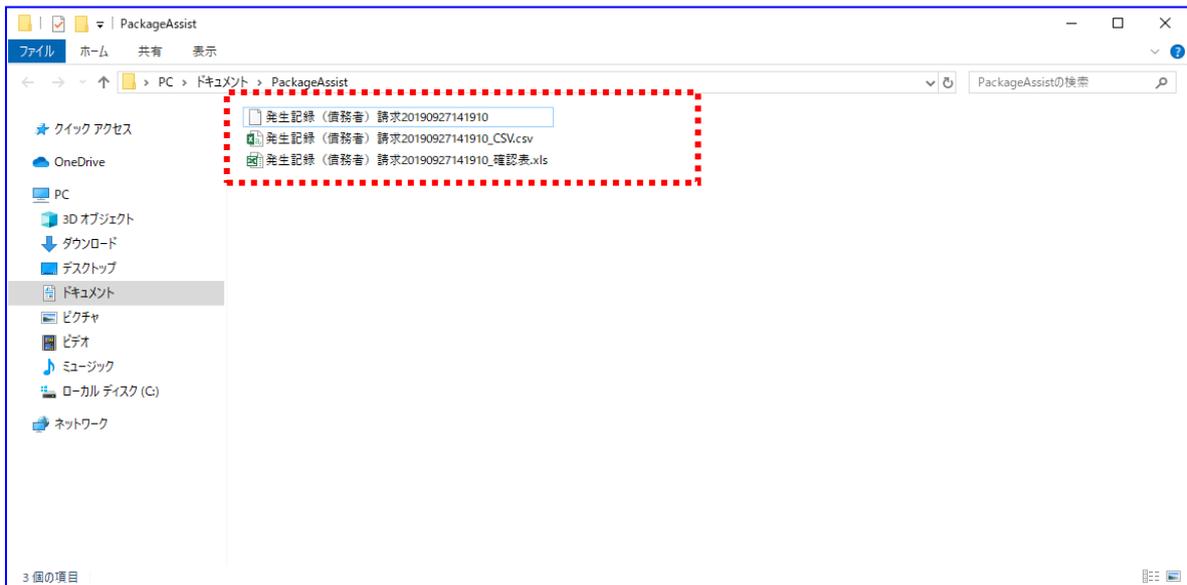


✚ 下記ダイアログの[OK]を押下します。



- 保存先フォルダが表示されますので、一括請求ファイル、一括請求確認表が作成されていることを確認します。

(CSV ファイルは、システム設定画面にて「出力 CSV 設定」の「一括請求ファイル」を「出力する」に設定している場合のみ出力されます。)



一括請求ファイルの作成時に出力されるファイルは下記の通りです。



- 一括請求ファイル : 発生記録 (債務者) 請求 YYYYMMDDhhmmss※
- CSV ファイル : 発生記録 (債務者) 請求 YYYYMMDDhhmmss_CSV.csv
- 一括請求確認表 : 発生記録 (債務者) 請求 YYYYMMDDhhmmss_確認表.xls

※システム設定画面「共通設定情報」の「一括請求ファイル拡張子」にて「付与する」を選択した場合、設定した拡張子が付与されます。

- 出力された一括請求確認表を確認し、想定した請求内容になっていることをご確認ください。
(一括請求確認表の詳細は、基本操作編「**6.2.2 発生記録(債務者)請求確認表**」、
「**6.2.3 発生記録(債権者)請求確認表**」をご参照ください。)

請求内容に誤りがある場合は、再度「**3.1.1 支払伝票を作成する**」を実施し、該当箇所を修正の上、一括請求ファイルを作成してください。

例)発生記録(債務者)請求確認表

| 発生記録(債務者)請求確認表 | | | | | | | | | | 出力日時:2016/06/22 12:34:56 | |
|----------------------------------|-----------|---------|---------|-------|------|------|---------|------------|--------|--------------------------|---------|
| 対象ファイル:発生記録(債務者)請求20160622123456 | | | | | | | | | | | |
| 発生記録(予定)日 | | | | | | | | | | 2014/06/22 | |
| 債務者(請求者)情報 | | | | | | | | | | | |
| 利用者番号 | 債務者名 | 金融機関コード | 支店コード | 口座種別 | 口座番号 | | | | | 合計件数(件) | 2 |
| AAAAAAAA | トヨタ自動車 | | | | | | | | | 合計金額(円) | 324,000 |
| 債権者(取引先)情報/債権情報 | | | | | | | | | | | |
| No | 利用者番号 | 債権者名 | 金融機関コード | 支店コード | 口座種別 | 口座番号 | 債権金額(円) | 支払期日 | 譲渡制限有無 | 依頼人Ref.No. | |
| 1 | 111111111 | 支払先A | | | | | 216,000 | 2014/07/31 | 0:無 | | |
| 2 | 222222222 | 支払先B | | | | | 108,000 | 2014/07/31 | 0:無 | | |

- 電子記録債権取引システムへの一括請求ファイル申請(アップロード)作業を実施してください。
電子記録債権取引システムより一括請求結果が返却後、業務編「**3.4 発生記録(債務者/債権者)請求の一括請求結果確認**」を実施してください。

例)一括請求結果確認表

| 一括請求結果確認表 | | | | | | | | | | 出力日時:2016/06/22 12:34:56 | | |
|-------------------------------|------------------|----------------------|-----------|---|------------|-----|--------|---------|---------|--------------------------|------------|---------|
| 読み込みファイル:k420140622012345.txt | | | | | | | | | | | | |
| 結果 | | | | | | | | | | 正常 | | |
| 通知作成日 | | | | | | | | | | 2014/06/22 | | |
| 通知先利用者番号 | | | | | | | | | | AAAAAAAA | | |
| 通知先名 | | | | | | | | | | トヨタ自動車 | | |
| 通知先口座情報 | | | | | | | | | | ?:当座 1100000 | | |
| | | | | | | | | | | 合計件数(件) | | 2 |
| | | | | | | | | | | 合計金額(円) | | 324,000 |
| No | 区分 | 記録番号 | 債権金額(円) | 電 | 支払期日 | 債権者 | 債権者名 | 債務者口座情報 | | 譲渡制限有無 | 依頼人Ref.No. | |
| 1 | 01:発生
(債務者請求) | 50000040300000100001 | 1,000,001 | 電 | 2016/06/22 | 債務者 | トヨタ自動車 | ?:当座 | 1100000 | 0:無 | | |
| | | | | | 2014/07/31 | 債権者 | トヨタ自動車 | ?:当座 | 2200001 | | | |
| 2 | 01:発生
(債務者請求) | 50000040300000100002 | 1,000,002 | 電 | 2016/06/22 | 債務者 | トヨタ自動車 | ?:当座 | 1100000 | 0:無 | | |
| | | | | | 2014/07/31 | 債権者 | トヨタ自動車 | ?:当座 | 2200002 | | | |



支払期日が到来すると会社口座より債権金額の自動引落が実施されます。
入出金明細データを取得し、「PCA 会計」に登録してください。

「PCA 会計」を開き、下記より登録します。
[銀行処理]>[入出金データの受入 (EB 連携)]

PCA会計X システムB - root/ルート: 0002/P10V01C001ACC0003: NTTデータフロンティア 2014/04/01

ファイル(E) 前準備(Q) データ入力(1) 日常帳票(2) 管理帳票(3) 摘要帳票(4) 分析処理(5)

終了 商魂管 マイメニュー お知らせ ロック ヘルプ バージョン

メインカテゴリ

- ファイル
- 前準備
- データ入力
- 日常帳票
- 管理帳票
- 摘要帳票
- 分析処理
- 決算処理
- 予算・実績
- 合算処理
- 銀行処理**

銀行処理

- 銀行振込依頼書
- 入出金データの受入(EB連携)**

4 事前設定(連携 2)

4.1 「PCA 会計」事前設定(連携 2)

通知ファイルから仕訳伝票を作成する際(連携 2)の「PCA 会計」事前設定方法を説明します。

操作手順

4.1.1
勘定科目を
確認する

4.1.2
補助科目を
確認する

4.1.3
部門を確認する

操作方法

4.1.1 勘定科目を確認する

連携で使用する勘定科目が登録されているか確認します。

- 🚦 「PCA 会計」を開き、[前準備]>[勘定科目の登録]を押下します。



- 勘定科目「売掛金」が存在することを確認します。
勘定科目「売掛金」が存在しない場合は、任意のコードで新規作成します。
(新規作成方法については「PCA 会計」のヘルプをご参照ください。)

| コード | 勘定科目名 | 勘定科目属性 | 加索引 | 貸借 | 借税 | 貸税 |
|-----|--------|----------|-----|----|----|----|
| 151 | 電子記録債権 | 受取手形 | 電子債 | 借方 | 00 | 00 |
| 152 | 売掛金 | 売掛金 | 売掛金 | 借方 | 00 | 00 |
| 159 | 貸倒引当金 | 貸倒引当金 | 貸倒引 | 貸方 | 00 | 00 |
| 161 | 有価証券 | 有価証券 | 有価証 | 借方 | 00 | X0 |
| 171 | 商品 | 商品 | 商品 | 借方 | 00 | 00 |
| 175 | 製品 | 製品 | セ化 | 借方 | 00 | 00 |
| 176 | 原材料 | 原材料 | ケン | 借方 | 00 | 00 |
| 177 | 仕掛品 | 仕掛品 | 仕掛 | 借方 | 00 | 00 |
| 178 | 貯蔵品 | 貯蔵品 | 貯蔵 | 借方 | 00 | 00 |
| 180 | 未収収益 | 未収収益 | 未収 | 借方 | 00 | 00 |
| 181 | 前渡金 | 前渡金 | 前渡 | 借方 | 00 | 00 |
| 182 | 立替金 | 立替金 | 立替 | 借方 | 00 | 00 |
| 183 | 短期貸付金 | 短期貸付金 | 短期 | 借方 | 00 | 00 |
| 184 | 未収入金 | 未収入金 | 未収 | 借方 | 00 | 00 |
| 185 | 前払費用 | 前払費用 | 前払 | 借方 | 00 | 00 |
| 186 | 繰延税金資産 | 繰延税金資産 | 繰延 | 借方 | 00 | 00 |
| 187 | 仮払金 | 仮払金 | 仮払 | 借方 | 00 | 00 |
| 188 | 他流動資産 | その他の流動資産 | ソタ | 借方 | 00 | 00 |
| 191 | 仮払消費税等 | 仮払消費税等 | 仮払 | 借方 | Q4 | Q4 |
| 197 | 未収消費税等 | 未収消費税等 | 未収 | 借方 | 00 | 00 |
| 199 | 貸倒引当金 | 貸倒引当金 | 貸倒 | 貸方 | 00 | 00 |
| 211 | 建物 | 建物 | 建物 | 借方 | Q4 | 00 |
| 212 | 建物付属設備 | 建物付属設備 | 建物 | 借方 | Q4 | 00 |
| 213 | 構築物 | 構築物 | 構築 | 借方 | Q4 | 00 |
| 214 | 機械装置 | 機械装置 | 機械 | 借方 | Q4 | 00 |
| 215 | 車両運搬具 | 車両運搬具 | 車両 | 借方 | Q4 | 00 |
| 216 | 工具器具備品 | 工具器具備品 | 工具 | 借方 | Q4 | 00 |
| 219 | 有形固定資産 | 有形固定資産 | 有形 | 借方 | Q4 | 00 |

- 勘定科目「電子記録債権」が存在することを確認します。
勘定科目「電子記録債権」が存在しない場合は、任意のコードで新規作成します。
(新規作成方法については「PCA 会計」のヘルプをご参照ください。)

勘定科目の登録

ファイル(E) 編集(E) 表示(V) ヘルプ(H)

閉じる 印刷等 最新 新規 詳細 削除 リスト項目 ヘルプ コードダイレクト入力(F8)

[属性グループ別]

(すべてのデータ)
B/S科目
P/L科目

| コード | 勘定科目名 | 勘定科目属性 | 加索引 | 管借 | 借税 | 貸税 |
|-----|--------|------------|------|----|----|----|
| 151 | 電子記録債権 | 受取手形 | デジキ | 借方 | 00 | 00 |
| 152 | 売掛金 | 売掛金 | カガキ | 借方 | 00 | 00 |
| 159 | 貸倒引当金 | 貸倒引当金 | カガオ | 貸方 | 00 | 00 |
| 161 | 有価証券 | 有価証券 | カガヨ | 借方 | 00 | X0 |
| 171 | 商品 | 商品 | カガシ | 借方 | 00 | 00 |
| 175 | 製品 | 製品 | セ化シ | 借方 | 00 | 00 |
| 176 | 原材料 | 原材料 | ケンガ | 借方 | 00 | 00 |
| 177 | 仕掛品 | 仕掛品 | シガキ | 借方 | 00 | 00 |
| 178 | 貯蔵品 | 貯蔵品 | ショゾウ | 借方 | 00 | 00 |
| 180 | 未収収益 | 未収収益 | ミユウ | 借方 | 00 | 00 |
| 181 | 前渡金 | 前渡金 | マワシ | 借方 | 00 | 00 |
| 182 | 立替金 | 立替金 | タガキ | 借方 | 00 | 00 |
| 183 | 短期貸付金 | 短期貸付金 | タガカ | 借方 | 00 | 00 |
| 184 | 未収入金 | 未収入金 | ミユウ | 借方 | 00 | 00 |
| 185 | 前払費用 | 前払費用 | マハラ | 借方 | 00 | 00 |
| 186 | 繰延税金資産 | 繰延税金資産 | カハラ | 借方 | 00 | 00 |
| 187 | 仮払金 | 仮払金 | カハラ | 借方 | 00 | 00 |
| 188 | 他流動資産 | その他の流動資産 | ソタリ | 借方 | 00 | 00 |
| 191 | 仮払消費税等 | 仮払消費税等 | カハラ | 借方 | Q4 | Q4 |
| 197 | 未収消費税等 | 未収消費税等 | ミユウ | 借方 | 00 | 00 |
| 199 | 貸倒引当金 | 貸倒引当金 | カガオ | 貸方 | 00 | 00 |
| 211 | 建物 | 建物 | タタ | 借方 | Q4 | 00 |
| 212 | 建物付属設備 | 建物付属設備 | タタノ | 借方 | Q4 | 00 |
| 213 | 構築物 | 構築物 | コウク | 借方 | Q4 | 00 |
| 214 | 機械装置 | 機械装置 | キョウ | 借方 | Q4 | 00 |
| 215 | 車両運搬具 | 車両運搬具 | シヤク | 借方 | Q4 | 00 |
| 216 | 工具器具備品 | 工具器具備品 | コウキ | 借方 | Q4 | 00 |
| 218 | 有形固定資産 | その他の有形固定資産 | ソタリ | 借方 | Q4 | 00 |

ダブルクリック または Enter キーで、選択しているデータの入力画面を表示します。

174件



- 勘定科目「電子記録債権」の新規作成について
- 勘定科目属性は「受取手形」を設定してください。
 - 貸借区分は「借方」を設定してください。

4.1.2 補助科目を確認する

連携で使用する補助科目が登録されているか確認します。

- ✚ [前準備]>[金融機関の登録]を押下します。



- 得意先に対応する補助科目が存在することを確認します。
補助科目が存在しない場合は、任意のコードで新規作成します。（下記例 1～4 を参照）
（新規作成方法については「PCA 会計」のヘルプをご参照ください。）

| コード | 補助科目名 | 勘定科目名 | 補助区分 | 借税 | 貸税 | 税自動計算 | 税繰戻処理 | 振込先 | 締め日 |
|------|-------|-------|--------|----|----|-------|-------|------|-------|
| 0001 | 得意先A | ト/掛 | 電子記録債権 | 共通 | 00 | 00 | 指定なし | 指定なし | 使用しない |
| 0001 | 得意先A | ト/掛 | 売掛金 | 共通 | 00 | 00 | 指定なし | 指定なし | 使用しない |
| 0002 | 得意先B | ト/掛 | 電子記録債権 | 共通 | 00 | 00 | 指定なし | 指定なし | 使用しない |
| 0002 | 得意先B | ト/掛 | 売掛金 | 共通 | 00 | 00 | 指定なし | 指定なし | 使用しない |


 電子記録債権の得意先は、最初に登録する補助科目は「科目別補助」で作成し、2つ目以降は、最初に登録した補助科目を「共通補助」として呼出して登録します。
 結果としては、上図の通り、補助区分「共通補助」で勘定科目「電子記録債権」「売掛金」が登録されます。

例1：補助科目名「得意先A」、勘定科目「電子記録債権」の設定例

| No | 項目 | 説明 |
|----|-------|---------------------|
| 1 | 勘定科目 | 勘定科目「電子記録債権」を設定します。 |
| 2 | 補助区分 | 「科目別補助」を設定します。 |
| 3 | コード | 任意のコードを入力します。 |
| 4 | 補助科目名 | 「得意先A」を設定します。 |



表に記載のない項目は本ソフトとの連携を行う上で必須ではありませんが、入力が可能です。

例 2：補助科目名「得意先 A」、勘定科目「売掛金」の設定例

| No | 項目 | 説明 |
|----|------|--|
| 1 | 勘定科目 | 勘定科目「売掛金」を設定します。 |
| 2 | 補助区分 | 「共通補助」を設定します。 |
| 3 | 基本設定 | [補助選択]を押下し、補助科目の検索画面にて例1で設定した補助科目名を選択する。 |



表に記載のない項目は本ソフトとの連携を行う上で必須ではありませんが、入力が可能です。

例3：補助科目名「得意先B」、勘定科目「電子記録債権」の設定例

| No | 項目 | 説明 |
|----|-------|---------------------|
| 1 | 勘定科目 | 勘定科目「電子記録債権」を設定します。 |
| 2 | 補助区分 | 「科目別補助」を設定します。 |
| 3 | コード | 任意のコードを入力します。 |
| 4 | 補助科目名 | 「得意先B」を設定します。 |



表に記載のない項目は本ソフトとの連携を行う上で必須ではありませんが、入力が可能です。

例 4：補助科目名「得意先 B」、勘定科目「売掛金」の設定例

| No | 項目 | 説明 |
|----|------|--|
| 1 | 勘定科目 | 勘定科目「売掛金」を設定します。 |
| 2 | 補助区分 | 「共通補助」を設定します。 |
| 3 | 基本設定 | [補助選択]を押下し、補助科目の検索画面にて例3で設定した補助科目名を選択する。 |



表に記載のない項目は本ソフトとの連携を行う上で必須ではありませんが、入力が可能です。

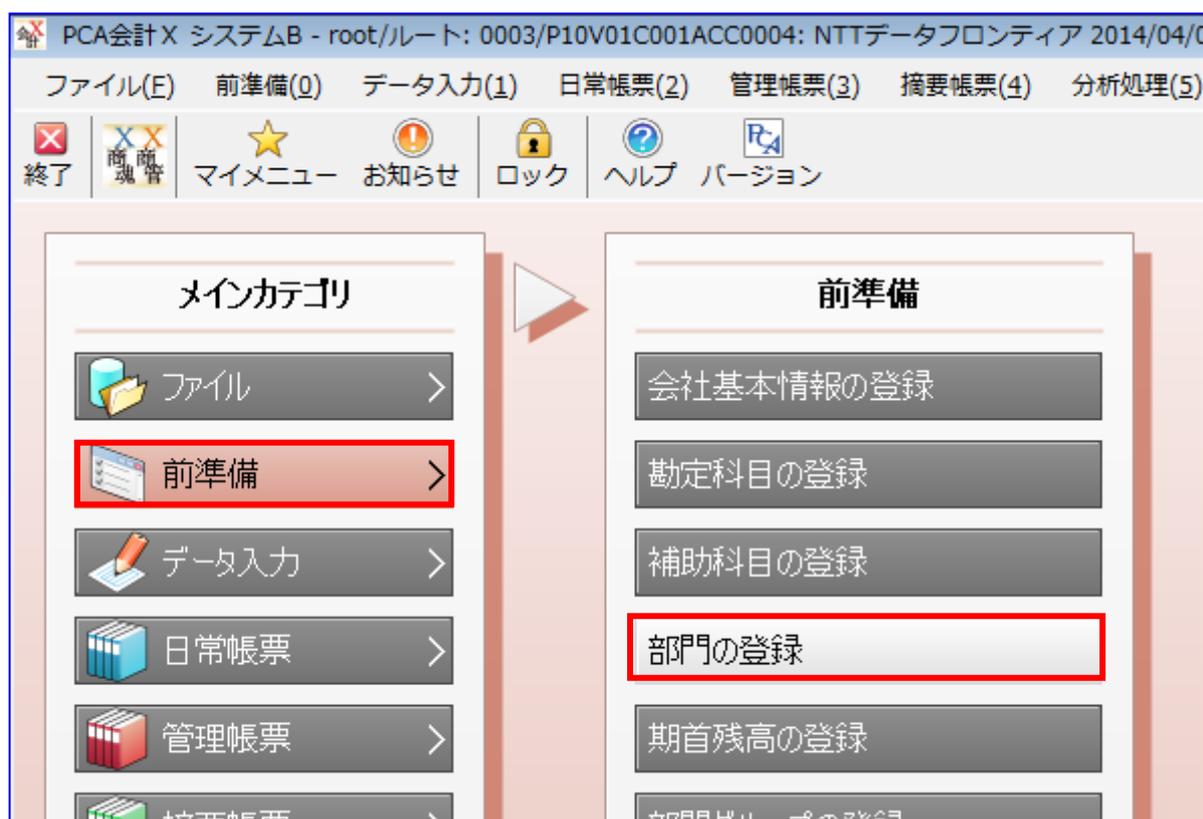
4.1.3 部門を確認する

部門を部門の登録画面で管理している場合、登録内容を確認します。



部門を使用していない場合、本項の作業は不要です。

✚ [前準備]>[部門の登録]を押下します。



4.2 本ソフトの事前設定(連携 2)

連携を行うための本ソフトの事前設定方法を説明します。

操作手順

4.2.1

通知確認設定情報を設定する

4.2.2

取引先を設定する

4.2.3

出力 CSV 設定を設定する

4.2.4

固定値を設定する

操作方法

4.2.1 通知確認設定情報を設定する

- 本ソフトのシステム設定画面を開き、通知確認設定情報の予約通知を「出力しない」に設定し、[保存]を押下します。

The screenshot shows the 'システム設定' (System Settings) dialog box. The '通知確認設定情報' (Notification Confirmation Settings) section is highlighted with a red dashed box. In this section, the '予約通知' (Reservation Notification) is set to '出力しない' (Do not output), which is also highlighted with a red dashed box. The '保存' (Save) button at the bottom right is highlighted with a red solid box.

| 設定項目 | 設定内容 |
|-------------|--|
| 請求者利用者番号 | <input checked="" type="radio"/> 通常利用時 <input type="radio"/> 事務代行等での利用時 |
| 利用者番号 | AAAAAAAAA |
| ファイル出力先 | C:\Users\%assist-user%\Documents\%PackageAssist |
| 口座種別区分 | <input type="radio"/> 別段を利用する <input checked="" type="radio"/> 別段を利用しない |
| 一括請求ファイル拡張子 | <input type="radio"/> 付与する <input checked="" type="radio"/> 付与しない |
| メニュー表示有無 | |
| 発生記録(債権者)請求 | <input checked="" type="radio"/> 表示する <input type="radio"/> 表示しない |
| 譲渡記録設定情報 | |
| 保証随伴有無 | <input checked="" type="radio"/> 選択可(保証有り/無し) <input type="radio"/> 選択不可(保証有りのみ) |
| 全額譲渡時の金額入力 | <input checked="" type="radio"/> 入力する <input type="radio"/> 入力しない |
| 通知確認設定情報 | |
| 予約通知 | <input type="radio"/> 出力する <input checked="" type="radio"/> 出力しない |
| 読込CSV設定 | |
| 使用フォーマット | 一括請求Assist標準 |
| 出力CSV設定 | |
| 使用フォーマット | 一括請求Assist標準 |
| 一括請求ファイル | <input checked="" type="radio"/> 出力する <input type="radio"/> 出力しない |
| 一括請求結果ファイル | <input checked="" type="radio"/> 出力する <input type="radio"/> 出力しない |
| 通知ファイル | <input checked="" type="radio"/> 出力する <input type="radio"/> 出力しない |

4.2.2 取引先を設定する

- 本ソフトの取引先管理画面を開き、「4.1.2 補助科目を確認する」で登録した得意先が登録されていることを確認します。登録されていない場合は新規に登録します。

| | 利用者番号* | 取引先名* | 金融機関コード* | 支店コード* | 口座種別* | 口座番号* |
|-----|-----------|-------|----------|--------|-------|---------|
| ▶ 1 | 111111111 | 得意先 A | | | 1: 普通 | 1111111 |
| 2 | 222222222 | 得意先 B | | | 2: 当座 | 2222222 |

- 取引先 ID に補助科目のコードを登録します。

PCA会計X
補助科目の登録画面

補助科目の登録

ファイル(E) 編集(E) 表示(V) ヘルプ(H)

閉じる 印刷等 最新 検索 新規 詳細 削除 リスト項目 ヘルプ コードダイレクト入力(F8)

[勘定科目別-五十音別] データー一覧 検索結果

| (すべてのデータ) | コード | 補助科目名 | 加索引 | 勘定科目名 |
|----------------|------|-------|------|--------|
| 111 現金 (0) | 0001 | 得意先A | トクイ掛 | 電子記録債権 |
| 112 小口現金 (0) | 0001 | 得意先A | トクイ掛 | 売掛金 |
| 121 当座預金 (0) | 0002 | 得意先B | トクイ掛 | 電子記録債権 |
| 131 普通預金 (0) | 0002 | | | 売掛金 |
| 139 納税準備預金 (0) | | | | |
| 140 貯蓄預金 (0) | | | | |

一括請求Assist
(取引先管理画面)

取引先管理

CSV読込 CSV出力

取引先情報

| 取引先名* | 全額振替用コード* | 本店コード* | 口座種別* | 口座番号* | 取引先ID |
|-------|-----------|--------|-------|---------|-------|
| 1 | 8888 | 001 | 1:普通 | 1111111 | 0001 |
| 2 | 8888 | 002 | 2:当座 | 2222222 | 0002 |

行ジャンプ 検索 エラージャンプ

戻る 更新



本ソフトへの登録時には、コピー&ペーストをするなどし、「PCA 会計」の設定値と完全に一致させてください。

4.2.3 出力 CSV 設定を設定する

- 本ソフトのシステム設定画面を開き、出力 CSV 設定の使用フォーマットに「連携用_PCA 会計 (OBC)」を選択し、[保存]を押下します。

システム設定

共通設定情報

請求者利用者番号 通常利用時 事務代行等での利用時
利用者番号

ファイル出力先 参照

座種別区分 別段を利用する 別段を利用しない

一括請求ファイル拡張子 付与する 付与しない

メニュー表示有無

発生記録(債権者)請求 表示する 表示しない

譲渡記録設定情報

保証随伴有無 選択可(保証有り/無し) 選択不可(保証有りのみ)

全額譲渡時の金額入力 入力する 入力しない

通知確認設定情報

予約通知 出力する 出力しない

読込CSV設定

使用フォーマット 修正 削除 新規作成 ファイル読込 ファイル出力

出力CSV設定

使用フォーマット 修正 削除 新規作成 ファイル読込 ファイル出力

一括請求ファイル

一括請求結果ファイル

通知ファイル

一括請求Assist標準
配信1
連携用_勘定奉行(OBC)_SN
連携用_勘定奉行(OBC)_SY
連携用_勘定奉行(OBC)_BN
連携用_勘定奉行(OBC)_BY
連携用_商奉行(OBC)_N
連携用_商奉行(OBC)_Y
連携用_PCA会計(PCA)
連携用_発生会計(発生)
連携用_FXシリーズ(TKC)

キャンセル

4.2.4 固定値を設定する

出力 CSV フォーマット詳細設定画面を開き、「PCA 会計」に登録されている勘定科目コードと部門コードを設定します。

✚ 本ソフトのシステム設定画面を開き、出力 CSV 設定の[修正]を押下します。

システム設定

共通設定情報

請求者利用者番号 通常利用時 事務代行等での利用時

ファイル出力先 参照

口座種別区分 別段を利用する 別段を利用しない

一括請求ファイル拡張子 付与する 付与しない

メニュー表示有無

発生記録(債権者)請求 表示する 表示しない

譲渡記録設定情報

保証随伴有無 選択可(保証有り/無し) 選択不可(保証有りのみ)

全額譲渡時の金額入力 入力する 入力しない

通知確認設定情報

予約通知 出力する 出力しない

読込CSV設定

使用フォーマット 一括請求Assist標準 修正 削除 新規作成 ファイル読込 ファイル出力

出力CSV設定

使用フォーマット 連携用_PCA会計 (PCA) 修正 削除 新規作成 ファイル読込 ファイル出力

一括請求結果ファイル 出力する 出力しない

通知ファイル 出力する 出力しない

キャンセル 保存

- ✚ 出力 CSV フォーマットの通知の[設定]を押下します。

出力CSVフォーマット共通設定

共通情報

フォーマット名

フォーマット形式

出力形式

日付形式 YYYYMMDD YYYY/MM/DD YYYY/M/D

金額形式 カンマ有 カンマ無

更新

出力CSVフォーマット

一括請求結果 ※未設定

通知

閉じる



連携用の出力 CSV フォーマットについては、「フォーマット名」の修正はできません。

- 出力 CSV フォーマット詳細設定画面の固定値を設定し、[保存]を押下します。
設定値については次ページ以降の通り設定します。

出力CSVフォーマット詳細設定 ×

フォーマット名 フォーマット形式

対象ファイル CSV項目数

利用者IDの自動設定有無

CSV出力の際、口座情報を条件に利用者IDを自動設定することができます。

通知先情報_利用者IDを社内口座管理より自動設定する 自動設定する 自動設定しない

義務者情報_利用者ID、権利者情報_利用者IDを
社内口座管理もしくは取引先管理より自動設定する 自動設定する 自動設定しない

タイトル行有無

出力CSVの1行目にタイトル行(項目名)を設定する 設定する 設定しない

出力CSV項目設定

各項目の項目番号(出力位置)を指定してください。

| 項目名 | 項目番号 | 固定値 |
|------------------|------|-----|
| 作成対象区分 *1 | | |
| 通知作成日 *1 | | |
| 通知先情報_利用者番号 *1 | | |
| 通知先情報_通知先名か *1 | | |
| 通知先情報_金融機関コード *1 | | |
| 通知先情報_金融機関名か *1 | | |
| 通知先情報_支店コード *1 | | |
| 通知先情報_支店名か *1 | | |

出力CSVに任意の固定値を設定する際に指定してください。

| 項目名 | 項目番号 | 固定値 |
|-----------|------|-----|
| 借方勘定科目コード | 4 | 151 |
| 貸方勘定科目コード | 5 | 152 |
| 借方部門コード | 6 | 001 |

*1 CSV出力の際、全レコードに同一の値が設定されます。

検索 エラージャンプ

✚ 借方勘定科目コードの固定値について

「PCA 会計」の勘定科目「電子記録債権」に対応するコードを設定します。

PCA会計
(勘定科目の登録画面)

勘定科目の登録

ファイル(E) 編集(E) 表示(V) ヘルプ(H)

閉じる 印刷等 最新 新規 詳細 削除 リスト項目 ヘルプ

[属性グループ別] ▼

(すべてのデータ)

- ⊕ B/S科目
- ⊕ P/L科目

| コード | 勘定科目名 | 勘定 |
|-----|--------|----|
| 151 | 電子記録債権 | 受取 |
| 152 | 売掛金 | 売掛 |
| 159 | 貸倒引当金 | 貸倒 |
| 161 | 有価証券 | 有価 |
| 171 | 商品 | 商品 |

一括請求Assist
(出力CSVフォーマット設定画面)

出力CSV項目設定

各項目の項目番号(出力位置)を指定してください。

| 項目名 | 項目番号 | 固定値 |
|------------------|------|-----|
| 作成対象区分 *1 | | |
| 通知作成日 *1 | | |
| 通知先情報_利用者番号 *1 | | |
| 通知先情報_通知先名か *1 | | |
| 通知先情報_金融機関コード *1 | | |
| 通知先情報_金融機関名か *1 | | |
| 通知先情報_支店コード *1 | | |
| 通知先情報_支店名か *1 | | |

出力CSVに任意の固定値を設定する際に指定してください。

| 項目名 | 項目番号 | 固定値 |
|-----------|------|-----|
| 借方勘定科目コード | 4 | 151 |
| 貸方勘定科目コード | 5 | |
| 借方部門コード | 6 | |

*1 CSV出力の際、全レコードに同一の値が設定されます。

- 貸方勘定科目コードの固定値について
「PCA 会計」の勘定科目「売掛金」に対応するコードを設定します。

**PCA会計
(勘定科目の登録画面)**

勘定科目の登録

ファイル(E) 編集(E) 表示(V) ヘルプ(H)

閉じる 印刷等 最新 新規 詳細 削除 リスト項目 ヘルプ

[属性グループ別] (すべてのデータ)

- B/S科目
- P/L科目

| コード | 勘定科目名 | 勘定 |
|-----|--------|----|
| 151 | 電子記録債権 | 受 |
| 152 | 売掛金 | 売 |
| 159 | 貸倒引当金 | 貸 |
| 161 | 有価証券 | 有 |
| 171 | 商品 | 商 |

**一括請求Assist
(出力CSVフォーマット設定画面)**

出力CSV項目設定

各項目の項目番号(出力位置)を指定してください。

| 項目名 | 項目番号 | 固定値 |
|------------------|------|-----|
| 作成対象区分 *1 | | |
| 通知作成日 *1 | | |
| 通知先情報_利用者番号 *1 | | |
| 通知先情報_通知先名 *1 | | |
| 通知先情報_金融機関コード *1 | | |
| 通知先情報_金融機関名 *1 | | |
| 通知先情報_支店コード *1 | | |
| 通知先情報_支店名 *1 | | |

出力CSVに任意の固定値を設定する際に指定してください。

| 項目名 | 項目番号 | 固定値 |
|-----------|------|-----|
| 借方勘定科目コード | 4 | 1 |
| 貸方勘定科目コード | 5 | 152 |
| 借方部門コード | 6 | |

*1 CSV出力の際、全レコードに同一の値が設定されます。

- ✚ 借方部門コード、貸方部門コードの固定値について
「PCA 会計」の部門に対応するコードを設定します。

PCA会計
(部門の登録画面)

部門の登録

ファイル(E) 編集(E) 表示(V) ヘルプ(H)

閉じる 登録 印刷等 最新 挿入 削除 検

| コード | 部門名 |
|-----|------|
| 000 | 共通部門 |
| 001 | 東京支店 |
| 002 | |

一括請求Assist
(出力CSVフォーマット設定画面)

出力CSV項目設定

各項目の項目番号(出力位置)を指定してください。

| 項目名 | 項目番号 | 固定値 |
|------------------|------|-----|
| 作成対象区分 *1 | | |
| 通知作成日 *1 | | |
| 通知先情報_利用者番号 *1 | | |
| 通知先情報_通知先名か *1 | | |
| 通知先情報_金融機関コード *1 | | |
| 通知先情報_金融機関名か *1 | | |
| 通知先情報_支店コード *1 | | |
| 通知先情報_支店名か *1 | | |

出力CSVに任意の固定値を設定する際に指定してください。

| 項目名 | 項目番号 | 固定値 |
|---------|------|-----|
| 借方部門コード | 6 | 001 |
| 貸方部門コード | 7 | 001 |
| 税区分コード | 8 | 00 |

*1 CSV出力の際、全レコードに同一の値が設定されます。



本ソフトで設定する「PCA 会計」との連携用の「部門コード」は1種類になります。複数の部門を使い分けて利用する場合は、連携後の「PCA 会計」の振替伝票入力画面で修正するか、連携の都度、本手順にて固定値を修正してください。
(振替伝票入力画面での部門の修正方法については「PCA 会計」のヘルプをご参照ください。)

【参考】固定値の属性と桁数について

出力 CSV フォーマット詳細設定画面の固定値について、各項目は半角／全角で設定可能ですが、下記以外の属性と桁数で入力した場合、債権情報 CSV ファイル作成時にエラーが発生します。

| No | 固定値の項目名 | 属性 | 桁数 | 必須／任意 | 備考 |
|----|-----------|-------|----|-------|----|
| 1 | 借方勘定科目コード | 全角／半角 | 10 | 必須 | |
| 2 | 貸方勘定科目コード | 全角／半角 | 10 | 必須 | |
| 3 | 借方部門コード | 全角／半角 | 6 | 必須 | |
| 4 | 貸方部門コード | 全角／半角 | 6 | 必須 | |
| 5 | 税区分コード | 全角／半角 | 2 | 必須 | |
| 6 | 税額 | 全角／半角 | 11 | 必須 | |

【参考】出力 CSV フォーマット詳細設定画面の初期設定値

| No | 項目 | 項目番号(カッコ内は固定値の値) |
|----|---------------------------------|------------------|
| 1 | CSV 項目数 | 11 |
| 2 | 利用者 ID の自動設定有無 | |
| 3 | 利用者 ID の自動設定有無
(通知先情報) | 自動設定しない |
| 4 | 利用者 ID の自動設定有無
(義務者情報、権利者情報) | 自動設定する |
| 5 | タイトル行有無 | |
| 6 | タイトル行有無 | 設定しない |
| 7 | 出力 CSV 項目設定 | |
| 8 | データレコード項目 | |
| 9 | 作成対象区分 | - |
| 10 | 通知作成日 | - |
| 11 | 通知先情報_利用者番号 | - |
| 12 | 通知先情報_通知先名か | - |
| 13 | 通知先情報_金融機関コード | - |
| 14 | 通知先情報_金融機関名か | - |
| 15 | 通知先情報_支店コード | - |
| 16 | 通知先情報_支店名か | - |
| 17 | 通知先情報_口座種別 | - |
| 18 | 通知先情報_口座番号 | - |
| 19 | 通知先情報_利用者 ID | - |
| 20 | 合計件数 (件) | - |
| 21 | 合計金額 (円) | - |
| 22 | データレコード区分 | - |
| 23 | 義務者情報_義務者名 | - |
| 24 | 義務者情報_金融機関コード | - |
| 25 | 義務者情報_金融機関名か | - |
| 26 | 義務者情報_支店コード | - |
| 27 | 義務者情報_支店名か | - |
| 28 | 義務者情報_口座種別 | - |
| 29 | 義務者情報_口座番号 | - |
| 30 | 義務者情報_利用者 ID | 3 |

| No | 項目 | 項目番号(カッコ内は固定値の値) |
|----|------------------|------------------|
| 31 | 権利者情報_権利者名 | - |
| 32 | 権利者情報_金融機関コード | - |
| 33 | 権利者情報_金融機関名か | - |
| 34 | 権利者情報_支店コード | - |
| 35 | 権利者情報_支店名か | - |
| 36 | 権利者情報_口座種別 | - |
| 37 | 権利者情報_口座番号 | - |
| 38 | 権利者情報_利用者 ID | - |
| 39 | 債権金額 (円) | 1 |
| 40 | 支払期日 | 10 |
| 41 | 譲渡制限有無 | - |
| 42 | 記録番号 | 11 |
| 43 | 依頼人 Ref. No. | - |
| 44 | 電子記録年月日 | 2 |
| 45 | 取消区分 | - |
| 46 | データレコード項目 (任意項目) | |
| 47 | 借方勘定科目コード | 4 (固定値: 空) |
| 48 | 貸方勘定科目コード | 5 (固定値: 空) |
| 49 | 借方部門コード | 6 (固定値: 空) |
| 50 | 貸方部門コード | 7 (固定値: 空) |
| 51 | 税区分コード | 8 (固定値: 00) |
| 52 | 税額 | 9 (固定値: 0) |

【参考】出力 CSV ファイルフォーマット

| No | 項目 | 出力内容 | 備考 |
|----|-----------|---|-----------|
| 1 | データレコード | | |
| 2 | 伝票日付 | 通知ファイル, 電子記録年月日 | |
| 3 | 伝票番号 | 半角スペース 5 桁 | |
| 4 | 仕訳区分 | 半角スペース 2 桁 | |
| 5 | 管理仕訳区分 | 半角スペース 1 桁 | |
| 6 | 借方税計算モード | 半角スペース 1 桁 | |
| 7 | 借方部門コード | 固定値: 出力 CSV フォーマット詳細設定画面で設定された値 | |
| 8 | 借方部門名 | 半角スペース 30 桁 | |
| 9 | 借方勘定科目コード | 固定値: 出力 CSV フォーマット詳細設定画面で設定された値 | |
| 10 | 借方科目名 | 半角スペース 14 桁 | |
| 11 | 借方補助コード | 通知ファイル, 義務者情報の
口座情報 (金融機関コード/支店コード/口座種別/口座番号) に
一致する取引先管理情報. 取引先 ID を自動設定 | |
| 12 | 借方補助名 | 半角スペース 14 桁 | |
| 13 | 借方税区分コード | 固定値: 出力 CSV フォーマット詳細設定画面で設定された値 | |
| 14 | 借方税区分名 | 半角スペース 14 桁 | |
| 15 | 借方金額 | 通知ファイル, 債権金額 | |
| 16 | 借方消費税額 | 固定値: 出力 CSV フォーマット詳細設定画面で設定された値 | |
| 17 | 貸方税計算モード | 半角スペース 1 桁 | |
| 18 | 貸方部門コード | 固定値: 出力 CSV フォーマット詳細設定画面で設定された値 | |
| 19 | 貸方部門名 | 半角スペース 30 桁 | |
| 20 | 貸方勘定科目コード | 固定値: 出力 CSV フォーマット詳細設定画面で設定された値 | |
| 21 | 貸方科目名 | 半角スペース 14 桁 | |
| 22 | 貸方補助コード | 通知ファイル, 義務者情報の
口座情報 (金融機関コード/支店コード/口座種別/口座番号) に
一致する取引先管理情報. 取引先 ID を自動設定 | |
| 23 | 貸方補助名 | 半角スペース 14 桁 | |
| 24 | 貸方税区分コード | 固定値: 出力 CSV フォーマット詳細設定画面で設定された値 | |
| 25 | 貸方税区分名 | 半角スペース 14 桁 | |
| 26 | 貸方金額 | 通知ファイル, 債権金額 | |
| 27 | 貸方消費税額 | 固定値: 出力 CSV フォーマット詳細設定画面で設定された値 | |
| 28 | 摘要文 | 半角スペース 256 桁 | |
| 29 | 数字 1 | 通知ファイル, 支払期日 | YYMMDD 形式 |
| 30 | 数字 2 | 通知ファイル, 記録番号 | |
| 31 | 入力プログラム区分 | 半角スペース 2 桁 | |
| 32 | 配賦元税計算 | 半角スペース 1 桁 | |
| 33 | 配賦元集計方法 | 半角スペース 1 桁 | |
| 34 | 配賦元集計開始日付 | 半角スペース 8 桁 | |
| 35 | 配賦元集計終了日付 | 半角スペース 8 桁 | |
| 36 | 配賦元管理仕訳区分 | 半角スペース 2 桁 | |
| 37 | 配賦元部門コード | 半角スペース 6 桁 | |
| 38 | 配賦元部門名 | 半角スペース 30 桁 | |
| 39 | 配賦元科目コード | 半角スペース 10 桁 | |
| 40 | 配賦元科目名 | 半角スペース 14 桁 | |
| 41 | 配賦元補助コード | 半角スペース 10 桁 | |
| 42 | 配賦元補助名 | 半角スペース 14 桁 | |
| 43 | 配賦元金額 | 半角スペース 12 桁 | |

(CSV ファイルフォーマットの詳細については「PCA 会計」のヘルプをご参照ください。)

5 連携手順(連携 2)

5.1 連携手順(連携 2)

「PCA 会計」と本ソフトの連携手順を説明します。

操作手順

5.1.1
通知ファイルを読
込む
【本ソフト】

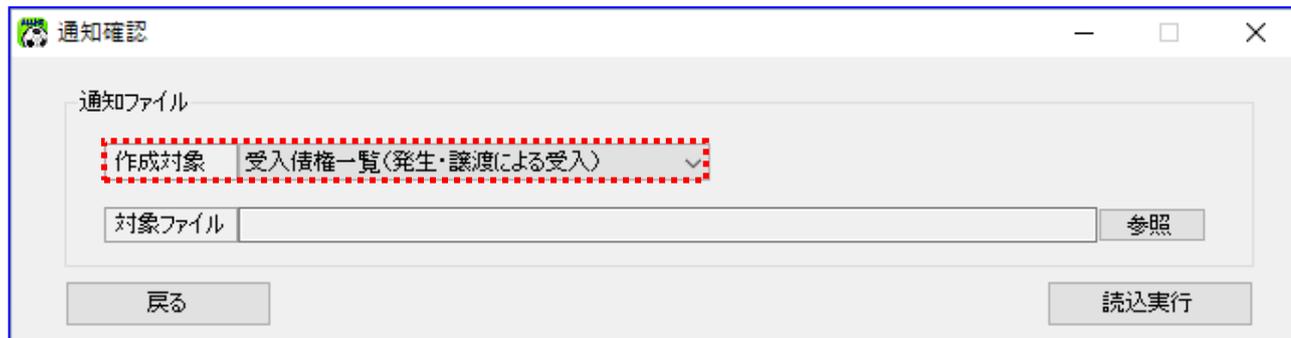
5.1.2
通知情報を
確認する
【本ソフト】

5.1.3
仕訳データを
作成する
【PCA 会計】

操作方法

5.1.1 通知ファイルを読み込む

本ソフトで電子記録債権取引システムからダウンロードした通知ファイルを読み込み、「PCA 会計」に読み込ませる債権情報 CSV ファイルを作成します。

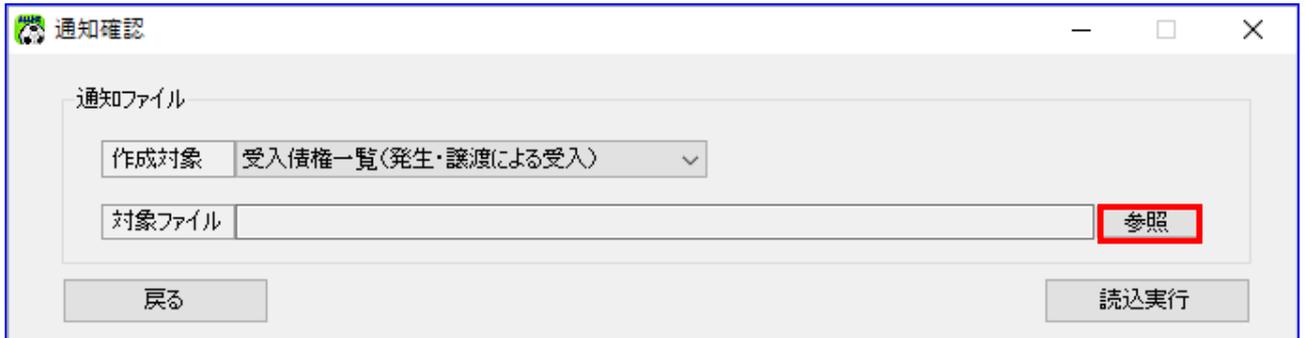


- 本ソフトの通知確認画面を開き、作成対象に「受入債権一覧 (発生・譲渡による受入)」を選択します。

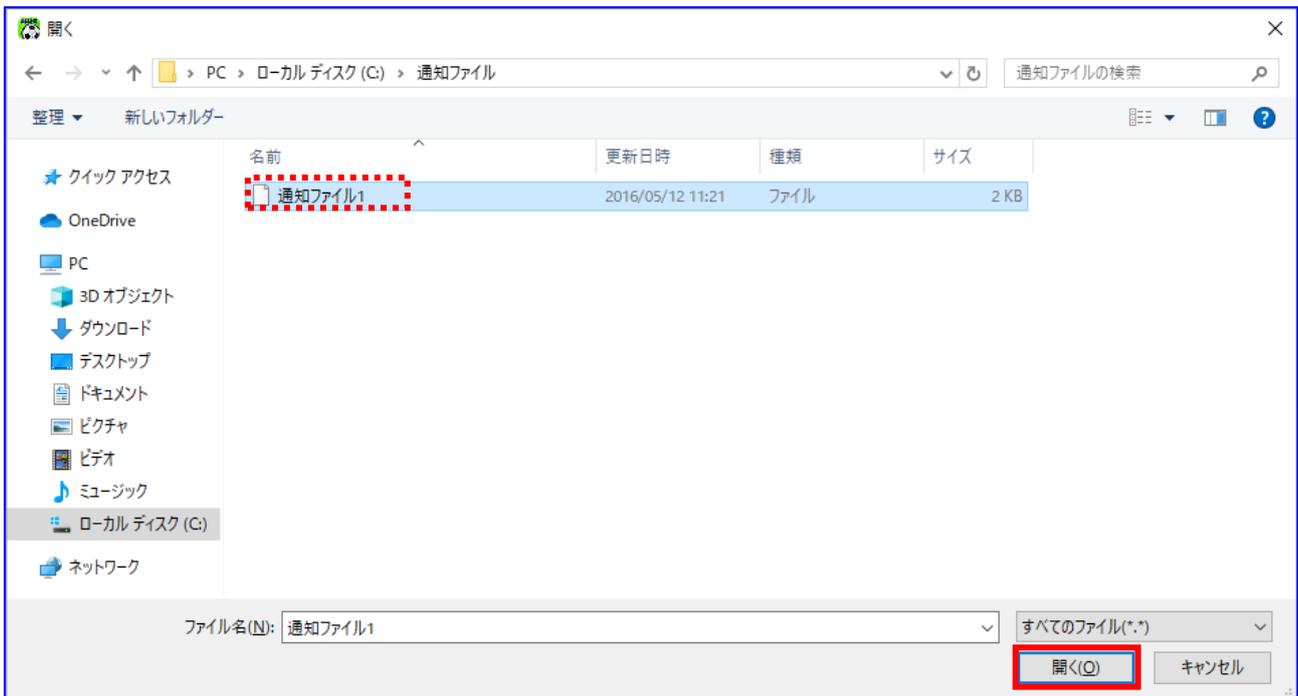


「受入債権一覧 (発生・譲渡による受入)」を選択した場合、通知ファイルから発生・譲渡の受入情報のみを抽出した受入債権一覧を作成します。
読み込んだ通知ファイルの権利者口座情報に、自身の口座情報 (通知先情報の口座情報) が設定されている債権を抽出します。

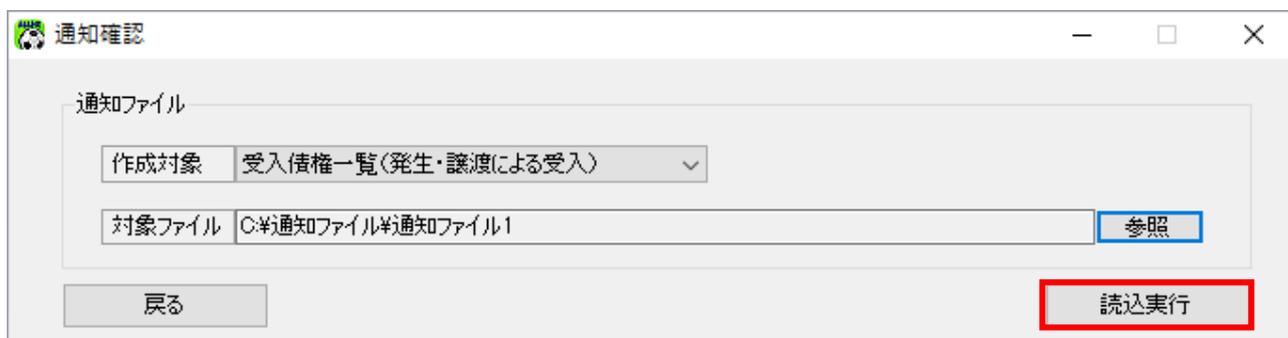
- 電子記録債権取引システムより取得した通知ファイルを読み込みます。
[参照]を押下します。



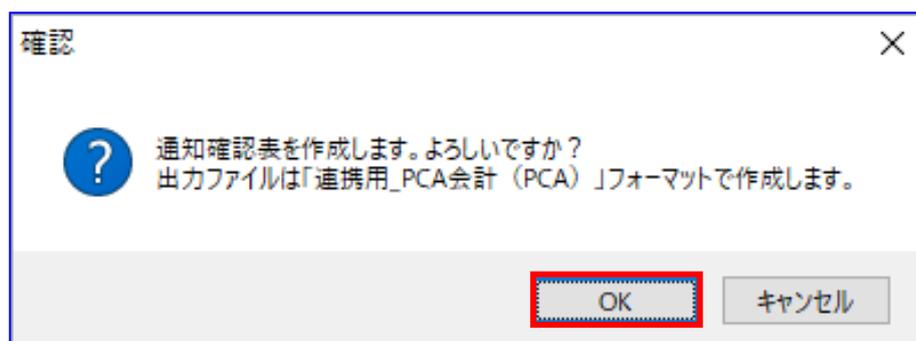
- [参照]を押下すると、ファイルを開くダイアログが表示されます。
内容を確認する通知ファイルを選択し、[開く]を押下します。



- ✚ 選択したファイルが対象ファイルに表示されます。
[読込実行]を押下します。



- ✚ [読込実行]を押下すると、確認ダイアログが表示されます。
よろしければ、[OK]を押下します。



「**4.2.3 出力 CSV 設定を設定する**」で設定した使用フォーマット名（連携用_PCA 会計（PCA））が表示されます。

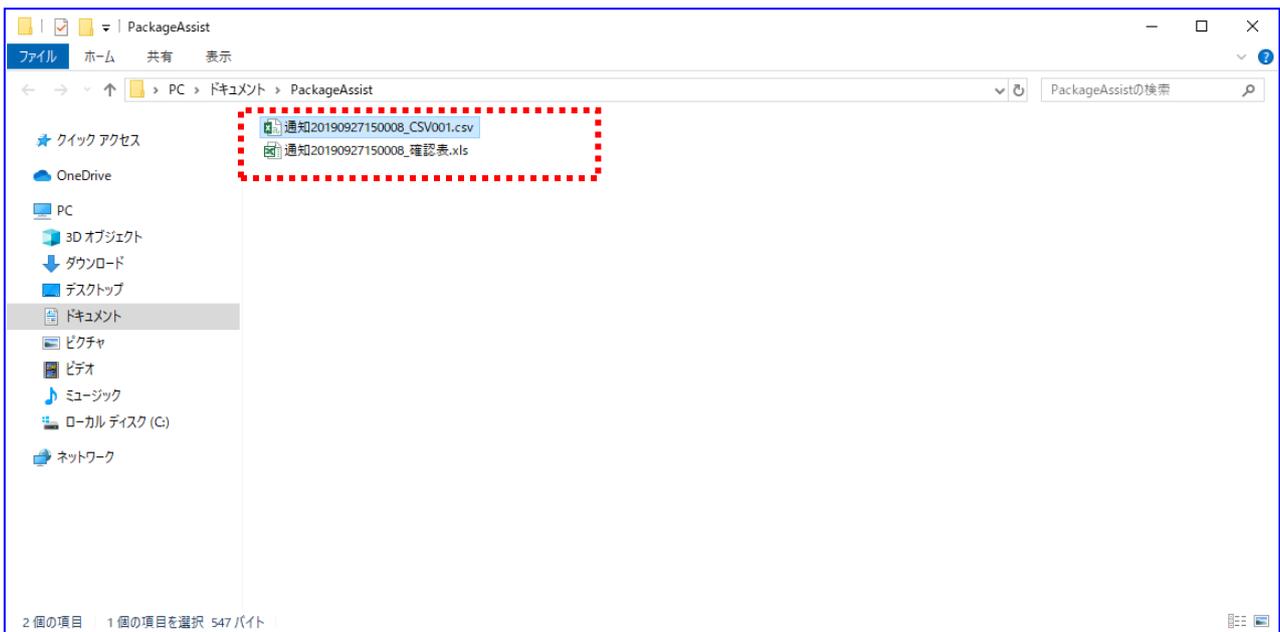


[OK]を押下後にエラーメッセージが表示される場合、トラブルシューティング「**2.1.10 連携エラー**」をご参照ください。

- 通知確認表の作成が完了すると、確認ダイアログが表示されます。
作成した通知確認表の保存先フォルダを表示する場合、[OK]を押下します。



- 保存先フォルダが表示されますので、通知確認表、CSV ファイルが作成されていることを確認します。



 通知確認表の作成時に出力されるファイルは下記の通りです。

| | |
|----------|--------------------------------|
| 通知確認表 | : 通知 YYYYMMDDhhmmss_確認表.xls |
| CSV ファイル | : 通知 YYYYMMDDhhmmss_CSVxxx.csv |

5.1.2 通知情報を確認する

- 出力された通知確認表を開きます。
(通知確認表の詳細は、基本操作編「**6.2.8.1 通知確認表(概要)**」、「**6.2.8.2 通知確認表**」をご参照ください。)

通知確認表は、「概要シート」と「詳細シート」で構成されています。

- 「概要シート」には、各詳細シートにおける「出力ファイル」、「通知先情報」、「合計件数」、「合計金額」の一覧が出力されています。

例)通知確認表(概要シート)

| No | シート名 | 出力ファイル | 通知先利用者番号 | 通知先名 | 通知先口座情報 | 合計件数(件) | 合計金額(円) |
|----|----------|---------------------------|----------|--------|--------------|---------|---------|
| 1 | 通知確認表001 | 通知0140616175109_CS001.csv | AAAAAAAA | 〆〆〆〆〆〆 | 〆:当座 1100000 | 2 | 200,000 |
| 2 | 通知確認表002 | 通知0140616175109_CS002.csv | AAAAAAAA | 〆〆〆〆〆〆 | 〆:当座 2100000 | 2 | 200,000 |

通知確認表(概要)

通知確認表001

通知確認表002

概要シート

詳細シート

- 「詳細シート」には、読込んだ通知ファイルの通知先口座情報ごとの詳細情報が出力されています。

例)通知確認表(詳細シート)

| No | 区分 | 記録番号 | 債権金額(円) | 電子記録年月日
支払期日 | 債務者
債権者 | 債権者名
権利者名 | 義務者口座情報
権利者口座情報 | 譲渡
制限 | 依頼人 Ref.No. | 取消
区分 |
|----|-------------------|----------------------|---------|--------------------------|------------|------------------|------------------------------|----------|--|----------|
| 1 | 01: 発生
(債務者請求) | 500000A0300000100001 | 100,000 | 2014/05/03
2014/07/31 | 債務者
債権者 | 〆/〆/〆-
〆〆〆〆〆〆 | 〆:普通 1111111
〆:当座 1100000 | 0:無 | ABCDEFGHIJKLMNORSTUVW
XYZ01234567890123 | |
| 2 | 01: 発生
(債務者請求) | 500000A0300000100002 | 100,000 | 2014/05/03
2014/07/31 | 債務者
債権者 | 〆/〆/〆-
〆〆〆〆〆〆 | 〆:普通 2222222
〆:当座 1100000 | 0:無 | ABCDEFGHIJKLMNORSTUVW
XYZ01234567890123 | |



「詳細シート」は、通知先口座情報（金融機関コード／支店コード／口座種別／口座番号）ごとに作成されます。
電子記録債権取引システムからダウンロードする際に、特定の通知先口座情報を指定した場合は、「詳細シート」が1つだけ作成されることになります。

出力ファイルも同様に、通知先口座情報の数だけ作成されます。



作成対象が「受入債権一覧（発生・譲渡による受入）」を選択した際は、条件に該当する債権が存在した通知先口座情報のみ詳細シートおよび出力ファイルが出力されます。

条件に該当する債権が存在しなかった通知先口座情報については、概要シートの「シート名」に「-（ハイフン）」が表示され、詳細シートおよび出力ファイルは出力されません。

5.1.3 仕訳伝票を作成する

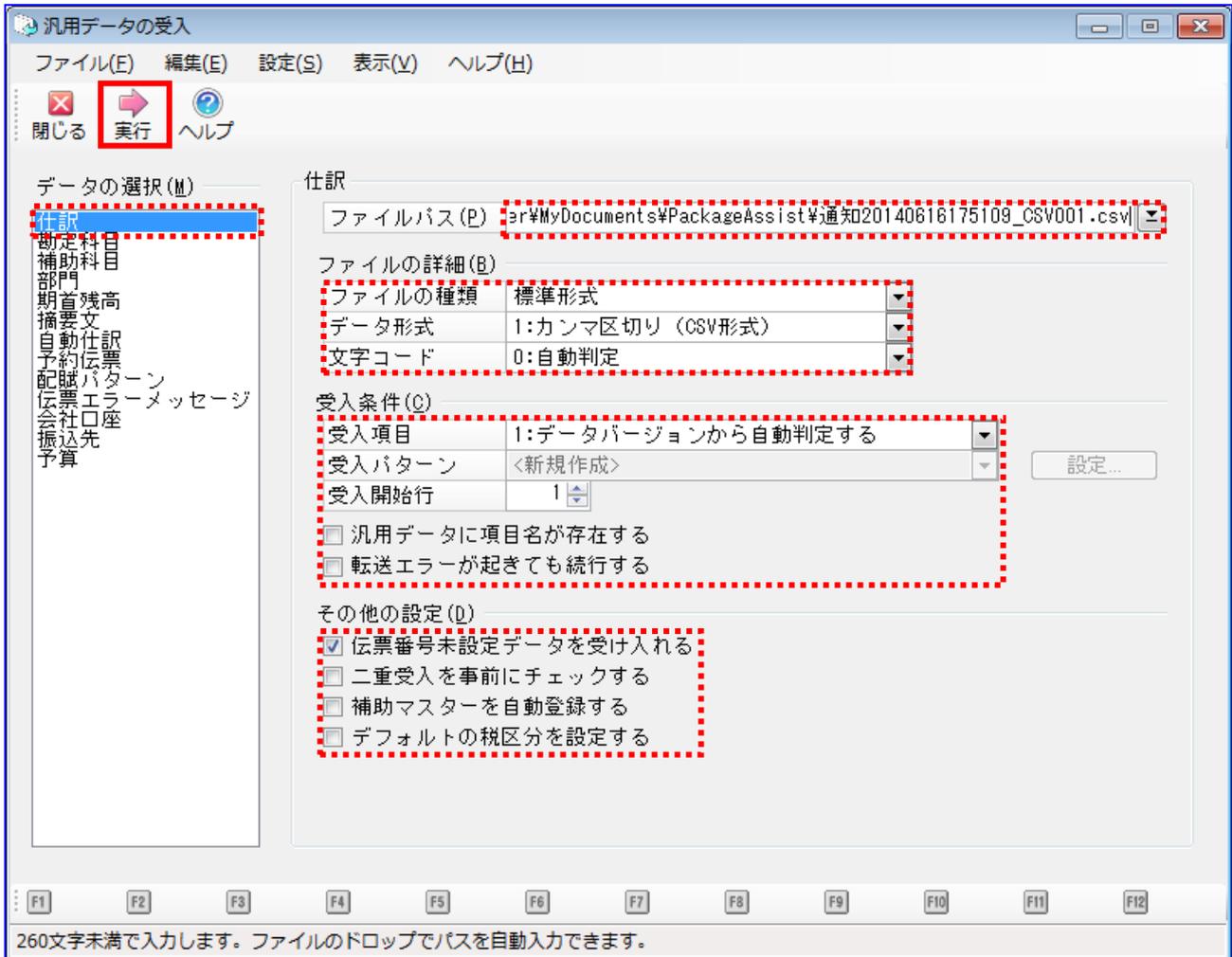
「5.1.1 通知ファイルを読み込む」で作成した債権情報 CSV ファイルを「PCA 会計」で読み込み、仕訳伝票を作成します。

- 「PCA 会計」を開き、[随時] > [汎用データの受入]を押下します。



『税率 5%の経過措置の取引伝票』については、本連携手順にて債権情報 CSV ファイルを読み込ませないようご注意ください。
(経過措置の取引伝票を利用する場合には、「PCA 会計」のヘルプをご参照ください。)

- ✦ ファイルパスに「**5.1.1 通知ファイルを読み込む**」で作成した債権情報 CSV ファイルを選択し、データの選択、ファイルの詳細、受入条件、その他の設定を下記の通り選択し、[実行]を押下します。



- 仕訳伝票の内容を確認します。
[データ入力]>[振替伝票入力 (コクヨ式)]を押下します。



- 仕訳伝票の内容を確認し、問題がある場合は本画面より修正を行います。
(振替伝票入力画面での部門の修正方法については「PCA 会計」のヘルプをご参照ください。)

振替伝票入力 (コクヨ式)

ファイル(E) 編集(E) 設定(S) 表示(V) ヘルプ(H)

閉じる 登録 印刷等 最新 新規 修正 入力前 前伝票 次伝票 検索終了 行挿入 行削除 伝票削除 複写 逆仕訳 管理仕訳 税計算 マル登録 自動仕訳 フセン

修正 【財務】

伝票日付(D) 平成 26年 5月 3日

伝票番号(N) 1

【借方：】
【貸方：】

| 借方金額 | 借方科目/補助/税区分/部門 | 摘要 | 貸方科目/補助/税区分/部門 | 貸方金額 |
|---------|---|---|--------------------------------------|---------|
| 100,000 | 151 電子記録債権 対象外
0001 得意先A
001 東京支店 | 電子記録債権にて受け取り
140827 500000A0300000100001 | 152 売掛金 対象外
0001 得意先A
001 東京支店 | 100,000 |
| 100,000 | 151 電子記録債権 対象外
0002 得意先B
001 東京支店 | 電子記録債権にて受け取り
140827 500000A0300000100002 | 152 売掛金 対象外
0002 得意先B
001 東京支店 | 100,000 |
| 200,000 | 合計 | 差 額 | 0 | 200,000 |

通知ファイルの債権情報

F1 F2 F3 F4 F5 F6 F7 F8 F9 F10 F11 F12

12 / 999



「適要」については、債権情報 CSV ファイルからは連携されませんので、任意の内容を追記ください。

一括請求 Assist[®] Ver.2 操作マニュアル

連携編(PCA 会計)

2023 年 1 月 4 日 第 2.6 版 発行

- ・本書の内容の一部あるいは全部(ソフトウェアおよびプログラムを含む)は、でんさいネット(全国銀行協会が提供する電子債権記録機関)を使用する目的に限り使用できるものとします。
 - ・なお、無断で複写・複製・転載・配布すること、および磁気または光記録媒体、コンピュータネットワーク上等へ入力することは、法律で認められた場合を除き、一括請求 Assist の著作者および販売者の権利の侵害となります。
 - ・本マニュアルに記載された内容、および本ソフトの仕様は改良のため、予告なく変更する場合があります。
-

一括請求 Assist[®] Ver.2

操作マニュアル

連携編(PCA 商管)

第 2.6 版

目次

| | |
|------------------------------|----|
| はじめに..... | 2 |
| 1 連携の概要..... | 3 |
| 1.1 連携の概要..... | 3 |
| 1.2 連携条件について..... | 5 |
| 1.3 連携の流れ..... | 6 |
| 2 連携事前設定..... | 7 |
| 2.1 「PCA 商管」事前設定..... | 7 |
| 2.1.1 会社口座を確認する①..... | 8 |
| 2.1.2 会社口座を確認する②..... | 11 |
| 2.1.3 仕入先を確認する..... | 15 |
| 2.2 本ソフトの事前設定..... | 19 |
| 2.2.1 取引先を設定する①..... | 20 |
| 2.2.2 取引先を設定する②..... | 22 |
| 2.2.3 社内口座を設定する①..... | 24 |
| 2.2.4 社内口座を設定する②..... | 26 |
| 3 連携手順..... | 28 |
| 3.1 連携手順..... | 28 |
| 3.1.1 支払伝票を作成する①..... | 29 |
| 3.1.2 支払伝票を作成する②..... | 32 |
| 3.1.3 振込データを作成する①..... | 35 |
| 3.1.4 振込データを作成する②..... | 38 |
| 3.1.5 一括請求ファイルを作成する①..... | 43 |
| 3.1.6 一括請求ファイルを作成する②..... | 48 |
| 3.1.7 一括請求ファイルをアップロードする..... | 54 |

はじめに

本書では、本ソフトとピー・シー・エー株式会社の仕入・在庫管理ソフト「PCA 商管」との連携について、事前設定、連携手順を説明します。

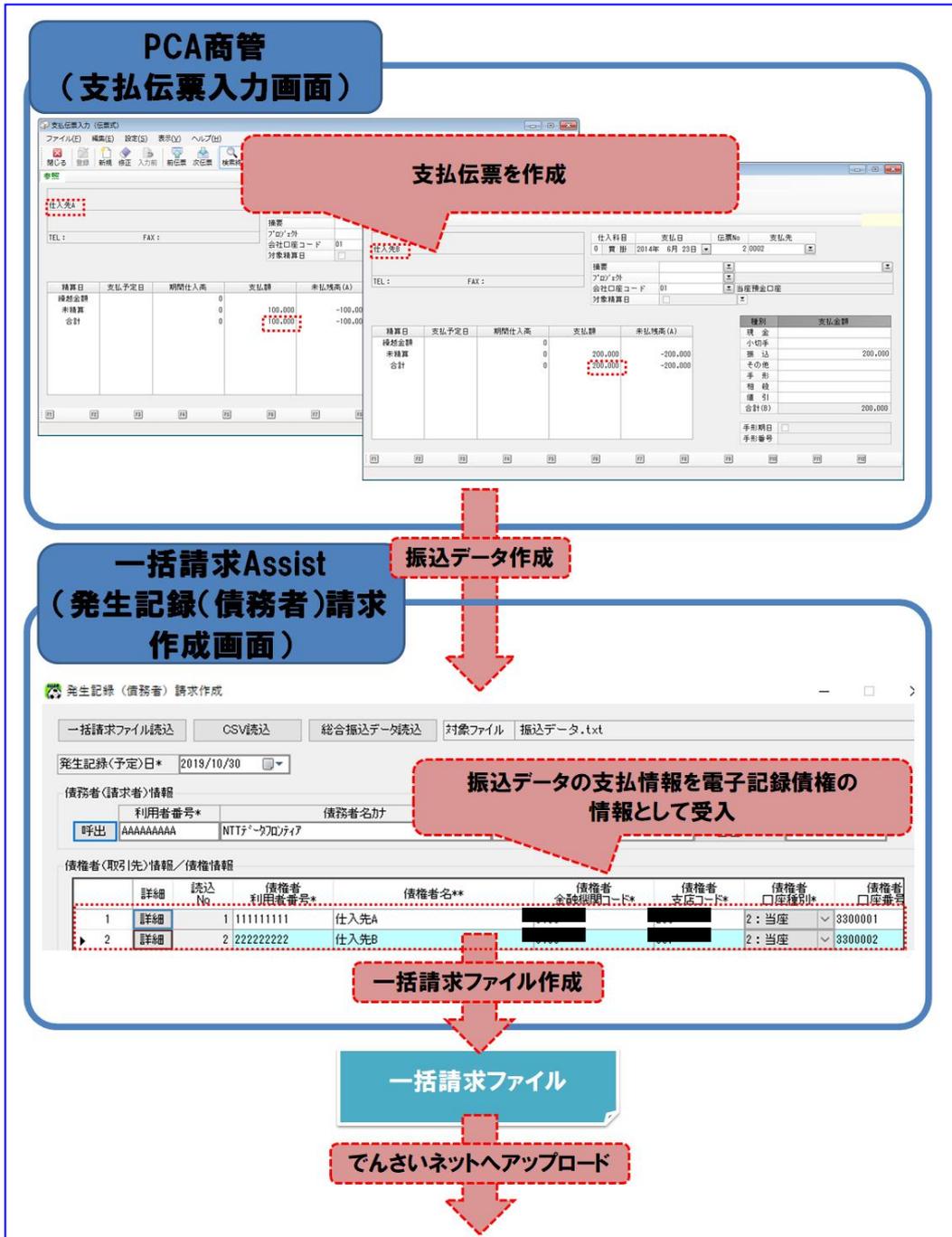
本書で使用する画面例については「PCA 商管 X」のものとなります。会計ソフトのバージョンにより表示内容が異なる場合がありますが、操作方法に差異はありません。

本書に記載されていない「PCA 商管」のその他機能の詳細については、「PCA 商管」のヘルプをご参照ください。

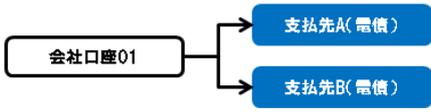
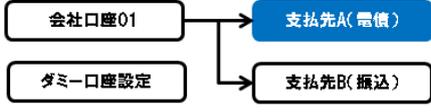
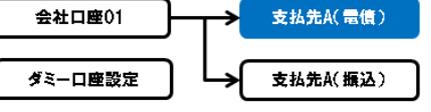
1 連携の概要

1.1 連携の概要

本ソフトは、「PCA 商管」から出力した総合振込データを読み込み、電子記録債権の債務情報を付加した発生記録（債務者）一括請求ファイル（でんさいネット標準フォーマット（固定長テキスト形式）1.2 版の集信 1）を出力することができます。「PCA 商管」をご利用の場合、本ソフトと連携することにより、簡単に仕入先へ電子記録債権で支払うことができます。



なお、「PCA 商管」と本ソフトを連携する場合、お客様の利用方法によって、事前設定が異なりますのでご注意ください。（下図参照）

| 会社口座のパターン | | マニュアル参照箇所 |
|-------------|--|--|
| 支払先への決済パターン | <p>① 支払先企業全てに電子記録債権で決済
・支払先A：電子記録債権で決済
・支払先B：電子記録債権で決済</p>  | <p>2 連携事前設定
2.1.1 会社口座を確認する①
2.1.3 仕入先を確認する
2.2.1 取引先を設定する①
2.2.3 社内口座を設定する①</p> <p>3 連携手順
3.1.1 支払伝票を作成する①
3.1.3 振込データを作成する①
3.1.5 一括請求ファイルを作成する①
3.1.7 一括請求ファイルをアップロードする</p> |
| | <p>②-1
支払先企業ごとに電子記録債権と振込で決済
・支払先A：電子記録債権で決済
・支払先B：振込で決済</p>  | <p>2 連携1：事前設定
2.1.2 会社口座を確認する②
2.1.3 仕入先を確認する
2.2.2 取引先を設定する②
2.2.4 社内口座を設定する②</p> <p>3 連携手順
3.1.2 支払伝票を作成する②
3.1.4 振込データを作成する②
3.1.6 一括請求ファイルを作成する②
3.1.7 一括請求ファイルをアップロードする</p> |
| | <p>②-2
同一の支払先企業に電子記録債権と振込で決済
・支払先A：電子記録債権&振込で決済</p>  | <p>本ソフトと「PCA商管」の連携は可能です。
右記を参照し、事前設定と連携を行ってください。</p> |



ダミー口座とは、本ソフトと「PCA 商管」の連携において、電子記録債権の支払と振込の支払を分割するために使用する架空の口座になります。
ダミー口座は決済には利用しません。



振込は本ソフト経由では実施できません。振込データは EB ソフト等に読み込み、振込を実施してください。
振込データの作成については「**3 連携手順**」をご参照ください。



上記①、②-1 の場合、「支払先 A」「支払先 B」のように支払先が 2 社の例を記載しておりますが、支払先が 2 社以上でも連携可能です。

1.2 連携条件について

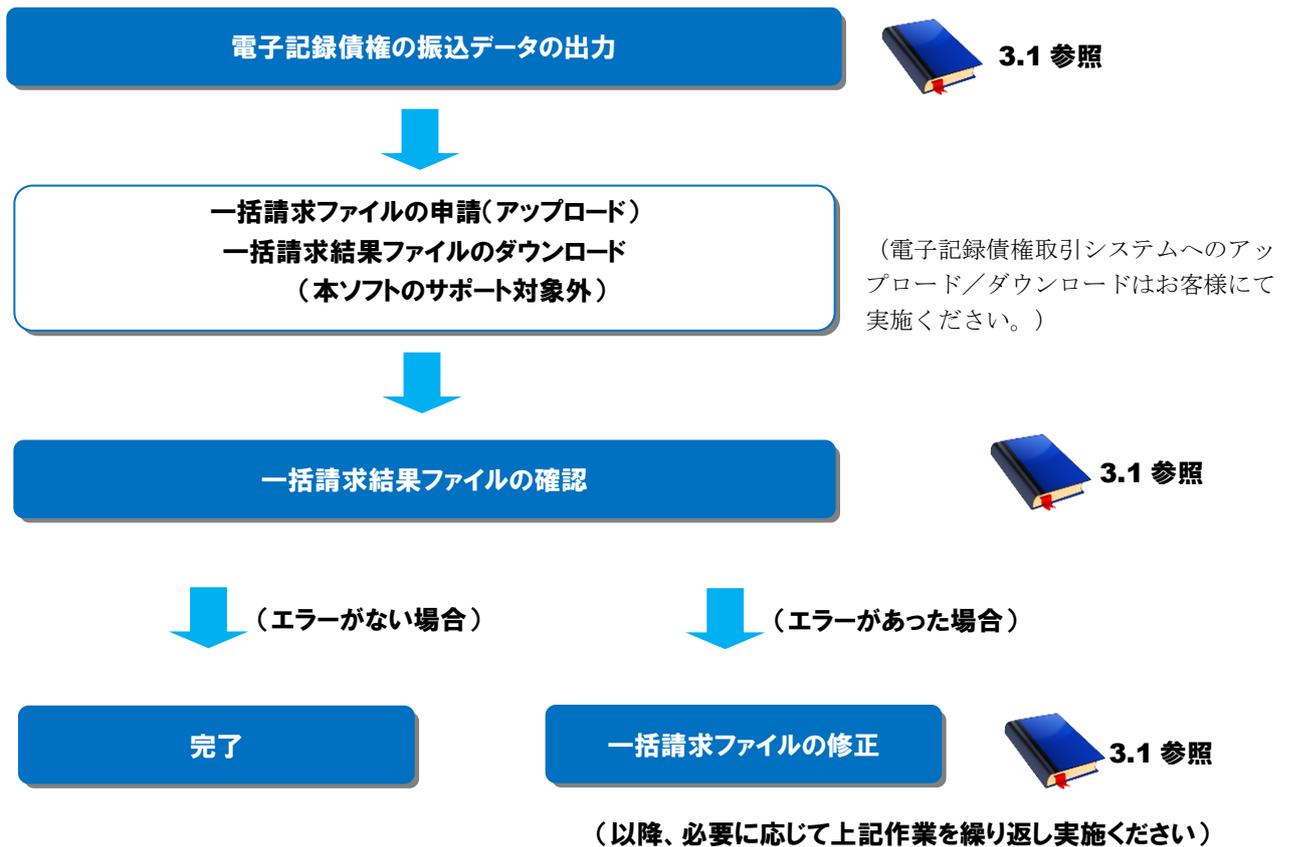
連携可能な「PCA 商管」のバージョンについては、株式会社NTTデータフロンティアのホームページをご参照ください。

1.3 連携の流れ

事前設定



連携



2 連携事前設定

2.1 「PCA 商管」事前設定

連携を行うための「PCA 商管」の事前設定方法を説明します。

操作手順

① 支払先企業すべてに電子記録債権で決済

2.1.1
会社口座を
確認する①

2.1.3
仕入先を確認する

②-1 支払先企業ごとに電子記録債権と振込で決済

②-2 同一の支払先企業に電子記録債権と振込で決済

2.1.2
会社口座を
確認する②

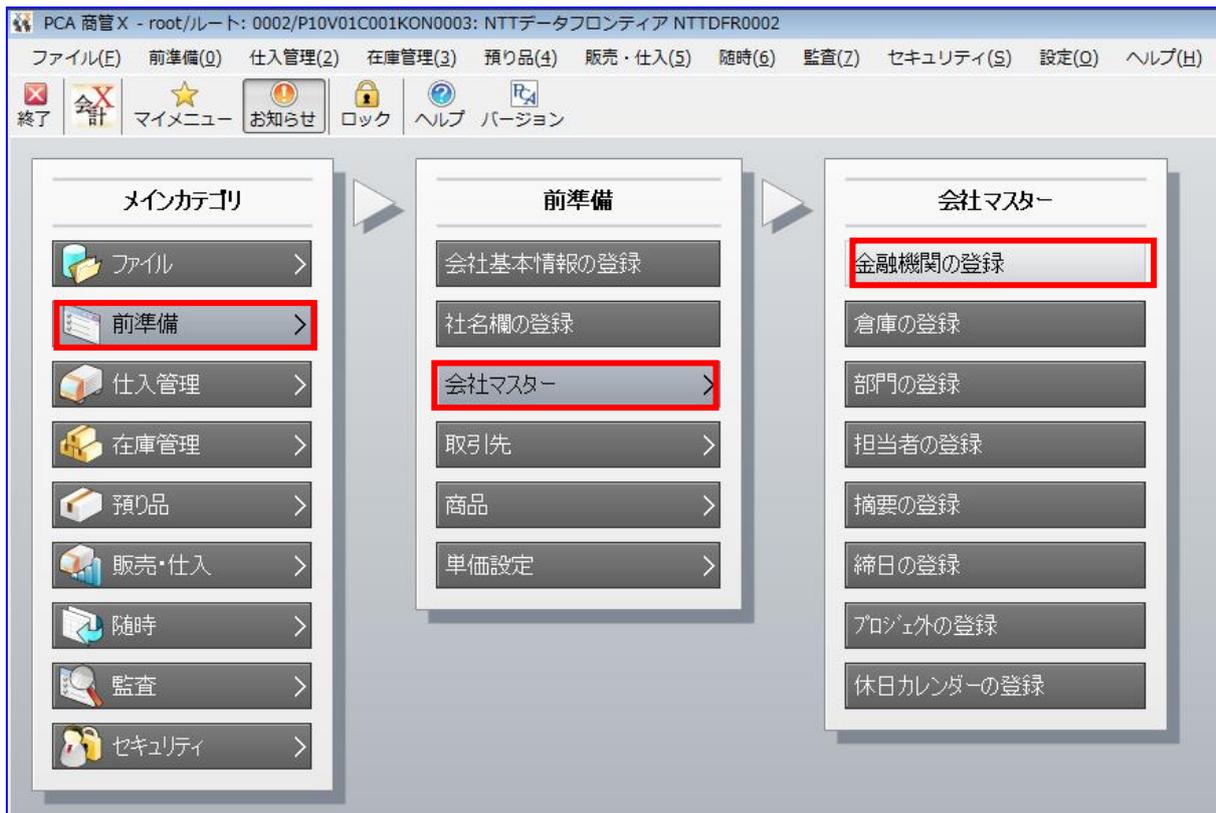
2.1.3
仕入先を確認する

操作方法

2.1.1 会社口座を確認する①

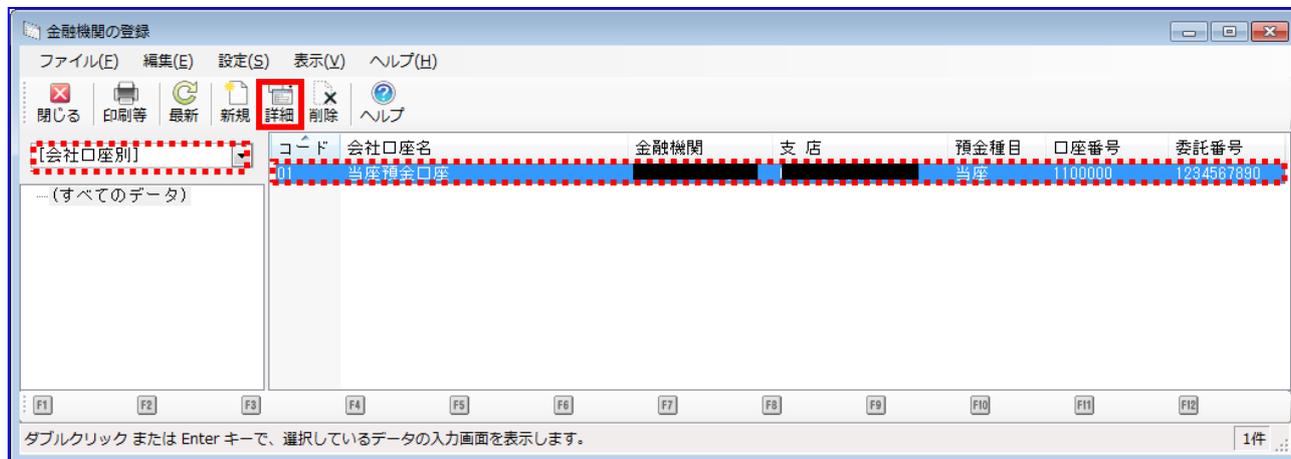
連携で使用する会社口座が登録されているか確認します。

✚ [前準備] > [会社マスター] > [金融機関の登録]を押下します。



[金融機関の登録]を押下時にデータ入力期間エラーが表示される場合、会社基本情報の「伝票入力可能期間」と「在庫締切日」を入力してください。

- プルダウンで会社口座別を選択し、登録されている会社口座を選択し、[詳細]を押下します。
会社コードが存在しない場合は、任意のコードで新規作成します。
(新規作成方法については「PCA 商管」のヘルプをご参照ください。)



都合により金融機関、支店は黒塗りでマスクしていますが、入力が必要な項目になります。以降の金融機関、支店についても同様になります。

金融機関情報、会社口座情報が入力されていることを確認します。

金融機関の登録

電子記録債権の決済口座

参照

基本情報(A):

| | |
|-------|--------|
| コード | 01 |
| 会社口座名 | 当座預金口座 |

金融機関情報(B):

| | |
|-----------|------------|
| 金融機関コード | ■■■■ |
| 金融機関名 | ■■■■■■■■■■ |
| 金融機関名フリガナ | ■■■■■■■■■■ |
| 店番号 | ■■■■ |
| 支店名 | ■■■■■■■■■■ |
| 支店名フリガナ | ■■■■■■■■■■ |

会社口座情報(C):

| | |
|----------|------------|
| 預金種目 | 2:当座 |
| 口座番号 | 1100000 |
| 委託番号 | 1234567890 |
| 委託者名 | 委託者名 |
| 委託者名フリガナ | イケンヤメイ |
| 区切り文字 | 0:CR・LF付 |

手数料情報(D):

| 振込先 | 金額範囲 | 電 | 信 | 文 | 書 |
|-------|------------|-----|---|-----|---|
| 同行同支店 | 30,000 円未満 | 0 円 | | 0 円 | |
| | 30,000 円以上 | 0 円 | | 0 円 | |
| 同行他支店 | 30,000 円未満 | 0 円 | | 0 円 | |
| | 30,000 円以上 | 0 円 | | 0 円 | |
| 他行 | 30,000 円未満 | 0 円 | | 0 円 | |
| | 30,000 円以上 | 0 円 | | 0 円 | |

手数料グループを使用する

F1 F2 F3 F4 F5 F6 F7 F8 F9 F10 F11 F12

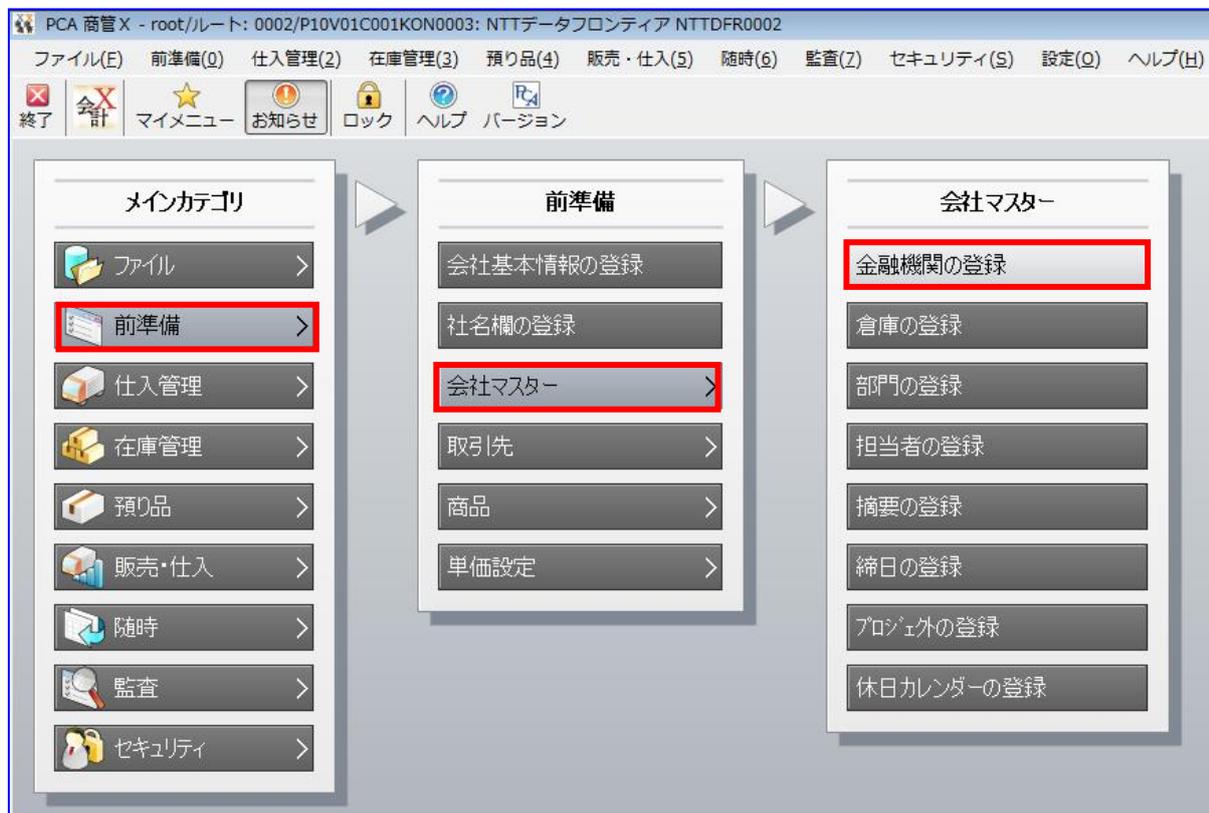


委託番号とは、総合振込や給与振込サービスを利用する際に、会社口座を管理する金融機関が振込依頼人を識別するのに使用される番号です。これらのサービスを利用するには、前もって金融機関に委託番号を割り当ててもらう必要があります。

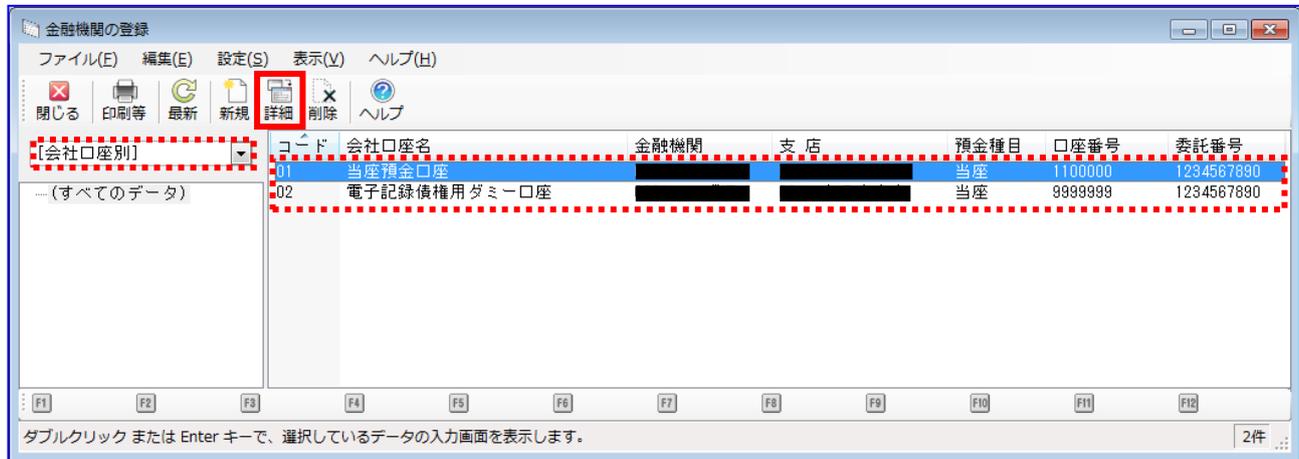
2.1.2 会社口座を確認する②

連携で使用する会社口座が登録されているか確認します。

✚ [前準備] > [会社マスター] > [金融機関の登録]を押下します。



- プルダウンで会社口座別を選択し、登録されている会社口座を選択し、[詳細]を押下します。
会社コードが存在しない場合は、任意のコードで新規作成します。
(新規作成方法については「PCA 商管」のヘルプをご参照ください。)



金融機関情報、会社口座情報が入力されていることを確認します。

金融機関の登録

電子記録債権、銀行振込の決済口座

参照

基本情報(A):

| | |
|-------|--------|
| コード | 01 |
| 会社口座名 | 当座預金口座 |

金融機関情報(B):

| | |
|-----------|------------|
| 金融機関コード | ■■■■ |
| 金融機関名 | ■■■■■■■■■■ |
| 金融機関名フリガナ | ■■■■■■■■■■ |
| 店番号 | ■■■■ |
| 支店名 | ■■■■■■■■■■ |
| 支店名フリガナ | ■■■■■■■■■■ |

会社口座情報(C):

| | |
|----------|------------|
| 預金種目 | 2:当座 |
| 口座番号 | 1100000 |
| 委託番号 | 1234567890 |
| 委託者名 | 委託者名 |
| 委託者名フリガナ | イケンメイ |
| 区切り文字 | 0:CR・LF付 |

手数料情報(D):

| 振込先 | 金額範囲 | 電 | 信 | 文 | 書 |
|-------|------------|-----|---|-----|---|
| 同行同支店 | 30,000 円未満 | 0 円 | | 0 円 | |
| | 30,000 円以上 | 0 円 | | 0 円 | |
| 同行他支店 | 30,000 円未満 | 0 円 | | 0 円 | |
| | 30,000 円以上 | 0 円 | | 0 円 | |
| 他行 | 30,000 円未満 | 0 円 | | 0 円 | |
| | 30,000 円以上 | 0 円 | | 0 円 | |

手数料グループを使用する

F1 F2 F3 F4 F5 F6 F7 F8 F9 F10 F11 F12



委託番号とは、総合振込や給与振込サービスを利用する際に、会社口座を管理する金融機関が振込依頼人を識別するのに使用される番号です。これらのサービスを利用するには、前もって金融機関に委託番号を割り当ててもらう必要があります。

金融機関情報、会社口座情報が入力されていることを確認します。

金融機関の登録

本ソフトとの連携に使用するダミー口座

参照

基本情報(A):

コード 02
会社口座名 電子記録債権用ダミー口座

金融機関情報(B):

金融機関コード
金融機関名
金融機関名フリガナ
店番号
支店名
支店名フリガナ

会社口座情報(C):

預金種目 2:当座
口座番号 9999999
委託番号 1234567890
委託者名 委託者名
委託者名フリガナ イクサメイ
区切り文字 0:CR・LF付

手数料情報(D):

| 振込先 | 金額範囲 | | 電 | 信 | 文 | 書 |
|-------|------------|--|---|---|---|---|
| | | | 円 | 円 | 円 | 円 |
| 同行同支店 | 30,000 円未満 | | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 30,000 円以上 | | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 同行他支店 | 30,000 円未満 | | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 30,000 円以上 | | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 他行 | 30,000 円未満 | | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 30,000 円以上 | | 0 | 0 | 0 | 0 |

手数料グループを使用する

F1 F2 F3 F4 F5 F6 F7 F8 F9 F10 F11 F12

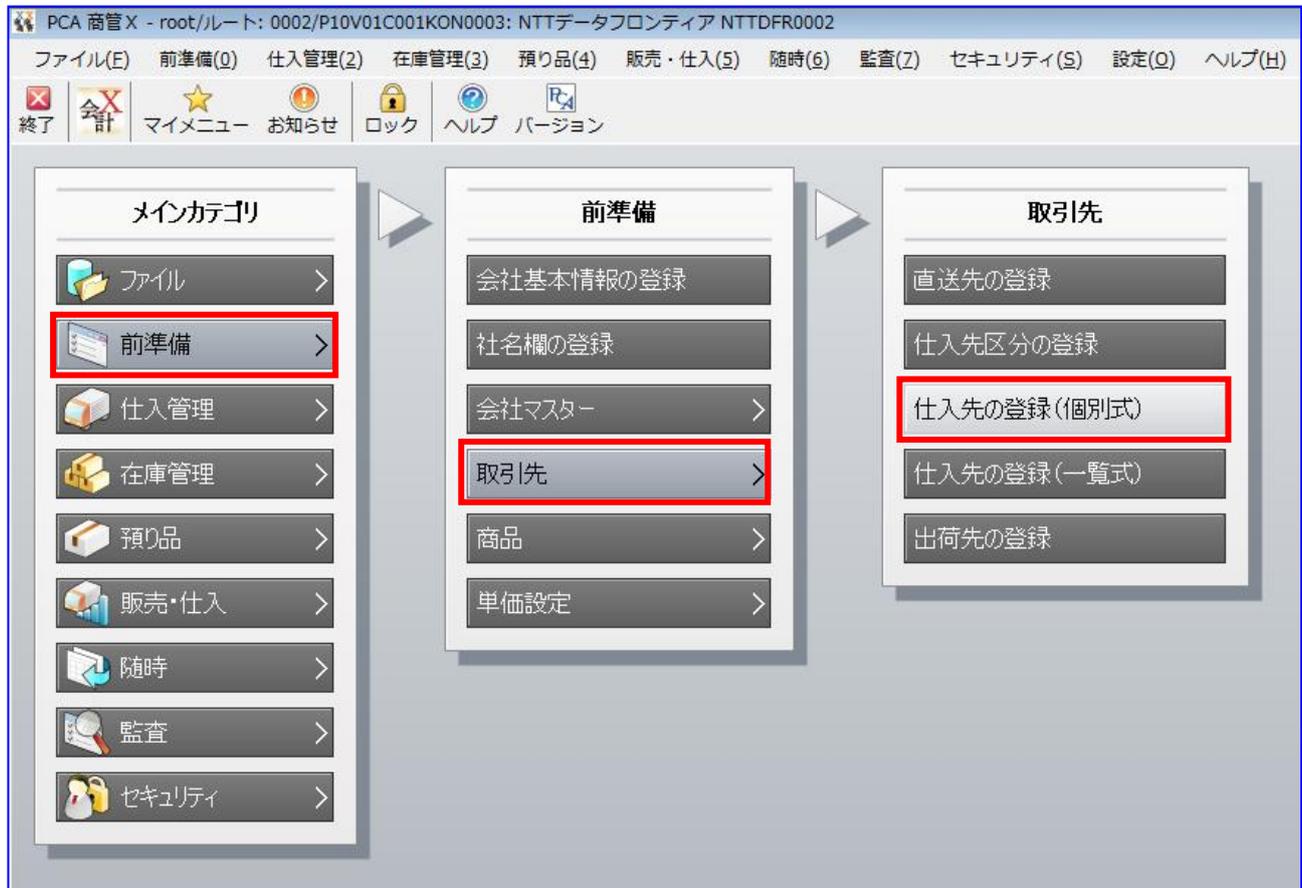


ダミー口座とは、本ソフトとの連携に使用するための口座です。
ダミー口座は決済には利用しません。
登録の際は架空の口座番号を設定してください。

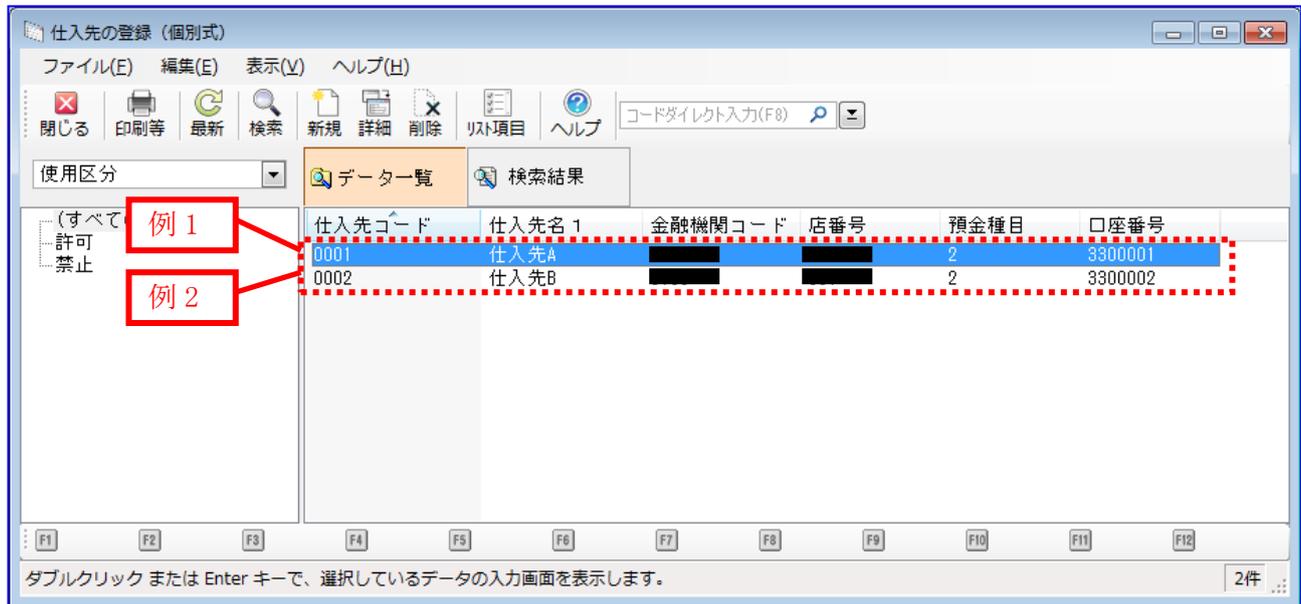
2.1.3 仕入先を確認する

連携で使用する仕入先が登録されているか確認します。

✚ [前準備] > [取引先] > [仕入先の登録(個別式)]を押下します。



- 仕入先が存在することを確認します。
仕入先が存在しない場合は、任意のコードで新規作成します。（下記例 1~2 を参照）
（新規作成方法については「PCA 商管」のヘルプをご参照ください。）



例 1：「仕入先 A」 の設定例

| No | 項目 | 説明 |
|----|--------|-----------------|
| 1 | 仕入先コード | 任意のコードを入力します。 |
| 2 | 仕入先名 1 | 仕入先名を入力します。 |
| 3 | 振込口座情報 | 仕入先の口座情報を入力します。 |



表に記載のない項目は本ソフトとの連携を行う上で必須ではありませんが、入力が可能です。



電子記録債権で支払う仕入先や、振込で支払う仕入先など、すべての仕入先を登録します。支払方法による登録内容の違いはありません。

例 2：「仕入先 B」の設定例

| No | 項目 | 説明 |
|----|--------|-----------------|
| 1 | 仕入先コード | 任意のコードを入力します。 |
| 2 | 仕入先名 1 | 仕入先名を入力します。 |
| 3 | 振込口座情報 | 仕入先の口座情報を入力します。 |



表に記載のない項目は本ソフトとの連携を行う上で必須ではありませんが、入力が可能です。

2.2 本ソフトの事前設定

連携事前設定を行うための本ソフトの事前設定方法を説明します。

作手順

① 支払先企業すべてに電子記録債権で決済

2.2.1
取引先を
設定する①

2.2.3
社内口座を
設定する①

- ②-1 支払先企業ごとに電子記録債権と振込で決済
- ②-2 同一の支払先企業に電子記録債権と振込で決済

2.2.2
取引先を
設定する②

2.2.4
社内口座を
設定する②

操作方法

2.2.1 取引先を設定する①

- 本ソフトの取引先管理画面を開き、「2.1.3 仕入先を確認する」で登録した仕入先情報が登録されていることを確認します。登録されていない場合は新規に登録します。

| | 利用者番号* | 取引先名* | 金融機関コード* | 支店コード* | 口座種別* | 口座番号* | |
|-----|-----------|-------|---------------|---------------|-------|---------|-----|
| ▶ 1 | 111111111 | 仕入先A | [blacked out] | [blacked out] | 2: 当座 | 3300001 | 000 |
| 2 | 222222222 | 仕入先B | [blacked out] | [blacked out] | 2: 当座 | 3300002 | 000 |

- ✚ 口座情報に仕入先の口座情報を登録します。

PCA商管
仕入先の登録画面

「2.1.3 仕入先を確認する」で確認した仕入先

電子記録債権で支払う仕入先

参照 (0001)仕入先A

仕入先コード 0001
仕入先名1 仕入先A
仕入先名2
会社敬称 様 加索引

使用区分 0:許可

基本 先方担当者 仕入 支払 振込 コメント

| | |
|---------|------------|
| 仕入先名か | シバサト |
| 金融機関コード | XXXXXXXXXX |
| 店番号 | XXXXXXXXXX |
| 預金種目 | 2:当座 |
| 口座番号 | 3300001 |
| 手数料負担 | 0:当方負担 |
| 手数料区分 | 3:自動判定 |
| 定額料金 | |
| 送金方法 | 0:電信 |

電子記録債権で支払う仕入先

参照 (0002)仕入先B

仕入先コード 0002
仕入先名1 仕入先B
仕入先名2
会社敬称 様 加索引

使用区分 0:許可

基本 先方担当者 仕入 支払 振込 コメント

| | |
|---------|------------|
| 仕入先名か | シバサト |
| 金融機関コード | XXXXXXXXXX |
| 店番号 | XXXXXXXXXX |
| 預金種目 | 2:当座 |
| 口座番号 | 3300002 |
| 手数料負担 | 0:当方負担 |
| 手数料区分 | 3:自動判定 |
| 定額料金 | 0 |
| 送金方法 | 0:電信 |

↓

一括請求Assist
(取引先管理画面)

CSV読込
CSV出力

取引先情報

| 利用者番号* | 取引先名* | 金融機関コード* | 支店コード* | 口座種別* | 口座番号* | 000 |
|-------------|-------|------------|------------|-------|---------|-----|
| 1 111111111 | 仕入先A | XXXXXXXXXX | XXXXXXXXXX | 2:当座 | 3300001 | 000 |
| 2 222222222 | 仕入先B | XXXXXXXXXX | XXXXXXXXXX | 2:当座 | 3300002 | 000 |

電子記録債権で支払う仕入先を全て登録する

行ジャンプ

検索

検索

エラージャンプ

次のエラー

*必須項目
戻る
更新



本ソフトへの登録時には、コピー&ペーストをするなどし、「PCA 商管」の設定値と完全に一致させてください。

2.2.2 取引先を設定する②

- 本ソフトの取引先管理画面を開き、「2.1.3 仕入先を確認する」で登録した仕入先情報が登録されていることを確認します。登録されていない場合は新規に登録します。

| | 利用者番号* | 取引先名* | 金融機関コード* | 支店コード* | 口座種別* | 口座番号* |
|---|--------|-----------|----------|--------|-------|---------|
| ▶ | 1 | 111111111 | 仕入先 A | | 2: 当座 | 3300001 |

- 口座情報に仕入先の口座情報を登録します。

PCA商管
仕入先の登録画面

「2.1.3 仕入先を確認する」で確認した仕入先

電子記録債権で支払う仕入先

仕入先の登録 (個別式)

参照 (0001) 仕入先A

仕入先コード: 0001
仕入先名1: 仕入先A
仕入先名2:
会社敬称: 様

使用区分: 0:許可

基本 | 先方担当者 | 仕入 | 支払 | 振込 | コメント

仕入先名か: シルガ社
金融機関コード:
店番号:
預金種目: 2:当座
口座番号: 3300001
手数料負担: 0:当方負担
手数料区分: 3:自動判定
定額料金:
送金方法: 0:電信

振込で支払う仕入先

参照 (0002) 仕入先B

仕入先コード: 0002
仕入先名1: 仕入先B
仕入先名2:
会社敬称: 様

使用区分: 0:許可

基本 | 先方担当者 | 仕入 | 支払 | 振込 | コメント

仕入先名か: シルガ社
金融機関コード:
店番号:
預金種目: 2:当座
口座番号: 3300002
手数料負担: 0:当方負担
手数料区分: 3:自動判定
定額料金: 0
送金方法: 0:電信

一括請求Assist
(取引先管理画面)

取引先管理
CSV読み込み
CSV出力

| No. | 利用者番号* | 取引先名* | 金融機関コード* | 支店コード* | 口座種別* | 口座番号* |
|-----|------------|-------|----------|--------|-------|---------|
| 1 | 1111111111 | 仕入先A | | | 2:当座 | 3300001 |

**電子記録債権で支払う仕入先を全て登録する
振込で支払う仕入先の登録は不要です**

行ジャンプ

検索

エラージャンプ

次のエラー

*必須項目



本ソフトへの登録時には、コピー&ペーストをするなどし、「PCA 商管」の設定値と完全に一致させてください。

2.2.3 社内口座を設定する①

- 本ソフトの社内口座管理画面を開き、社内口座情報が登録されていることを確認します。登録されていない場合は新規に登録します。

| | 利用者名(検索用)* | 利用者名カナ* | 金融機関コード* | 支店コード* | 口座種別* | 口座番号* |
|---|--------------|--------------|----------|--------|-------|---------|
| 1 | NTTデータフロンティア | NTTデータフロンティア | ■■■■■ | ■■■■■ | 2: 当座 | 1100000 |

- 口座情報に会社口座情報を登録します。

PCA商管
金融機関の登録画面

「2.1.1 会社口座を確認する①」で確認した会社口座

電子記録債権、振込の決済口座

一括請求Assist
(社内口座管理画面)

電子記録債権、振込の決済口座を登録す



本ソフトへの登録時には、コピー&ペーストをするなどし、「PCA 商管」の設定値と完全に一致させてください。

2.2.4 社内口座を設定する②

- 本ソフトの社内口座管理画面を開き、社内口座情報が登録されていることを確認します。登録されていない場合は新規に登録します。

| | 利用者名(検索用)* | 利用者名か* | 金融機関コード* | 支店コード* | 口座種別* | 口座番号* |
|---|--------------|--------------|---------------|---------------|-------|---------|
| 1 | NTTデータフロンティア | NTTデータフロンティア | [blacked out] | [blacked out] | 2:当座 | 1100000 |
| 2 | ダミー口座 | ダミー口座 | [blacked out] | [blacked out] | 2:当座 | 9999999 |

口座情報に会社口座情報を登録します。

PCA商管 金融機関の登録画面

金融機関の登録

「2.1.2 会社口座を確認する②」で確認した会社口座

電子記録債権、振込の決済口座

一括請求Assistとの連携に使用する
ダミー口座

参照

基本情報(A):
コード 01
会社口座名 当座預金口座

金融機関情報(B):
金融機関コード []
金融機関名 []
金融機関名フカナ []
店番号 []
支店名 []
支店名フカナ []

会社口座情報(C):
預金種目 2:当座
口座番号 1100000

基本情報(A):
コード 02
会社口座名 電子記録債権用ダミー口座

金融機関情報(B):
金融機関コード []
金融機関名 []
金融機関名フカナ []
店番号 []
支店名 []
支店名フカナ []

会社口座情報(C):
預金種目 2:当座
口座番号 9999999

一括請求Assist (社内口座管理画面)

社内口座管理

CSV読込 CSV出力

社内口座情報

| | 利用者名(検索用)* | 利用者名か*
* | 金融機関コード* | 支店コード* | 口座番号* |
|-----|--------------|--------------|----------|--------|---------|
| ▶ 1 | NTTデータフロンティア | NTTデータフロンティア | [] | [] | 1100000 |
| 2 | ダミー口座 | ダミー | [] | [] | 9999999 |

決済口座、ダミー口座の両方を登録する

行ジャンプ [] ジャンプ 検索 [] 検索 エラージャンプ [] 次のエラー

*必須項目
戻る 更新



本ソフトへの登録時には、コピー&ペーストをするなどし、「PCA商管」の設定値と完全に一致させてください。

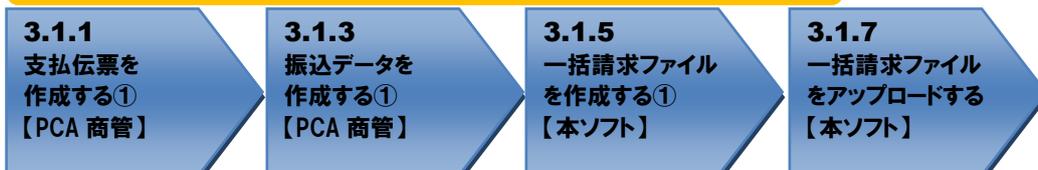
3 連携手順

3.1 連携手順

「PCA 商管」と本ソフトの連携手順を説明します。

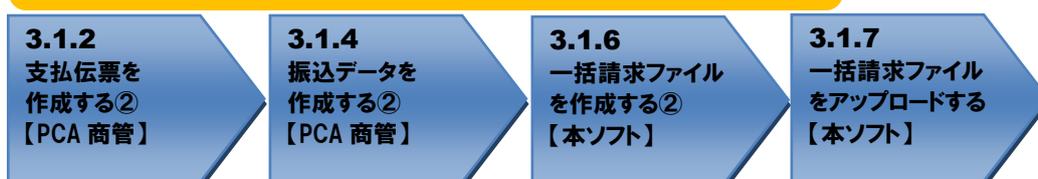
操作手順

① 支払先企業すべてに電子記録債権で決済



②-1 支払先企業ごとに電子記録債権と振込で決済

②-2 同一の支払先企業に電子記録債権と振込で決済

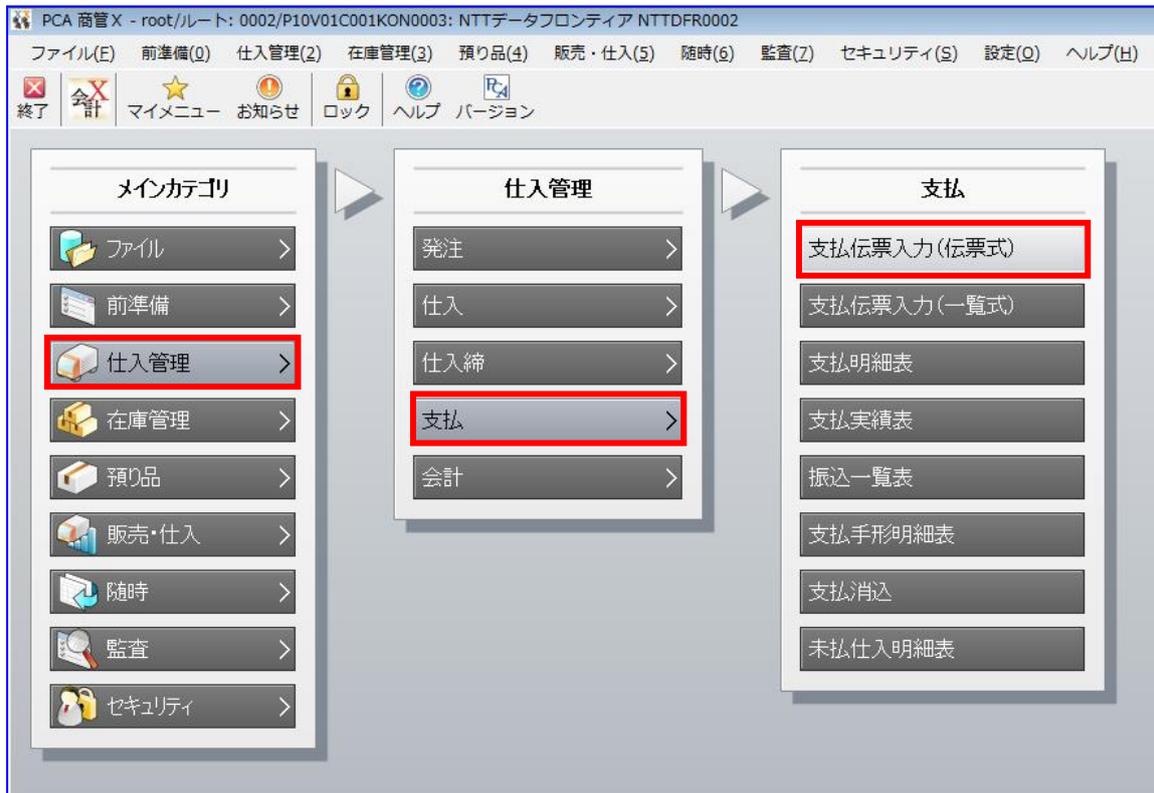


操作方法

3.1.1 支払伝票を作成する①

支払伝票を作成します。

- 「PCA 商管」を開き、[仕入管理]>[支払]>[支払伝票入力（伝票式）]を押下します。



✚ 支払伝票を作成します。

支払先 A 向け
電子記録債権で支払う支払伝票

仕入先A

TEL : FAX :

仕入 0 1 支払日 2014年 6月 23日 2 支払先 0001

摘要 プロジェ外

会社口座コード 01 3 当座預金口座

対象精算日

| 精算日 | 支払予定日 | 期間仕入高 | 支払額 | 未払残高(A) |
|------|-------|-------|---------|----------|
| 繰越金額 | | 0 | | |
| 未精算 | | 0 | 100,000 | -100,000 |
| 合計 | | 0 | 100,000 | -100,000 |

| 種別 | 支払金額 |
|-------|---------|
| 現金 | |
| 小切手 | |
| 振込 4 | 100,000 |
| その他 | |
| 手形 | |
| 相殺 | |
| 値引 | |
| 合計(B) | 100,000 |

手形期日

手形番号

支払先 B 向け
電子記録債権で支払う支払伝票

仕入先B

TEL : FAX :

仕入 0 1 支払日 2014年 6月 23日 2 支払先 0002

摘要 プロジェ外

会社口座コード 01 3 当座預金口座

対象精算日

| 精算日 | 支払予定日 | 期間仕入高 | 支払額 | 未払残高(A) |
|------|-------|-------|---------|----------|
| 繰越金額 | | 0 | | |
| 未精算 | | 0 | 200,000 | -200,000 |
| 合計 | | 0 | 200,000 | -200,000 |

| 種別 | 支払金額 |
|-------|---------|
| 現金 | |
| 小切手 | |
| 振込 4 | 200,000 |
| その他 | |
| 手形 | |
| 相殺 | |
| 値引 | |
| 合計(B) | 200,000 |

手形期日

手形番号

| No | 項目 | 説明 |
|----|----------|--|
| 1 | 支払日 | 支払日を入力します。 |
| 2 | 支払先 | 支払先コードを入力します。 |
| 3 | 会社口座コード | 「2.1.1 会社口座を確認する①」 で確認した会社口座のコードを入力します。 |
| 4 | 支払金額（振込） | 支払金額を入力します。 |



表に記載のない項目は本ソフトとの連携を行う上で必須ではありませんが、入力が可能です。



支払伝票入力画面で入力した支払日、支払先（支払先口座情報）、会社口座コード（会社口座情報）、金額は本ソフトの発生記録（債務者請求）作成画面に連携されます。

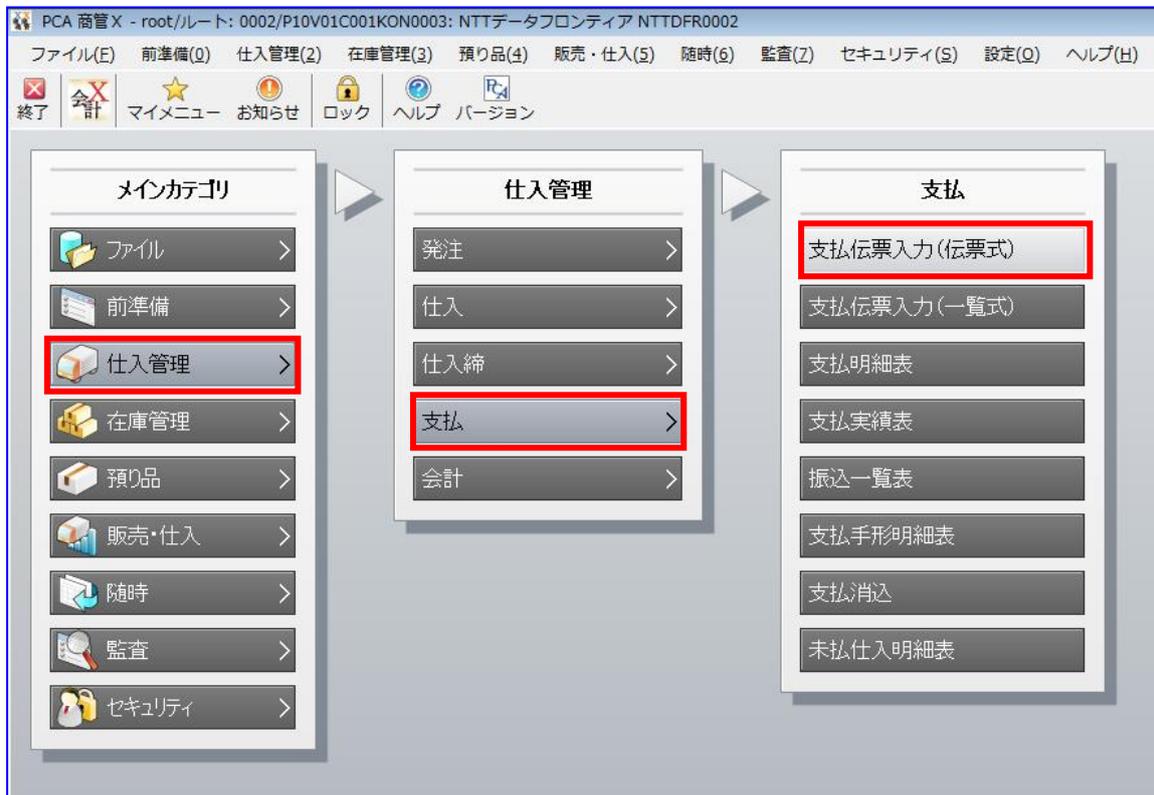


支払日には本日以降、1ヶ月以内の日付を入力してください。

3.1.2 支払伝票を作成する②

支払伝票を作成します。

- 「PCA 商管」を開き、[仕入管理]>[支払]>[支払伝票入力（伝票式）]を押下します。



✚ 支払伝票を作成します。

支払伝票入力 (伝票式)

電子記録債権で支払う支払伝票

参照

仕入先A

TEL : FAX :

仕入 1 支払日 2014年 6月 23日 伝 2 支払先 10001

摘要 プロパ外

会社口座コード 02 電子記録債権用ダミー口座

対象精算日 3

| 精算日 | 支払予定日 | 期間仕入高 | 支払額 | 未払残高(A) |
|------|-------|-------|---------|----------|
| 繰越金額 | | 0 | | |
| 未精算 | | 0 | 100,000 | -100,000 |
| 合計 | | 0 | 100,000 | -100,000 |

| 種別 | 支払金額 |
|-------|---------|
| 現金 | |
| 小切手 | |
| 振込 4 | 100,000 |
| その他 | |
| 手形 | |
| 相殺 | |
| 値引 | |
| 合計(B) | 100,000 |

手形期日

手形番号

支払伝票入力 (伝票式)

振込で支払う支払伝票

参照

仕入先B

TEL : FAX :

仕入 5 支払日 2014年 6月 23日 伝 6 支払先 10002

摘要 プロパ外

会社口座コード 01 当座預金口座

対象精算日 7

| 精算日 | 支払予定日 | 期間仕入高 | 支払額 | 未払残高(A) |
|------|-------|-------|---------|----------|
| 繰越金額 | | 0 | | |
| 未精算 | | 0 | 200,000 | -200,000 |
| 合計 | | 0 | 200,000 | -200,000 |

| 種別 | 支払金額 |
|-------|---------|
| 現金 | |
| 小切手 | |
| 振込 8 | 200,000 |
| その他 | |
| 手形 | |
| 相殺 | |
| 値引 | |
| 合計(B) | 200,000 |

手形期日

手形番号

| No | 項目 | 説明 |
|-----------------------|----------|--|
| 電子記録債権で支払う支払伝票 | | |
| 1 | 支払日 | 支払日を入力します。 |
| 2 | 支払先 | 支払先コードを入力します。 |
| 3 | 会社口座コード | 「 2.1.2 会社口座を確認する② 」で確認した 本ソフトとの連携に使用するダミー口座のコード を入力します。 |
| 4 | 支払金額（振込） | 支払金額を入力します。 |
| 振込で支払う支払伝票 | | |
| 5 | 支払日 | 支払日を入力します。 |
| 6 | 支払先 | 支払先コードを入力します。 |
| 7 | 会社口座コード | 「 2.1.2 会社口座を確認する② 」で確認した 電子記録債権、銀行振込の決済口座のコード を入力します。 |
| 8 | 支払金額（振込） | 支払金額を入力します。 |



表に記載のない項目は本ソフトとの連携を行う上で必須ではありませんが、入力が可能です。



電子記録債権で支払う支払伝票について、支払伝票入力画面で入力した支払日、支払先（支払先口座情報）、会社口座コード（会社口座情報）、金額は本ソフトの発生記録（債務者請求）作成画面に連携されます。



支払日には本日以降、1ヶ月以内の日付を入力してください。

3.1.3 振込データを作成する①

本ソフトと連携するための振込データを作成します。

✚ [仕入管理] > [支払] > [振込一覧表]を押下します。



- 条件を入力し、[実行]を押下します。

総合振込データの作成

選択中の会社口座

| | |
|-------|------------|
| 金融機関 | ■■■■■ |
| 支店 | ■■■■■ |
| 委託番号 | 1234567890 |
| 預金種目 | 当座 |
| 口座番号 | 1100000 |
| 区切り文字 | CR・LF付 |

出力設定

出力指定 (O) 総合振込データの作成 PCA電子通帳と連動 EBNext2DXと連動

出力先パス (P) C:\AssistUser\MyDocuments\PackageAssist\振込データ作成.txt

実行(F5) キャンセル

260文字未満で入力します。ファイルのドロップでパスを自動入力できます。

| No | 項目 | 説明 |
|----|-------|---------------------|
| 1 | 出力指定 | 「総合振込データの作成」を選択します。 |
| 2 | 出力先パス | 任意の出力先を入力します |

- 振込データの作成が完了すると、下記ダイアログが表示されます。
[OK]を押下し、出力ファイルパスに振込データが存在することを確認します。

総合振込データの作成

 総合振込データの作成に成功しました。

OK



上記で作成した支払先 A と支払先 B のデータが含まれた振込データは、「**3.1.5 一括請求ファイルを作成する**」で本ソフトに読み込み、一括請求ファイルを作成します。

3.1.4 振込データを作成する②

本ソフトと連携するための振込データを作成します。

✚ [仕入管理] > [支払] > [振込一覧表]を押下します。



- 条件を入力し、[実行]を押下します。

総合振込データの作成

選択中の会社口座

| | |
|-------|------------|
| 金融機関 | ■■■■■ |
| 支店 | ■■■■■ |
| 委託番号 | 1234567890 |
| 預金種目 | 当座 |
| 口座番号 | 9999999 |
| 区切り文字 | CR・LF付 |

出力設定

出力指定 (O) 総合振込データの作成 PCA電子通帳と連動 EBNext2DXと連動

出力先パス (P) stUser\MyDocuments\PackageAssist\振込データ作成 (電子記録債権で支払) .txt

実行(F5) キャンセル

260文字未満で入力します。ファイルのドロップでパスを自動入力できます。

| No | 項目 | 説明 |
|----|-------|---------------------|
| 1 | 出力指定 | 「総合振込データの作成」を選択します。 |
| 2 | 出力先パス | 任意の出力先を入力します。 |

- 振込データの作成が完了すると、下記ダイアログが表示されます。
[OK]を押下し、出力ファイルパスに振込データが存在することを確認します。

総合振込データの作成

総合振込データの作成に成功しました。

OK



上記で作成した支払先 A のデータが含まれた振込データは、「**3.1.5 一括請求ファイルを作成する**」で本ソフトに読み込み、一括請求ファイルを作成します。

✚ 条件を入力し、[実行]を押下します。

| No | 項目 | 説明 |
|----|-------|--|
| 1 | 出力の種類 | 「FD用集計」を選択します。 |
| 2 | 振込日 | 「3.1.2 支払伝票を作成する②」で入力した支払日を入力します。
本ソフトの「発生記録(予定)日」に連携される項目です。 |
| 3 | 会社口座 | 「3.1.2 支払伝票を作成する②」で入力した電子記録債権、銀行振込の決済口座のコードを入力します。 |
| 4 | マスタ参照 | チェックを外します。 |



「3.1.2 支払伝票を作成する②」で複数の支払日で支払伝票を作成した場合、「3.1.3 振込データを作成する②」を繰り返し実施し、振込データを支払日分作成してください。

- 条件を入力し、[実行]を押下します。

総合振込データの作成

選択中の会社口座

| | |
|-------|------------|
| 金融機関 | ■■■■■ |
| 支店 | ■■■■■ |
| 委託番号 | 1234567890 |
| 預金種目 | 当座 |
| 口座番号 | 1100000 |
| 区切り文字 | CR・LF付 |

出力設定

出力指定 (O) 総合振込データの作成 PCA電子通帳と連動 EBNext2DXと連動

出力先パス (P) C:\AssistUser\MyDocuments\PackageAssist\振込データ作成.txt

実行(F5) キャンセル

260文字未満で入力します。ファイルのドロップでパスを自動入力できます。

| No | 項目 | 説明 |
|----|-------|----------------------------------|
| 1 | 出力指定 | 「総合振込データの作成」を選択します。 |
| 2 | 出力先パス | 任意の出力先を入力します。（ファイル名の重複に注意してください） |

- 振込データの作成が完了すると、下記ダイアログが表示されます。
[OK]を押下し、出力ファイルパスに振込データが存在することを確認します。

総合振込データの作成

 総合振込データの作成に成功しました。

OK



上記で作成した支払先 B のデータが含まれた振込データは、EB ソフト等に読み込み、振込を実施してください。

3.1.5 一括請求ファイルを作成する①

「3.1.3 振込データを作成する①」で作成した振込データを本ソフトで読み込み、一括請求ファイルを作成します。

本ソフトの発生記録（債務者）請求作成画面を開き、[総合振込データ読み込み]を押下します。

発生記録（債務者）請求作成

一括請求ファイル読み込み CSV読み込み **総合振込データ読み込み** 対象ファイル

発生記録(予定)日* 2019/10/07

債務者(請求者)情報

| 呼出 | 利用者番号* | 債務者名カ | 金融機関コード* | 支店コード* | 口座種別* | 口座番号* |
|-------|--------|-------|----------|--------|-------|-------|
| AAAAA | | | | | | |

債権者(取引先)情報/債権情報

| | 詳細 | 読込 No | 債権者利用者番号* | 債権者名** | 債権者金融機関コード* | 債権者支店コード* | 債権者口座種別* | 債権者口座番号 |
|-----|----|-------|-----------|--------|-------------|-----------|----------|---------|
| ▶ 1 | 詳細 | | | | | | | |

行ジャンプ 検索 エラージャンプ

合計件数(件) 1
合計金額(円) 0

*必須項目 **一括請求ファイル出力対象外項目

戻る 一括請求ファイル作成

条件を入力し、[読込実行]を押下します。

総合振込データ読込
×

債務者(請求者)情報

総合振込データの支払口座情報を条件に下記情報が自動設定されます。未登録の場合は、空白で設定されます。

利用者番号 システム設定もしくは社内口座管理より自動設定されます。

債務者名 社内口座管理より自動設定されます。

債権者(取引先)情報

総合振込データの振込先口座情報を条件に下記情報が自動設定されます。未登録の場合は、空白で設定されます。

利用者番号 取引先管理より自動設定されます。

債権者名 取引先管理より自動設定されます。

発生記録(予定)日/支払期日

総合振込データの取組日(振込指定日)の割り当て先を設定してください。

1 発生記録(予定)日 支払期日

支払期日を設定してください。(全ての請求情報に同一の値が設定されます。)

支払期日 2 2019/11/01

譲渡制限有無

譲渡制限有無を設定してください。(全ての請求情報に同一の値が設定されます。)

譲渡制限有無 3 0:無

総合振込データ

対象ファイル C:\Users\assist-user\Documents\PackageAssist\振込データ.txt 参照

4

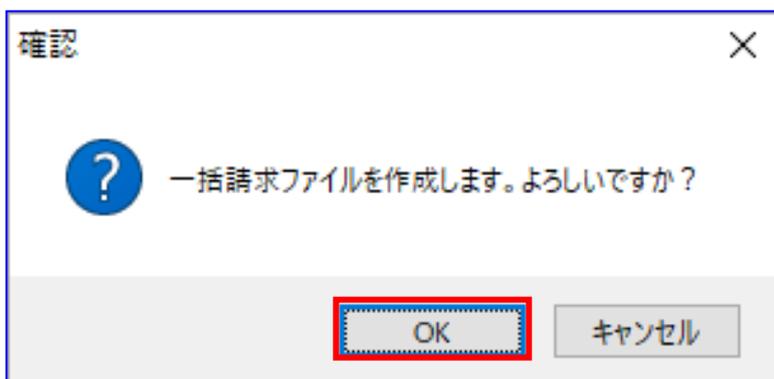
閉じる
読込実行

| No | 項目 | 説明 |
|----|------------------|----------------------|
| 1 | 取組日(振込指定日)の割り当て先 | 「発生記録(予定)日」を選択します。 |
| 2 | 支払期日 | 電子記録債権の支払期日を入力します。 |
| 3 | 譲渡制限有無 | 電子記録債権の譲渡制限有無を選択します。 |
| 4 | 対象ファイル | 作成した振込データを選択します。 |

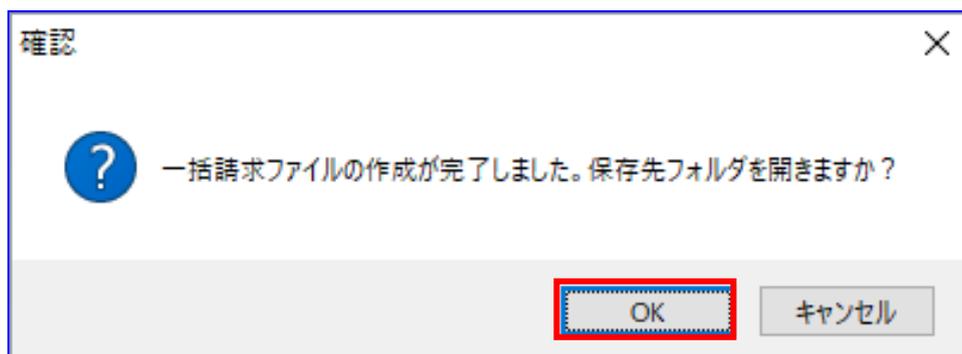
表示された内容を確認し、[一括請求ファイル作成]を押下します。

| No | 項目 | 説明 |
|----|--------------|---|
| 1 | 発生記録 (予定) 日 | 「3.1.1 支払伝票を作成する①」で入力した支払日が設定されます。 |
| 2 | 債務者 (請求者) 情報 | 「3.1.1 支払伝票を作成する①」で入力した会社コードに対応する情報が設定されます。 |
| 3 | 債権者情報 | 「3.1.1 支払伝票を作成する①」で入力した支払先に対応する情報が設定されます。 |
| 4 | 債権金額 (円) | 「3.1.1 支払伝票を作成する①」で入力した支払金額 (振込) が設定されます。 |
| 5 | 支払期日 | 総合振込データ読込画面で入力した支払期日が設定されます。 |
| 6 | 譲渡制限有無 | 総合振込データ読込画面で入力した譲渡制限有無が設定されます。 |

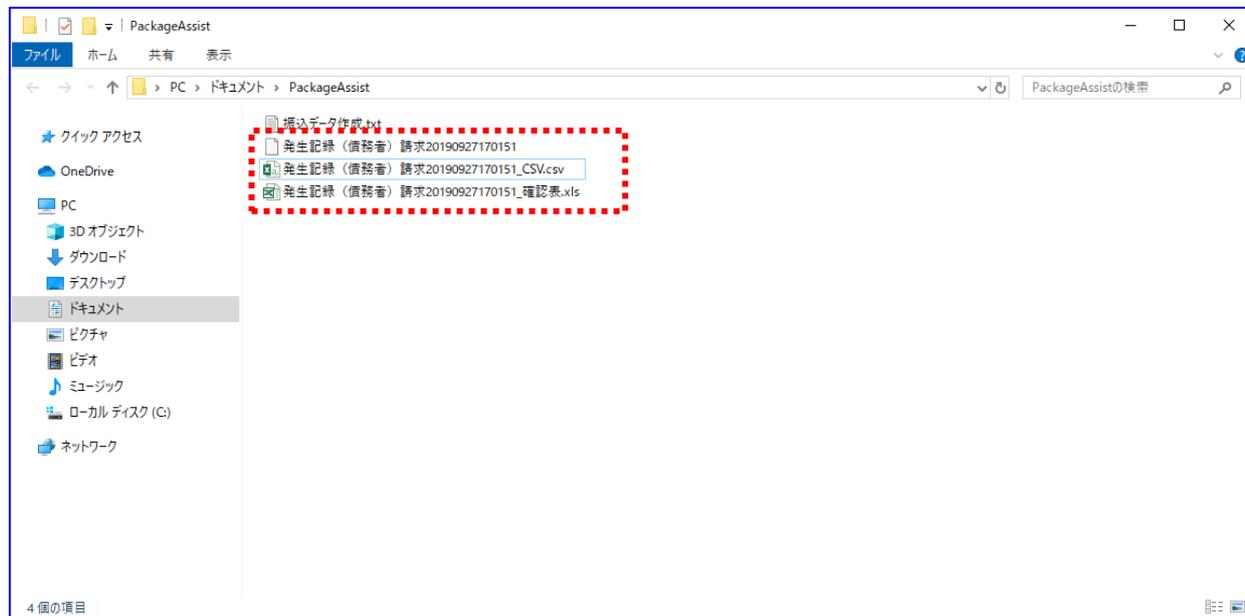
-
- ✚ 下記ダイアログの[OK]を押下します。



- ✚ 下記ダイアログの[OK]を押下します。



- 保存先フォルダが表示されますので、一括請求ファイル、一括請求確認表が作成されていることを確認します。
(CSV ファイルは、システム設定画面にて「出力 CSV 設定」の「一括請求ファイル」を「出力する」に設定している場合のみ出力されます。)



一括請求ファイルの作成時に出力されるファイルは下記の通りです。



- 一括請求ファイル : 発生記録 (債務者) 請求 YYYYMMDDhhmmss※
- CSV ファイル : 発生記録 (債務者) 請求 YYYYMMDDhhmmss_CSV.csv
- 一括請求確認表 : 発生記録 (債務者) 請求 YYYYMMDDhhmmss_確認表.xls

※システム設定画面「共通設定情報」の「一括請求ファイル拡張子」にて「付与する」を選択した場合、設定した拡張子が付与されます。



- 「**3.1.3 振込データを作成する①**」で複数の振込データを作成した場合、**「3.1.5 一括請求ファイルを作成する①**」を繰り返し実施してください。

3.1.6 一括請求ファイルを作成する②

「3.1.4 振込データを作成する②」で作成した振込データを本ソフトで読み込み、一括請求ファイルを作成します。

- 本ソフトの発生記録（債務者）請求作成画面を開き、[総合振込データ読込]を押下します。

発生記録（債務者）請求作成

一括請求ファイル読込 CSV読込 **総合振込データ読込** 対象ファイル

発生記録(予定)日* 2019/10/07

債務者(請求者)情報

| 呼出 | 利用者番号* | 債務者名か | 金融機関コード* | 支店コード* | 口座種別* | 口座番号* |
|-------|--------|-------|----------|--------|-------|-------|
| AAAAA | | | | | | |

債権者(取引先)情報/債権情報

| 詳細 | 読込 No | 債権者利用者番号* | 債権者名** | 債権者金融機関コード* | 債権者支店コード* | 債権者口座種別* | 債権者口座番号 |
|----|-------|-----------|--------|-------------|-----------|----------|---------|
| 1 | | | | | | | |

行ジャンプ 検索 エラージャンプ

合計件数(件) 1
合計金額(円) 0

*必須項目 **一括請求ファイル出力対象外項目

戻る 一括請求ファイル作成

- 条件を入力し、[読込実行]を押下します。

総合振込データ読込
×

債務者(請求者)情報

総合振込データの支払口座情報を条件に下記情報が自動設定されます。未登録の場合は、空白で設定されます。

利用者番号 システム設定もしくは社内口座管理より自動設定されます。

債務者名 社内口座管理より自動設定されます。

債権者(取引先)情報

総合振込データの振込先口座情報を条件に下記情報が自動設定されます。未登録の場合は、空白で設定されます。

利用者番号 取引先管理より自動設定されます。

債権者名 取引先管理より自動設定されます。

発生記録(予定)日/支払期日

総合振込データの取組日(振込指定日)の割り当て先を設定してください。

1 発生記録(予定)日 支払期日

支払期日を設定してください。(全ての請求情報に同一の値が設定されます。)

支払期日 2 2019/11/01

譲渡制限有無

譲渡制限有無を設定してください。(全ての請求情報に同一の値が設定されます。)

譲渡制限有無 3 0:無

総合振込データ

対象ファイル 4 C:\Users\%assist-user%\Documents\PackageAssist\振込データ.txt 参照

閉じる
読込実行

| No | 項目 | 説明 |
|----|------------------|----------------------|
| 1 | 取組日(振込指定日)の割り当て先 | 「発生記録(予定)日」を選択します。 |
| 2 | 支払期日 | 電子記録債権の支払期日を入力します。 |
| 3 | 譲渡制限有無 | 電子記録債権の譲渡制限有無を選択します。 |
| 4 | 対象ファイル | 作成した振込データを選択します。 |

- 0 ダミー口座が表示されていることを確認し、[呼出]を押下します。

発生記録 (債務者) 請求作成

一括請求ファイル読込 CSV読込 総合振込データ読込 対象ファイル 振込データ.txt

発生記録(予定)日* 2019/10/30

ダミー口座

債務者(請求者)情報

| | | | | | |
|----|-----------|----------|--------|-------|---------|
| 呼出 | 利用者番号* | 金融機関コード* | 支店コード* | 口座種別* | 口座番号* |
| | AAAAAAAAA | ダミー-コサ | | 2:当座 | 9999999 |

債権者(取引先)情報 / 債権情報

| 詳細 | 読込 No | 債権者 利用者番号* | 債権者名** | 債権者 金融機関コード* | 債権者 支店コード* | 債権者 口座種別* | 債権者 口座番号 |
|-----|-------|-------------|--------|--------------|------------|-----------|----------|
| ▶ 1 | 詳細 | 1 111111111 | 仕入先A | | | 2:当座 | 3300001 |

電子記録債権で支払う支払伝票の振込データ

行ジャンプ 検索 エラージャンプ

合計件数(件) 1
合計金額(円) 1,000,000,002

*必須項目 **一括請求ファイル出力対象外項目

戻る 一括請求ファイル作成

- 電子記録債権、銀行振込の決済口座を選択し、[選択]を押下します。

社内口座選択

検索条件

利用者名(検索用) 利用者名カナ 金融機関コード 支店コード 口座種別 口座番号 社内口座ID

電子記録債権、銀行振込の決済口座

社内口座情報

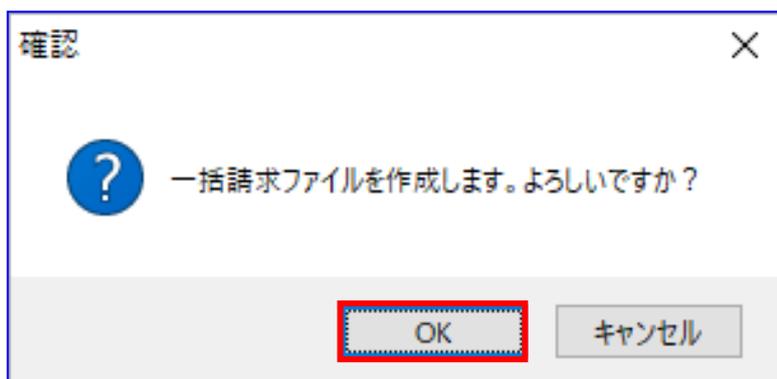
| 選択 | 利用者名(検索用) | 利用者名カナ | 金融機関コード | 支店コード | 口座種別 | 口座番号 |
|----|--------------|--------------|---------|-------|------|---------|
| 選択 | NTTデータフロンティア | NTTデータフロンティア | | | 2:当座 | 1100000 |
| 選択 | ダミー口座 | ダミー-コサ | | | 2:当座 | 9999999 |

閉じる

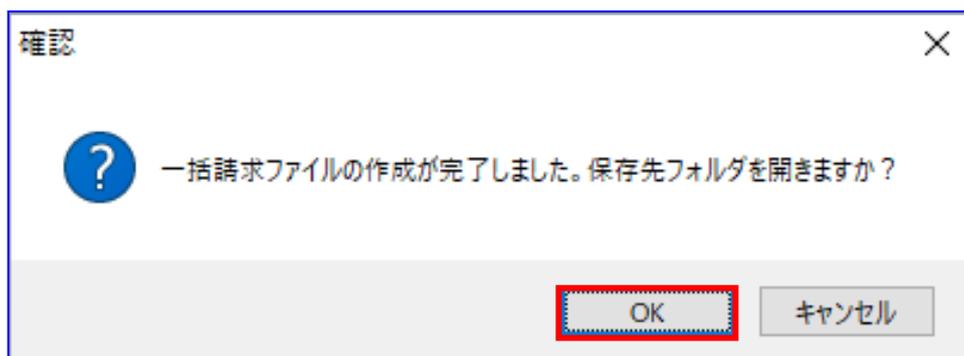
表示された内容を確認し、[一括請求ファイル作成]を押下します。

| No | 項目 | 説明 |
|----|--------------|---|
| 1 | 発生記録 (予定) 日 | 「3.1.2 支払伝票を作成する②」で入力した支払日が設定されます。 |
| 2 | 債務者 (請求者) 情報 | 社内口座選択画面で選択した口座情報が設定されます。 |
| 3 | 債権者情報 | 「3.1.2 支払伝票を作成する②」で入力した支払先に対応する情報が設定されます。 |
| 4 | 債権金額 (円) | 「3.1.2 支払伝票を作成する②」で入力した支払金額 (振込) が設定されます。 |
| 5 | 支払期日 | 総合振込データ読込画面で入力した支払期日が設定されます。 |
| 6 | 譲渡制限有無 | 総合振込データ読込画面で入力した譲渡制限有無が設定されます。 |

✚ 下記ダイアログの[OK]を押下します。

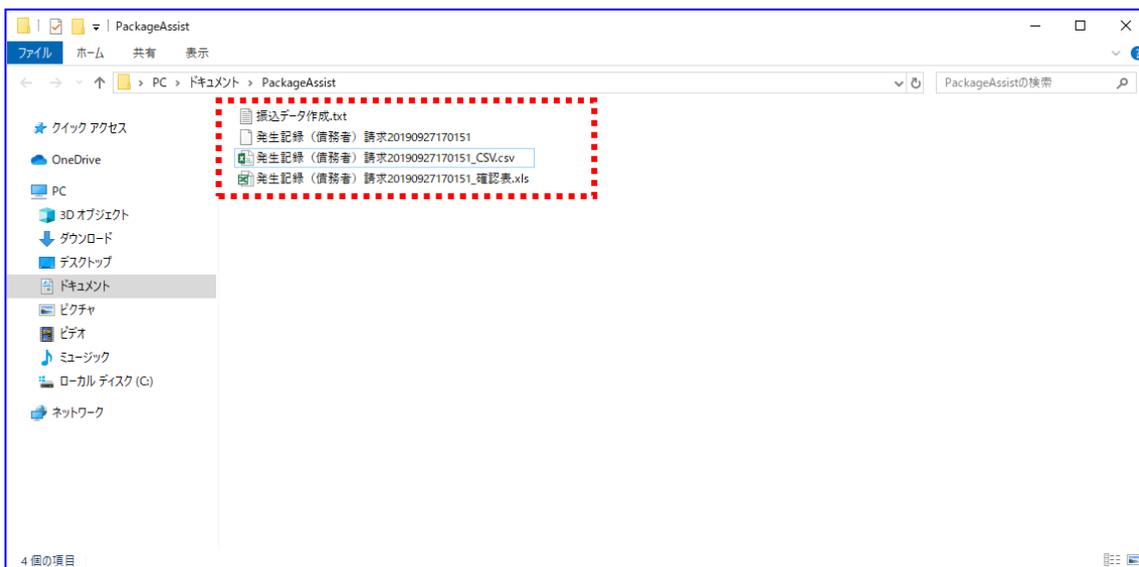


✚ 下記ダイアログの[OK]を押下します。



- 保存先フォルダが表示されますので、一括請求ファイル、一括請求確認表が作成されていることを確認します。

(CSV ファイルは、システム設定画面にて「出力 CSV 設定」の「一括請求ファイル」を「出力する」に設定している場合のみ出力されます。)



一括請求ファイルの作成時に出力されるファイルは下記の通りです。



- 一括請求ファイル : 発生記録 (債務者) 請求 YYYYMMDDhhmmss※
- CSV ファイル : 発生記録 (債務者) 請求 YYYYMMDDhhmmss_CSV.csv
- 一括請求確認表 : 発生記録 (債務者) 請求 YYYYMMDDhhmmss_確認表.xls

※システム設定画面「共通設定情報」の「一括請求ファイル拡張子」にて「付与する」を選択した場合、設定した拡張子が付与されます。



「**3.1.4 振込データを作成する②**」で複数の振込データを作成した場合、「**3.1.6 一括請求ファイルを作成する②**」を繰り返し実施してください。

3.1.7 一括請求ファイルをアップロードする

- 出力された一括請求確認表を確認し、想定した請求内容になっていることをご確認ください。
(一括請求確認表の詳細は、基本操作編「**6.2.2 発生記録(債務者)請求確認表**」、
「**6.2.3 発生記録(債権者)請求確認表**」をご参照ください。)

請求内容に誤りがある場合は、再度「**3.1.1 支払伝票を作成する①**」もしくは「**3.1.2 支払伝票を作成する②**」を実施し、該当箇所を修正の上、一括請求ファイルを作成してください。

例)発生記録(債務者)請求確認表

| 発生記録(債務者)請求確認表 | | | | | | | | | | 出力日時: 2014/06/20 10:08:10 | |
|-----------------------------------|------------|---------|---------|-------|---------|---------|---------|------------|---------|---------------------------|--|
| 対象ファイル: 発生記録(債務者)請求20140620100810 | | | | | | | | | | | |
| 発生記録(予定)日: 2014/06/23 | | | | | | | | | | | |
| 債務者(請求者)情報 | | | | | | | | | | | |
| 利用者番号 | 債務者名 | 金融機関コード | 支店コード | 口座種別 | 口座番号 | | | 合計件数(件) | 1 | | |
| AAAAAAAA | NTTデータ | | | 2:当座 | 1100000 | | | 合計金額(円) | 100,000 | | |
| 債権者(取引先)情報/債権情報 | | | | | | | | | | | |
| No | 利用者番号 | 債権者名 | 金融機関コード | 支店コード | 口座種別 | 口座番号 | 債権金額(円) | 支払期日 | 譲渡制限有無 | 依頼人Ref.No. | |
| 1 | 1111111111 | 住入先A | | | 2:当座 | 3300001 | 100,000 | 2014/07/31 | 0:無 | | |

- 電子記録債権取引システムへの一括請求ファイル申請(アップロード)作業を実施してください。
電子記録債権取引システムより一括請求結果が返却後、業務編「**3.4 発生記録(債務者/債権者)請求の一括請求結果確認**」を実施してください。

例)一括請求結果確認表

| 一括請求結果確認表 | | | | | | | | | | 出力日時: 2014/06/02 11:55:11 | |
|------------------------------|--------------|----------------------|---------|------------|------------|------|--------|---------|---------|---------------------------|---------------|
| 読込ファイル: k420140201123456.txt | | | | | | | | | | | |
| 結果: 正常 | | | | | | | | | | | |
| 通知作成日: 2014/06/17 | | | | | | | | | | | |
| 通知先利用者番号: AAAAAAAAA | | | | | | | | | | | |
| 種別コード | 00:発生・譲渡通知 | 通知先名 | | NTTデータ | | | | 合計件数(件) | 1 | | |
| 文字コード区分 | 0:JIS | 通知先口座情報 | | | | | | 合計金額(円) | 100,000 | | |
| No | 区分 | 記録番号 | 債権金額(円) | 電子記録年月日 | 支払期日 | 債務者名 | 権利者名 | 債務者口座情報 | 権利者口座情報 | 譲渡制限有無 | 依頼人Ref.No. |
| 1 | 01:発生(債務者請求) | A0000000100000100000 | 100,000 | 2014/06/17 | 2014/06/30 | 債務者 | NTTデータ | 2:当座 | 1100000 | 0:無 | REF.NO.000001 |
| | | | | | | 債権者 | NTTデータ | 2:当座 | 1100005 | | |

一括請求 Assist[®] Ver.2 操作マニュアル

連携編(PCA 商管)

2023 年 1 月 4 日 第 2.6 版 発行

- ・本書の内容の一部あるいは全部(ソフトウェアおよびプログラムを含む)は、でんさいネット(全国銀行協会が提供する電子債権記録機関)を使用する目的に限り使用できるものとします。
 - ・なお、無断で複写・複製・転載・配布すること、および磁気または光記録媒体、コンピュータネットワーク上等へ入力することは、法律で認められた場合を除き、一括請求 Assist の著作者および販売者の権利の侵害となります。
 - ・本マニュアルに記載された内容、および本ソフトの仕様は改良のため、予告なく変更する場合があります。
-

一括請求 Assist[®] Ver.2

操作マニュアル

連携編(弥生会計)

第 2.6 版

目次

| | |
|---------------------------|----|
| はじめに..... | 2 |
| 1 連携の概要..... | 3 |
| 1.1 連携の概要..... | 3 |
| 1.2 連携ソフト..... | 4 |
| 1.3 連携の流れ..... | 5 |
| 2 連携事前設定..... | 6 |
| 2.1 「弥生会計」の事前設定..... | 6 |
| 2.1.1 決済用口座を確認する..... | 6 |
| 2.1.2 勘定科目を確認する..... | 8 |
| 2.1.3 補助科目を確認する..... | 11 |
| 2.1.4 部門を確認する..... | 15 |
| 2.2 本ソフトの事前設定..... | 17 |
| 2.2.1 通知確認設定情報を設定する..... | 17 |
| 2.2.2 出力 CSV 設定を設定する..... | 18 |
| 2.2.3 固定値を設定する..... | 19 |
| 2.2.4 取引先を設定する..... | 27 |
| 3 連携手順..... | 29 |
| 3.1 連携手順..... | 29 |
| 3.1.1 通知ファイルを読み込む..... | 29 |
| 3.1.2 通知情報を確認する..... | 33 |
| 3.1.3 債権情報を登録する..... | 35 |
| 3.1.4 仕訳設定を実施する..... | 40 |
| 3.1.5 仕訳書き出しを実施する..... | 44 |
| 3.1.6 顛末を更新する..... | 49 |

はじめに

本書では、本ソフトと弥生株式会社の会計ソフト「弥生会計」との連携について、事前設定、連携手順を説明します。

本書で使用する画面例については「弥生会計 15」のものとなります。会計ソフトのバージョンにより表示内容が異なる場合がありますが、操作方法に差異はありません。

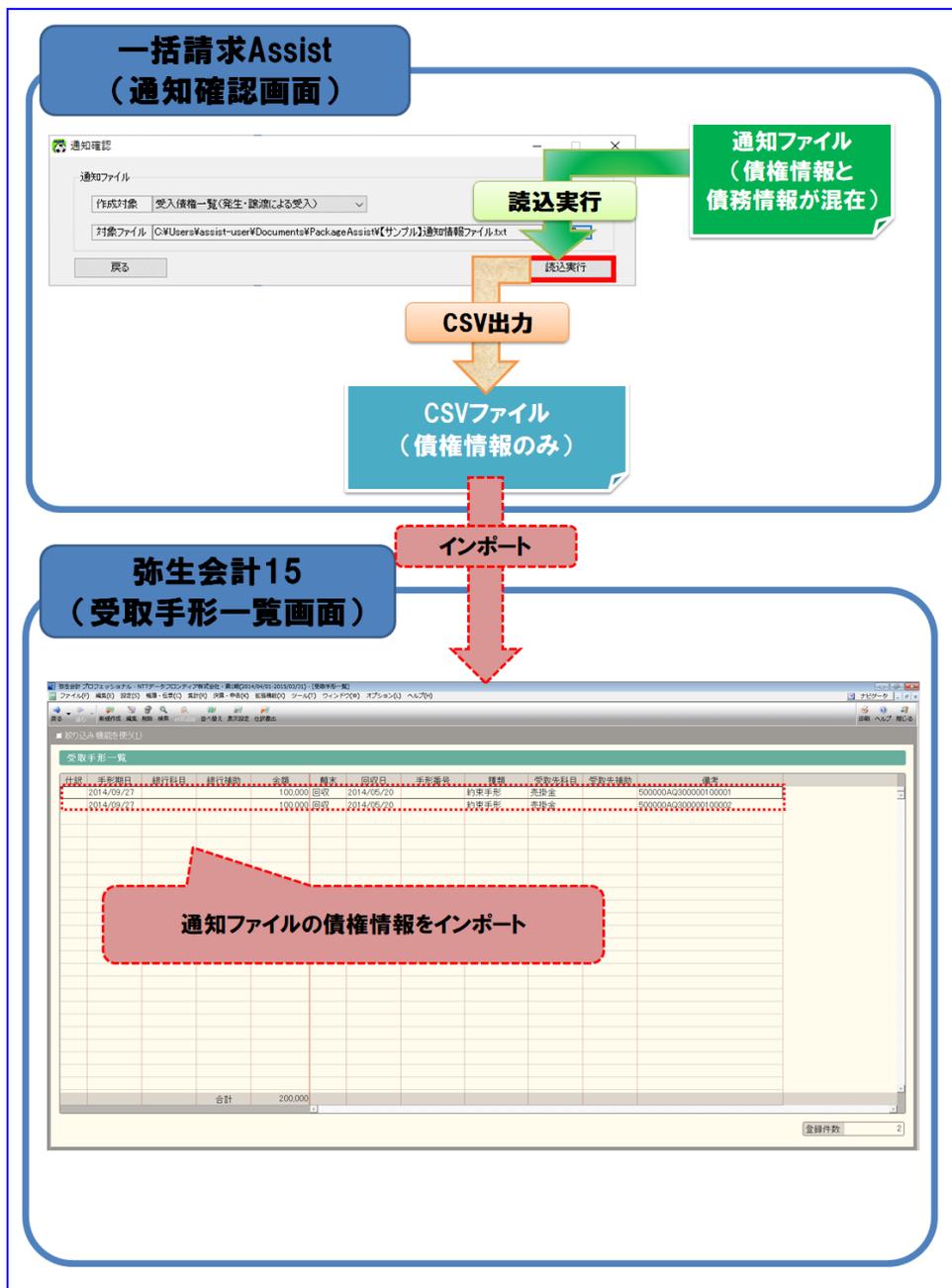
本書に記載されていない「弥生会計」のその他機能の詳細については、「弥生会計」の操作説明をご参照ください。

1 連携の概要

1.1 連携の概要

本ソフトは、電子記録債権取引システムからダウンロードした通知ファイル（でんさいネット標準フォーマット（固定長テキスト形式）1.2版の配信1）を読み込み、電子記録債権の債務情報を省いた債権情報 CSV ファイル（受入債権一覧）を出力することができます。出力した債権情報 CSV ファイルを「弥生会計」に読み込むことにより、債権情報ごとに回収から決済までの一貫した履歴管理を行うことができます。

本連携では、債権情報の履歴管理は「弥生会計」の受取手形一覧画面で実施します。



1.2 連携ソフト

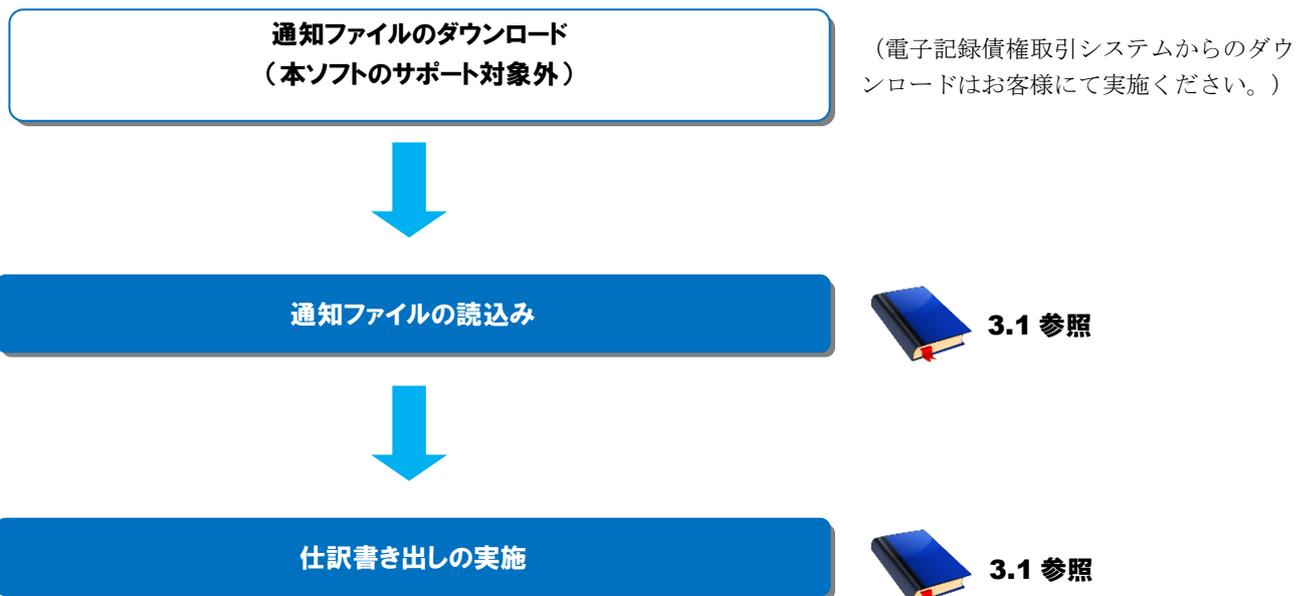
連携可能な「弥生会計」のバージョンについては、株式会社NTTデータフロンティアのホームページをご参照ください。

1.3 連携の流れ

事前設定



連携手順



2 連携事前設定

2.1 「弥生会計」の事前設定

連携を行うための「弥生会計」の事前設定方法を説明します。

操作手順

2.1.1
決済用口座を
確認する

2.1.2
勘定科目を
確認する

2.1.3
補助科目を
確認する

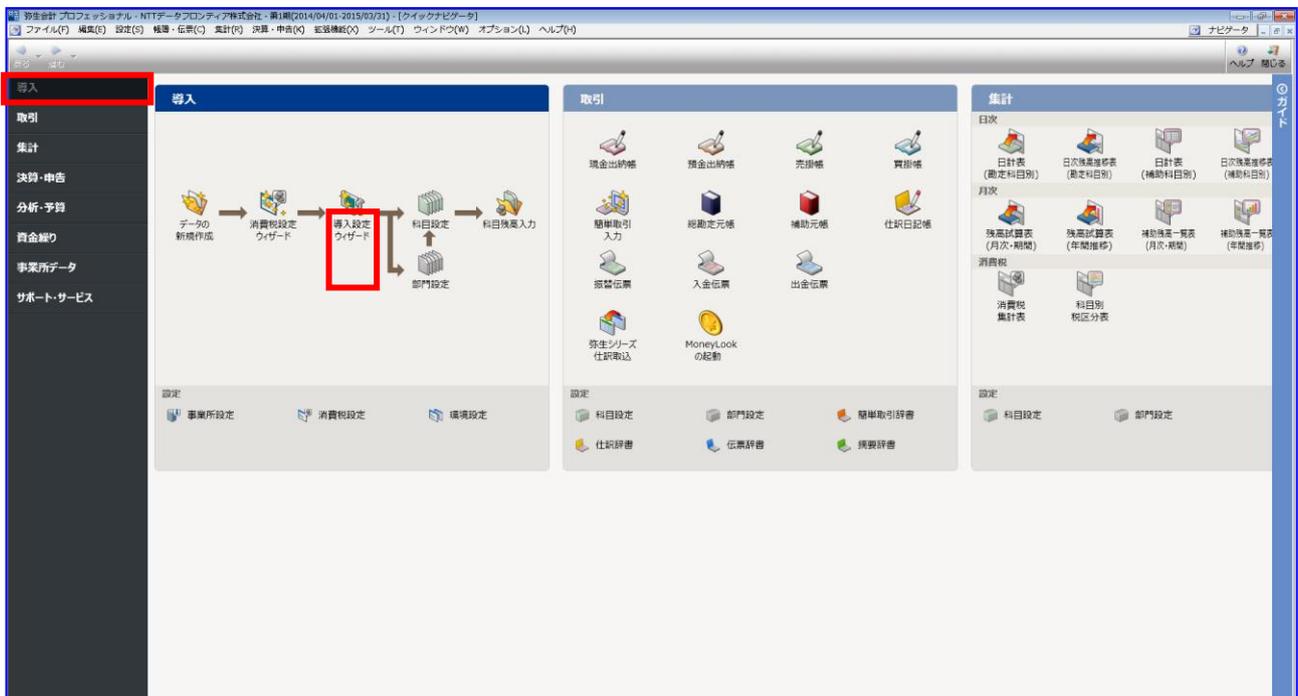
2.1.4
部門を
確認する
(プロフェッショナルを
ご利用の場合のみ)

操作方法

2.1.1 決済用口座を確認する

連携で使用する決済用口座が登録されているか確認します。

「弥生会計」を開き、[導入]>[導入設定ウィザード]を押下します。



- [次へ]を押下します。

導入設定ウィザード

導入設定

現金や預金の残高と、得意先や仕入先の情報を設定します。
前年度の決算書や出納帳、売掛帳や買掛帳など、残高や、得意先、仕入先情報がわかる資料を用意してください。

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

- 導入設定ウィザード画面で「預貯金情報の設定」を表示します。
「預貯金情報の設定」にて、自社の電子記録債権の決済用口座が登録されていることを確認します。

自社の電子記録債権の決済用口座が登録されていない場合は、追加します。
(新規作成方法については「弥生会計」のヘルプをご参照ください。)

導入設定ウィザード

預貯金情報の設定

銀行や信用金庫などへ預けている預貯金の情報を設定します。
[追加]ボタンをクリックして必要な情報を入力してください。

| 金融機関(銀行等) | 当座預金 | 普通預金 | 定期預金 |
|-----------|-------------|-------------|-------------|
| でんざい銀行 | 999,999,999 | 999,999,999 | 999,999,999 |
| でんざい信用金庫 | 999,999,999 | 999,999,999 | 999,999,999 |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

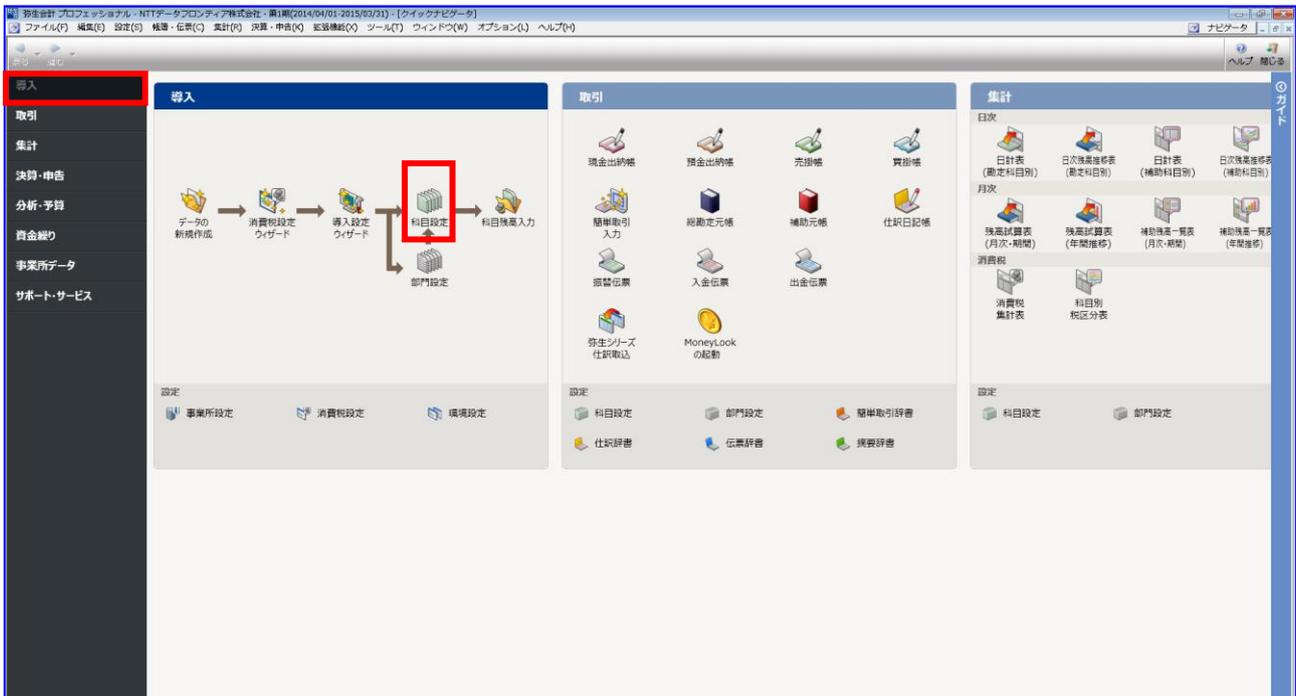
追加(A)... 編集(M)...

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

2.1.2 勘定科目を確認する

連携で使用する勘定科目が登録されているか確認します。

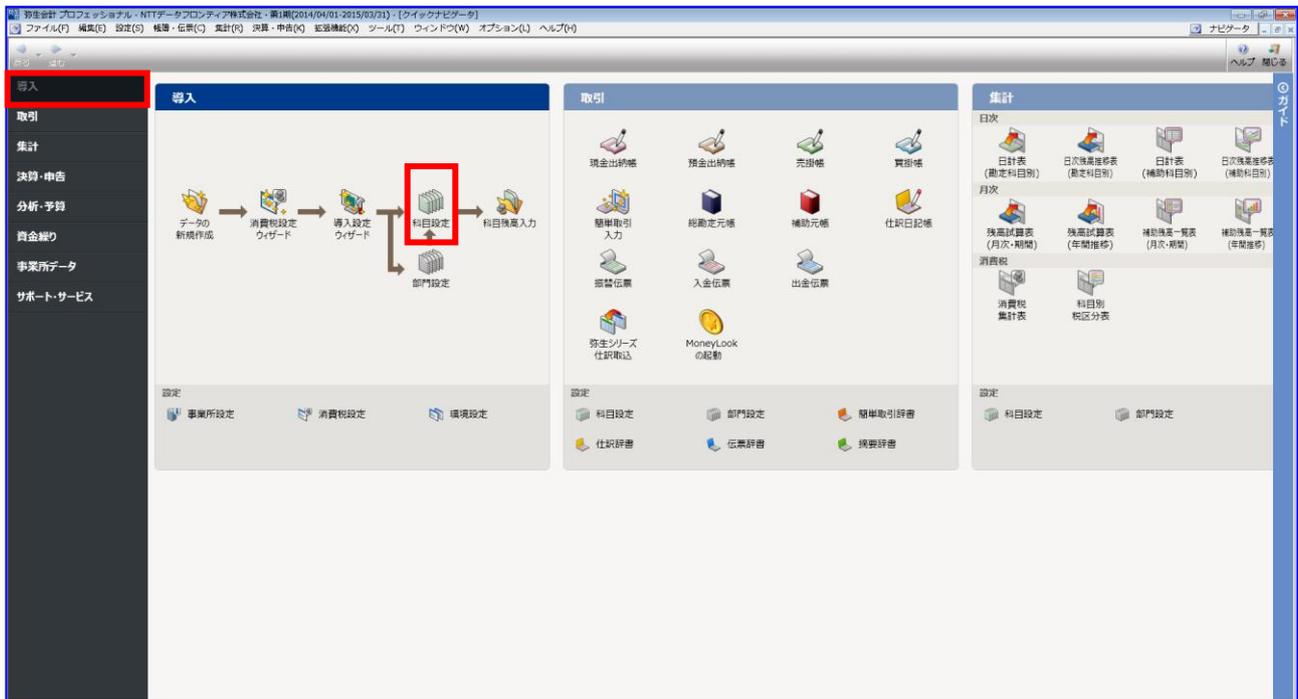
「弥生会計」を開き、[導入]>[科目設定]を押下します。



2.1.3 補助科目を確認する

連携で使用する補助科目が登録されているか確認します。

「弥生会計」を開き、[導入]>[科目設定]を押下します。



✚ 左上の「補助科目を表示」にチェックを付けて、補助科目欄を表示します。

科目設定

補助科目を表示(1)

| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 勘定科目 | サーチキー-英字 | サーチキー-数字 | サーチキー-他 | 貸借区分 | 税区分 | 税計算区分 | 税端数処理 | 補助必須 | 決算書項目 | 非表示 |
|--------|---|---|---|---|------------|----------|----------|----------|------|-------|-------|-------|------|--------|-----|
| 【売上債権】 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | *URJAGES | *140 | *ウリアゲサイ | | | | | | | | |
| | | | | | 受取手形 | UKETORI | 140 | ウケトリカタ | 借方 | 対象外 | | 指定なし | | 受取手形 | |
| | | | | | 不渡手形 | FUMATARI | 141 | フクリカタ | 借方 | 対象外 | | 指定なし | | 不渡手形 | |
| | | | | | 売掛金 [2] | URIKAKE | 142 | ウリカケキ | 借方 | 対象外 | | 指定なし | | 売掛金 | |
| | | | | | 貸倒引当金(売) | KASHIDAO | 149 | カシオレキ | 借方 | 対象外 | | 指定なし | | 貸倒引当金 | |
| | | | | | 電子記録債権 [2] | DENSAIK | 998 | デンサイウケイ | 借方 | 対象外 | | 指定なし | | 電子記録債権 | |
| | | | | | 売上債権合計 | | | | 借方 | | | | | | |
| 【有価証券】 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | *YUUKASH | *150 | *ユウカショウ | | | | | | | | |
| | | | | | 有価証券 | YUUKASHO | 150 | ユウカショウケン | 借方 | 対象外 | | 指定なし | | 有価証券 | |
| | | | | | 有価証券合計 | | | | 借方 | | | | | | |
| 【棚卸資産】 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | *TANAORO | *160 | *タナオロシヤ | | | | | | | | |
| | | | | | 商品 | SHOUHIN | 160 | ショウヒン | 借方 | 対象外 | | 指定なし | | 商品 | |
| | | | | | 製品 | SEIHIN | 161 | セihin | 借方 | 対象外 | | 指定なし | | 製品 | |
| | | | | | 副産物作業<ず | BUKUSAN | 166 | フクサンブツサ | 借方 | 対象外 | | 指定なし | | 製品 | |
| | | | | | 半製品 | HANSEIHI | 162 | ハンセihin | 借方 | 対象外 | | 指定なし | | 半製品 | |
| 補助科目 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | サーチキー-英字 | サーチキー-数字 | サーチキー-他 | | 税区分 | 税計算区分 | 税端数処理 | 非表示 | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | |



補助科目欄が非表示の状態では、補助科目の登録はできません。

勘定科目「売掛金」を選択します。

取引先の情報が、補助科目欄に登録されていることを確認します。

勘定科目「売掛金」に補助科目が登録されていない場合は、補助科目欄に取引先を新規作成します。
(新規作成方法については「弥生会計」の操作説明をご参照ください。)

| 科目設定 | | | | | | | | | | | | |
|------|---|------|---|---|--------------|----------|----------|----------|------|-----|-------|-------|
| 貸借科目 | | 損益科目 | | | | | | | | | | |
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 勘定科目 | サーチキー-英字 | サーチキー-数字 | サーチキー-他 | 貸借区分 | 税区分 | 税計算区分 | 税端数処理 |
| | | | | | ☑ [売上債権] | *URIAGES | *140 | *ウリアゲサイ | | | | |
| | | | | | ☑ 受取手形 | UKETORI | 140 | ウケトリガタ | 借方 | 対象外 | | 指定なし |
| | | | | | ☑ 不渡手形 | FUWATARI | 141 | フワタリガタ | 借方 | 対象外 | | 指定なし |
| | | | | | ☑ 売掛金 [2] | URIKAKE | 142 | ウリカケキ | 借方 | 対象外 | | 指定なし |
| | | | | | ☑ 貸倒引当金(売) | KASHIDAO | 149 | カシダオビキ | 借方 | 対象外 | | 指定なし |
| | | | | | ☑ 電子記録債権 [2] | DENSAIK | 998 | デンサイウケイ | 借方 | 対象外 | | 指定なし |
| | | | | | ☑ 売上債権合計 | | | | 借方 | | | |
| | | | | | ☑ [有価証券] | *YUUKASH | *150 | *ユウカショウ | | | | |
| | | | | | ☑ 有価証券 | YUUKASHO | 150 | ユウカショウケン | 借方 | 対象外 | | 指定なし |
| | | | | | ☑ 有価証券合計 | | | | 借方 | | | |
| | | | | | ☑ [棚卸資産] | *TANAORO | *160 | *タナオロシサ | | | | |
| | | | | | ☑ 商品 | SHOUHIN | 160 | ショウヒン | 借方 | 対象外 | | 指定なし |
| | | | | | ☑ 製品 | SEIHIN | 161 | セイヒン | 借方 | 対象外 | | 指定なし |
| | | | | | ☑ 副産物作業くず | FUKUSAN | 166 | フクサンブツサ | 借方 | 対象外 | | 指定なし |
| | | | | | ☑ 半製品 | HANSEIHI | 162 | ハンセイヒン | 借方 | 対象外 | | 指定なし |
| | | | | | ☑ 売掛金 [2件] | | | | | | | |
| | | | | | ☑ 取引先A株式会社 | | | | | 対象外 | | 指定なし |
| | | | | | ☑ 取引先B株式会社 | | | | | 対象外 | | 指定なし |



登録した「補助科目」は、「2.2.4 取引先を設定する」にて、本ソフト用の事前設定として使用するため、値をお控えください。

勘定科目「電子記録債権」を選択します。

取引先の情報が、補助科目欄に登録されていることを確認します。
勘定科目「電子記録債権」に補助科目が登録されていない場合は、補助科目欄に取引先を新規作成します。

(新規作成方法については「弥生会計」の操作説明をご参照ください。)

| 科目設定 | | | | | | | | | | | | |
|-----------|---|---|---|---|---------------|----------|----------|----------|------|-----|-------|------|
| 貸借科目 損益科目 | | | | | | | | | | | | |
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 勘定科目 | サーチキー-英字 | サーチキー-数字 | サーチキー-他 | 貸借区分 | 税区分 | 税計算区分 | 税端数処 |
| | | | | | ☰ [売上債権] | *URIAGES | *140 | *ウリアゲサイ | | | | |
| | | | | | ☑ 受取手形 | UKETORI | 140 | ウケトリカタ | 借方 | 対象外 | | 指定なし |
| | | | | | ☑ 不渡手形 | FUWATARI | 141 | フワタリカタ | 借方 | 対象外 | | 指定なし |
| | | | | | ☑ 売掛金 [2] | URIKAKE | 142 | ウリカケ金 | 借方 | 対象外 | | 指定なし |
| | | | | | ☑ 貸倒引当金(売) | KASHIDAO | 149 | カシダオビキ | 借方 | 対象外 | | 指定なし |
| | | | | | ☑ 電子記録債権 [2] | DENSAIK | 998 | デンサイウケイ | 借方 | 対象外 | | 指定なし |
| | | | | | ☑ 売上債権合計 | | | | 借方 | | | |
| | | | | | ☰ [有価証券] | *YUUKASH | *150 | *ユウカショウ | | | | |
| | | | | | ☑ 有価証券 | YUUKASHO | 150 | ユウカショウケン | 借方 | 対象外 | | 指定なし |
| | | | | | ☑ 有価証券合計 | | | | 借方 | | | |
| | | | | | ☰ [棚卸資産] | *TANAORO | *160 | *タナオロジサ | | | | |
| | | | | | ☑ 商品 | SHOUHIN | 160 | ショウヒン | 借方 | 対象外 | | 指定なし |
| | | | | | ☑ 製品 | SEIHIN | 161 | セイヒン | 借方 | 対象外 | | 指定なし |
| | | | | | ☑ 副産物作業くず | FUKUSAN | 166 | フクサンブツサ | 借方 | 対象外 | | 指定なし |
| | | | | | ☑ 半製品 | HANSEIHI | 162 | ハンセイヒン | 借方 | 対象外 | | 指定なし |
| | | | | | ☑ 電子記録債権 [2件] | | | | | | | |
| | | | | | ☑ 取引先A株式会社 | | | | 対象外 | | | 指定なし |
| | | | | | ☑ 取引先B株式会社 | | | | 対象外 | | | 指定なし |



勘定科目「電子記録債権」の補助科目については、本ソフトと「弥生会計」の連携の必須項目ではないため、登録は任意です。

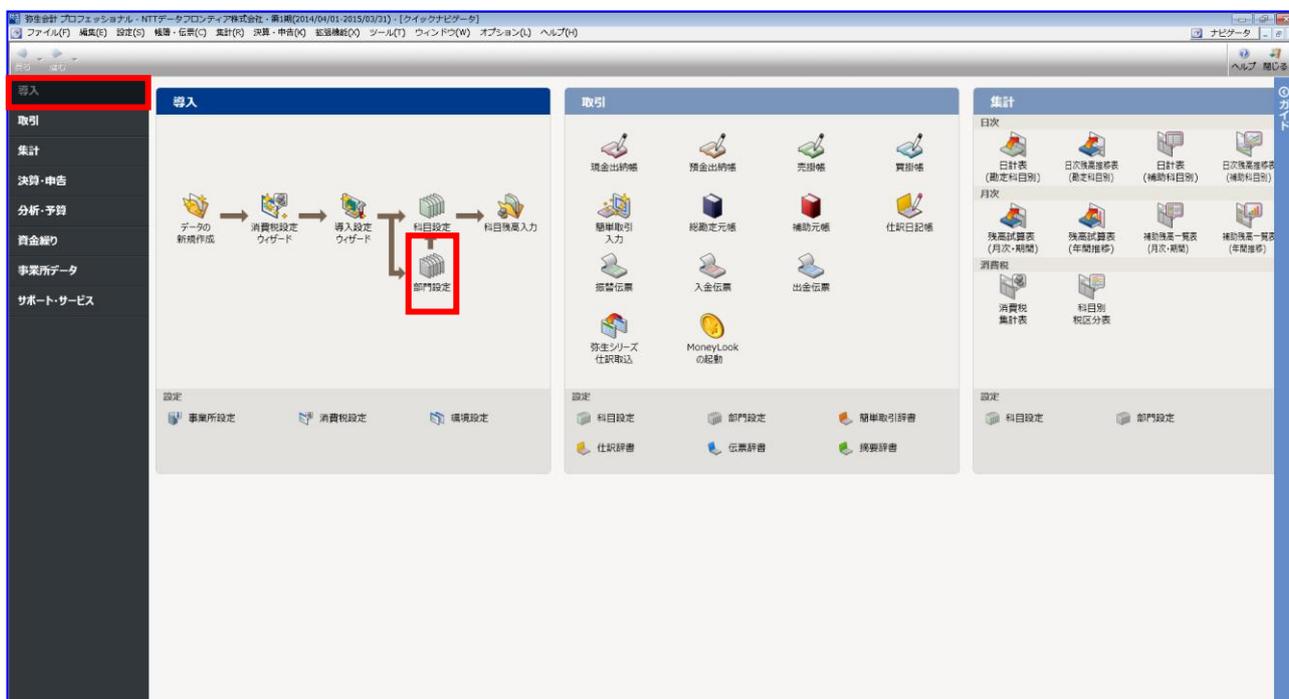
2.1.4 部門を確認する

お使いの会計ソフトが「弥生会計 プロフェッショナル」の場合、連携で使用する部門が登録されているか確認します。

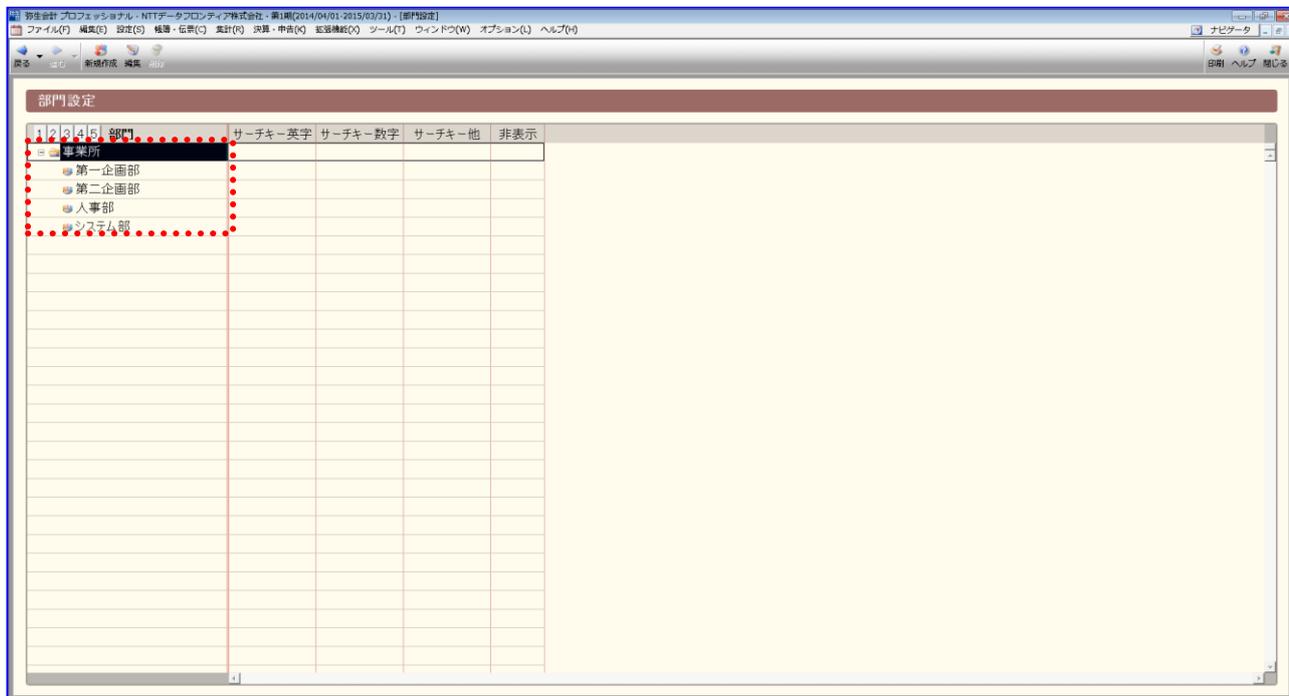


お使いの会計ソフトが「弥生会計 スタンダード」の場合、本項の作業は不要です。

「弥生会計」を開き、[導入]>[部門設定]を押下します。



- ✚ 電子記録債権を利用する部門が登録されていることを確認します。
電子記録債権を利用する部門が登録されていない場合は、新規作成します。
(新規作成方法については「弥生会計」の操作説明をご参照ください。)



登録した「部門」は、「**2.2.3 固定値を設定する**」にて、
本ソフト用の事前設定として使用するため、値をお控えください。



本ソフトとの連携のためには、部門を15文字以内で登録するか、「弥生会計」の
マッチングリスト機能を利用して紐づけを行う必要があります。
(マッチングリスト機能については「弥生会計」の操作説明をご参照ください。)

2.2 本ソフトの事前設定

連携を行うための本ソフトの事前設定方法を説明します。

操作手順



操作方法

2.2.1 通知確認設定情報を設定する

- 本ソフトのシステム設定画面を開き、通知確認設定情報の予約通知を「出力しない」に設定し、[保存]を押下します。

システム設定

共通設定情報

請求者利用者番号 通常利用時 事務代行等での利用時
利用者番号

ファイル出力先

座種別区分 別段を利用する 別段を利用しない

一括請求ファイル拡張子 付与する 付与しない

メニュー表示有無

発生記録(債権者)請求 表示する 表示しない

譲渡記録設定情報

保証連伴有無 選択可(保証有り/無し) 選択不可(保証有りのみ)

全額譲渡時の金額入力 入力する 入力しない

通知確認設定情報

予約通知 出力する 出力しない

読込CSV設定

使用フォーマット

出力CSV設定

使用フォーマット

一括請求ファイル 出力する 出力しない

一括請求結果ファイル 出力する 出力しない

通知ファイル 出力する 出力しない

2.2.2 出力 CSV 設定を設定する

- 本ソフトのシステム設定画面を開きます。
出力 CSV 設定の使用フォーマットに「連携用_弥生会計（弥生）」を選択し、[保存]を押下します。

システム設定

共通設定情報

請求者利用者番号 通常利用時 事務代行等での利用時
利用者番号

ファイル出力先

口座種別区分 別段を利用する 別段を利用しない

一括請求ファイル拡張子 付与する 付与しない

メニュー表示有無

発生記録(債権者)請求 表示する 表示しない

譲渡記録設定情報

保証連伴有無 選択可(保証有り/無し) 選択不可(保証有りのみ)

全額譲渡時の金額入力 入力する 入力しない

通知確認設定情報

予約通知 出力する 出力しない

読込CSV設定

使用フォーマット

出力CSV設定

使用フォーマット

一括請求ファイル

一括請求結果ファイル

通知ファイル

一括請求Assist標準
一括請求Assist標準
配信1
連携用_勘定奉行 (OBC) _SN
連携用_勘定奉行 (OBC) _SY
連携用_勘定奉行 (OBC) _BN
連携用_勘定奉行 (OBC) _BY
連携用_商奉行 (OBC) _N
連携用_商奉行 (OBC) _Y
連携用_PCA会社 (PCA)
連携用_弥生会計 (弥生)
連携用_ファンリース (TRC)

2.2.3 固定値を設定する

出力 CSV フォーマット詳細設定画面を開き、「弥生会計」に登録されている勘定科目と部門を設定します。

- 本ソフトのシステム設定画面を開き、出力 CSV 設定の[修正]を押下します。

システム設定

共通設定情報

請求者利用者番号 通常利用時 事務代行等での利用時
利用者番号

ファイル出力先 参照

座種別区分 別段を利用する 別段を利用しない

一括請求ファイル拡張子 付与する 付与しない

メニュー表示有無

発生記録(債権者)請求 表示する 表示しない

譲渡記録設定情報

保証随伴有無 選択可(保証有り/無し) 選択不可(保証有りのみ)

全額譲渡時の金額入力 入力する 入力しない

通知確認設定情報

予約通知 出力する 出力しない

読込CSV設定

使用フォーマット 修正 削除 新規作成 ファイル読込 ファイル出力

出力CSV設定

使用フォーマット **修正** 削除 新規作成 ファイル読込 ファイル出力

一括請求結果ファイル 出力しない

通知ファイル 出力しない

キャンセル 保存

-
- ✚ 出力 CSV フォーマットの通知の[設定]を押下します。

出力CSVフォーマット共通設定

共通情報

フォーマット名

フォーマット形式

出力形式

日付形式 YYYYMMDD YYYY/MM/DD YYYY/M/D

金額形式 カンマ有 カンマ無

更新

出力CSVフォーマット

一括請求結果 ※未設定

通知

閉じる



連携用の出力 CSV フォーマットについては、「フォーマット名」の修正はできません。

- ✚ 出力 CSV フォーマット詳細設定画面の固定値を設定し、[保存]を押下します。
設定値については次ページ以降の通り設定します。

出力CSVフォーマット詳細設定 ×

フォーマット名 フォーマット形式

対象ファイル CSV項目数

利用者IDの自動設定有無

CSV出力の際、口座情報を条件に利用者IDを自動設定することができます。

通知先情報_利用者IDを社内口座管理より自動設定する 自動設定する 自動設定しない

義務者情報_利用者ID、権利者情報_利用者IDを
社内口座管理もしくは取引先管理より自動設定する 自動設定する 自動設定しない

タイトル行有無

出力CSVの1行目にタイトル行(項目名)を設定する 設定する 設定しない

出力CSV項目設定

各項目の項目番号(出力位置)を指定してください。

| 項目名 | 項目番号 | 固定値 |
|------------------|------|-----|
| 作成対象区分 *1 | | |
| 通知作成日 *1 | | |
| 通知先情報_利用者番号 *1 | | |
| 通知先情報_通知先名か *1 | | |
| 通知先情報_金融機関コード *1 | | |
| 通知先情報_金融機関名か *1 | | |
| 通知先情報_支店コード *1 | | |
| 通知先情報_支店名か *1 | | |

出力CSVに任意の固定値を設定する際に指定してください。

| 項目名 | 項目番号 | 固定値 |
|-----------|------|-----|
| 識別フラグ | 1 | 受 |
| 受取先(勘定科目) | 3 | 売掛金 |
| 部門 | 12 | |

*1 CSV出力の際、全レコードに同一の値が設定されます。

検索 エラージャンプ

- 「受取先（勘定科目）」の固定値については、「弥生会計」の勘定科目「売掛金」を設定します。

弥生会計
 (科目設定画面)

科目設定

| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 勘定科目 | サーチキー-英字 | サーチキー-数字 | サーチキー-他 | 貸借区分 | 税区分 | 税計算区分 | 税端数処理 |
|--------------|---|---|---|---|-------------|----------|----------|---------|------|-----|-------|-------|
| 貸借科目 (損益科目) | | | | | | | | | | | | |
| ● [売上債権] | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | ●URAGES | | *140 | *ウリアゲサイ | 借方 | 対象外 | | 指定なし |
| | | | | | ●受取手形 | | UKETORI | ウケトリガク | 借方 | 対象外 | | 指定なし |
| | | | | | ●不渡手形 | | FMATARI | アワリガク | 借方 | 対象外 | | 指定なし |
| | | | | | ●売掛金 [2] | | | | 借方 | 対象外 | | 指定なし |
| | | | | | ●貸倒引当金 | | | | 借方 | 対象外 | | 指定なし |
| | | | | | ●電子記録債権 [2] | | DENSAIK | デンサイウケ | 借方 | 対象外 | | 指定なし |
| | | | | | ●売上債権合計 | | | | 借方 | | | |
| ● [有価証券] | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | ●YULKASH | | *150 | *ユウカシ | 借方 | 対象外 | | 指定なし |
| | | | | | ●有価証券 | | YULKASHO | ユウカシウケ | 借方 | 対象外 | | 指定なし |
| | | | | | ●有価証券合計 | | | | 借方 | | | |
| ● [棚卸資産] | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | ●TANAORO | | *160 | *タナオロシ | 借方 | 対象外 | | 指定なし |
| | | | | | ●商品 | | SHOHIN | ショウヒン | 借方 | 対象外 | | 指定なし |
| | | | | | ●製品 | | SEIHN | セイヒン | 借方 | 対象外 | | 指定なし |
| | | | | | ●副産物作業くず | | FLUKUSAN | フクサンクサ | 借方 | 対象外 | | 指定なし |
| | | | | | ●半製品 | | HANSEIHI | ハンセイヒン | 借方 | 対象外 | | 指定なし |
| | | | | | ● | | | | | | | |
| ● [売掛金 [2件]] | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | ●取引先A株式会社 | | | | 対象外 | | | 指定なし |
| | | | | | ●取引先B株式会社 | | | | 対象外 | | | 指定なし |

一括請求Assist
 (出力CSVフォーマット設定画面)

出力CSV項目設定

各項目の項目番号(出力位置)を指定してください。

| 項目名 | 項目番号 | 固定値 |
|------------------|------|-----|
| 作成対象区分 *1 | | |
| 通知作成日 *1 | | |
| 通知先情報_利用者番号 *1 | | |
| 通知先情報_通知先名 *1 | | |
| 通知先情報_金融機関コード *1 | | |
| 通知先情報_金融機関名 *1 | | |
| 通知先情報_支店コード *1 | | |
| 通知先情報_支店名 *1 | | |

出力CSVに任意の固定値を設定する際に指定してください。

| 項目名 | 項目番号 | 固定値 |
|-----------|------|-----|
| 識別フラグ | 1 | 受 |
| 受取先(勘定科目) | 3 | 売掛金 |
| 部門 | 12 | |

*1 CSV出力の際、全レコードに同一の値が設定されます。

「受取先（勘定科目）」には「売掛金」が初期設定されています。
「売掛金」以外の勘定科目を設定する場合にのみ、設定する必要があります。

22

- お使いの会計ソフトが「弥生会計 プロフェッショナル」の場合、「部門」の固定値については「**2.1.4 部門を確認する**」で登録した部門の中から該当する「部門」を設定します。



お使いの会計ソフトが「弥生会計 スタンダード」の場合、本項の作業は不要です。

弥生会計
(部門設定画面)

| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 部門 | サーチキー-英字 | サーチキー-数字 | サーチキー-他 | 非表示 |
|-------|---|---|---|---|---------|----------|----------|---------|-----|
| = 事業所 | | | | | | | | | |
| | | | | | ● 第一企画部 | | | | |
| | | | | | ● 第二企画部 | | | | |
| | | | | | ● 人事部 | | | | |
| | | | | | ● システム部 | | | | |

一括請求Assist
(出力CSVフォーマット設定画面)

出力CSV項目設定

各項目の項目番号(出力位置)を指定してください。

| 項目名 | 項目番号 | 値 |
|------------------|------|---|
| 作成対象区分 *1 | | |
| 通知作成日 *1 | | |
| 通知先情報_利用者番号 *1 | | |
| 通知先情報_通知先名付 *1 | | |
| 通知先情報_金融機関コード *1 | | |
| 通知先情報_金融機関名付 *1 | | |
| 通知先情報_支店コード *1 | | |
| 通知先情報_支店名付 *1 | | |

出力CSVに任意の固定値を設定する際に指定してください。

| 項目名 | 項目番号 | 値 |
|-----------|------|-------|
| 識別フラグ | 1 | 受 |
| 受取先(勘定科目) | 3 | 売掛金 |
| 部門 | 12 | 第一企画部 |

*1 CSV出力の際、全レコードに同一の値が設定されます。

通知ファイルに、設定した部門以外の通知が含まれている場合は、「**3.1.6 顛末を更新する**」で該当の債権情報の部門を変更する必要があります。

23

【参考】固定値の属性と桁数について

出力 CSV フォーマット詳細設定画面の固定値について、各項目は半角／全角で設定可能ですが、下記以外の属性と桁数で入力した場合、債権情報 CSV ファイル作成時にエラーが発生します。

| No | 固定値の項目名 | 属性 | 桁数 | 必須／任意 | 備考 |
|----|-----------|-------|----|-------|----|
| 1 | 識別フラグ | 全角／半角 | 40 | 任意 | |
| 2 | 受取先（勘定科目） | 全角／半角 | 40 | 任意 | |
| 3 | 部門 | 全角／半角 | 40 | 任意 | |

【参考】「弥生会計」出力 CSV フォーマット詳細設定画面の初期設定値

| No | 項目 | 項目番号(カッコ内は固定値の値) |
|----|---------------------------------|------------------|
| 1 | CSV 項目数 | 14 |
| 2 | 利用者 ID の自動設定有無 | |
| 3 | 利用者 ID の自動設定有無
(通知先情報) | 自動設定しない |
| 4 | 利用者 ID の自動設定有無
(義務者情報、権利者情報) | 自動設定する |
| 5 | タイトル行有無 | |
| 6 | タイトル行有無 | 設定しない |
| 7 | 出力 CSV 項目設定 | |
| 8 | データレコード項目 | |
| 9 | 作成対象区分 | - |
| 10 | 通知作成日 | - |
| 11 | 通知先情報_利用者番号 | - |
| 12 | 通知先情報_通知先名か | - |
| 13 | 通知先情報_金融機関コード | - |
| 14 | 通知先情報_金融機関名か | - |
| 15 | 通知先情報_支店コード | - |
| 16 | 通知先情報_支店名か | - |
| 17 | 通知先情報_口座種別 | - |
| 18 | 通知先情報_口座番号 | - |
| 19 | 通知先情報_利用者 ID | - |
| 20 | 合計件数 (件) | - |
| 21 | 合計金額 (円) | - |
| 22 | データレコード区分 | - |
| 23 | 義務者情報_義務者名 | 14 |
| 24 | 義務者情報_金融機関コード | - |
| 25 | 義務者情報_金融機関名か | - |
| 26 | 義務者情報_支店コード | - |
| 27 | 義務者情報_支店名か | - |
| 28 | 義務者情報_口座種別 | - |
| 29 | 義務者情報_口座番号 | - |
| 30 | 義務者情報_利用者 ID | 4 |
| 31 | 権利者情報_権利者名 | - |
| 32 | 権利者情報_金融機関コード | - |
| 33 | 権利者情報_金融機関名か | - |

| No | 項目 | 項目番号(カッコ内は固定値の値) |
|----|------------------|------------------|
| 34 | 権利者情報_支店コード | - |
| 35 | 権利者情報_支店名か | - |
| 36 | 権利者情報_口座種別 | - |
| 37 | 権利者情報_口座番号 | - |
| 38 | 権利者情報_利用者 ID | - |
| 39 | 債権金額 (円) | 7 |
| 40 | 支払期日 | 8 |
| 41 | 譲渡制限有無 | - |
| 42 | 記録番号 | 9 |
| 43 | 依頼人 Ref. No. | - |
| 44 | 電子記録年月日 | 2 |
| 45 | 取消区分 | - |
| 46 | データレコード項目 (任意項目) | |
| 47 | 識別フラグ | 1 (固定値: 受) |
| 48 | 受取先 (勘定科目) | 3 (固定値: 売掛金) |
| 49 | 部門 | 12 (固定値: 空) |

【参考】出力 CSV ファイルフォーマット

| No | 項目 | 出力内容 | 備考 |
|----|-----------|---|-------------|
| 1 | 識別フラグ | 固定値：出力 CSV フォーマット詳細設定画面で設定された値 | |
| 2 | 回収日 | 通知ファイル. 電子記録年月日 | |
| 3 | 受取先（勘定科目） | 固定値：出力 CSV フォーマット詳細設定画面で設定された値 | |
| 4 | 受取先（補助科目） | 通知ファイル. 義務者情報の口座情報（金融機関コード／支店コード／口座種別／口座番号）に一致する取引先管理情報. 取引先 ID を自動設定 | |
| 5 | 未使用項目 | -（設定しない） | 項目区切りのカンマのみ |
| 6 | 未使用項目 | -（設定しない） | 項目区切りのカンマのみ |
| 7 | 金額 | 通知ファイル. 債権金額 | |
| 8 | 手形期日 | 通知ファイル. 支払期日 | |
| 9 | 備考 | 通知ファイル. 記録番号 | |
| 10 | 手形種類 | -（設定しない） | 項目区切りのカンマのみ |
| 11 | 手形番号 | -（設定しない） | 項目区切りのカンマのみ |
| 12 | 部門 | 固定値：出力 CSV フォーマット詳細設定画面で設定された値 | |
| 13 | 支払場所 | -（設定しない） | 項目区切りのカンマのみ |
| 14 | 振出人 | 通知ファイル. 義務者情報の義務者名 | |

（CSV ファイルフォーマットの詳細については「弥生会計」のヘルプをご参照ください。）

2.2.4 取引先を設定する

- 本ソフトの取引先管理画面を開き、「2.1.3 補助科目を確認する」で勘定科目「売掛金」の補助科目に登録した取引先の取引先情報が登録されていることを確認します。登録されていない場合は新規に登録します。

| | 利用者番号* | 取引先名* | 金融機関コード* | 支店コード* | 口座種別* | 口座番号* | 取引先種別* |
|-----|-----------|-----------|----------|--------|-------|---------|--------|
| ▶ 1 | 111111111 | 取引先 A株式会社 | 0000 | 001 | 2:当座 | 1110001 | 取引先種別 |
| 2 | 222222222 | 取引先 B株式会社 | 0000 | 001 | 2:当座 | 1110002 | 取引先種別 |

- 「取引先 ID」に、「2.1.3 補助科目を確認する」で登録した勘定科目「売掛金」の補助科目を登録します。

弥生会計15
(科目設定画面)

科目設定

貸借科目 損益科目

| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 勘定科目 | サーチキ-英字 | サーチキ-数字 | サーチキ-他 | 貸借区分 | 税区分 | 税計算区分 | 税端数処理 |
|--------|---|---|---|---|------------|-----------|---------|----------|------|-----|-------|-------|
| [売上債権] | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | 受取手形 | *LRIAGES | *140 | *ウリアゲサイ | 借方 | 対象外 | | 指定なし |
| | | | | | 不渡手形 | UKETORI | 140 | ウケトリカタ | 借方 | 対象外 | | 指定なし |
| | | | | | 売掛金 [2] | FUWATARI | 141 | フワタリカタ | 借方 | 対象外 | | 指定なし |
| | | | | | 貸倒引当金(売) | URIKAKE | 142 | ウリカケキン | 借方 | 対象外 | | 指定なし |
| | | | | | 電子記録債権 [2] | KASHIDAO | 149 | カシダオレキ | 借方 | 対象外 | | 指定なし |
| | | | | | 電子記録債権合計 | DENSAIK | 998 | デンサイケイ | 借方 | 対象外 | | 指定なし |
| | | | | | 売上債権合計 | | | | 借方 | | | |
| [有価証券] | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | 有価証券 | *YULIKASH | *150 | *ユウカショウ | 借方 | 対象外 | | 指定なし |
| | | | | | 有価証券合計 | YUUKASHO | 150 | ユウカショウケン | 借方 | 対象外 | | 指定なし |
| [棚卸資産] | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | 商品 | *TANAORO | *160 | *タナオロシヤ | 借方 | 対象外 | | 指定なし |
| | | | | | 製品 | SHOUHIN | 160 | ショウヒン | 借方 | 対象外 | | 指定なし |
| | | | | | 副産物作業くず | SEIHIN | 161 | セイヒン | 借方 | 対象外 | | 指定なし |
| | | | | | 半製品 | FUKUSAN | 166 | フクサンツサ | 借方 | 対象外 | | 指定なし |
| | | | | | 半製品 | HANSEIHI | 162 | ハンセイヒン | 借方 | 対象外 | | 指定なし |

| 売掛金 [2件] | サーチキ-英字 | サーチキ-数字 | サーチキ-他 | 税区分 | 税計算区分 | 税端数処理 | 非表示 |
|----------|---------|---------|--------|-----|-------|-------|-----|
| 取引先A株式会社 | | | | 対象外 | | 指定なし | |
| 取引先B株式会社 | | | | 対象外 | | 指定なし | |

一括請求Assist
(取引先管理画面)

取引先管理

CSV読込 CSV出力

取引先情報

| | 金融機関コード* | 支店コード* | 口座種別* | 口座番号* | 取引先ID |
|-----|----------|--------|-------|---------|-----------|
| ▶ 1 | 0000 | 001 | 2:当座 | 1110001 | 取引先 A株式会社 |
| 2 | 0000 | 001 | 2:当座 | 1110002 | 取引先 B株式会社 |

行ジャンプ 検索 エラージャンプ

更新

本ソフトへの登録時には、コピー&ペーストをするなどし、「弥生会計」の設定値と完全に一致させてください。

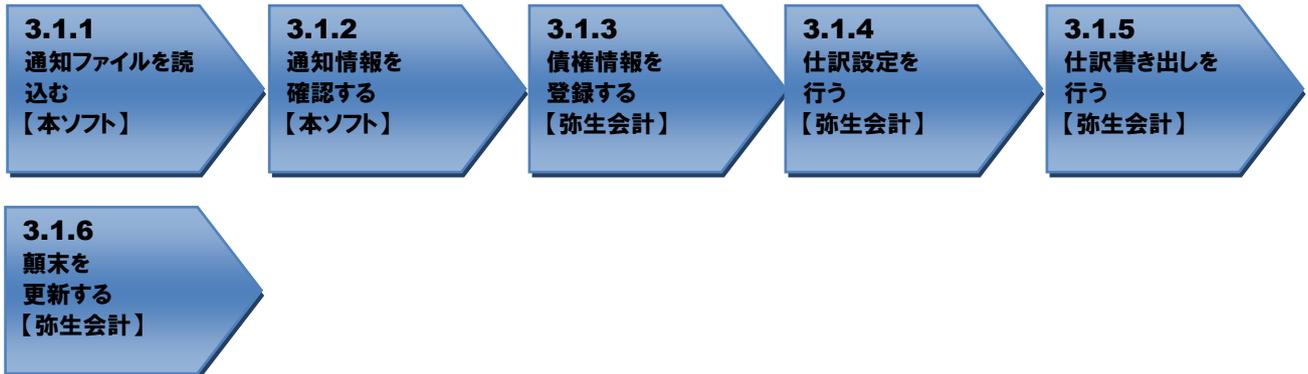
28

3 連携手順

3.1 連携手順

「弥生会計」と本ソフトの連携手順を説明します。

操作手順



操作方法

3.1.1 通知ファイルを読み込む

本ソフトで電子記録債権取引システムからダウンロードした通知ファイルを読み込み、「弥生会計」に読み込ませる債権情報 CSV ファイルを作成します。

✚ 本ソフトの通知確認画面を開き、作成対象に「受入債権一覧(発生・譲渡による受入)」を選択します。

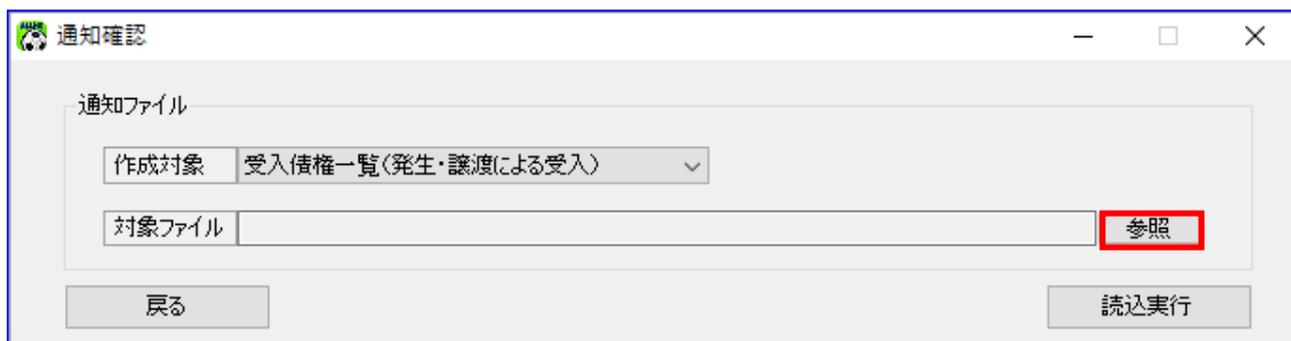




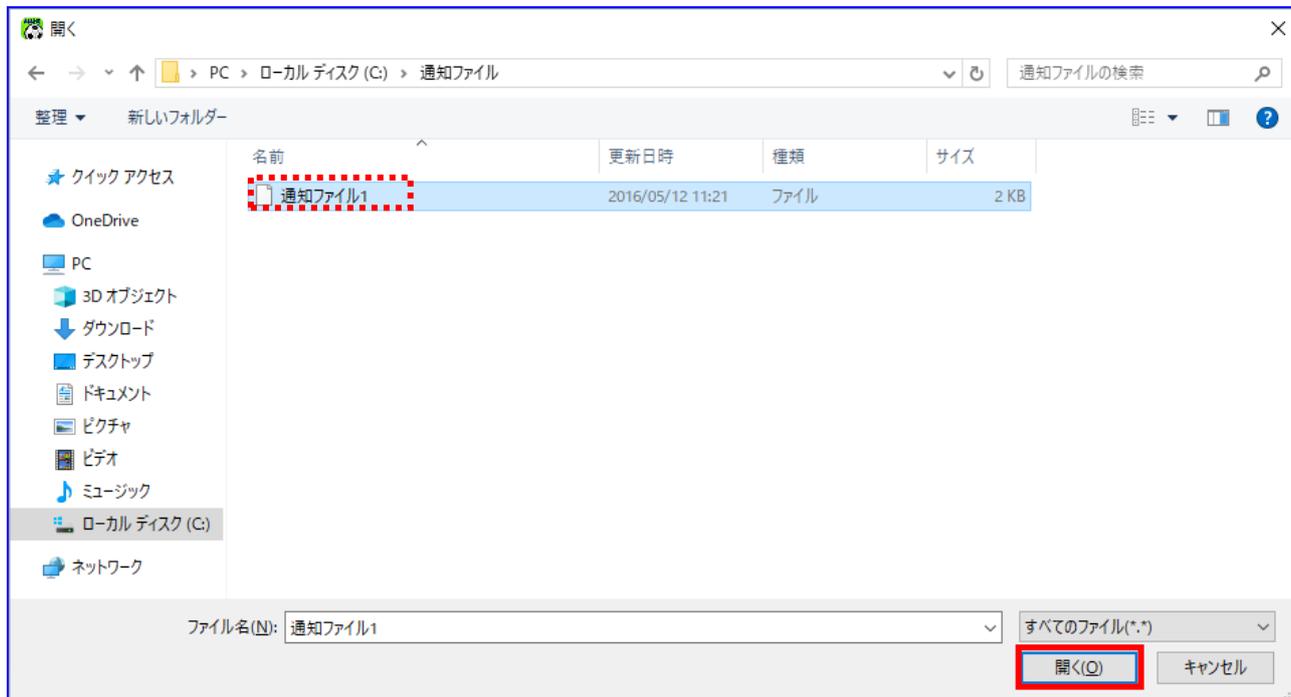
「受入債権一覧（発生・譲渡による受入）」を選択した場合、通知ファイルから発生・譲渡の受入情報のみを抽出した受入債権一覧を作成します。

読んだ通知ファイルの権利者口座情報に、自身の口座情報（通知先情報の口座情報）が設定されている債権を抽出します。

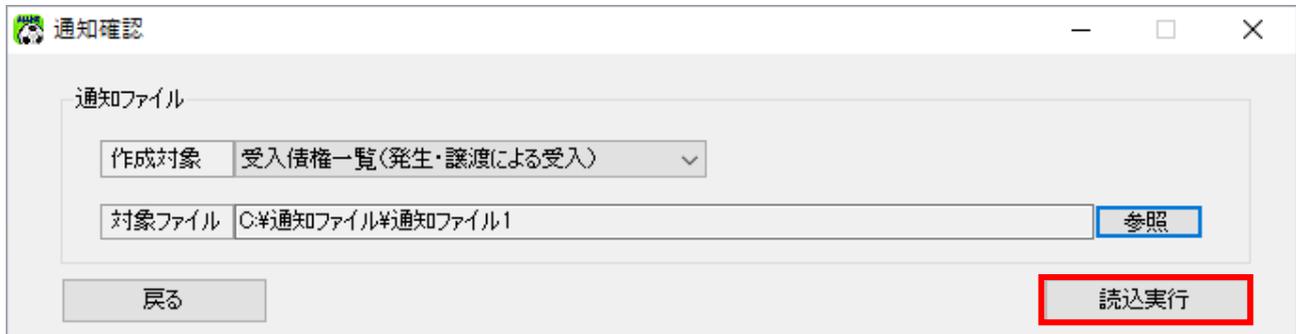
- ✚ 電子記録債権取引システムより取得した通知ファイルを読み込みます。
[参照]を押下します。



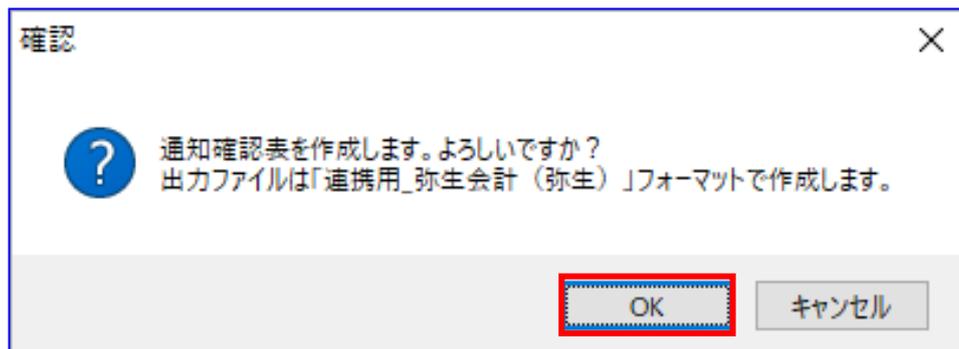
- ✚ [参照]を押下すると、ファイルを開くダイアログが表示されます。
内容を確認する通知ファイルを選択し、[開く]を押下します。



選択したファイルが対象ファイルに表示されます。
[読込実行]を押下します。



- ✚ [読込実行]を押下すると、確認ダイアログが表示されます。よろしければ、[OK]を押下します。



「**2.2.2 出力 CSV 設定を設定する**」で設定した使用フォーマット名（連携用_弥生会計（弥生））が表示されます。

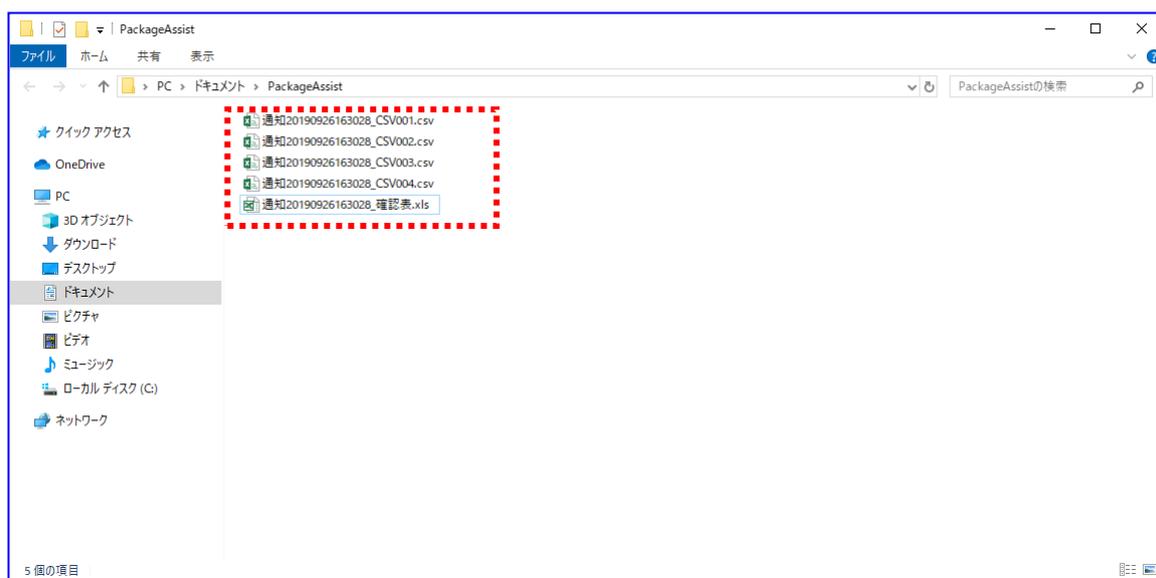


[OK]を押下後にエラーメッセージが表示される場合、トラブルシューティング「**2.1.10 連携エラー**」をご参照ください。

- 通知確認表の作成が完了すると、確認ダイアログが表示されます。作成した通知確認表の保存先を表示する場合、[OK]を押下します。



- 保存先フォルダが表示されますので、通知確認表、CSV ファイルが作成されていることを確認します。



通知確認表の作成時に出力されるファイルは下記の通りです。

通知確認表 : 通知 YYYYMMDDhhmmss_確認表.xls
CSV ファイル : 通知 YYYYMMDDhhmmss_CSVxxx.csv

3.1.2 通知情報を確認する

- 出力された通知確認表を開きます。
(通知確認表の詳細は、基本操作編「**6.2.8.1 通知確認表(概要)**」、「**6.2.8.2 通知確認表**」をご参照ください。)

通知確認表は、「概要シート」と「詳細シート」で構成されています。

- 「概要シート」には、各詳細シートにおける「出力ファイル」、「通知先情報」、「合計件数」、「合計金額」の一覧が出力されています。

例)通知確認表(概要シート)

| 通知確認表(概要) | | | | | | | | | | | 出力日時: 2014/11/15 09:51:34 | |
|--------------------------|----------|-----------------------------|-----------|---------|---------|-----|-----|---------|---------|---------|---------------------------|-----------|
| 対象ファイル: 通知ファイル1 | | | | | | | | | | | | |
| 作成対象: 受入債権一覧(発生・譲渡による受入) | | | | | | | | | | | | |
| 予約通知(出力条件): 出力しない | | | | | | | | | | | | |
| No | シート名 | 出力ファイル | 通知先利用者番号 | 通知先名 | 通知先口座情報 | | | 合計件数(件) | 合計金額(円) | | | |
| 1 | 通知確認表001 | 通知20141111123302_CSV001.csv | A00000001 | 株式会社〇〇〇 | 0000 | 〇〇〇 | 001 | 〇〇 | 2:当座 | 1100000 | 2 | 200,000 |
| 2 | 通知確認表002 | 通知20141111123302_CSV002.csv | A00000001 | 株式会社〇〇〇 | 0000 | 〇〇〇 | 001 | 〇〇 | 2:当座 | 1100000 | 20 | 2,000,000 |
| 3 | 通知確認表003 | 通知20141111123302_CSV003.csv | A00000001 | 株式会社〇〇〇 | 0000 | 〇〇〇 | 001 | 〇〇 | 2:当座 | 1100000 | 20 | 2,000,000 |
| 4 | 通知確認表004 | 通知20141111123302_CSV004.csv | A00000001 | 株式会社〇〇〇 | 0000 | 〇〇〇 | 001 | 〇〇 | 2:当座 | 1100000 | 20 | 2,000,000 |

通知確認表(概要) / 通知確認表001 / 通知確認表002 / 通知確認表003 / 通知確認表004

概要シート

詳細シート

- 「詳細シート」には、読込んだ通知ファイルの通知先口座情報ごとの詳細情報が出力されています。

例)通知確認表(詳細シート)

| 通知確認表001 | | | | | | | | | | | 出力日時: 2014/11/15 09:51:34 | | | | |
|---|------------------|----------------------|---------|------------|------|------|---------|---------|-----|-----|---------------------------|-------------|---------|---------------|--|
| 出力ファイル: 通知20141111123302_CSV001.csv | | | | | | | | | | | | | | | |
| 作成対象: 受入債権一覧(発生・譲渡による受入) | | | | | | | | | | | | | | | |
| 通知作成日: 2014/11/01 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 通知先利用者番号: A00000001 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 通知先名: 株式会社〇〇〇 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 通知先口座情報: 0000 〇〇〇 001 〇〇 2:当座 1100000 | | | | | | | | | | | 合計件数(件): 2 | | | | |
| | | | | | | | | | | | 合計金額(円): 200,000 | | | | |
| No | 区分 | 記録番号 | 債権金額(円) | 電子記録年月日 | 支払期日 | 義務者名 | 権利者名 | 義務者口座情報 | | | 譲渡制限 | 依頼人 Ref No. | 取消区分 | | |
| 1 | 01:発生
(債務者請求) | 500000A0300000100001 | 100,000 | 2014/05/20 | | 債務者 | 株式会社〇〇〇 | 0000 | 〇〇〇 | 001 | 〇〇 | 2:当座 | 1100001 | REF.NO.000001 | |
| | | | | 2014/08/27 | | 債権者 | 株式会社〇〇〇 | 0000 | 〇〇〇 | 001 | 〇〇 | 2:当座 | 1100000 | | |
| 2 | 01:発生
(債務者請求) | 500000A0300000100002 | 100,000 | 2014/05/20 | | 債務者 | 株式会社〇〇〇 | 0000 | 〇〇〇 | 001 | 〇〇 | 2:当座 | 1100002 | REF.NO.000002 | |
| | | | | 2014/08/27 | | 債権者 | 株式会社〇〇〇 | 0000 | 〇〇〇 | 001 | 〇〇 | 2:当座 | 1100000 | | |



「詳細シート」は、通知先口座情報（金融機関コード／支店コード／口座種別／口座番号）ごとに作成されます。
電子記録債権取引システムからダウンロードする際に、特定の通知先口座情報を指定した場合は、「詳細シート」が1つだけ作成されることになります。

出力ファイルも同様に、通知先口座情報の数だけ作成されます。



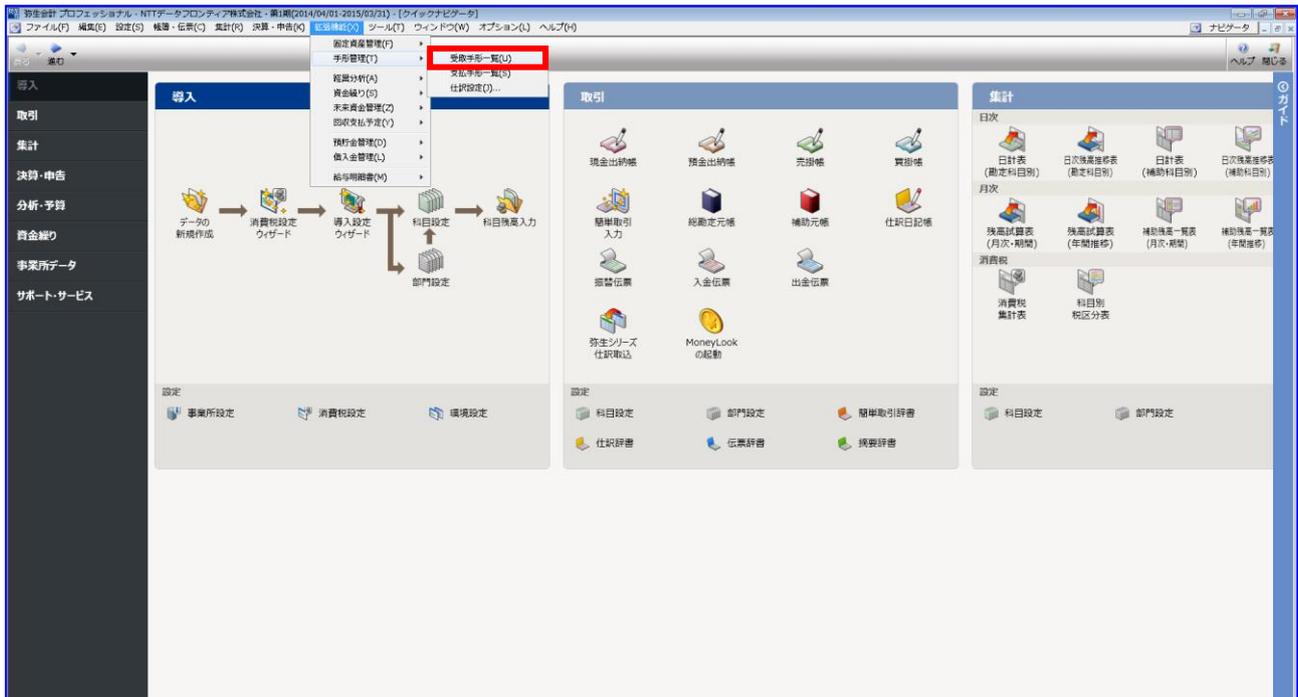
作成対象が「受入債権一覧（発生・譲渡による受入）」を選択した際は、条件に該当する債権が存在した通知先口座情報のみ詳細シートおよび出力ファイルが出力されます。

条件に該当する債権が存在しなかった通知先口座情報については、概要シートの「シート名」に「-（ハイフン）」が表示され、詳細シートおよび出力ファイルは出力されません。

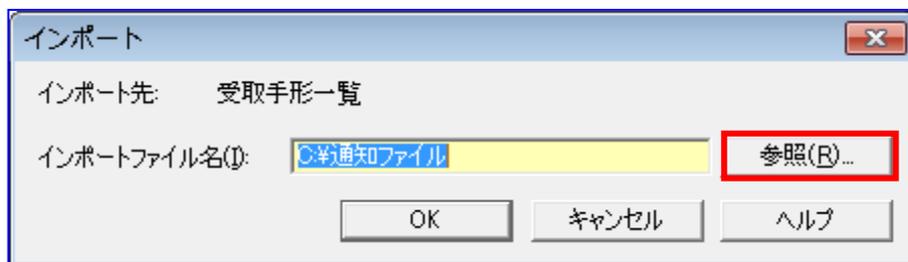
3.1.3 債権情報を登録する

「3.1.1 通知ファイルを読み込む」で作成した債権情報 CSV ファイルを「弥生会計」で読み込み、受取手形一覧画面に登録します。

☛ [拡張機能] > [手形管理] > [受取手形一覧] を押下します。



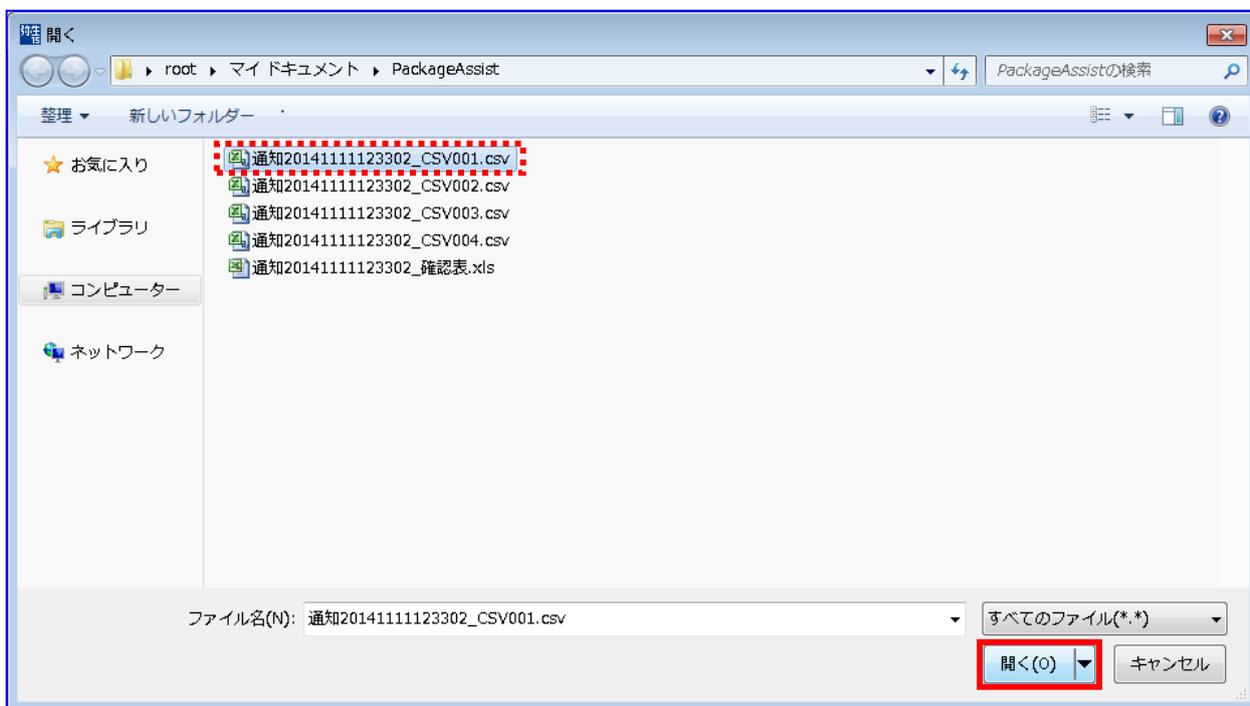
- 「インポートファイル名」の[参照]を押下します。



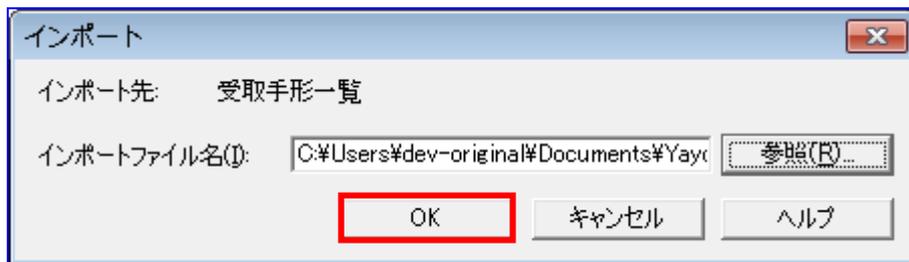
- ファイル拡張子の設定を「テキストファイル」から「すべてのファイル」に変更します。



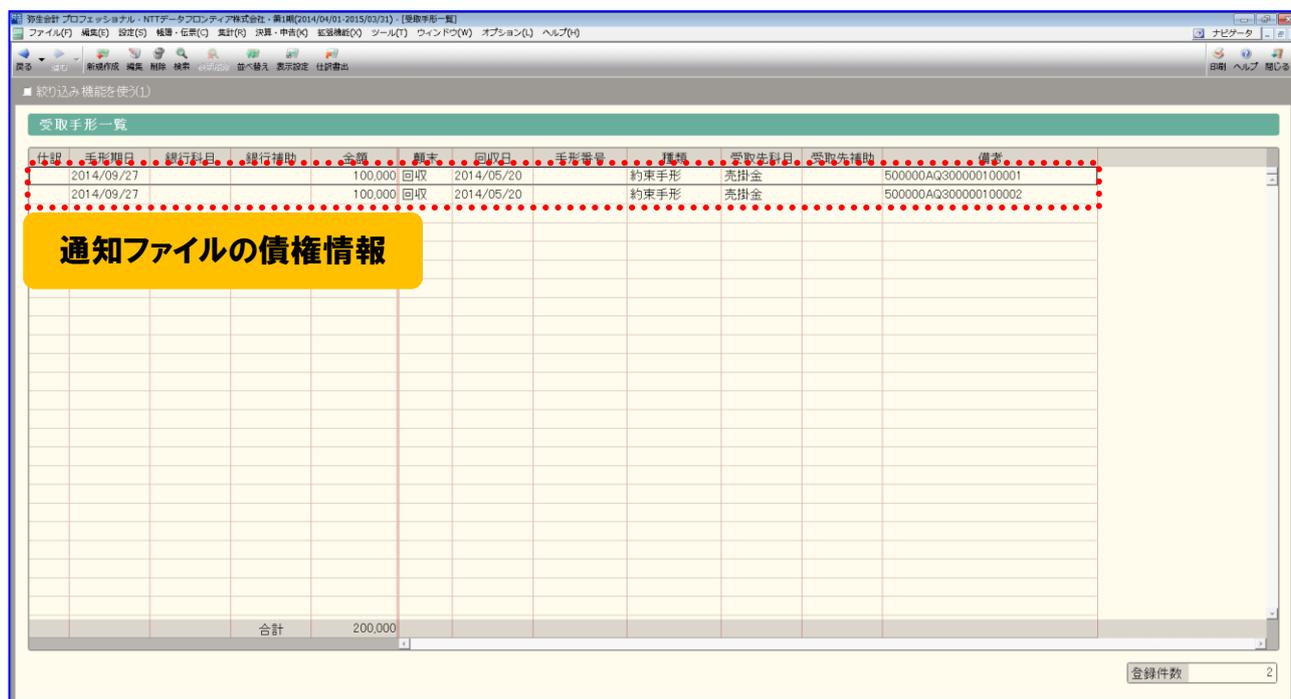
- ✚ 「3.1.1 通知ファイルを読み込む」で本ソフトから出力した通知 CSV ファイルを選択し、[開く]を押下します。



✚ [OK]を押下します。



✚ 受取手形一覧画面に債権情報が表示されます。



債権情報の登録時、顛末には「回収」、種類には「約束手形」が設定されます。



「3.1.1 通知ファイルを読み込む」にて複数の債権情報 CSV ファイルが作成された場合、本稿の処理を CSV ファイル数分繰り返してインポートを行ってください。

3.1.4 仕訳設定を実施する

債権情報の仕訳書き出しに関する設定を行います。

🚦 [拡張機能] > [手形管理] > [仕訳設定]を押下します。

| 仕訳 | 手形期日 | 銀行科目 | 銀行補助 | 回収日 | 手形番号 | 種類 | 受取先科目 | 受取先補助 | 備考 |
|----|------------|------|------|------------|------|------|-------|-------|----------------------|
| | 2014/09/27 | 当座預金 | | 2014/05/20 | | 約束手形 | 売掛金 | | 500000AQ300000100001 |
| | 2014/09/27 | | | 2014/05/20 | | 約束手形 | 売掛金 | | 500000AQ300000100002 |
| 合計 | | | | | | | | | 200,000 |

- ✚ [受取手形]を押下します。

手形仕訳設定

受取手形 | 支払手形

仕訳方法

直接法(D) 間接法(K)

顔末(D):

回収
決済
更改
不渡
不渡(割引から)
不渡(裏書から)
割引
裏書
返還

| 1行目 | | | |
|------|--------|------|-----|
| 借方科目 | 電子記録債権 | 貸方科目 | 売掛金 |
| 借方補助 | | 貸方補助 | |

| 2行目 | | | |
|------|--|------|--|
| 借方科目 | | 貸方科目 | |
| 借方補助 | | 貸方補助 | |

OK キャンセル ヘルプ

- ✚ 仕訳方法に「直接法」を選択します。（本例では直接法にて実施します。）

手形仕訳設定

受取手形 | 支払手形

仕訳方法

直接法(D) 間接法(K)

顔末(D):

回収
決済
更改
不渡
不渡(割引から)
不渡(裏書から)
割引
裏書
返還

| 1行目 | | | |
|------|--------|------|-----|
| 借方科目 | 電子記録債権 | 貸方科目 | 売掛金 |
| 借方補助 | | 貸方補助 | |

| 2行目 | | | |
|------|--|------|--|
| 借方科目 | | 貸方科目 | |
| 借方補助 | | 貸方補助 | |

OK キャンセル ヘルプ

- ✚ 顛末に「回収」を選択します。

手形仕訳設定

受取手形 | 支払手形

仕訳方法

直接法(J) 間接法(K)

顛末(D):

- 回収
- 決済
- 更改
- 不渡
- 不渡(割引から)
- 不渡(裏書から)
- 割引
- 裏書
- 返還

| 1行目 | | | |
|------|--------|------|-----|
| 借方科目 | 電子記録債権 | 貸方科目 | 売掛金 |
| 借方補助 | | 貸方補助 | |

| 2行目 | | | |
|------|--|------|--|
| 借方科目 | | 貸方科目 | |
| 借方補助 | | 貸方補助 | |

OK キャンセル ヘルプ

- ✚ 選択した顛末の仕訳時の借方科目、貸方科目を選択します。

手形仕訳設定

受取手形 | 支払手形

仕訳方法

直接法(J) 間接法(K)

顛末(D):

- 回収
- 決済
- 更改
- 不渡
- 不渡(割引から)
- 不渡(裏書から)
- 割引
- 裏書
- 返還

| 1行目 | | | |
|------|--------|------|-----|
| 借方科目 | 電子記録債権 | 貸方科目 | 売掛金 |
| 借方補助 | | 貸方補助 | |

| 2行目 | | | |
|------|--|------|--|
| 借方科目 | | 貸方科目 | |
| 借方補助 | | 貸方補助 | |

OK キャンセル ヘルプ

✚ [OK]を押下します。

手形仕訳設定

受取手形 | 支払手形

仕訳方法

直接法(J) 間接法(K)

頭末(T):

| | | | | | |
|----------|-----|------|--------|------|-----|
| 回収 | 1行目 | 借方科目 | 電子記録債権 | 貸方科目 | 売掛金 |
| 決済 | | 借方補助 | | 貸方補助 | |
| 更改 | 2行目 | 借方科目 | | 貸方科目 | |
| 不渡 | | 借方補助 | | 貸方補助 | |
| 不渡(割引から) | | | | | |
| 不渡(裏書から) | | | | | |
| 割引 | | | | | |
| 裏書 | | | | | |
| 返還 | | | | | |

OK キャンセル ヘルプ



本マニュアルは、下記の仕訳を想定しています。

商品の売買 : (借) 売掛金 (貸) 売上
回収(連携)時 : (借) 電子記録債権 (貸) 売掛金
決済時 : (借) 現金 (貸) 電子記録債権

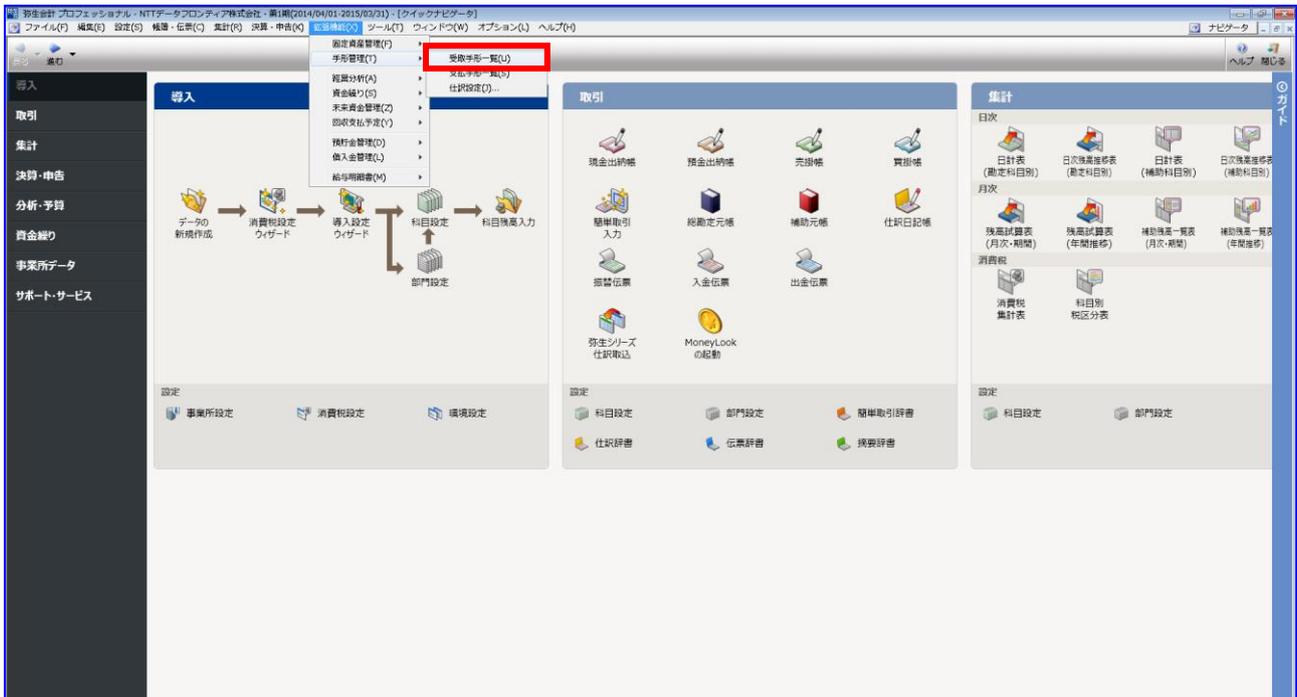


「**3.1.1 通知ファイルを読み込む**」にて複数の債権情報 CSV ファイルが作成された場合、本項の処理を CSV ファイル数分繰り返して仕訳設定を行ってください。

3.1.5 仕訳書き出しを実施する

債権情報の顛末（回収、決済）が切り替わるごとに、仕訳書き出しを行います。

✚ [拡張機能] > [手形管理] > [受取手形一覧]を押下します。



仕訳を書き出す債権情報を選択します。

| 仕訳 | 手形期日 | 銀行科目 | 銀行補助 | 金額 | 期末 | 回収日 | 手形番号 | 種類 | 受取先科目 | 受取先補助 | 備考 |
|----|------------|------|------|---------|----|------------|------|------|-------|----------------------|----|
| | 2014/09/27 | 当座預金 | | 100,000 | 決済 | 2014/05/20 | | 約束手形 | 売掛金 | 500000AQ300000100001 | |
| | 2014/09/27 | | | 100,000 | 回収 | 2014/05/20 | | 約束手形 | 売掛金 | 500000AQ300000100002 | |
| 合計 | | | | 200,000 | | | | | | | |

登録件数 2

[仕訳書出]を押下します。

| 仕訳 | 手形期日 | 銀行科目 | 銀行補助 | 金額 | 期末 | 回収日 | 手形番号 | 種類 | 受取先科目 | 受取先補助 | 備考 |
|----|------------|------|------|---------|----|------------|------|------|-------|----------------------|----|
| | 2014/09/27 | 当座預金 | | 100,000 | 決済 | 2014/05/20 | | 約束手形 | 売掛金 | 500000AQ300000100001 | |
| | 2014/09/27 | | | 100,000 | 回収 | 2014/05/20 | | 約束手形 | 売掛金 | 500000AQ300000100002 | |
| 合計 | | | | 200,000 | | | | | | | |

登録件数 2

✚ [貸方補助科目]を選択します。

振替伝票 (新規作成)

日付(D): 05/20 伝票No.(N): 2-1 決算仕訳(V):

| 借方勘定科目 | 借方金額 | 貸方勘定科目 | 貸方金額 | 摘要 | 期日 | 作業日付 |
|--------|---------|----------|---------|------------------------------|------------|------|
| 借方補助科目 | 消費税額 | 貸方補助科目 | 消費税額 | 借方税区分 | 貸方税区分 | 番号 |
| 借方部門 | | 貸方部門 | | | | 仕訳番号 |
| 電子記録債権 | 100,000 | 売掛金 | 100,000 | 回収期日2014/09/27,振出人トヨタアシカイシャニ | 2014/09/27 | |
| 第一企画部 | | 指定なし | | | | |
| | | 取引先A株式会社 | | | | |
| | | 取引先B株式会社 | | | | |
| 借方合計 | 100,000 | 貸方合計 | 100,000 | 貸借バランス | 0 | |

🌈 [登録]を押下します。

| 借方勘定科目
借方補助科目
借方部門 | 借方金額
消費税額 | 貸方勘定科目
貸方補助科目
貸方部門 | 貸方金額
消費税額 | 摘要
借方税区分
貸方税区分 | 期日
番号 | 作業日付
仕訳番号 |
|-----------------------------|--------------------|--------------------------|--------------------|---|--------------------------|--------------|
| 電子記録債権
取引先A株式会社
第一企画部 | 100,000
(4,761) | 売掛金
取引先A株式会社
第一企画部 | 100,000
(4,761) | 回収期日2014/09/27 振出人:トヨタアシカ イシャニ
課税売上5% 内税 課税売上5% 内税 | 2014/09/27
0000000001 | |
| 借方合計 | 100,000 | 貸方合計 | 100,000 | 貸借バランス | 0 | |

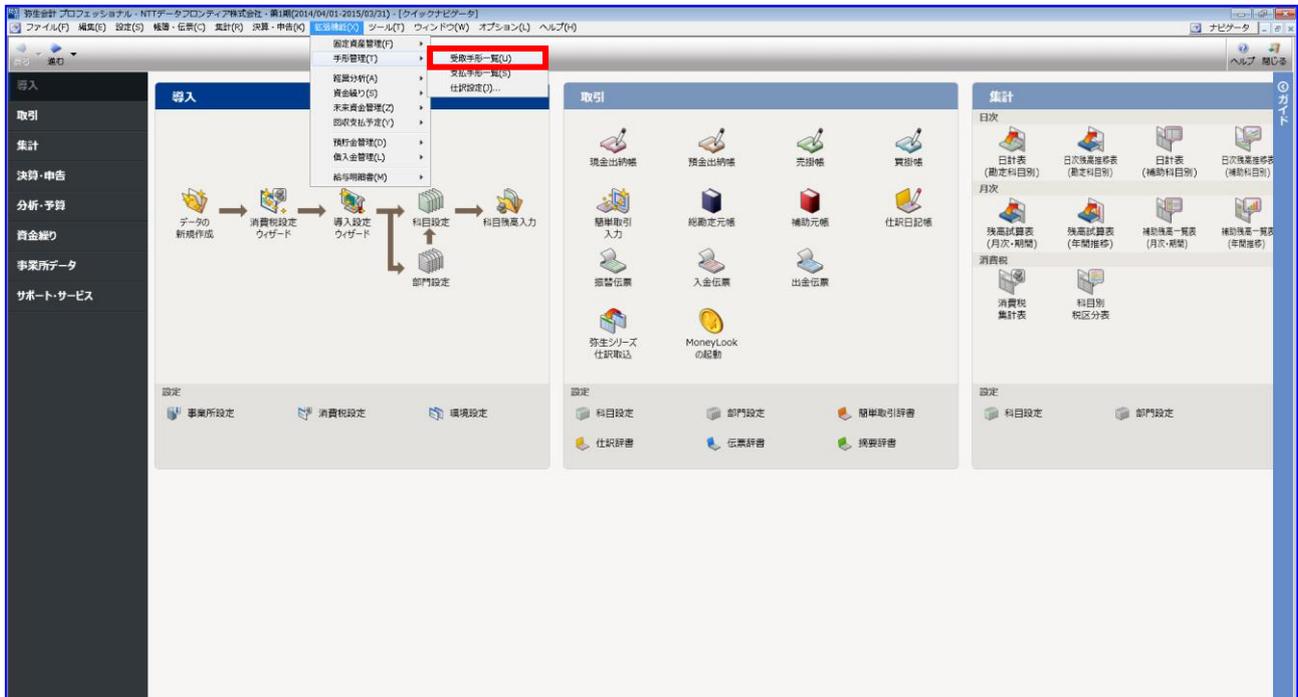


受取手形一覧から作成した仕訳であるため帳簿の生成元に「受手」と表示されます。

3.1.6 顛末を更新する

登録した債権情報の顛末（回収、決済）が切り替わるごとに、顛末の更新を行います。

✚ [拡張機能] > [手形管理] > [受取手形一覧] を押下します。



- ✚ [更新]を押下します。

| 回収日 | 20140520 | 手形期日 | 2014/09/27 |
|-------|----------------------|-------|------------|
| 受取先科目 | 売掛金 | 受取先補助 | |
| 銀行科目 | | 銀行補助 | |
| 金額 | 100,000 | | |
| 種類 | 約束手形 | 手形番号 | |
| 支払場所 | | | |
| 振出人 | トスカフツキガイシャ | | |
| 備考 | 500000AQ300000100001 | | |
| 部門 | 第一企画部 | | |

| 顔末の履歴 | |
|-------|------------|
| 顔末 | 日付 |
| 回収 | 2014/05/20 |
| | |
| | |
| | |

更新(M)...

削除(D)

OK キャンセル ヘルプ

- ✚ 顔末より「決済」を選択し、顔末の日付を入力します。

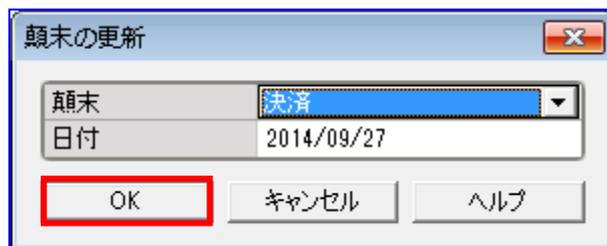
顔末の更新

顔末 決済

日付 2014/09/27

OK キャンセル ヘルプ

✚ [OK]を押下します。



| 振込の更新 | |
|-------|------------|
| 振込 | 決済 |
| 日付 | 2014/09/27 |
| OK | キャンセル |
| | ヘルプ |



銀行科目と銀行補助の更新が必要な場合は、受取手形の編集画面で入力してください。

一括請求 Assist[®] Ver.2 操作マニュアル

連携編(弥生会計)

2023年1月4日 第2.6版 発行

- ・本書の内容の一部あるいは全部(ソフトウェアおよびプログラムを含む)は、でんさいネット(全国銀行協会が提供する電子債権記録機関)を使用する目的に限り使用できるものとします。
 - ・なお、無断で複写・複製・転載・配布すること、および磁気または光記録媒体、コンピュータネットワーク上等へ入力することは、法律で認められた場合を除き、一括請求 Assist の著作者および販売者の権利の侵害となります。
 - ・本マニュアルに記載された内容、および本ソフトの仕様は改良のため、予告なく変更する場合があります。
-

一括請求 Assist[®] Ver.2

操作マニュアル

連携編(FX シリーズ)

第 2.6 版

目次

| | |
|-----------------------------------|----|
| はじめに..... | 2 |
| 1 連携の概要..... | 3 |
| 1.1 連携の概要..... | 3 |
| 1.2 連携の流れ..... | 4 |
| 2 連携事前設定..... | 5 |
| 2.1 「FX シリーズ」の事前設定..... | 5 |
| 2.1.1 勘定科目を確認する..... | 5 |
| 2.1.2 補助コードを確認する..... | 8 |
| 2.1.3 取引先情報を確認する..... | 11 |
| 2.1.4 関与先コードを確認する..... | 13 |
| 2.1.5 データ作成システム区分を確認する..... | 15 |
| 2.2 本ソフトの事前設定..... | 19 |
| 2.2.1 通知確認設定情報を設定する..... | 19 |
| 2.2.2 取引先を設定する..... | 20 |
| 2.2.3 出力 CSV 設定を設定する..... | 22 |
| 2.2.4 固定値を設定する..... | 23 |
| 3 連携手順..... | 39 |
| 3.1 連携手順..... | 39 |
| 3.1.1 通知ファイルを読み込む..... | 39 |
| 3.1.2 通知情報を確認する..... | 43 |
| 3.1.3 仕訳伝票を作成する(FX2 の場合)..... | 45 |
| 3.1.4 仕訳伝票を作成する(FX4 クラウドの場合)..... | 49 |
| 3.1.5 仕訳伝票を確認する..... | 53 |

はじめに

本書では、本ソフトと株式会社TKCの会計ソフト「FXシリーズ」との連携について、事前設定、連携手順を説明します。

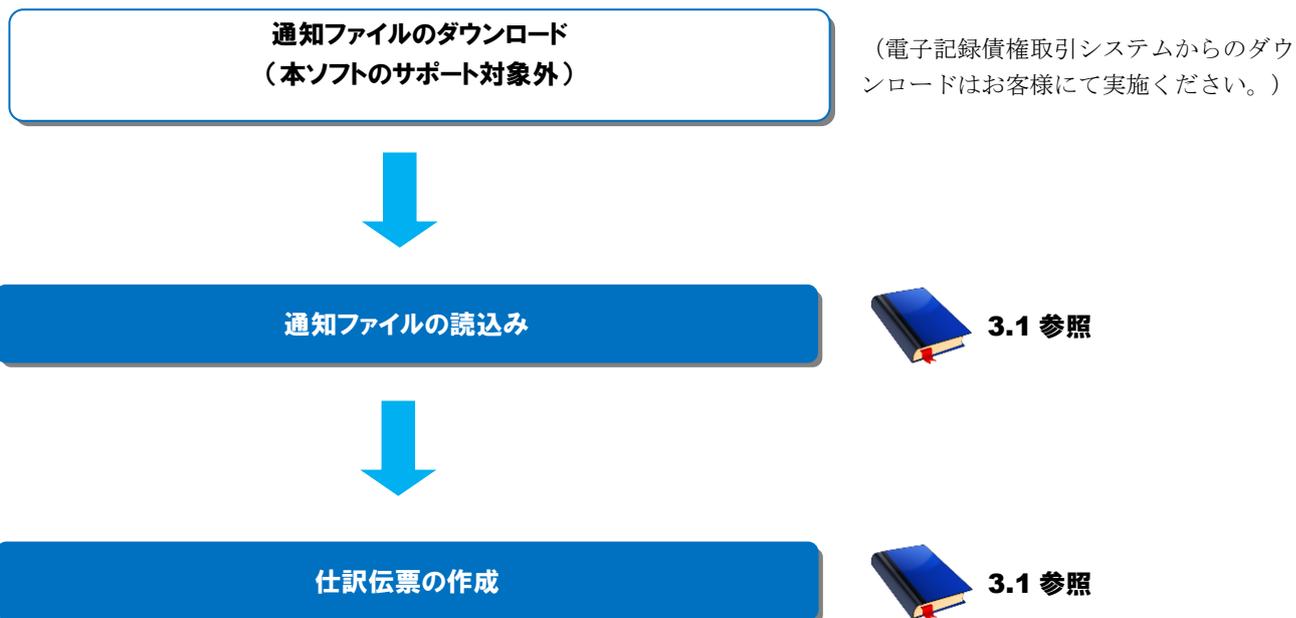
本書に記載されていない「FXシリーズ」のその他機能の詳細については、「FXシリーズ」の操作説明をご参照ください。

1.2 連携の流れ

事前設定



連携手順

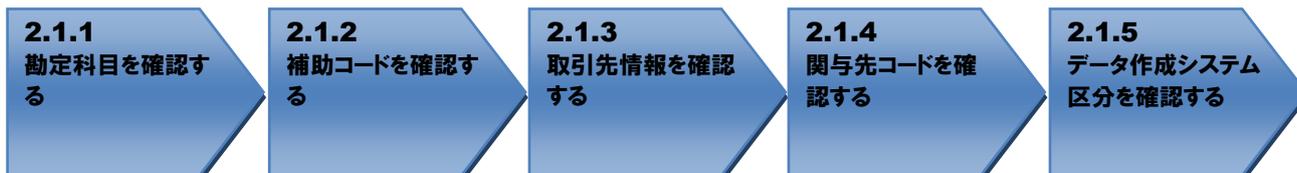


2 連携事前設定

2.1 「FX シリーズ」の事前設定

連携を行うための「FX シリーズ」の事前設定方法を説明します。

操作手順

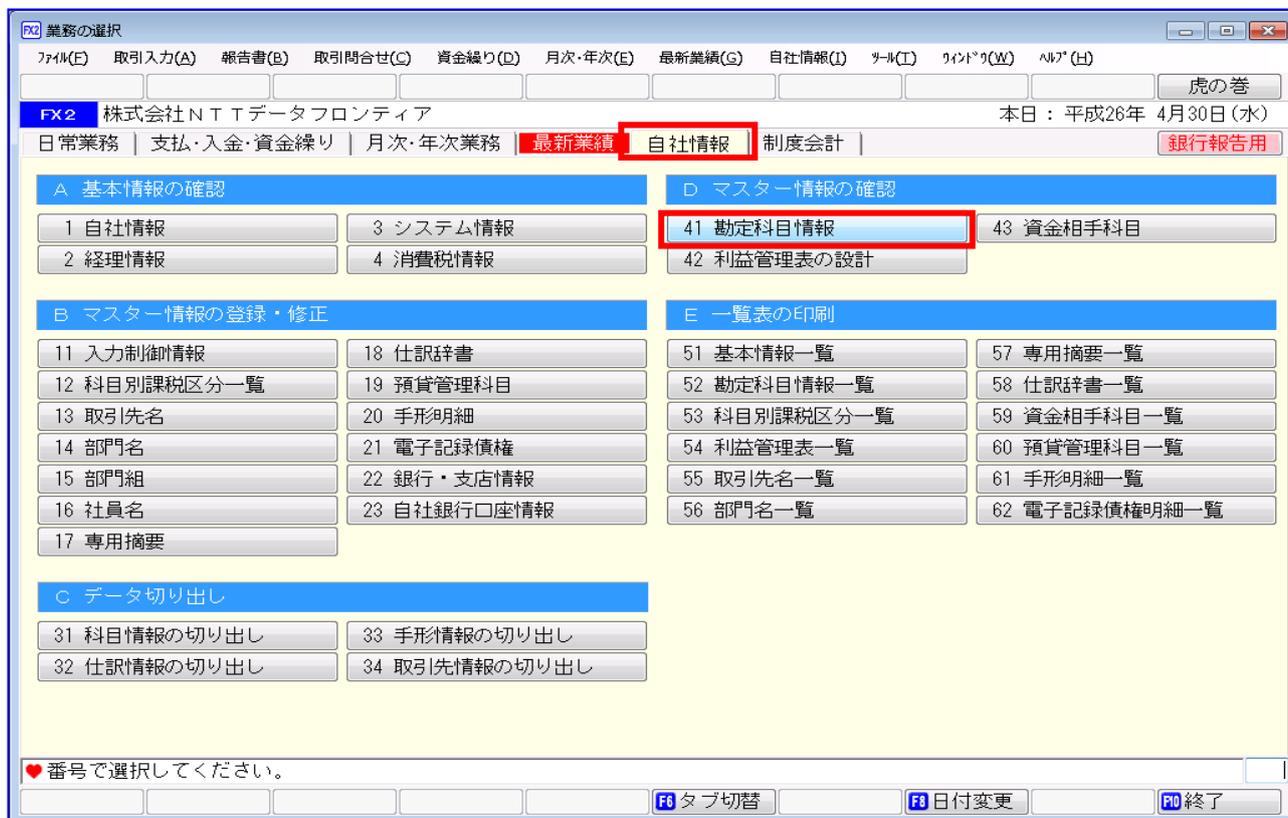


操作方法

2.1.1 勘定科目を確認する

連携で使用する勘定科目が登録されているか確認します。

- お使いの会計ソフトが「FX2」の場合、[自社情報]>[勘定科目情報]を押下します。
- お使いの会計ソフトが「FX4 クラウド」の場合、[会社情報]>[勘定科目情報]を押下します。



勘定科目「電子記録債権」のコードを確認します。

勘定科目情報

7/4/4(E) 取引入力(A) 報告書(B) 取引問合せ(C) 資金繰り(D) 月次・年次(E) 最新業績(G) 自社情報(I) 表示(V) ウィンドウ(W)

FX2 株式会社NTTデータフロンティア 本日：平成26年 4月30日(水)

流動資産 | 固定資産 | 繰延資産 | 負債 | 純資産 | 営業損益 | 営業外損益 | 特別損益 | 当期純利益 | 製品製造原価

当座資産 | たな卸資産 | その他流動資産

| コード | 勘定科目名 | 科目基準 | 元帳 | 資金 | 本日(仮)残高
(26年 4月30日) | 前月末(仮)残高
(26年 3月31日) |
|------|--------------|------|----|----|------------------------|-------------------------|
| 1111 | 現金 | 現金 | 10 | * | 466,420 | 514,151 |
| 1112 | 当座預金 | 現金預金 | 10 | * | 0 | 0 |
| 1113 | 普通預金 | // | 30 | * | 15,765,838 | 17,727,610 |
| 1114 | 定期預金 | // | 10 | | 0 | 0 |
| 1115 | | // | 10 | | 0 | 0 |
| 1116 | | // | 10 | | 0 | 0 |
| | 現預金小計 | | | | 16,232,258 | 18,241,761 |
| 1121 | 受取手形 | 変更不可 | 10 | | 3,890,565 | 1,875,112 |
| 1124 | 電子記録債権 | // | 30 | | 3,860,902 | 1,245,903 |
| 1122 | 売掛金 | 売上債権 | 20 | | 22,281,503 | 23,619,430 |
| 1123 | | // | 10 | | 0 | 0 |
| 1125 | 有価証券 | 変更不可 | 10 | | 0 | 0 |
| 1126 | その他の当座資産 | | 10 | | 0 | 0 |
| | 当座資産計 | | | | 46,265,228 | 44,982,206 |

♥ 設定内容を確認してください。

口座別 フルメニュー



「コード」は、「2.2.4 固定値を設定する」にて、本ソフト用の事前設定として使用する
ため、値をお控えください。

勘定科目「売掛金」のコードを確認します。

勘定科目情報

774(F) 取引入力(A) 報告書(B) 取引問合せ(C) 資金繰り(D) 月次・年次(E) 最新業績(G) 自社情報(I) 表示(V) リントウ(W)

FX2 株式会社NTTデータフロンティア 本日：平成26年 4月30日(水)

流動資産 | 固定資産 | 繰延資産 | 負債 | 純資産 | 営業損益 | 営業外損益 | 特別損益 | 当期純利益 | 製品製造原価

当座資産 | たな卸資産 | その他流動資産

| コード | 勘定科目名 | 科目基準 | 元帳 | 資金 | 本日(仮)残高
(26年 4月30日) | 前月末(仮)残高
(26年 3月31日) |
|------|--------------|------|----|----|------------------------|-------------------------|
| 1111 | 現金 | 現金 | 10 | * | 466,420 | 514,151 |
| 1112 | 当座預金 | 現金預金 | 10 | * | 0 | 0 |
| 1113 | 普通預金 | // | 30 | * | 15,765,838 | 17,727,610 |
| 1114 | 定期預金 | // | 10 | | 0 | 0 |
| 1115 | | // | 10 | | 0 | 0 |
| 1116 | | // | 10 | | 0 | 0 |
| | 現預金小計 | | | | 16,232,258 | 18,241,761 |
| 1121 | 受取手形 | 変更不可 | 10 | | 3,890,565 | 1,875,112 |
| 1124 | 電子記録債権 | // | 10 | | 3,860,902 | 1,245,903 |
| 1122 | 売掛金 | 売上債権 | 20 | | 22,281,503 | 23,619,430 |
| 1123 | | // | 10 | | 0 | 0 |
| 1125 | 有価証券 | 変更不可 | 10 | | 0 | 0 |
| 1126 | その他の当座資産 | | 10 | | 0 | 0 |
| | 当座資産計 | | | | 46,265,228 | 44,982,206 |

設定内容を確認してください。

F3 取引先別 F10 フルメニュー



「コード」は、「2.2.4 固定値を設定する」にて、本ソフト用の事前設定として使用するため、値をお控えください。



本マニュアルは、下記の仕訳を想定しています。

(借) 電子記録債権 / (貸) 売掛金

下記の仕訳など、別の勘定科目を使用する場合は、該当の勘定科目が存在することをご確認ください。

(借) 電子記録債権 / (貸) 売上高

2.1.2 補助コードを確認する

勘定科目「電子記録債権」を口座別管理している場合、補助コードを確認します。



勘定科目「電子記録債権」を口座別管理していない場合（補助コードを利用していない場合）、本項の作業は不要です。

- お使いの会計ソフトが「FX2」の場合、[自社情報]>[勘定科目情報]を押下します。
- お使いの会計ソフトが「FX4 クラウド」の場合、[会社情報]>[勘定科目情報]を押下します。

The screenshot shows the 'FX2' accounting software interface. The title bar reads '業務の選択' (Business Selection). The main menu includes 'FX2 株式会社NTTデータフロンティア' and the date '本日：平成26年 4月30日(水)'. The navigation bar contains '日常業務 | 支払・入金・資金繰り | 月次・年次業務 | 最新業績 | 自社情報 | 制度会計 | 銀行報告用'. The main content area is divided into several sections: 'A 基本情報の確認' (Confirmation of Basic Information), 'B マスター情報の登録・修正' (Registration/Correction of Master Information), 'C データ切り出し' (Data Export), 'D マスター情報の確認' (Confirmation of Master Information), and 'E 一覧表の印刷' (Printing of Lists). In section 'D', the button '41 勘定科目情報' (Account Information) is highlighted with a red box. Other buttons in 'D' include '42 利益管理表の設計' (Design of Profit Management Table) and '43 資金相手科目' (Funding Counterparty Account). At the bottom, there is a red heart icon and the text '番号で選択してください。' (Please select by number.).

勘定科目「電子記録債権」を選択し、[口座別]を押下します。

勘定科目情報

7/14(E) 取引入力(A) 報告書(B) 取引問合せ(C) 資金繰り(D) 月次・年次(E) 最新業績(G) 自社情報(I) 表示(V) リントリ(W) 虎の巻

FX2 株式会社NTTデータフロンティア 本日：平成26年 4月30日(水)

流動資産 | 固定資産 | 繰延資産 | 負債 | 純資産 | 営業損益 | 営業外損益 | 特別損益 | 当期純利益 | 製品製造原価

当座資産 | たな卸資産 | その他流動資産

| コード | 勘定科目名 | 科目基準 | 元帳 | 資金 | 本日(仮)残高
(26年 4月30日) | 前月末(仮)残高
(26年 3月31日) |
|------|--------------|------|----|----|------------------------|-------------------------|
| 1111 | 現金 | 現金 | 10 | * | 466,420 | 514,151 |
| 1112 | 当座預金 | 現金預金 | 10 | * | 0 | 0 |
| 1113 | 普通預金 | // | 30 | * | 15,765,838 | 17,727,610 |
| 1114 | 定期預金 | // | 10 | | 0 | 0 |
| 1115 | | // | 10 | | 0 | 0 |
| 1116 | | // | 10 | | 0 | 0 |
| | 現預金小計 | | | | 16,232,258 | 18,241,761 |
| 1121 | 受取手形 | 変更不可 | 10 | | 3,890,565 | 1,875,112 |
| 1124 | 電子記録債権 | // | 30 | | 3,860,902 | 1,245,903 |
| 1122 | 売掛金 | 売上債権 | 20 | | 22,281,503 | 23,619,430 |
| 1123 | | // | 10 | | 0 | 0 |
| 1125 | 有価証券 | 変更不可 | 10 | | 0 | 0 |
| 1126 | その他の当座資産 | | 10 | | 0 | 0 |
| | 当座資産計 | | | | 46,265,228 | 44,982,206 |

♥ 設定内容を確認してください。

FS 口座別 F10 ヘルプメニュー



[口座別]が非表示の場合、もしくは別ボタンが表示されている場合、勘定科目「電子記録債権」は口座別管理を行っていないため、本項の作業は不要です。

補助コードを確認します。

勘定科目情報

FX2 株式会社NTTデータフロンティア 本日：平成26年 4月30日(水)

【口座別管理開始月：26年 4月】

| コード | 勘定科目名 | 残高(26年 3月) |
|------|--------|------------|
| 1124 | 電子記録債権 | 1,245,903 |

| コード | 口座名 | 残高(26年 3月) |
|-----|-----|------------|
| A | 口座A | 0 |
| Z | 口座Z | 1,245,903 |

補助コード
A

口座名
口座A

フリガナ
コウザA

残高(26年 3月)
0

OK キャンセル

処理を選択してください。

並べ替え 戻る

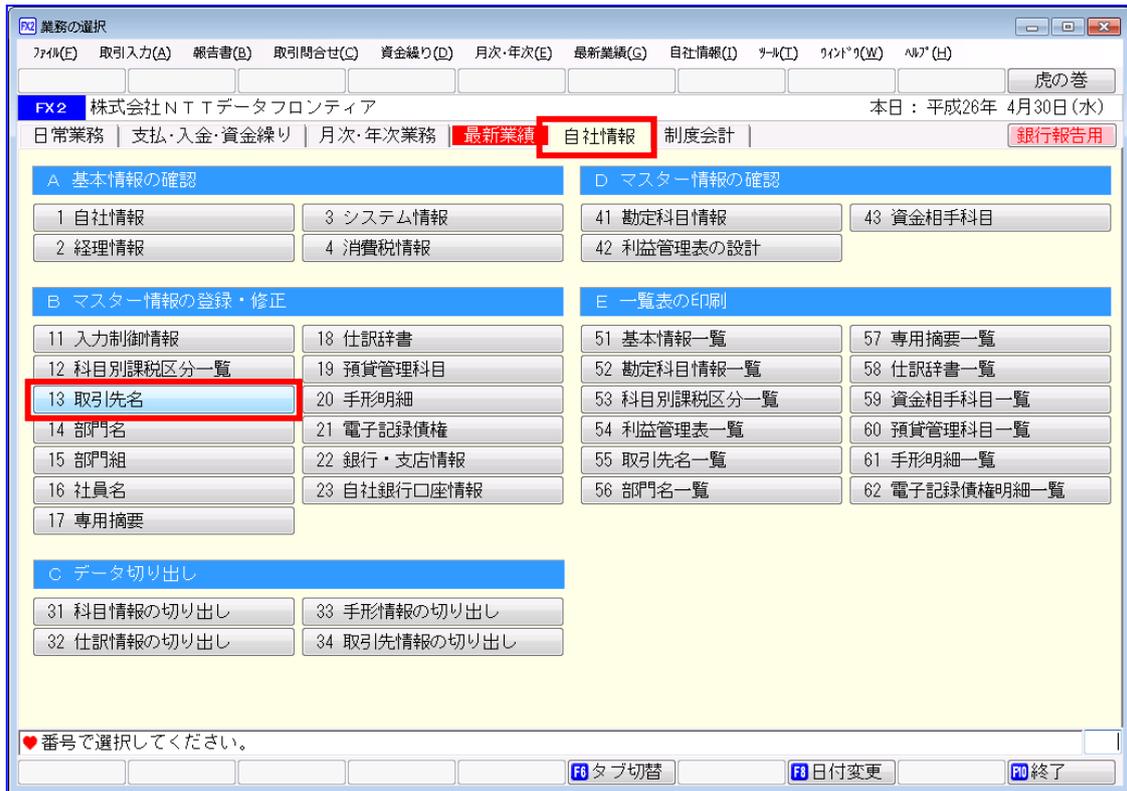


「コード」は、「**2.2.4 固定値を設定する**」にて、本ソフト用の事前設定として使用するため、値をお控えください。

2.1.3 取引先情報を確認する

連携で使用する取引先情報が登録されているか確認します。

- お使いの会計ソフトが「FX2」の場合、[自社情報]>[取引先名]を押下します。
- お使いの会計ソフトが「FX4 クラウド」の場合、[会社情報]>[取引先名]を押下します。



- 取引先に対応するレコードが存在することを確認します。
存在しない場合は、任意のコードで新規作成します。
(新規作成方法については「FX シリーズ」の操作説明をご参照ください。)



電子記録債権を受け入れる対象の取引先をすべて登録しておく必要があります。
取引先が増減した場合は、都度修正ください。



登録した「コード」は、「**2.2.2 取引先を設定する**」にて、本ソフト用の事前設定として
使用するため、コードの頭ゼロを除いた値をお控えください。

2.1.4 関与先コードを確認する

連携で使用する関与先コードを確認します。

- お使いの会計ソフトが「FX2」の場合、[自社情報]>[自社情報]を押下します。
- お使いの会計ソフトが「FX4 クラウド」の場合、[会社情報]>[自社情報]を押下します。

FX2 業務の選択

FX2 株式会社NTTデータフロンティア 本日：平成26年 4月30日(水)

日常業務 | 支払・入金・資金繰り | 月次・年次業務 | **最新業績** | **自社情報** | 制度会計 | **銀行報告用**

A 基本情報の確認

| | | | |
|--------|----------|-------------|-----------|
| 1 自社情報 | 3 システム情報 | 41 勘定科目情報 | 43 資金相手科目 |
| 2 経理情報 | 4 消費税情報 | 42 利益管理表の設計 | |

B マスター情報の登録・修正

| | | | |
|--------------|-------------|--------------|---------------|
| 11 入力制御情報 | 18 仕訳辞書 | 51 基本情報一覧 | 57 専用摘要一覧 |
| 12 科目別課税区分一覧 | 19 預貸管理科目 | 52 勘定科目情報一覧 | 58 仕訳辞書一覧 |
| 13 取引先名 | 20 手形明細 | 53 科目別課税区分一覧 | 59 資金相手科目一覧 |
| 14 部門名 | 21 電子記録債権 | 54 利益管理表一覧 | 60 預貸管理科目一覧 |
| 15 部門組 | 22 銀行・支店情報 | 55 取引先名一覧 | 61 手形明細一覧 |
| 16 社員名 | 23 自社銀行口座情報 | 56 部門名一覧 | 62 電子記録債権明細一覧 |
| 17 専用摘要 | | | |

C データ切り出し

| | |
|--------------|---------------|
| 31 科目情報の切り出し | 33 手形情報の切り出し |
| 32 仕訳情報の切り出し | 34 取引先情報の切り出し |

♥番号で選択してください。

FX2 タブ切替 | FX2 日付変更 | FX2 終了

- ✚ 分類コード・合併コードの3桁の数字（関与先コード）を確認します。

FX2 自社情報

FX2 株式会社NTTデータフロンティア 本日：平成26年 4月30日(水)

1. 分類コード・合併コード 09999 **999** /

2. 商号 株式会社NTTデータフロンティア

3. 住所 郵便番号 -

4. 代表者 氏名 田中 一郎 生年月日 年 月 日 性別 男

5. 電話番号 FAX番号

6. 法人組織区分 10 株式会社

7. 業種コード 3913 パッケージソフトウェア業

8. 統合情報センターへの伝送処理
 自社から伝送（固定ディスクから伝送） 会計事務所から伝送（伝送データディスクの伝送）

9. 電子帳簿保存法に基づく帳簿の電子保存 実施する 備付け開始日 年 月 日 実施しない 個別処理依頼システムまたはOMSで設定

10. 「制度会計タブ」の利用 利用する 利用しない

11. センター出力帳表の出力指定 当システムで設定 出力指定 個別処理依頼システムまたはOMSで設定

OK キャンセル

設定内容を確認してください。

フルメニュー



3桁の数字（関与先コード）は、「**2.2.4 固定値を設定する**」にて、本ソフト用の事前設定として使用するため、コードの頭ゼロを除いた値をお控えください。

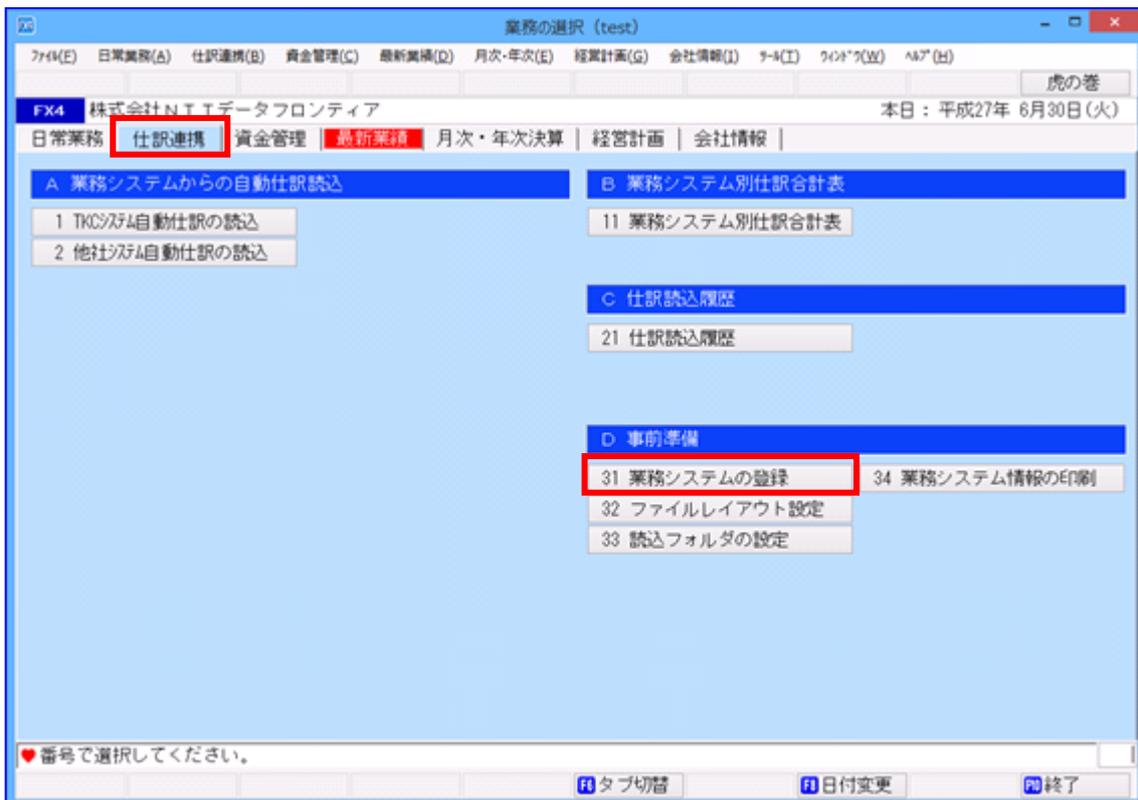
2.1.5 データ作成システム区分を確認する

お使いの会計ソフトが「FX4 クラウド」の場合、連携で使用するデータ作成システム区分を確認します。



お使いの会計ソフトが「FX2」の場合、本項の作業は不要です。

✚ [仕訳連携]>[業務システムの登録]を押下します。

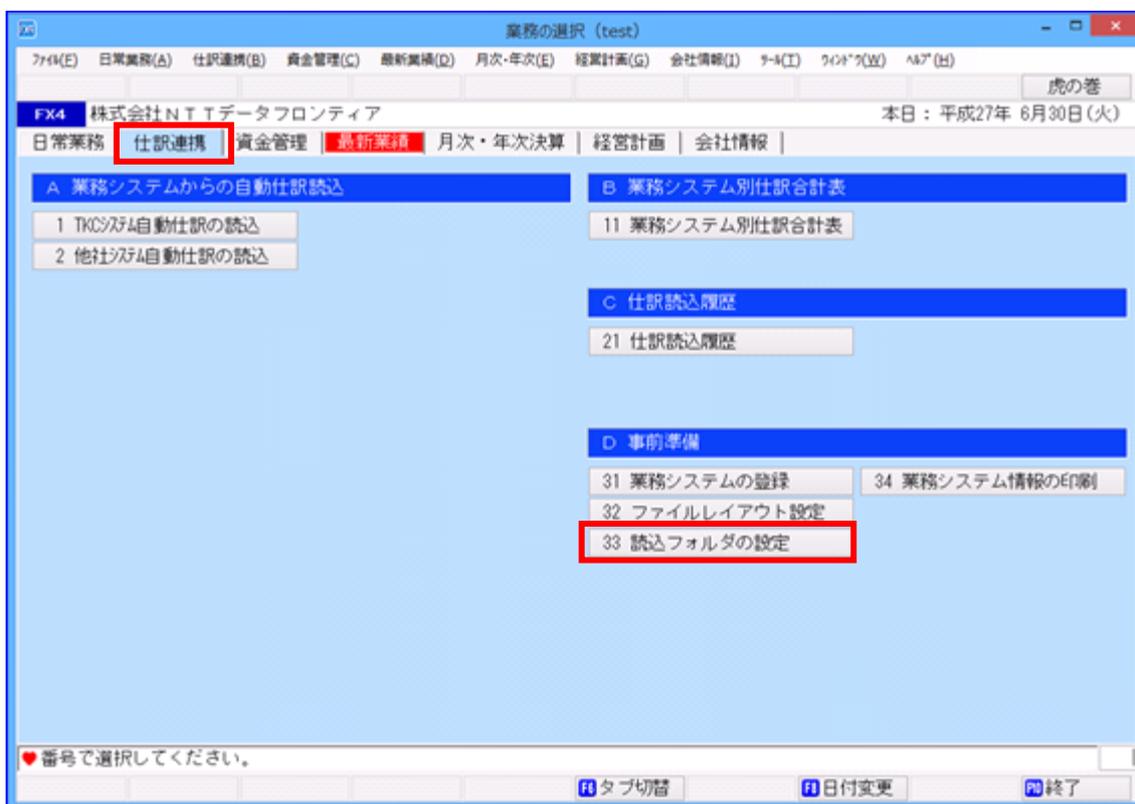


- 本ソフトに対応するレコードが存在することを確認します。
存在しない場合は、101~998 の中で他と重複しないコードで新規作成します。
(新規作成方法については「FX4 クラウド」の操作説明をご参照ください。)

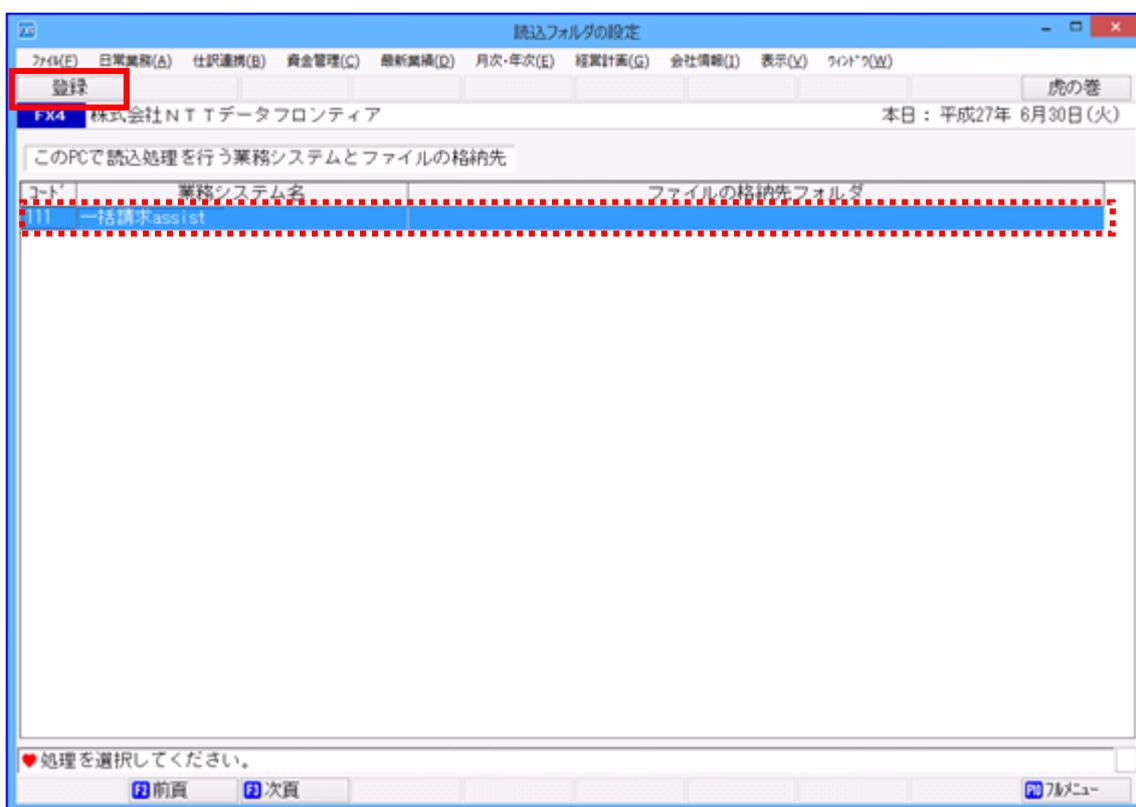


3桁の数字（データ作成システム区分）は、「**2.2.4 固定値を設定する**」にて、
本ソフト用の事前設定として使用するため、値をお控えください。

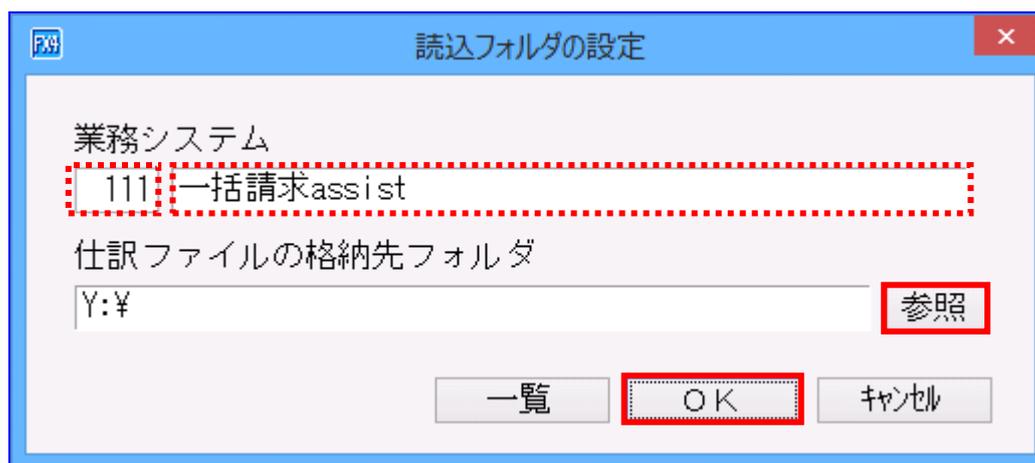
- データ作成システム区分に対応する読込フォルダが設定されていることを確認します。
[仕訳連携]>[読込フォルダの設定]を押下します。



- 本ソフトに対応するレコードが存在することを確認します。
存在しない場合は、[登録]を押下します。



- 「業務システム」にデータ作成システム区分と本ソフト名を入力します。
「仕訳ファイルの格納先フォルダ」は[参照]を押下し、任意のフォルダを選択します。
上記設定が完了後、[OK]を押下します。



仕訳ファイルの格納先フォルダは、「**3.1.4 仕訳伝票を作成する (FX4 クラウドの場合)**」にて使用するため、値をお控えください。

2.2 本ソフトの事前設定

連携を行うための本ソフトの事前設定方法を説明します。

操作手順



操作方法

2.2.1 通知確認設定情報を設定する

- 本ソフトのシステム設定画面を開き、通知確認設定情報の予約通知を「出力しない」に設定し、[保存]を押下します。

システム設定

共通設定情報

請求者利用者番号 通常利用時 事務代行等での利用時
利用者番号

ファイル出力先 参照

座種別区分 別段を利用する 別段を利用しない

一括請求ファイル拡張子 付与する 付与しない

メニュー表示有無

発生記録(債権者)請求 表示する 表示しない

譲渡記録設定情報

保証随伴有無 選択可(保証有り/無し) 選択不可(保証有りのみ)

全額譲渡時の金額入力 入力する 入力しない

通知確認設定情報

予約通知 出力する 出力しない

読込CSV設定

使用フォーマット 修正 削除 新規作成 ファイル読込 ファイル出力

出力CSV設定

使用フォーマット 修正 削除 新規作成 ファイル読込 ファイル出力

一括請求ファイル 出力しない

一括請求結果ファイル 出力しない

通知ファイル 出力しない

キャンセル

2.2.2 取引先を設定する

- 本ソフトの取引先管理画面を開き、「2.1.3 取引先情報を確認する」で登録した取引先情報が登録されていることを確認します。登録されていない場合は新規に登録します。

| | 利用者番号* | 取引先名* | 金融機関コード* | 支店コード* | 口座種別* | 口座番号* | |
|-----|-----------|------------|----------|--------|-------|---------|-----|
| ▶ 1 | 111111111 | 取引先 A 株式会社 | 0000 | 001 | 1: 普通 | 1111111 | 200 |
| 2 | 222222222 | 取引先 B 株式会社 | 0000 | 001 | 1: 普通 | 2222222 | 200 |

- 取引先 ID に取引先情報のコードを登録します。

FXシリーズ

電子記録債権を受け入れる対象の取引先

一括請求 Assist (取引先管理画面)

電子記録債権を受け入れる対象の取引先をすべて登録する



- 取引先 ID は、半角英数字で登録してください。
- コードの頭ゼロを除いた値で登録してください。

2.2.3 出力 CSV 設定を設定する

- 本ソフトのシステム設定画面を開き、出力 CSV 設定の使用フォーマットに「連携用_FX シリーズ (TKC)」を選択し、[保存]を押下します。

システム設定

共通設定情報

請求者利用者番号 通常利用時 事務代行等での利用時
利用者番号

ファイル出力先

座種別区分 別段を利用する 別段を利用しない

一括請求ファイル拡張子 付与する 付与しない

メニュー表示有無

発生記録(債権者)請求 表示する 表示しない

譲渡記録設定情報

保証随伴有無 選択可(保証有り/無し) 選択不可(保証有りのみ)

全額譲渡時の金額入力 入力する 入力しない

通知確認設定情報

予約通知 出力する 出力しない

読込CSV設定

使用フォーマット

出力CSV設定

使用フォーマット

一括請求ファイル

一括請求結果ファイル

通知ファイル

一括請求Assist標準
一括請求Assist標準
配信
連携用_勘定奉行 (OBC) _SN
連携用_勘定奉行 (OBC) _SY
連携用_勘定奉行 (OBC) _BN
連携用_勘定奉行 (OBC) _BY
連携用_商奉行 (OBC) _N
連携用_商奉行 (OBC) _Y
連携用_PCA会計 (PCA)
連携用_株生会計 (株生)
連携用_FXシリーズ (TKC)

2.2.4 固定値を設定する

出力 CSV フォーマット詳細設定画面を開き、「FX シリーズ」に登録されている関与先コード、データ作成システム区分、借方科目コード、借方補助コード、貸方科目コード、元帳摘要を設定します。

本ソフトのシステム設定画面を開き、出力 CSV 設定の[修正]を押下します。

The screenshot shows the 'システム設定' (System Settings) dialog box with the following sections and options:

- 共通設定情報**
 - 請求者利用者番号: 通常利用時, 事務代行等での利用時
 - 利用者番号: AAAAAAAAAA
 - ファイル出力先: C:\Users\assist-user\Documents\PackageAssist (参照)
 - 口座種別区分: 別段を利用する, 別段を利用しない
 - 一括請求ファイル拡張子: 付与する, 付与しない
- メニュー表示有無**
 - 発生記録(債権者)請求: 表示する, 表示しない
- 譲渡記録設定情報**
 - 保証随伴有無: 選択可(保証有り/無し), 選択不可(保証有りのみ)
 - 全額譲渡時の金額入力: 入力する, 入力しない
- 通知確認設定情報**
 - 予約通知: 出力する, 出力しない
- 読込CSV設定**
 - 使用フォーマット: 一括請求Assist標準 (修正, 削除, 新規作成, ファイル読込, ファイル出力)
- 出力CSV設定**
 - 使用フォーマット: 速携用_FXシリーズ (TKC) (修正, 削除, 新規作成, ファイル読込, ファイル出力)
 - 一括請求結果ファイル: 出力する, 出力しない
 - 通知ファイル: 出力する, 出力しない

Buttons: キャンセル, 保存

-
- ✚ 出力 CSV フォーマットの通知の[設定]を押下します。

出力CSVフォーマット共通設定

共通情報

フォーマット名

フォーマット形式

出力形式

日付形式 YYYYMMDD YYYY/MM/DD YYYY/M/D

金額形式 カンマ有 カンマ無

更新

出力CSVフォーマット

一括請求結果 ※未設定

通知

閉じる



連携用の出力 CSV フォーマットについては、「フォーマット名」の修正はできません。

- ✚ 出力 CSV フォーマット詳細設定画面の固定値を設定し、[保存]を押下します。
固定値については次ページ以降の通り設定します。

出力CSVフォーマット詳細設定
×

フォーマット名

対象ファイル

フォーマット形式

CSV項目数

利用者IDの自動設定有無

CSV出力の際、口座情報を条件に利用者IDを自動設定することができます。

通知先情報_利用者IDを社内口座管理より自動設定する 自動設定する 自動設定しない

義務者情報_利用者ID、権利者情報_利用者IDを
社内口座管理もしくは取引先管理より自動設定する 自動設定する 自動設定しない

タイトル行有無

出力CSVの1行目にタイトル行(項目名)を設定する 設定する 設定しない

出力CSV項目設定

各項目の項目番号(出力位置)を指定してください。

| | 項目名 | 項目番号 | 固定値 |
|--|------------------|------|-----|
| | 作成対象区分 #1 | | |
| | 通知作成日 #1 | | |
| | 通知先情報_利用者番号 #1 | | |
| | 通知先情報_通知先名か #1 | | |
| | 通知先情報_金融機関コード #1 | | |
| | 通知先情報_金融機関名か #1 | | |
| | 通知先情報_支店コード #1 | | |
| | 通知先情報_支店名か #1 | | |

出力CSVに任意の固定値を設定する際に指定してください。

| | 項目名 | 項目番号 | 固定値 |
|--|-------------|------|-----|
| | 関与先コード | 1 | |
| | データ作成システム区分 | 2 | 999 |
| | 課税区分 | 7 | 0 |

*1 CSV出力の際、全レコードに同一の値が設定されます。

検索

エラージャンプ

固定値の設定は、下記の仕訳を想定しています。
(借) 電子記録債権 / (貸) 売掛金

25

- ✦ 関与先コードの固定値について
「FXシリーズ」の「関与先コード」を設定します。

FXシリーズ (自社情報画面)

FX2 自社情報

ファイル(E) 取引入力(A) 報告書(B) 取引問合せ(C) 資金繰り(D) 月次・

FX2 株式会社NTTデータフロンティア

自社情報

1. 分類コード・合併コード 09999 / 999 /

2. 商号 株式会社NTTデータフ

3. 住所 郵便番号 -

一括請求Assist (出力CSVフォーマット設定画面)

出力CSV項目設定

各項目の項目番号(出力位置)を指定してください。

| 項目名 | 項目番号 | 固定 |
|------------------|------|----|
| 作成対象区分 *1 | | |
| 通知作成日 *1 | | |
| 通知先情報_利用者番号 *1 | | |
| 通知先情報_通知先名か *1 | | |
| 通知先情報_金融機関コード *1 | | |
| 通知先情報_金融機関名か *1 | | |
| 通知先情報_支店コード *1 | | |
| 通知先情報_支店名か *1 | | |

出力CSVに任意の固定値を設定する際に指定してください。

| 項目名 | 項目番号 | 固定 |
|-------------|------|-----|
| 関与先コード | 1 | 999 |
| データ作成システム区分 | 2 | 999 |
| 課税区分 | 7 | 0 |

*1 CSV出力の際、全レコードに同一の値が設定されます。



コードの頭ゼロを除いた値で登録してください。

- データ作成システム区分の固定値について（「FX2」の場合）
データ作成システム区分の固定値は初期値として「999」が設定されています。

お使いの会計ソフトが「FX2」の場合、設定済の値をご利用ください。

出力CSVフォーマット詳細設定 ×

フォーマット名 フォーマット形式

対象ファイル CSV項目数

利用者IDの自動設定有無

CSV出力の際、口座情報を条件に利用者IDを自動設定することができます。

通知先情報_利用者IDを社内口座管理より自動設定する 自動設定する 自動設定しない

義務者情報_利用者ID、権利者情報_利用者IDを
社内口座管理もしくは取引先管理より自動設定する 自動設定する 自動設定しない

タイトル行有無

出力CSVの1行目にタイトル行(項目名)を設定する 設定する 設定しない

出力CSV項目設定

各項目の項目番号(出力位置)を指定してください。

| 項目名 | 項目番号 | 固定値 |
|------------------|------|-----|
| 作成対象区分 *1 | | |
| 通知作成日 *1 | | |
| 通知先情報_利用者番号 *1 | | |
| 通知先情報_通知先名か *1 | | |
| 通知先情報_金融機関コード *1 | | |
| 通知先情報_金融機関名か *1 | | |
| 通知先情報_支店コード *1 | | |
| 通知先情報_支店名か *1 | | |

出力CSVに任意の固定値を設定する際に指定してください。

| 項目名 | 項目番号 | 固定値 |
|-------------|------|-----|
| データ作成システム区分 | 2 | 999 |
| 課税区分 | 7 | 0 |
| 事業区分 | 8 | 0 |

*1 CSV出力の際、全レコードに同一の値が設定されます。

検索 エラージャンプ

- データ作成システム区分の固定値について（「FX4クラウド」の場合）
お使いの会計ソフトが「FX4クラウド」の場合、「FX4クラウド」の「データ作成システム区分」を設定します。

**FX4クラウド
（業務システムの登録画面）**

**一括請求Assist
（出力CSVフォーマット設定画面）**

出力CSV項目設定
各項目の項目番号（出力位置）を指定してください。

| 項目名 | 項目番号 | 固定値 |
|------------------|------|-----|
| 作成対象区分 *1 | | |
| 通知作成日 *1 | | |
| 通知先情報_利用者番号 *1 | | |
| 通知先情報_通知先名か *1 | | |
| 通知先情報_金融機関コード *1 | | |
| 通知先情報_金融機関名か *1 | | |
| 通知先情報_支店コード *1 | | |
| 通知先情報_支店名か *1 | | |

出力CSVに任意の固定値を設定する際に指定してください。

| 項目名 | 項目番号 | 固定値 |
|-------------|------|-----|
| データ作成システム区分 | 2 | 111 |
| 課税区分 | 7 | 0 |
| 事業区分 | 8 | 0 |

*1 CSV出力の際、全レコードに同一の値が設定されます。

- 借方科目コードの固定値について
「FXシリーズ」の勘定科目「電子記録債権」に対応するコードを設定します。

FXシリーズ
(勘定科目情報画面)

20 勘定科目情報

7/14(E) 取引入力(A) 報告書(B) 取引問合せ(C) 資金繰り(D) 月次・年次(O)

FX2 株式会社NTTデータフロンティア

流動資産 | 固定資産 | 繰延資産 | 負債 | 純資産 | 営業損益 | 営業外
 当座資産 | たな卸資産 | その他流動資産 |

| コード | 勘定科目名 | 科目基準 | 元帳 |
|-------|--------|------|----|
| 1111 | 現金 | 現金 | 10 |
| 1112 | 当座預金 | 現金預金 | 10 |
| 1113 | 普通預金 | // | 30 |
| 1114 | 定期預金 | // | 10 |
| 1115 | | // | 10 |
| 1116 | | // | 10 |
| 現預金小計 | | | |
| 1121 | 受取手形 | 変更不可 | 10 |
| 1124 | 電子記録債権 | // | 30 |
| 1122 | 売掛金 | 上債権 | 20 |

一括請求Assist
(出力CSVフォーマット設定画面)

出力CSV項目設定

各項目の項目番号(出力位置)を指定してください。

| 項目名 | 項目番号 | 固定値 |
|------------------|------|-----|
| 作成対象区分 *1 | | |
| 通知作成日 *1 | | |
| 通知先情報_利用者番号 *1 | | |
| 通知先情報_通知先名か *1 | | |
| 通知先情報_金融機関コード *1 | | |
| 通知先情報_金融機関名か *1 | | |
| 通知先情報_支店コード *1 | | |
| 通知先情報_支店名か *1 | | |

出力CSVに任意の固定値を設定する際に指定してください。

| 項目名 | 項目番号 | 固定値 |
|---------|------|------|
| 借方科目コード | 9 | 1124 |
| 借方補助コード | 10 | |
| 貸方科目コード | 11 | 1122 |

*1 CSV出力の際、全レコードに同一の値が設定されます。



「借方科目コード」には「1124」が初期設定されています。
「1124」以外の借方科目コードを設定する場合にのみ、設定する必要があります。

- 借方補助コードの固定値について
「FX シリーズ」の勘定科目「電子記録債権」に対応する補助コードを設定します。

FXシリーズ (勘定科目情報画面)

FX2 株式会社NTTデータフロンティア

【 座別管理開始月：26年 4月 】

| コード | 勘定科目名 | 残高(26年 3月) |
|------|--------|------------|
| 1124 | 電子記録債権 | 1,245,903 |

| コード | 口座名 | 残高(26年 3月) |
|-----|-----|------------|
| A | 口座A | 0 |
| Z | 口座Z | 1,245,903 |

一括請求Assist (出力CSVフォーマット設定画面)

出力CSV項目設定

各項目の項目番号(出力位置)を指定してください。

| 項目名 | 項目番号 | 固定値 |
|------------------|------|-----|
| 作成対象区分 *1 | | |
| 通知作成日 *1 | | |
| 通知先情報_利用者番号 *1 | | |
| 通知先情報_通知先名か *1 | | |
| 通知先情報_金融機関コード *1 | | |
| 通知先情報_金融機関名か *1 | | |
| 通知先情報_支店コード *1 | | |
| 通知先情報_支店名か *1 | | |

出力CSVに任意の固定値を設定する際に指定してください。

| 項目名 | 項目番号 | 固定値 |
|---------|------|------|
| 借方補助コード | 10 | A |
| 貸方科目コード | 11 | 1122 |
| 貸方補助コード | 12 | |

*1 CSV出力の際、全レコードに同一の値が設定されます。



勘定科目「電子記録債権」を口座別管理していない場合（補助コードを利用していない場合）、本項の作業は不要です。

- 貸方科目コードの固定値について
「FX シリーズ」の勘定科目「売掛金」に対応するコードを設定します。

FXシリーズ
 (勘定科目情報画面)

| 20 勘定科目情報 | | | |
|---|--------|------|----|
| <small>7/14(E) 取引入力(A) 報告書(B) 取引問合せ(C) 資金繰り(D) 月次・年次(G)</small> | | | |
| FX2 株式会社NTTデータフロンティア | | | |
| <small>流動資産 固定資産 繰延資産 負債 純資産 営業損益 営業外損益</small> | | | |
| <small>当座資産 たな卸資産 その他流動資産</small> | | | |
| コード | 勘定科目名 | 科目基準 | 元帳 |
| 1111 | 現金 | 現金 | 10 |
| 1112 | 当座預金 | 現金預金 | 10 |
| 1113 | 普通預金 | // | 30 |
| 1114 | 定期預金 | // | 10 |
| 1115 | | // | 10 |
| 1116 | | // | 10 |
| 現預金小計 | | | |
| 1121 | 受取手形 | 変更不可 | 10 |
| 1124 | 電子記録債権 | // | 30 |
| 1122 | 売掛金 | 上債権 | 20 |

一括請求Assist
 (出力CSVフォーマット設定画面)

| 出力CSV項目設定 | | | |
|--------------------------|------|-----|--|
| 各項目の項目番号(出力位置)を指定してください。 | | | |
| 項目名 | 項目番号 | 固定値 | |
| 作成対象区分 *1 | | | |
| 通知作成日 *1 | | | |
| 通知先情報_利用者番号 *1 | | | |
| 通知先情報_通知先名 *1 | | | |
| 通知先情報_金融機関コード *1 | | | |
| 通知先情報_金融機関名 *1 | | | |
| 通知先情報_支店コード *1 | | | |
| 通知先情報_支店名 *1 | | | |

出力CSVに任意の固定値を設定する際に指定してください。

| 項目名 | 項目番号 | 固定値 |
|---------|------|------|
| 貸方科目コード | 11 | 1122 |
| 貸方補助コード | 12 | |
| 内、消費税等 | 16 | 0 |

*1 CSV出力の際、全レコードに同一の値が設定されます。

「貸方科目コード」には「1122」が初期設定されています。
「1122」以外の貸方科目コードを設定する場合にのみ、設定する必要があります。

- 元帳摘要の固定値について
元帳摘要の固定値は初期値として「売掛金入金 電子記録債権」が設定されています。

元帳摘要の固定値は「FX シリーズ」と連携した際に仕訳帳画面の「元帳摘要（仕入れ資産等の総称）」に連携されます。

仕訳帳画面の「元帳摘要（仕入れ資産等の総称）」に「売掛金入金 電子記録債権」を登録したい場合、設定済の値をご利用ください。

仕訳帳画面の「元帳摘要（仕入れ資産等の総称）」に「売掛金入金 電子記録債権」以外の文言を登録したい場合、固定値に該当の文言を設定します。

一括請求Assist
 (出力CSVフォーマット設定画面)

出力CSV項目設定
各項目の項目番号(出力位置)を指定してください。

| 項目名 | 項目番号 | 固定値 |
|------------------|------|-----|
| 作成対象区分 *1 | | |
| 通知作成日 *1 | | |
| 通知先情報_利用者番号 *1 | | |
| 通知先情報_通知先名 *1 | | |
| 通知先情報_金融機関コード *1 | | |
| 通知先情報_金融機関名 *1 | | |
| 通知先情報_支店コード *1 | | |
| 通知先情報_支店名 *1 | | |

出力CSVに任意の固定値を設定する際に指定してください。

| 項目名 | 項目番号 | 固定値 |
|-------|------|-------------|
| 元帳摘要 | 24 | 売掛金入金 電子... |
| 部門コード | 28 | |
| 部門数 | 29 | |

*1 CSV出力の際、全レコードに同一の値が設定されます。

FXシリーズ
 (仕訳帳画面)

仕訳帳

FX2 株式会社NTTデータフロンティア

他社システム

| 伝(頁)番 | 証憑書番号 | 課税 | 分 | 事業区分 |
|-------------------|--------|-------|-------|------------------|
| 554 | | 0 | 不課税取引 | |
| 借方科目・口座名 | | 貸方科目・ | | |
| 1124 | 電子記録債権 | 1122 | 売掛金 | |
| 取引先名 (仕入先の氏名又は名称) | | | | 収 |
| | | | | 020001 支 |
| 目 | | | | 元帳摘要 (仕入れ資産等の総称) |
| | | | | 売掛金入金 電子記録債権 |
| 部門名 | | | | |

仕訳帳画面に登録したい文言を固定値に設定する



「(借) 電子記録債権 / (貸) 売掛金」以外の仕訳を作成する場合は、固定値を下記の通り設定してください。

| No | 固定値の項目名 | 固定値の初期値 | 設定値 |
|----|-------------|--------------|--|
| 1 | 関与先コード | 空 | ・「FX シリーズ」関与先画面の「関与先コード」をコードの頭ゼロを除いた値を設定 |
| 2 | データ作成システム区分 | 999 | ・お使いの会計ソフトが「FX2」の場合、修正不要
・お使いの会計ソフトが「FX4 クラウド」の場合、該当の値を設定 |
| 3 | 課税区分 | 0 | ・当該仕訳が不課税取引の場合、修正不要
・当該仕訳が課税取引の場合、「FX シリーズ」が定める課税区分※を設定
※課税区分とは、取引が消費税法上どのような取引であるかを明らかにする区分。詳細は「FX シリーズ」の操作説明をご参照ください |
| 4 | 事業区分 | 0 | ・「FX シリーズ」の消費税情報で事業区分を入力しない設定の場合、または「課税区分」が「1」「11」以外の場合、修正不要
・上記以外の場合、該当の値を設定 |
| 5 | 借方科目コード | 1124 | ・該当の勘定科目コードを設定 |
| 6 | 借方補助コード | 空 | ・借方科目を口座別管理している場合、該当の値を設定
・借方科目を口座別管理していない場合、修正不要 |
| 7 | 貸方科目コード | 1122 | ・該当の勘定科目コードを設定 |
| 8 | 貸方補助コード | 空 | ・貸方科目を口座別管理している場合、該当の値を設定
・貸方科目を口座別管理していない場合、修正不要 |
| 9 | 内、消費税等 | 0 | ・当該仕訳が課税対象である場合、「1」を設定
・当該仕訳が課税対象でない場合、修正不要 |
| 10 | 消費税率 | 0 | ・「内、消費税等」が「1」の場合、頭ゼロを除いた消費税率を設定
・例1：消費税率が8%の場合、「800」を設定
・例2：消費税率が10%の場合、「1000」を設定
・「内、消費税等」が「0」の場合、修正不要 |
| 11 | 元帳摘要 | 売掛金入金 電子記録債権 | ・「FX シリーズ」と連携した際に、仕訳帳画面の「元帳摘要（仕入れ資産等の総称）」に登録する文言を設定※
※仕訳帳画面の「元帳摘要（仕入れ資産等の総称）」に文言「売掛金入金 電子記録債権」を登録する場合、修正不要 |
| 12 | 部門コード | 空 | ・当該仕訳が損益科目を使用している場合、かつ関わる部門数が1の場合、該当部門コードをコードの頭ゼロを除いた値を設定
・上記以外の場合、修正不要 |
| 13 | 部門数 | 0 | ・当該仕訳が損益科目を使用している場合、1を設定
・当該仕訳が損益科目を使用していない場合、修正不要 |

【参考】固定値の属性と桁数について

出力 CSV フォーマット詳細設定画面の固定値について、各項目は半角／全角で設定可能ですが、下記以外の属性と桁数で入力した場合、債権情報ファイル作成時にエラーが発生します。

| No | 固定値の項目名 | 属性 | 桁数 | 必須／任意 | 備考 |
|----|-------------|-------|----|-------|---|
| 1 | 関与先コード | 半角数字 | 3 | 必須 | 頭ゼロを除いた値を設定 |
| 2 | データ作成システム区分 | 半角数字 | 40 | 必須 | |
| 3 | 課税区分 | 半角文字 | 2 | 任意 | |
| 4 | 事業区分 | 半角数字 | 1 | 任意 | 0～5 を設定 |
| 5 | 借方科目コード | 半角数字 | 4 | 必須 | 1000～9999 を設定 |
| 6 | 借方補助コード | 半角文字 | 3 | 任意 | |
| 7 | 貸方科目コード | 半角数字 | 4 | 必須 | 1000～9999 を設定 |
| 8 | 貸方補助コード | 半角文字 | 3 | 任意 | |
| 9 | 内、消費税等 | 半角数字 | 1 | 任意 | 0～1 を設定 |
| 10 | 消費税率 | 半角数字 | 5 | 任意※ | 頭ゼロを除いた値を設定
※「内、消費税等」が1の場合、必須入力 |
| 11 | 元帳摘要 | 全角／半角 | ※ | 任意 | ※全角文字は2バイト／1文字、半角文字は1バイト／1文字として、あわせて40バイトまで入力可能（全角文字と半角文字の混在可能） |
| 12 | 部門コード | 半角数字 | 3 | 任意 | ・頭ゼロを除いた値を設定
・0～998 を設定 |
| 13 | 部門数 | 半角数字 | 1 | 任意 | 0～1 を設定 |

【参考】出力 CSV フォーマット詳細設定画面の初期設定値

| No | 項目 | 項目番号(カッコ内は固定値の値) |
|----|---------------------------------|------------------|
| 1 | CSV 項目数 | 34 |
| 2 | 利用者 ID の自動設定有無 | |
| 3 | 利用者 ID の自動設定有無
(通知先情報) | 自動設定しない |
| 4 | 利用者 ID の自動設定有無
(義務者情報、権利者情報) | 自動設定する |
| 5 | タイトル行有無 | |
| 6 | タイトル行有無 | 設定しない |
| 7 | 出力 CSV 項目設定 | |
| 8 | データレコード項目 | |
| 9 | 作成対象区分 | - |
| 10 | 通知作成日 | - |
| 11 | 通知先情報_利用者番号 | - |
| 12 | 通知先情報_通知先名か | - |
| 13 | 通知先情報_金融機関コード | - |
| 14 | 通知先情報_金融機関名か | - |
| 15 | 通知先情報_支店コード | - |
| 16 | 通知先情報_支店名か | - |
| 17 | 通知先情報_口座種別 | - |
| 18 | 通知先情報_口座番号 | - |
| 19 | 通知先情報_利用者 ID | - |
| 20 | 合計件数 (件) | - |
| 21 | 合計金額 (円) | - |
| 22 | データレコード区分 | - |
| 23 | 義務者情報_義務者名 | - |
| 24 | 義務者情報_金融機関コード | - |
| 25 | 義務者情報_金融機関名か | - |
| 26 | 義務者情報_支店コード | - |
| 27 | 義務者情報_支店名か | - |
| 28 | 義務者情報_口座種別 | - |
| 29 | 義務者情報_口座番号 | - |
| 30 | 義務者情報_利用者 ID | 19 |
| 31 | 権利者情報_権利者名 | - |
| 32 | 権利者情報_金融機関コード | - |
| 33 | 権利者情報_金融機関名か | - |
| 34 | 権利者情報_支店コード | - |
| 35 | 権利者情報_支店名か | - |
| 36 | 権利者情報_口座種別 | - |
| 37 | 権利者情報_口座番号 | - |
| 38 | 権利者情報_利用者 ID | - |
| 39 | 債権金額 (円) | 15 |
| 40 | 支払期日 | - |
| 41 | 譲渡制限有無 | - |
| 42 | 記録番号 | - |
| 43 | 依頼人 Ref. No. | - |
| 44 | 電子記録年月日 | 4 |
| 45 | 取消区分 | - |

| No | 項目 | 項目番号(カッコ内は固定値の値) |
|----|------------------|-----------------------|
| 46 | データレコード項目 (任意項目) | |
| 47 | 関与先コード | 1 (固定値：空) |
| 48 | データ作成システム区分 | 2 (固定値：999) |
| 49 | 課税区分 | 7 (固定値：0) |
| 50 | 事業区分 | 8 (固定値：0) |
| 51 | 借方科目コード | 9 (固定値：1124) |
| 52 | 借方補助コード | 10 (固定値：空) |
| 53 | 貸方科目コード | 11 (固定値：1122) |
| 54 | 貸方補助コード | 12 (固定値：空) |
| 55 | 内、消費税等 | 16 (固定値：0) |
| 56 | 消費税率 | 18 (固定値：0) |
| 57 | 元帳摘要 | 24 (固定値：売掛金入金 電子記録債権) |
| 58 | 部門コード | 28 (固定値：空) |
| 59 | 部門数 | 29 (固定値：0) |

【参考】出力ファイルフォーマット

| No | 項目名 | 出力内容(※1) | 備考 |
|----|-------------------|---|--|
| 1 | 関与先コード | 固定値:出力 CSV フォーマット詳細設定画面で設定された値 | |
| 2 | データ作成システム区分 | 固定値:出力 CSV フォーマット詳細設定画面で設定された値 | |
| 3 | レコード番号 | 固定値:1~999999999 の連番 | |
| 4 | 取引年月日 | 通知ファイル, 電子記録年月日 | |
| 5 | 伝票番号 | 固定値:0 | |
| 6 | 証憑書番号 | - (設定しない) | 項目区切りのタブのみ |
| 7 | 課税区分 | 固定値:出力 CSV フォーマット詳細設定画面で設定された値 | |
| 8 | 事業区分 | 固定値:出力 CSV フォーマット詳細設定画面で設定された値 | |
| 9 | 借方科目コード | 固定値:出力 CSV フォーマット詳細設定画面で設定された値 | |
| 10 | 借方補助コード | 固定値:出力 CSV フォーマット詳細設定画面で設定された値 | |
| 11 | 貸方科目コード | 固定値:出力 CSV フォーマット詳細設定画面で設定された値 | |
| 12 | 貸方補助コード | 固定値:出力 CSV フォーマット詳細設定画面で設定された値 | |
| 13 | 小切手番号 | - (設定しない) | 項目区切りのタブのみ |
| 14 | FILLER | 固定値:0 | |
| 15 | 取引金額 | 通知ファイル, 債権金額 | |
| 16 | 内、消費税等 | ① 固定値:0
② 「取引金額」と「消費税率」より自動計算した消費税額の値※
(小数点以下は四捨五入)

※出力 CSV フォーマット詳細設定画面「内、消費税等」で1を設定した場合、「取引金額」は税込金額となるため、出力ファイル「内、消費税等」に設定される消費税額の値は「取引金額」の税抜金額を基に計算する | ① 出力 CSV フォーマット詳細設定画面「内、消費税等」で0を設定した場合
② 出力 CSV フォーマット詳細設定画面「内、消費税等」で1を設定した場合 |
| 17 | 税額入力区分 | ① 固定値:0
② 固定値:1 | ① 出力 CSV フォーマット詳細設定画面「内、消費税等」で0を設定した場合
② 出力 CSV フォーマット詳細設定画面「内、消費税等」で1を設定した場合 |
| 18 | 消費税率 | 固定値:出力 CSV フォーマット詳細設定画面で設定された値 | |
| 19 | 取引先コード | 通知ファイル, 義務者情報の口座情報(金融機関コード/支店コード/口座種別/口座番号)に一致する取引先管理情報, 取引先 ID を自動設定 | 一致する取引先管理情報が存在しない場合, 0 を設定する |
| 20 | 取引先名 | - (設定しない) | 項目区切りのタブのみ |
| 21 | 実際の仕入れ日
入力パターン | 固定値:0 | |
| 22 | 実際の仕入れ
開始年月日 | 固定値:0 | |

| No | 項目名 | 出力内容(※1) | 備考 |
|----|-----------------|------------------------------------|------------|
| 23 | 実際の仕入れ
終了年月日 | 固定値：0 | |
| 24 | 元帳摘要 | 固定値：出力 CSV フォーマット詳細設定
画面で設定された値 | |
| 25 | FILLER | - (設定しない) | 項目区切りのタブのみ |
| 26 | 資金大分類 | 固定値：0 | |
| 27 | 資金小分類 | 固定値：0 | |
| 28 | 部門コード | 固定値：出力 CSV フォーマット詳細設定
画面で設定された値 | |
| 29 | 部門数 | 固定値：出力 CSV フォーマット詳細設定
画面で設定された値 | |
| 30 | 部門金額入力区分 | 固定値：0 | |
| 31 | FILLER | 固定値：0 | |
| 32 | 自動仕訳番号 | 固定値：0 | |
| 33 | 支払予定日 | 固定値：0 | |
| 34 | 回収予定日 | 固定値：0 | |

※1 出力ファイルはタブ区切りファイルとして出力されます。

(出力ファイルフォーマットの詳細については「FX シリーズ」のヘルプをご参照ください。)

3 連携手順

3.1 連携手順

「FX シリーズ」と本ソフトの連携手順を説明します。

操作手順



操作方法

3.1.1 通知ファイルを読み込む

本ソフトで電子記録債権取引システムからダウンロードした通知ファイルを読み込み、「FX シリーズ」に読み込ませる債権情報ファイルを作成します。

- 本ソフトの通知確認画面を開き、作成対象に「受入債権一覧（発生・譲渡による受入）」を選択します。

通知確認

通知ファイル

作成対象 受入債権一覧(発生・譲渡による受入)

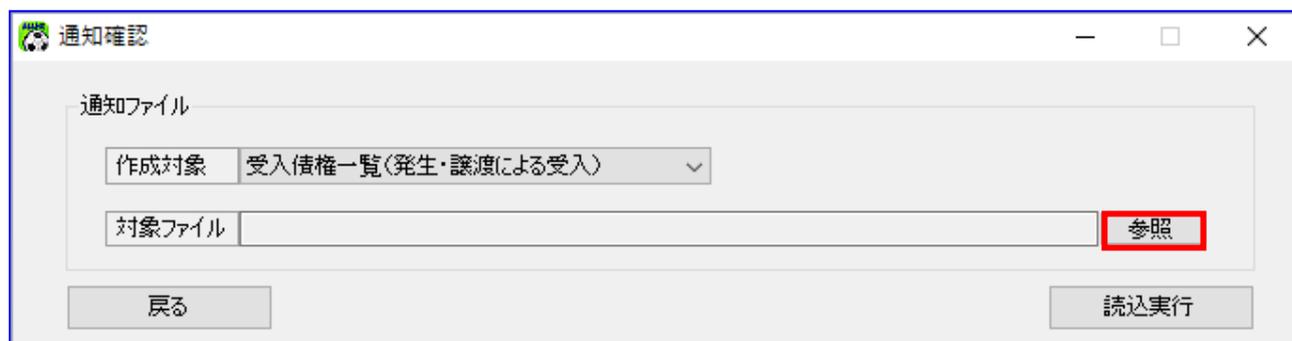
対象ファイル 参照

戻る 読み込み実行

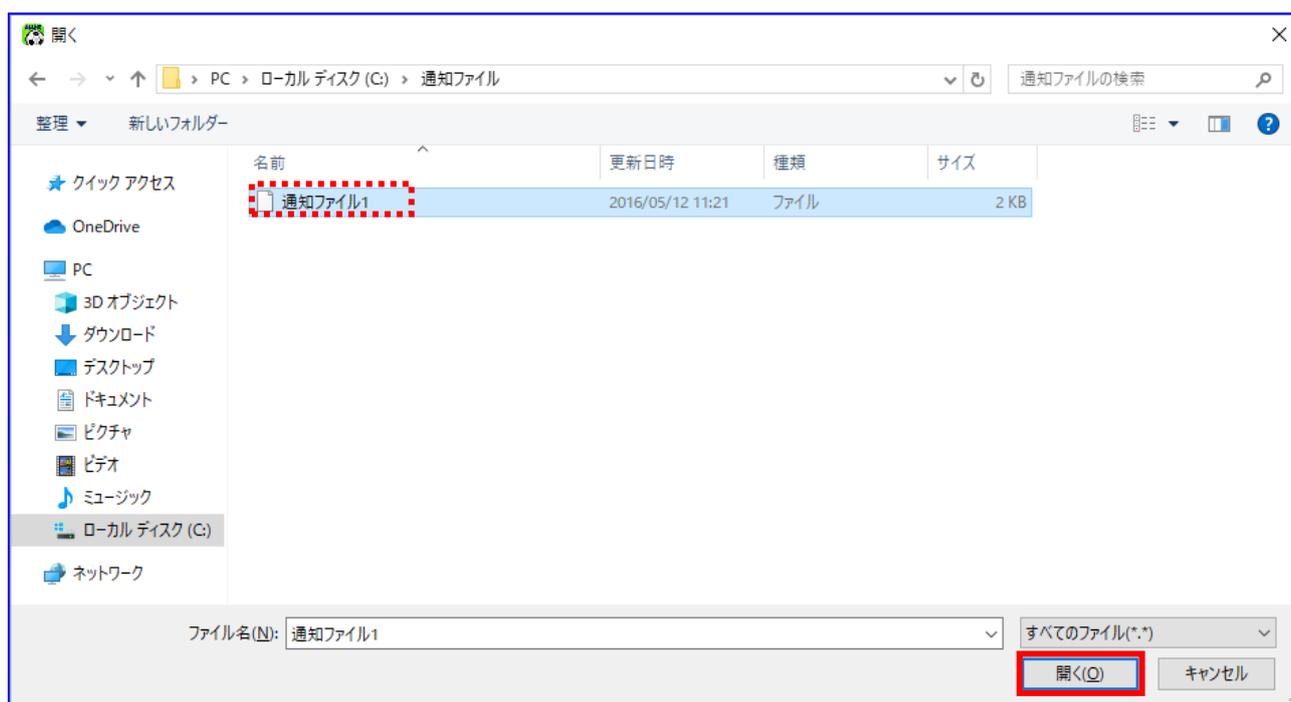


「受入債権一覧（発生・譲渡による受入）」を選択した場合、通知ファイルから発生・譲渡の受入情報のみを抽出した受入債権一覧を作成します。読み込んだ通知ファイルの権利者口座情報に、自身の口座情報（通知先情報の口座情報）が設定されている債権を抽出します。

- ✦ 電子記録債権取引システムより取得した通知ファイルを読み込みます。
[参照]を押下します。



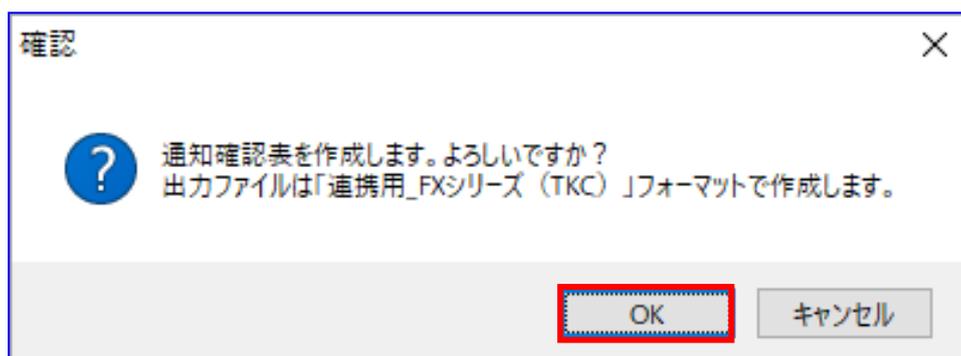
- ✦ [参照]を押下すると、ファイルを開くダイアログが表示されます。
内容を確認する通知ファイルを選択し、[開く]を押下します。



- ✚ 選択したファイルが対象ファイルに表示されます。
[読込実行]を押下します。



- ✚ [読込実行]を押下すると、確認ダイアログが表示されます。
よろしければ、[OK]を押下します。

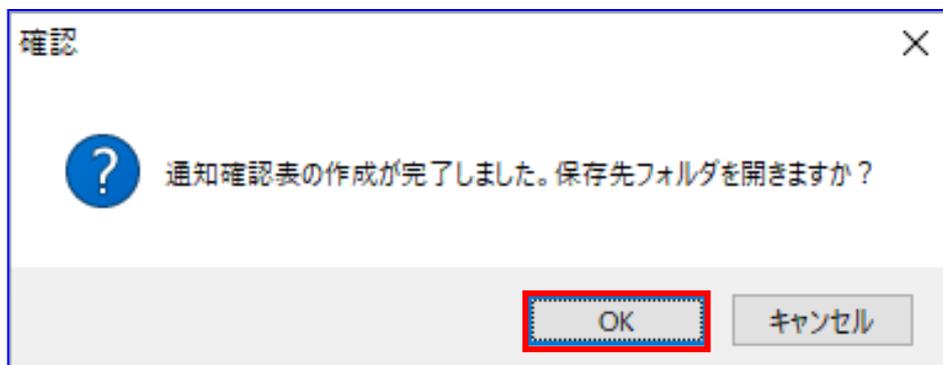


「**2.2.3 出力 CSV 設定を設定する**」で設定した使用フォーマット名（連携用_FX シリーズ (TKC)）が表示されます。

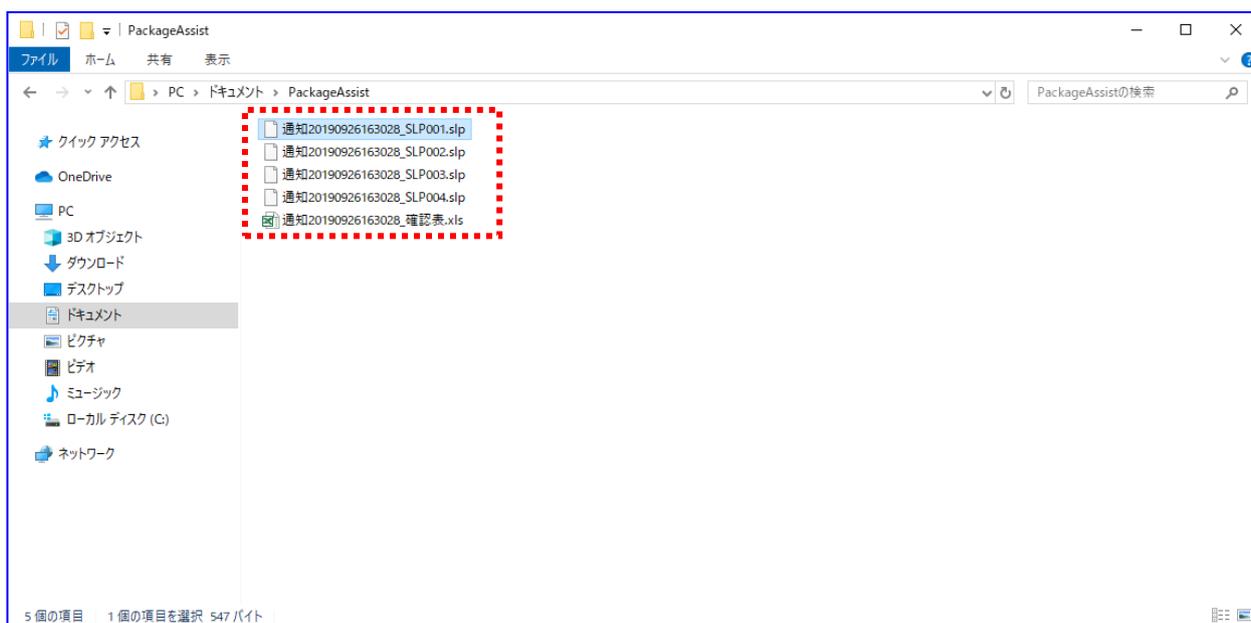


[OK]を押下後にエラーメッセージが表示される場合、トラブルシューティング「**2.1.10 連携エラー**」をご参照ください。

- 通知確認表の作成が完了すると、確認ダイアログが表示されます。作成した通知確認表の保存先を表示する場合、[OK]を押下します。



- 保存先フォルダが表示されますので、通知確認表、債権情報ファイルが作成されていることを確認します。



通知確認表の作成時に出力されるファイルは下記の通りです。

| | |
|----------|--------------------------------|
| 通知確認表 | : 通知 YYYYMMDDhhmmss_確認表.xls |
| 債権情報ファイル | : 通知 YYYYMMDDhhmmss_SLPxxx.slp |



「詳細シート」は、通知先口座情報（金融機関コード／支店コード／口座種別／口座番号）ごとに作成されます。

電子記録債権取引システムからダウンロードする際に、特定の通知先口座情報を指定した場合は、「詳細シート」が1つだけ作成されることになります。

出力ファイルも同様に、通知先口座情報の数だけ作成されます。



作成対象が「受入債権一覧（発生・譲渡による受入）」を選択した際は、条件に該当する債権が存在した通知先口座情報のみ詳細シートおよび出力ファイルが出力されます。

条件に該当する債権が存在しなかった通知先口座情報については、概要シートの「シート名」に「-（ハイフン）」が表示され、詳細シートおよび出力ファイルは出力されません。

3.1.3 仕訳伝票を作成する(FX2の場合)

「3.1.1 通知ファイルを読み込む」で作成した債権情報ファイルを「FX2」で読み込み、仕訳伝票を作成します。



お使いの会計ソフトが「FX4 クラウド」の場合、本項の作業は不要です。

「FX2」を開き、[日常業務]>[他社システム自動仕訳の読込]を押下します。

FX2 業務の選択

ファイル(E) 取引入力(A) 報告書(B) 取引問合せ(C) 資金繰り(D) 月次・年次(E) 最新業績(G) 自社情報(I) ツール(L) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

FX2 株式会社NTTデータフロンティア 本日：平成26年 4月30日(水)

日常業務 支払・入金・資金繰り | 月次・年次業務 最新業績 自社情報 | 制度会計 | 銀行報告用

A 取引の入力

| | | | |
|--------------|------------------|---------------|---------------|
| 1 仕訳辞書 | 8 TKCシステム自動仕訳の読込 | 41 仕訳帳 | 51 課税区分別取引 |
| 2 会計日記帳 | 9 他社システム自動仕訳の読込 | 42 総勘定元帳 | 52 勘定科目別消費税額 |
| 3 預金出納帳 | 10 IB/FBからの仕訳読込 | 43 部門別取引 | 53 部門別課税区分別取引 |
| 4 伝票(1伝票型) | 11 入力データ検索 | 44 勘定科目残高 | 54 手形明細 |
| 5 伝票(5伝票型) | 12 入力モニター | 45 勘定科目残高推移表 | 55 電子記録債権 |
| 6 複合仕訳 | 13 入力制御情報 | 46 部門別科目残高 | 56 訂正・加除履歴 |
| 7 S×2入金・支払仕訳 | | 47 部門別科目残高推移表 | |
| | | 48 日々の現預金残高 | |
| | | 49 日々の売上総額 | |
| | | 50 日々の仕入総額 | |

B 報告書の印刷

| | |
|-------------|----------------|
| 21 現預金出納帳 | 26 科目残高推移表 |
| 22 仕訳帳 | 27 部門別科目残高一覧表 |
| 23 総勘定元帳 | 28 部門別科目残高推移表 |
| 24 現預金残高報告書 | 29 未決済手形一覧表 |
| 25 科目残高一覧表 | 30 未決済電子記録債権一覧 |

C 取引問合せ

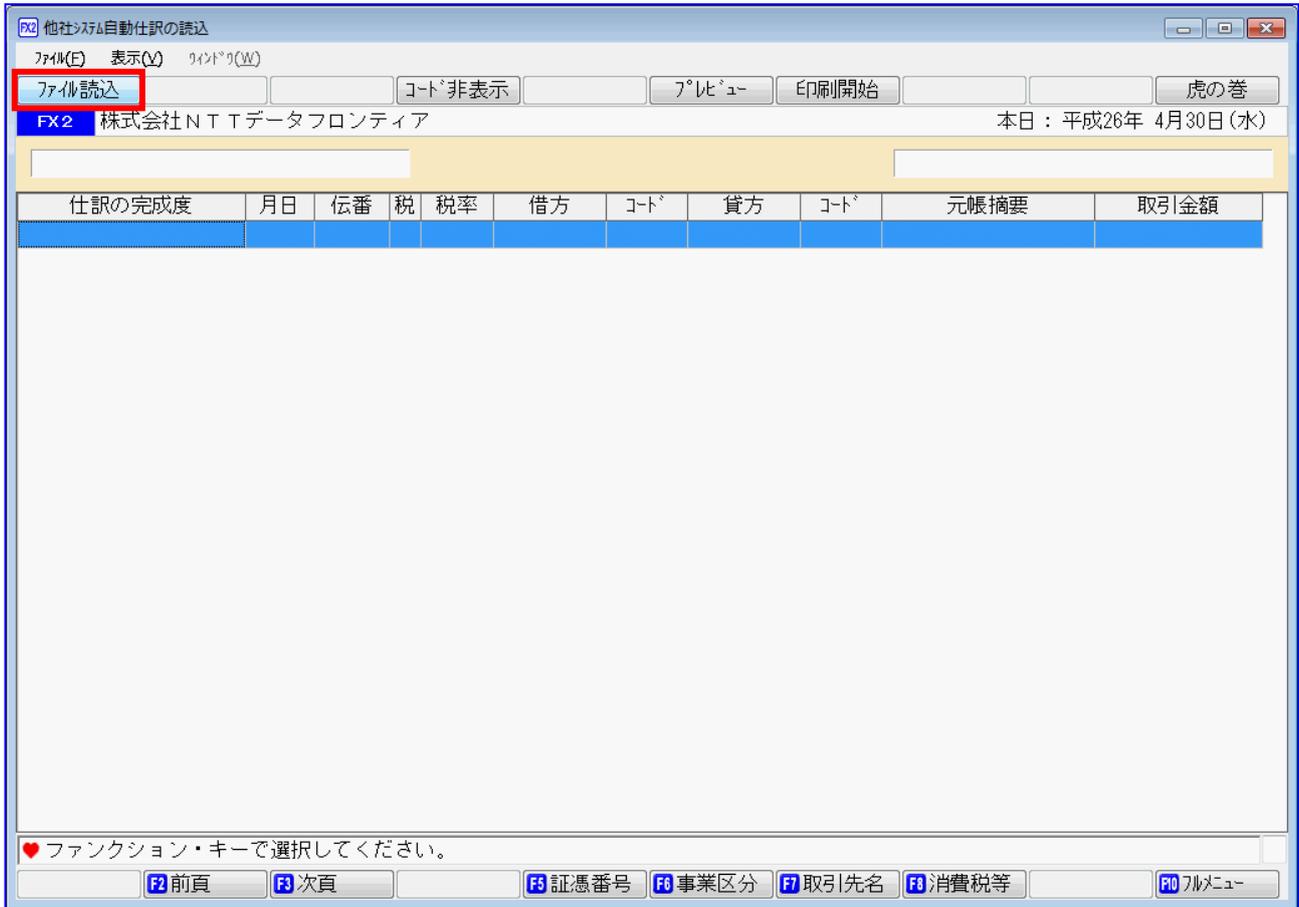
D データのバックアップ

| |
|---------------|
| 99 データのバックアップ |
|---------------|

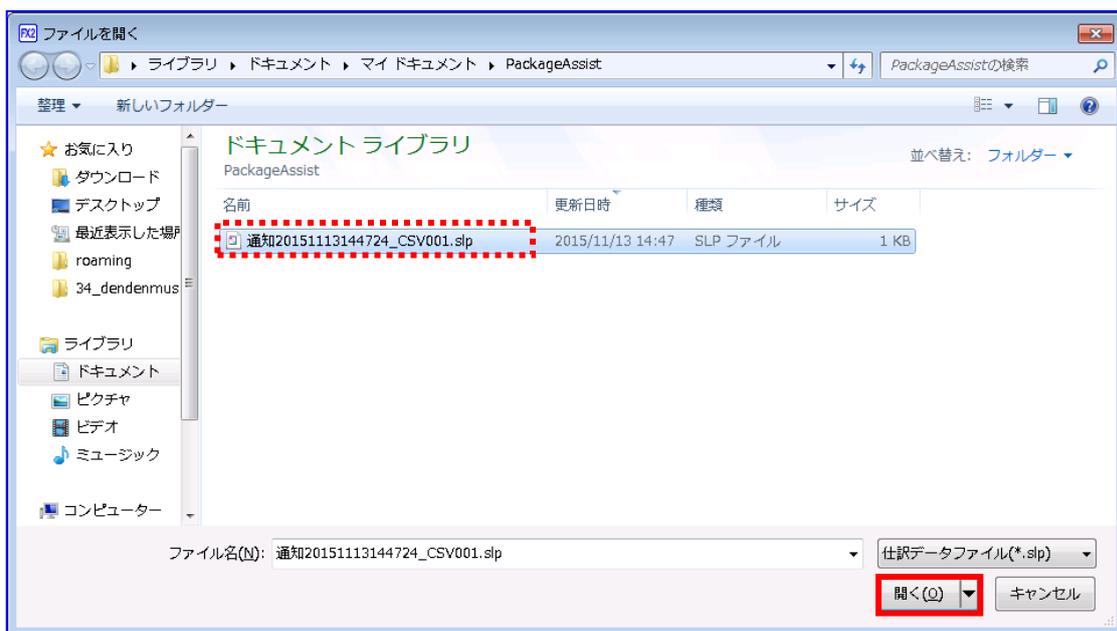
♥番号で選択してください。

F6 タブ切替 F8 日付変更 F10 終了

✚ [ファイル読込]を押下します。



✚ 「3.1.1 通知ファイルを読込む」で作成した債権情報ファイルを選択し、[開く]を押下します。



「仕訳の完成度」がOKになったことを確認し、[一括読込]を押下します。

他社システム自動仕訳の読込

ファミ(E) 表示(V) リスト(W)

コード非表示 プレビュー 印刷開始 虎の巻

FX2 株式会社NTTデータフロンティア 本日：平成26年 4月30日(水)

他社システム 平成26年 4月30日～平成26年 4月30日

| 仕訳の完成度 | 月日 | 伝番 | 税 | 税率 | 借方 | コード | 貸方 | コード | 元帳摘要 | 取引金額 |
|--------|------|----|---|----|------|-------|-----|------|-----------|-----------|
| OK | 4.30 | | 0 | | 電子記録 | 1124A | 売掛金 | 1122 | 売掛金入金 電子記 | 1,000,000 |

通知ファイルの債権情報

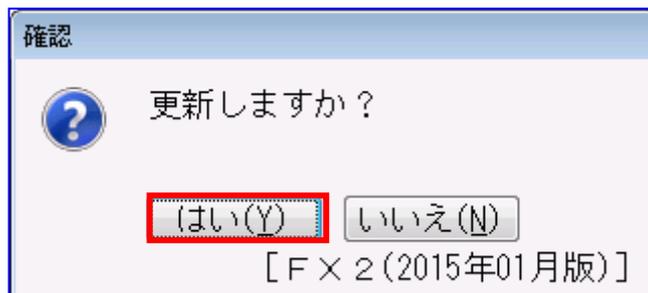
♥ ファンクション・キーで選択してください。

F2 前頁 F3 次頁 **F4 一括読込** F5 証憑番号 F6 事業区分 F7 取引先名 F8 消費税等 F10 ヘルプメニュー

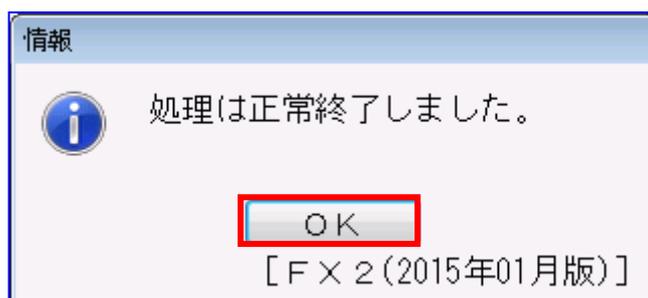


エラーが表示されている場合、表示されるエラー内容を確認してください。
また、「2 連携事前設定」の設定が正しく行われているか確認してください。

-
- ✚ [一括読込]を押下すると、下記ダイアログが表示されます。
よろしければ、[はい]を押下します。



- ✚ [はい]を押下すると、下記ダイアログが表示されます。
[OK]を押下します。



「**3.1.1 通知ファイルを読込む**」にて複数の債権情報ファイルが作成された場合、
本項の処理をファイル数分繰り返して受入を行ってください。



債権情報ファイルを読込んだ場合、拡張子は下記の通り変更され、再度債権情報
ファイルを読込むことはできません。
変更前：通知 YYYYMMDDhhmmss_SLPxxx.slp
変更後：通知 YYYYMMDDhhmmss_SLPxxx.slpYYYYMMDD

3.1.4 仕訳伝票を作成する(FX4 クラウドの場合)

「3.1.1 通知ファイルを読み込む」で作成した債権情報ファイルを「FX4 クラウド」で読み込み、仕訳伝票を作成します。

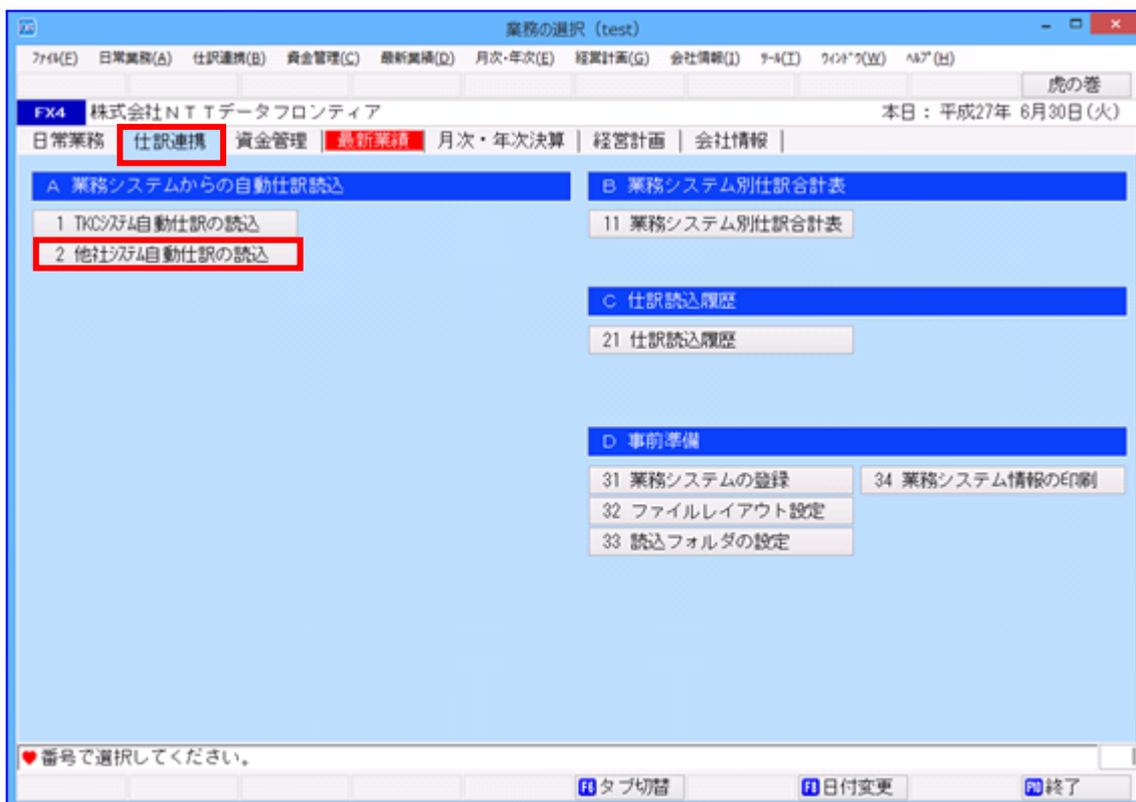


お使いの会計ソフトが「FX2」の場合、本項の作業は不要です。



「3.1.1 通知ファイルを読み込む」にて作成した債権情報ファイルは、事前に「2.1.5 データ作成システム区分を確認する」で設定した仕訳ファイルの格納先フォルダに格納してください。

✚ 「FX4 クラウド」を開き、[仕訳連携]>[他社システム自動仕訳の読み込み]を押下します。



- 債権情報ファイルの「今回読込」をチェックし、[次へ（整合性チェック開始）]を押下します。



「**3.1.1 通知ファイルを読込む**」にて複数の債権情報ファイルが作成された場合、「今回読込」をファイル数分チェックしてください。

- ✦ 整合性チェックが正常であることを確認し、[次へ（仕訳読込開始）]を押下します。

他システム自動仕訳の読込

FX4 株式会社NTTデータフロンティア 本日：平成27年 6月30日(火)

業務プロセス

1. 今回読み込むファイルの選択
2. ファイルの整合性チェック
3. 仕訳読込処理の実行

| コード | 業務システム名 | ファイル名 | 自動仕訳番号 | | 仕訳枚数 | 取引金額合計 | チェック結果 | | | | | | | | | |
|-----|------------|-------------|--------|----|------|-----------|--------|---|---|---|---|---|---|---|--|--|
| | | | 最小 | 最大 | | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | | |
| 111 | 一括請求assist | a2015069991 | | | 1 | 1,000,000 | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | |

戻る 次へ（仕訳読込開始）

異常なファイルは存在しませんでした。「次へ（仕訳読込開始）」をクリックしてください。

仕訳確認 F7 ヘルプメニュー

- 「仕訳の完成度」がOKになったことを確認し、[確認終了]を押下します。

| 仕訳の完成度 | 月日 | 伝番 | 税 | 税率 | 借方 | コード | 貸方 | コード | 元帳摘要 | 取引金額 |
|--------|------|------|---|----|--------|------|-----|------|---------|-----------|
| OK | 6.30 | 10 0 | | | 電子記録債権 | 1124 | 売掛金 | 1122 | 売掛金入金 電 | 1,000,000 |

取引金額合計 1,000,000

全データ： 1件 (正常なデータ： 1件 エラーとなったデータ： 0件)

仕訳の完成度を参考にして、ファイル内の仕訳を編集、削除してください。

[前頁] [次頁] [確認終了] [証憑番号] [事業区分] [取引先名] [消費税等]



エラーが表示されている場合、表示されるエラー内容を確認してください。
また、「**2 連携事前設定**」の設定が正しく行われているか確認してください。

3.1.5 仕訳伝票を確認する

「3.1.3 仕訳伝票を作成する（FX2の場合）」もしくは「3.1.4 仕訳伝票を作成する（FX4クラウドの場合）」で作成した仕訳伝票を確認します。

「FX シリーズ」を開き、[日常業務]>[仕訳帳]を押下します。

FX2 業務の選択

ファイル(F) 取引入力(A) 報告書(B) 取引問合せ(C) 資金繰り(D) 月次・年次(E) 最新業績(G) 自社情報(I) サル(I) ワンドウ(W) ヘルプ(H)

FX2 株式会社NTTデータフロンティア 本日：平成26年 4月30日(水)

日常業務 | 支払・入金・資金繰り | 月次・年次業務 | 最新業績 | 自社情報 | 制度会計 | 銀行報告用

A 取引の入力

- 1 仕訳辞書
- 2 会計日記帳
- 3 預金出納帳
- 4 伝票(1伝票型)
- 5 伝票(5伝票型)
- 6 複合仕訳
- 7 S×2入金・支払仕訳

B 報告書の印刷

- 21 現預金出納帳
- 22 仕訳帳
- 23 総勘定元帳
- 24 現預金残高報告書
- 25 科目残高一覧表
- 26 科目残高推移表
- 27 部門別科目残高一覧表
- 28 部門別科目残高推移表
- 29 未決済手形一覧表
- 30 未決済電子記録債権一覧

C 取引問合せ

- 41 仕訳帳
- 42 総勘定元帳
- 43 部門別取引
- 44 勘定科目残高
- 45 勘定科目残高推移表
- 46 部門別科目残高
- 47 部門別科目残高推移表
- 48 日々の現預金残高
- 49 日々の売上総額
- 50 日々の仕入総額
- 51 課税区分別取引
- 52 勘定科目別消費税額
- 53 部門別課税区分別取引
- 54 手形明細
- 55 電子記録債権
- 56 訂正・加除履歴

D データのバックアップ

- 99 データのバックアップ

♥番号で選択してください。

タブ切替 日付変更 終了

✚ 該当の仕訳伝票を選択し、ダブルクリックもしくは[Enter]を押下します。

FX2 株式会社NTTデータフロンティア 本日：平成26年 4月30日(水)

平成 26年 3月 1日 ~ 平成 26年 4月 30日

*は月次決算完了 [月日順:昇順]

| 月日 | 伝番 | 税 | 税率 | 借方科目 | 貸方科目 | 取引先名 | 元帳摘要 | 取引金額 |
|------|-----|---|-------|---------|---------|----------|-------------|-----------|
| 4.30 | 532 | 0 | | 買掛金 | 支払手形 | | 手形振出 約束手形 | 109,935 |
| 4.30 | 533 | 0 | | 買掛金 | 普通預金 | | 買掛金支払 預金振込 | 642,040 |
| 4.30 | 534 | 5 | 8.0%A | 管理諸費 | 普通預金 | | 当方負担振込手数料 | 630 |
| 4.30 | 535 | 5 | 8.0%A | 雑費 | 普通預金 | | 清掃代 | 150,000 |
| 4.30 | 538 | 0 | | 支払手形 | 普通預金 | | 支払手形決済 | 541,013 |
| 4.30 | 539 | 0 | | 減価償却費 | 減価償却累計額 | | 償却費計上 当月概算計 | 780,019 |
| 4.30 | 540 | 0 | | 減価償却費 | 減価償却累計額 | | 償却費計上 当月概算計 | 222,288 |
| 4.30 | 541 | 0 | | 1年以内返済長 | 普通預金 | | 借入金返済 1年以内返 | 400,000 |
| 4.30 | 542 | 8 | | 支払利息 | 普通預金 | | 預金支払 短期借入金 | 49,000 |
| 4.30 | 543 | 0 | | 1年以内返済長 | 普通預金 | | 借入金返済 1年以内返 | 400,000 |
| 4.30 | 544 | 8 | | 支払利息 | 普通預金 | | 預金支払 短期借入金 | 39,000 |
| 4.30 | 545 | 0 | | 1年以内返済長 | 普通預金 | | 借入金返済 1年以内返 | 100,000 |
| 4.30 | 546 | 8 | | 支払利息 | 普通預金 | | 預金支払 短期借入金 | 10,000 |
| 4.30 | 547 | 0 | | 1年以内返済長 | 普通預金 | | 借入金返済 1年以内返 | 95,000 |
| 4.30 | 548 | 8 | | 支払利息 | 普通預金 | | 預金支払 短期借入金 | 12,000 |
| 4.30 | 549 | 0 | | 普通預金 | 売掛金 | | 預金入金 売掛金回収 | 1,535,102 |
| 4.30 | 550 | 0 | | 普通預金 | 売掛金 | | 預金入金 売掛金回収 | 785,425 |
| 4.30 | 551 | 0 | | 買掛金 | 普通預金 | | 買掛金支払 材料仕入高 | 556,124 |
| 4.30 | 552 | 0 | | 買掛金 | 普通預金 | | 買掛金支払 材料仕入高 | 541,287 |
| 4.30 | 553 | 0 | | 電子記録債権 | 売掛金 | | 売掛金入金 電子記録債 | 1,000,000 |
| 4.30 | 554 | 0 | | 電子記録債権 | 売掛金 | 取引先A株式会社 | 売掛金入金 電子記録債 | 1,000,000 |

✚❤ 内容を確認する行をダブルクリックまたはエンター・キーで選択してください。

F1 入力順 F2 前頁 F3 次頁 F5 証憑番号 F6 事業区分 F7 仕入れ日 F8 消費税等 F10 ヘルプメニュー

- 仕訳伝票の内容を確認し、問題がある場合は本画面より修正を行います。
(仕訳帳画面での修正方法については「FX シリーズ」の操作説明をご参照ください。)

FX2 仕訳帳

ファイル(E) 取引入力(A) 報告書(B) 取引問合せ(C) 資金繰り(D) 月次・年次(E) 最新業績(G) 自社情報(I) 表示(V) 印刷(W)

FX2 株式会社 N T T データ フロンティア 本日：平成26年 4月30日(水)

他社システム 月次決算未了 入力担当者

| 伝(負)番 | 証券番号 | 課税区分 | 事業区分 | 小切手番号 | 年月日 |
|-------------------|-----------|------------------|------|----------|-----------|
| 554 | | 0 不課税取引 | | # | 26 4 30 |
| 借方科目・口座名 | | 貸方科目・口座名 | | 取引金額 | |
| 1124 | 電子記録債権 | 1122 | 売掛金 | | 1,000,000 |
| 取引先名 (仕入先の氏名又は名称) | | | | 収 | (内、消費税等) |
| 取引先A 株式会社 | | | | 020001 支 | |
| 摘要 | 実際の仕入れ年月日 | 元帳摘要 (仕入れ資産等の総称) | | 税率 | 税抜き金額 |
| | | 売掛金入金 電子記録債権 | | | |
| 部門名 | | | | | 内訳金額 |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 差 額 | | | | | |

R-No. 48408/271022 自動仕訳番号[EX]

♥ ファンクション・キーで選択してください。

F2 前仕訳 F3 次仕訳 F4 確認終了 F5 訂正 F6 削除 F10 ヘルプメニュー

一括請求 Assist[®] Ver.2 操作マニュアル

連携編(FX シリーズ)

2023 年 1 月 4 日 第 2.6 版 発行

- ・本書の内容の一部あるいは全部(ソフトウェアおよびプログラムを含む)は、でんさいネット(全国銀行協会が提供する電子債権記録機関)を使用する目的に限り使用できるものとします。
 - ・なお、無断で複写・複製・転載・配布すること、および磁気または光記録媒体、コンピュータネットワーク上等へ入力することは、法律で認められた場合を除き、一括請求 Assist の著作者および販売者の権利の侵害となります。
 - ・本マニュアルに記載された内容、および本ソフトの仕様は改良のため、予告なく変更する場合があります。
-